取扱説明書 アプリケーション編

FOMA® F900iT

'04.8

i mode®

ドコモ　W-CDMA方式

このたびは、「FOMA F900iT」をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書『アプリケーション編』および別冊の『基本編』をよくお読みいただき、FOMA F900iTを正しく、効果的にお使いくださいますようお願いいたします。
FOMA F900iTは、あなたの有能なパートナーです。
大切にお取扱いの上、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMAは無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中など電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。
  お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社
- 本製品は、インターネット機能としてNetFront® v3.0 for FOMAを搭載しています。
  NetFront® v3.0*は株式会社ACCESSの製品です。
  ＊：Copyright(C)1996-2004, ACCESS CO., LTD.

FOMA端末、FOMAカードをお使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。また、電池パックおよびアダプタ(充電器含む)をお使いになる前には、機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。
なお、取扱説明書にご不明な点がございましたら、下記にお問い合わせください。

○お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合
(局番なしの)151(無料)
※一般電話からはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

この「FOMA　F900iT　取扱説明書　アプリケーション編」の本文中においては、「FOMA F900iT」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

著作権について／商標について

著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標・登録商標

本書に記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA／フォーマ」「mova／ムーバ」「ｉモーション／アイモーション」「ｉモード」「ｉアプリ／アイアプリ」「ｉメロディ／アイメロディ」「ｍｏｐｅｒａ／モペラ」「ＷＯＲＬＤ　ＣＡＬＬ」「ドライブモード」「ｉモーションメール／アイモーションメール」「マルチアクセス」「ｉアプリ DX」「ｉショット／アイショット」「ｉエリア／アイエリア」「デュアルネットワーク」「FirstPass／ファーストパス」「ｉアプリサーチ／アイアプリサーチ」「M-stage Vライブ」「musea／ミュゼア」「デコメール」「着モーション」「キャラ電」「クイックキャスト」および「FOMA」「i-mode」ロゴはＮＴＴドコモの商標または登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
  （Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® operating systemです。）
- JavaおよびJavaに関連するすべての商標は、米国およびその他の国において米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Multitask／マルチタスク」は日本電気株式会社の商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- NetFront®および**NetFront**®は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における商標または登録商標です。
  本ソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品はMacromedia, Inc.のMacromedia® Flash™テクノロジーを搭載しています。

  Macromedia、Flash、Macromedia Flashは Macromedia, Inc. の米国内外における商標または登録商標です。
- ＱＲコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- *Bluetooth* とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の商標で、株式会社 NTT ドコモはライセンスを受けて使用しています。
- miniSD™ は SD アソシエーションの商標です。
- miniSD™ メモリーカードを miniSD メモリーカードと表記しています。
- Adobe および Reader は米国およびその他の国における Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標または登録商標です。
- その他、本取扱説明書に記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

4,901,307	5,600,754	5,267,261	5,506,865	5,710,784
5,504,773	5,416,797	5,568,483	5,228,054	5,778,338
5,109,390	5,490,165	5,414,796	5,544,196	
5,535,239	5,101,501	5,659,569	5,337,338	
5,267,262	5,511,073	5,056,109	5,657,420	

本書の表記について

本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。

- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- Windows 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- Windows Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
- Windows 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
- Windows 98SEは、Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITIONの略です。
- Windows XP、2000 Professional、Me、98SE、98のように併記する場合があります。
- Windows 98とWindows 98SEをまとめてWindows 98と表記しています。

取扱説明書の構成

FOMA F900iTの取扱説明書は『基本編』、『アプリケーション編』の2冊で構成されています。以下に各取扱説明書の概要をご紹介します。目的に合わせてお読みください。なお、取扱説明書はなくさないよう大切に保管してください。

FOMA F900iT取扱説明書　基本編

●各部の名称や機能など、FOMA端末の基本的な事柄について説明しています。
●電話のかけかた／受けかた、文字の入力方法など、FOMA端末の基本操作について説明しています。
●タッチパネルの使いかたやタッチパネルを利用した手書きメモ機能について説明しています。
●電話をかけるときの機能、通話中の機能、FOMA端末を便利に使うための各種設定方法や操作方法などについて説明しています。
●留守番電話サービスや転送でんわサービスなど、当社が提供するネットワークサービスについて説明しています。
●「故障かな？」と思ったときの対処方法やアフターサービスなどについて説明しています。

FOMA F900iT取扱説明書　アプリケーション編（本書）

●ｉモードでサイトへ接続する方法や、ｉアプリ、キャラ電、ｉモーションを利用する方法について説明しています。
●ｉモードメールやショートメッセージサービス（SMS）を利用してメールをやりとりする方法について説明しています。
●カメラの使いかたやFOMA端末に保存されている画像や動画／ｉモーション、メロディの操作方法などについて説明しています。
●赤外線通信機能やBluetooth®機能、miniSDメモリーカードの操作方法について説明しています。
●FOMA PC設定ソフトのインストールについて説明しています。
●FOMA端末のパケット通信機能、64Kデータ通信機能などについて説明しています。

ご使用の前に『基本編』の「安全上のご注意」を必ずお読みの上、正しくお使いください。

本書の見かた　<クイックマニュアル記載→『基本編』P380>

ここでは、本取扱説明書の構成や説明方法について紹介します。

- 操作の方法は、主にショートカット操作(→『基本編』P48)で説明しています。
  各メニュー項目のショートカット操作については、メニュー一覧(→『基本編』P334)をご覧ください。
- 本書では、(マルチカーソルキー)を押して項目を選ぶ操作や、パソコン画面の選択表示をクリックして「」や「」にする操作などを、「選択」と表記しています。
- 操作方法が複数ある場合は、最も簡単な操作方法を記載しています。
- 本書では、お買い上げ時にMENUを押すと表示されるタッチメニューで操作を説明しています。
  →『基本編』P45
- 文字の入力方法は、主にインライン入力(→『基本編』P311)で説明しています。
- 操作番号や文頭にの付いている操作や説明は、スタイラスペン(→『基本編』P36)を使って操作できます。
- 本書に掲載されている画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

※アプリケーション編ではデータ通信やBluetooth通信に関する用語集を記載しています。
　→P323、P375

※タッチパネルの操作方法について→『基本編』P36～38

※操作によっては、スタイラスペンを使って操作できない手順が含まれている場合があります。

本書では、各種機能を利用するときに行うユーザの認証操作(4～8桁の端末暗証番号を入力してを押す操作、または指紋認証を行う操作)をまとめて「4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う」と表記しています。認証操作が必要な場合は、端末暗証番号入力(→『基本編』P192)か指紋認証(→『基本編』P198)のどちらかを行ってください。

CONTENTS

目次

はじめに

ｉモード編

ｉモード

サイト（番組）接続

ｉアプリ

キャラ電

iモーション

メッセージサービス

メール編

メール機能について

iモードメール

CONTENTS

目次

ショートメッセージ(SMS)

メールBOX

メール機能の設定

マルチメディア編

カメラ

イメージ

ｉモーション

メロディ

FOMA端末データ交換編

赤外線通信を利用する

miniSDメモリーカード

データ通信編

データ通信を始める前に

通信設定ファイルについて

CONTENTS 目次

ディスプレイの見かた

ここではディスプレイの上下に表示されるマーク(アイコン)の説明をします。

● ここで説明していないマーク→『基本編』P39

	状態	参照先
①	データ転送モード中	P320
	赤外線起動中	P302
	miniSDメモリーカードコピー中/移動中/削除中/初期化中/情報更新中	P313、314、315、317、318
	データリンクソフト使用中	P390
②	iモード中(iモード接続中)	P27
	iモード中(データ送受信中)	P27
	iモードメール送受信中	P127、145
	メッセージR/F受信中	P111
③※1	赤外線リモコン使用中(優先度 高)	P307
	(黒) Bluetooth低消費電力モード中	P386
	(青) 点滅:Bluetooth通信中	P335、378、384
	(青) 点灯:Bluetooth電源ON(マルチサービス起動)中	
	赤外線通信中(優先度 低)	P302
④※2	未受信のiモードメールあり	P146
	未受信のメッセージRあり	P112
	未受信のメッセージFあり	P112
	未受信のiモードメール、メッセージR/Fあり(2種類以上)	P112、146
	iモードセンターにiモードメール満杯	P146
	iモードセンターにメッセージR満杯	P112
	iモードセンターにメッセージF満杯	P112
	iモードセンターにiモードメール、メッセージR/F満杯	P112、146
⑤	未読iモードメールあり	P145
	未読ショートメッセージ(SMS)あり	P180
	未読iモードメール、ショートメッセージ(SMS)あり	P145、180

	状態	参照先
⑤	受信メール満杯	P146、180
	FOMAカードのショートメッセージ(SMS)満杯	P180
	受信メールおよびFOMAカードのショートメッセージ(SMS)満杯	P145、180
⑥	未読メッセージRあり	P111
	メッセージR満杯	P111
⑦	未読メッセージFあり	P111
	メッセージF満杯	P111
⑧	iアプリ実行中	P68
	iアプリ待受画面表示中(αがグレー)	P86
	iアプリ待受画面からのソフト起動中に点滅(αがオレンジ)	P86
	iアプリDX実行中	P68
	iアプリDX待受画面表示中(dxがグレー)	P86
	iアプリDX待受画面からのソフト起動中に点滅(dxがオレンジ)	P86
⑨	SSLページ表示中およびSSLページからダウンロードしたソフトを起動中	P29、68
⑩	iアプリ自動起動失敗	P84
⑪	未読メール件数	P52
⑫	miniSDメモリーカード装着中	P310
⑬	FOMAカード読み込み中	P61
⑭※1	PIMロック中(優先度 高)	P206
	ダイヤル発信制限中	P207
	サイドキーロック中(優先度 低)	P210

※1:現在優先度の高いものを1つ表示

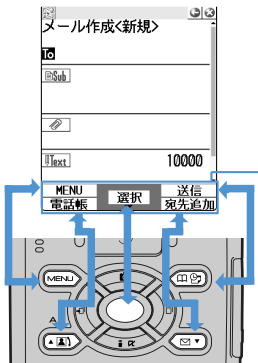
※2:iモードメール、メッセージR/Fのいずれか2種類が満杯のとき、あるいは1種類が満杯でその他に未受信のものがあるときに表示されます。

• 参照先の■は『基本編』のページを示します。

ガイド行

ガイド行には、[MENU]、[▲👤]、[●]、[📖]、[✉▼]を押して実行できる操作が表示されます。

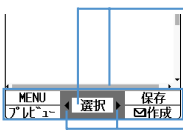
■ キーで操作するとき

〈例〉メール作成画面表示中のガイド行

ガイド行

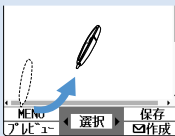
表示位置とキーは、図のように対応しています。ガイド行に表示される操作は画面により異なります。

- ガイド行の▲▼◀▶は、マルチカーソルキーの[📷][iα][◀][▶]に対応しています（使用する機能やサイトの作りかたによっては異なる場合があります）。
- 🖊が表示されているときはスタイラスペンでも操作できます。→『基本編』P36

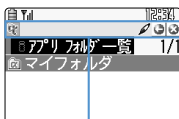
■ タッチパネルで操作するとき

タスクバーに🖊が表示されている場合は、ガイド行の項目をタップして対応する操作を行うことができます。

タップして、表示されている機能を操作することができます。

▲▼◀▶をタップして、各種操作ができます。

お知らせ

- 項目の選択時に目的の項目からずれた位置をポイントした場合は、項目の範囲外までドラッグしてからスタイラスペンを離すと、その操作を取り消すことができます。

タスクバー

タスクバーとは、使用中・動作中の機能（タスク）を示すアイコンが表示される行を指します。マルチアクセス・マルチタスク中（→『基本編』P269、P273）は、複数の機能を同時に実行しているため、2つ以上のアイコンが表示され、使用中・動作中の機能を確認できます。

タスクバー

- 画面の右上に🖊が表示されている場合は、該当する機能がタッチパネル操作に対応しています。
- 画面の右上に🖊が表示されていない場合でも、次の操作はタッチパネルで行うことができます。
  - タスクバーをタップして新規起動メニューを表示、またはマルチアクセス・マルチタスク中にタスクバーをタップして画面切替メニューを表示できます。→『基本編』P36、P274、P275
  - ◀をタップすると[クリア]を押したときと同様の操作が、✖をタップすると[電源]を押したときと同様の操作ができます。→『基本編』P38

お知らせ

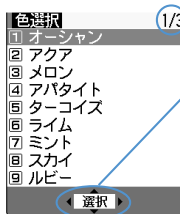
- メニューを表示中に新規起動メニューまたは画面切替メニューを表示するときは、📄などが表示されている行（ディスプレイ上部）をタップしてください。

タスクバーに表示されるアイコン一覧

タスクバーに表示されるアイコンは次のとおりです。
※参照先の■は『基本編』のページを示します。

状　態	参照先	状　態	参照先
音声電話通話中	P68	伝言メモ・音声メモ起動中	P91、249
テレビ電話通話中(32K)	P93	メモ帳表示中	P252
テレビ電話通話中(64K)	P93	スケジュール帳表示中	P233
64Kデータ通信中	P350、373	スケジュールアラーム起動中	P226
Bluetooth経由で64Kデータ通信中	P350、373	電卓表示中	P251
メール作成・表示中	P127、143、150、175、178、182	着信履歴表示中	P80
iモードメール受信中	P145	リダイヤル表示中	P74
ショートメッセージ(SMS)受信中	P180	外部データ連携中	P302、390
メッセージR/F表示中	P115	miniSDメモリーカードアプリケーション起動中	P311
iモード問合せ/ショートメッセージ(SMS)問合せ中	P149、181	miniSDメモリーカード装着中	P310
iモード中	P27	目覚まし設定起動中	P213、216
iアプリ起動中	P68	プロフィール情報表示中	P66
USB経由で発信・通信中	P350、373	各機能の設定/接続機器情報表示中	P47　P388
USB経由でパケット送受信中	P350、373	各機能の保留中(マルチタスク中)	P273
Bluetooth経由で発信・通信中	P335、350、373	ソフトウェア更新中	P361
Bluetooth経由でパケット送受信中	P335、350、373	ソフトウェア更新の通知あり	P361
「イメージ」起動中	P245	各種ネットワークサービス設定中	P280
「iモーション」起動中	P270	外部機器によるテレビ電話通話中	P108
「メロディ」起動中	P288	手書きメモ起動中	P255
「キャラ電」起動中	P95	Bluetooth機能実行中	P335、378、384
静止画撮影画面表示中	P216	**タッチパネル関連**	
動画撮影画面表示中	P224	タッチパネルで操作可能	P36
バーコードリーダー起動中	P242	1つ前の画面に戻る、文字入力時の入力内容の消去	P38
電話帳表示中	P128、135	操作中の機能の終了、通話の終了	P38

一覧画面

〈例〉色選択画面

一覧が複数ページにわたる場合、現在表示中のページ番号と、全ページ数が表示されます。

▲▼は、選択中の項目の上下に別の選択項目が存在することを示しています。
- [上][下]を押して項目を選択します。
- ページの最後の項目で[下]を押すと次ページ、ページの先頭の項目で[上]を押すと前ページが表示されます。
- タッチパネル操作に対応している場合は、▲▼をタップしてキー操作と同様の操作ができます。

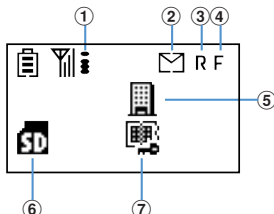
◀▶は、選択項目が複数ページにわたって存在することを示しています。
- [左][右]を押してページを切り替えます。
- タッチパネル操作に対応している場合は、◀▶をタップしてキー操作と同様の操作ができます。

お知らせ

- 次の現象は液晶ディスプレイの特性であり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。
  - ・F900iTのディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。
  - ・誤ってFOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、しばらくの間、ディスプレイから残像が消えないことがあります。
- ディスプレイを見る角度によっては、電灯などの光の映り込みが起こったり、斜めの縞や格子状に配列した点が見えたりすることがあります。これらはタッチパネルの特性です。ディスプレイは正面から見て操作してください。

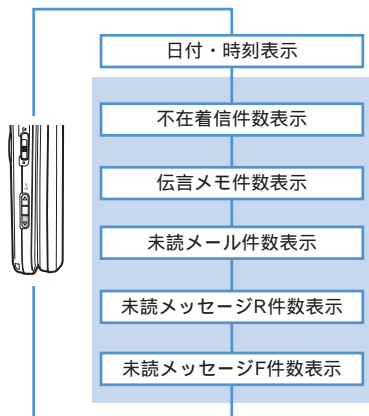
背面ディスプレイの見かた

ｉモードセンターに未受信のメール・メッセージR/Fがあるときや、FOMA端末に未読のメール・メッセージR/Fがあるときは、背面ディスプレイのマークでお知らせします。

● ここで説明していないマーク→『基本編』P43

① ｉモード中(ｉモード接続中)に点滅
② 未読ｉモードメール、ショートメッセージ(SMS)あり(は満杯)
③ R 未読メッセージRあり(Rは満杯)
④ F 未読メッセージFあり(Fは満杯)
⑤ ｉモードセンター蓄積状態表示
　 ｉモードセンターにメールやメッセージR/Fが満杯
⑥ miniSDメモリーカード装着中
⑦ PIMロック中→『基本編』P206
⑧ Bluetooth電源ON

背面ディスプレイの表示を切り替える

FOMA端末がクローズ状態のときには、サイドキー[▼]を押すたびに表示を切り替えることができます。サイドキーの操作一覧→『基本編』P51

- サイドキーロックを設定しているときは使用できません。→『基本編』P210

- の画面は、蓄積情報があるときのみ表示されます。各画面でサイドキー[▲]を押すと詳細情報がテロップ表示されます。
- 件数表示中に、約5秒間何も操作しないでいると、背面ディスプレイの表示が消えます。

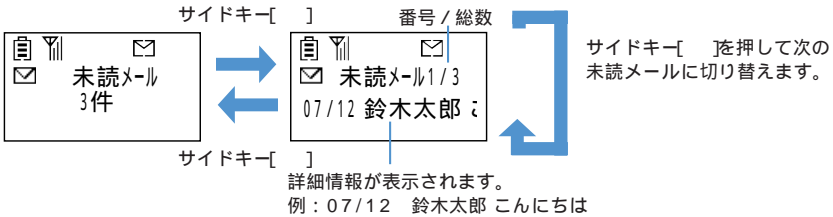
お知らせ

- サイドキーの主な操作→『基本編』P51
- 背面ディスプレイに情報が表示されているときにFOMA端末をオープン状態にすると、背面ディスプレイの表示が消えます。

詳細情報を表示するには

件数表示中にサイドキー[▲]を押すと、日時や電話番号、メールアドレスなどの詳細情報がテロップ表示されます。詳細情報は、サイドキー[▼]を押して10件まで切り替えて表示できます。11件以上あるときは、FOMA端末に保存できる件数が「あとX件」と表示されます。

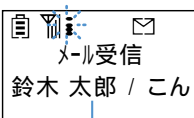
〈例〉未読メール件数を表示しているとき

まだ読んでいないメールの件数が表示されています。サイドキー[▲]を押すと、受信した日付(当日の受信は受信時間)とメールを送信してきた相手を確認できます。

- メールアドレスが電話帳に登録されているときは、詳細情報に名前が表示されます。ただし、シークレット属性を設定した電話帳データの場合は、シークレットモードを設定しているときだけ名前が表示されます。
- 詳細情報表示中に、約15秒間何も操作しないでいると、背面ディスプレイの表示が消えます。

その他の表示について

FOMA端末がクローズ状態のときにｉモードメールやショートメッセージ(SMS)、メッセージR/Fを受信したときは、背面ディスプレイの表示でお知らせします。

- 受信結果は約15秒間、または着信音が鳴り終わるまでの間表示されます。

〈例〉ｉモードメールを受信したとき

詳細情報が表示されます。
例：鈴木 太郎 / こんにちは

お知らせ

- 背面情報表示設定(→『基本編』P188)を「相手情報表示なし」に設定すると、ｉモードメールやショートメッセージ(SMS)を受信時などに相手の発信者情報(メールアドレスや電話番号、名前)は背面ディスプレイに表示されません。

マルチアクセス・マルチタスク

マルチアクセスによって、音声電話とパケット通信(ｉモード、ｉモードメール、パソコンやPDAなどとFOMA端末をつないで行うデータ通信など)の2つの通信機能を同時に行うことができます。また、マルチタスクによって、複数の機能を同時に実行し、画面を切り替えながら操作することができます。

●音声電話通話中に動画撮影、動画再生、メロディ再生はできません。

マルチアクセスとは

ｉモード中／パケット通信中に音声電話をかけたり、ｉモード中／パケット通信中にかかってきた音声電話を受けたりできます。音声電話通話中もｉモード／パケット通信は接続されたままです。

- マルチアクセスの詳細→『基本編』P269

■ マルチアクセスの主な組み合わせ

実行する通信 ＼ 現在の状態	音声電話をかける・受ける	テレビ電話をかける・受ける	ｉモードに接続する	ｉモードメール 送信	ｉモードメール 受信	パケット通信を行う	64Kデータ通信を行う
音声電話通話中	×※1	×※2	○	○	○	○	×
テレビ電話通話中	×※2	×※2	×	×	×	×	×
ｉモード中	○	①	×	○	○	×	×
パケット通信中	○	×※2	×	×	×	×	×
64Kデータ通信中	②	×※2	×	×	×	×	×

①：テレビ電話をかけることはできますが、ｉモード通信が切断されます。また、テレビ電話を受けることはできませんが、キャッチホンサービスをご契約の場合は着信履歴には不在着信として残ります。
②：同時にはご利用いただけません。キャッチホンサービスをご契約の場合、現在の通信を終了して電話に出るか、着信を拒否するかを選択できます。
※1：キャッチホンサービスをご契約の場合、電話通話中に別の電話をかけたり受けたりできます。→『基本編』P286
※2：キャッチホンサービスをご契約の場合、着信履歴には不在着信として残ります。

マルチタスクとは

通話中、通信中、操作中に別の機能を実行できます。

- マルチタスクの詳細→『基本編』P273

機能を実行中に別の機能を実行するには

① TASK またはサイドキー[ ]を押す
新規起動メニューが表示されます。

② 実行する機能を選択して を押す
- 実行中の機能により、選択できない機能があります。

複数の機能を実行中に画面を切り替えるには

① TASK またはサイドキー[ ]を押す
画面切替メニューが表示され、実行中の機能が一覧表示されます。

② 切り替える機能を選択して を押す
画面が切り替わります。

お知らせ

- ショートメッセージサービス(SMS)は音声電話通話中、ｉモード中、パケット通信中も利用できます。
- 動画やアニメーションの再生中やカメラの操作中などにメールが自動受信されるなど、同時に多くの機能が実行されていると、画面がスムーズに動作しないことや、再生中の音声が途切れることがあります。
- マルチアクセス・マルチタスクの組み合わせの詳細→『基本編』P349、P351

FOMA端末の保存・登録・保護件数

種　別		保存・登録件数	保護件数	参照先
メール	受信メール※1、※2	最大1000件	最大500件	P145、180、192
	送信メール※1、※2	最大200件	最大100件	P127、175、192
	未送信メール※2	最大200件	最大100件	P136、177
	メールテンプレート	5件	－	P140
FOMAカードのショートメッセージ(SMS)※3		最大20件	－	P186
メッセージR※4		最大50件	最大25件	P111、116
メッセージF※4		最大50件	最大25件	P111、116
ブックマーク		最大100件	－	P38
画面メモ※1		最大100件	最大50件	P43、44
iアプリのソフト※5		最大100件	最大100件	P66、91
画像※1、※6		最大1000件	－	P46、154、216
メロディ※1		最大500件	－	P48、157
動画／iモーション※1		最大100件	－	P108、160、224
キャラ電※1		最大50件	－	P94

※1： 保存・登録するデータのサイズにより、実際に保存・登録できる件数が少なくなる場合があります。
※2： iモードメールとショートメッセージ(SMS)の合計件数です。
※3： 送信ショートメッセージ(SMS)、受信ショートメッセージ(SMS)の合計件数です。
※4： 保存できる件数はメッセージR/Fのサイズによって変わります。
※5： メール連動型iアプリは最大5件(ソフトの最大保存件数100件に含む)保存できます。
保存できる件数はソフトのサイズによって変わります。
※6： 画像には保存した手書きメモが含まれます。

お知らせ

- FOMA端末に保存・登録されているデータは、電池パックを外したままの状態や電池残量が空の状態でも約1ヶ月は保持されていますが、それ以上経過すると消失する可能性があります。また、FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによっても消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末に保存した画像、メロディ、動画／iモーションはminiSDメモリーカードに保存することをおすすめします。
- パソコンをお持ちの場合は、添付のF900iT用CD-ROM内のFOMA Fシリーズデータリンクソフトをご利用いただくことにより、メール、ブックマーク、画像、メロディ、動画／iモーションなどの内容をパソコンに転送・保管することができます。→P390

FOMAカード動作制限機能

FOMA端末にはお客様のデータを保護するためのFOMAカード動作制限機能が搭載されています。

● IP(情報サービス提供者)から提供された情報を保護するため、お客様自身の正しいFOMAカードが挿入されていない場合に、ダウンロードデータ・メール添付のファイル・メッセージR/Fの表示や再生を制限する機能です。
動作制限の対象となるデータは次のとおりです。

・画像(アニメーション、Flash画像を含む)	・iモーション	・メロディ
・キャラ電　・iアプリ(iアプリ待受画面を含む)	・画面メモ	・メッセージR/F
・iモードメールに添付されているファイル	・デコメール本文中に挿入されている画像	

FOMAカード動作制限機能が設定されているiアプリは、別のFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合に次の操作ができなくなります。
・起動　・ソフト詳細情報の表示　・ソフト情報設定　・自動起動　・自動起動設定の変更
・iアプリ待受画面の設定　・バージョンアップ

お知らせ

- FOMAカード動作制限機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定していると、別のFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合に、設定がお買い上げ時の状態に戻ります。データを受信・ダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、設定は元の状態に戻ります。
- 赤外線通信やminiSDメモリーカード、データリンクソフトを利用して入手したデータや内蔵のカメラで撮影した画像には、FOMAカード動作制限機能が設定されません。

FOMAカードの機能差分

FOMAカードには緑色と青色の2種類があり、それぞれのカードは次のように機能が異なります。

項　目	FOMAカード(緑色)	FOMAカード(青色)	参照先
FOMAカード電話帳に登録可能な電話番号の桁数	最大26桁	最大20桁	『基本編』P125
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用可	利用不可	P60
WORLD WINGサービスの利用	利用可	利用不可	『基本編』P55

ｉモード編

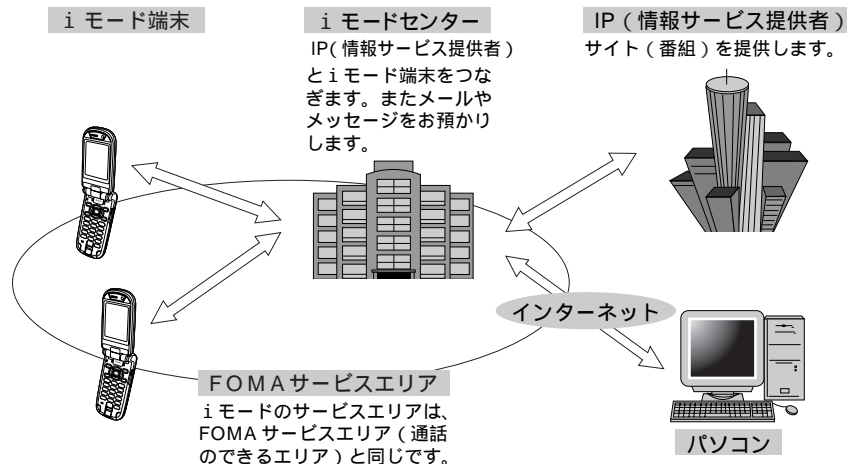
ｉモードとは

ｉモードでは、ｉモードメールやｉモード対応FOMA端末(以下ｉモード端末)のディスプレイを利用して、サイト(番組)接続、インターネット接続などのオンラインサービスを利用できます。

● サイト(番組)接続
　簡単なキー操作で、IP(情報サービス提供者)が提供するさまざまなサイトを利用できるサービスです。

● インターネット接続
　ｉモード端末からインターネットに接続し、ｉモード対応のホームページにアクセスできるサービスです。

● ｉモードメール
　ｉモード端末はもちろん、インターネットを経由してe-mail(電子メール)ともメールをやりとりできるサービスです。→P120

サービスのしくみ

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）151（無料）

※一般電話からはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

お知らせ

- 新規でFOMAサービスをご契約いただきますと、当日よりすべてのサービスが利用できます。
- movaサービス(ｉモードをご契約)からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスで利用していた「マイメニュー」の内容は引き継がれます。サイトによって、FOMAに「マイメニュー」が引き継がれないサイトもありますので、その場合は再登録が必要です。なお、「マイメニュー」引継対応サイトについては、ｉMenu内「お知らせ＆ヘルプ」で確認できます。
- ｉモードは送受信した情報量(パケット数)に応じて課金されるサービスです。本取扱説明書においては、料金に関する情報は記載していません。利用料金については、ｉモードご契約時にお渡しする『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- ｉモードのサービス内容は変更することがありますので、詳しくは最新の『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

ｉモード画面について

メニュー名	機　能
iMenu	ｉモードセンターへ接続すると、最初に表示されるページです。ここから各サイト（番組）や「週刊ｉガイド」などへアクセスします。
Bookmark	お気に入りのホームページアドレスをｉモード端末に登録しておくと、次回から直接アクセスできます。
Internet	ホームページアドレスを直接入力することでインターネットのｉモード対応ホームページに接続することができます。
画面メモ	ｉモード端末に保存されたｉモードの画面を見ることができます。
メッセージ	受信したメッセージR/Fのリストを表示します。メッセージサービスは、欲しい情報が自動的に携帯電話に届くサービスです。
iモード問合せ	ｉモードセンターにメールやメッセージR/Fが保管されていないか、問い合わせます。
iモード設定	ｉモードに接続するまでの待ち時間や、接続先ホストを設定したり、SSL通信対応のFirstPassのユーザ証明書発行申請・ダウンロードを行います。
表示設定	サイト表示中の画像表示や効果音の有無、文字色や背景色の設定などを行います。
メッセージ設定	メッセージR/Fを受信したときや、表示するときの設定を行います。

サイト（番組）接続サービス

簡単なキー操作でサイトに接続して、IP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスを利用できます。
たとえば銀行の残高照会・振込、チケット予約、ニュース、辞書検索、着信メロディのダウンロードなどさまざまなオンラインサービスがあります。

サイトを表示するには

ｉモードセンターに接続すると、最初にｉMenuが表示されます。ここから、各サイト（番組）や「週刊ｉガイド」などへアクセスします。

<全体イメージ>

メニュー名	機　能
マイメニュー	よく利用するサイトを登録しておくと、次回から簡単に接続できます。→P34 有料サイトなどは自動的に登録され、合わせて45件登録できます。
週刊ｉガイド	新着サイトやおすすめサイトなど最新のサイト情報を月～金曜日の毎日更新して掲載します。
メニューリスト	すべてのサイトをジャンル別・地域別に紹介するリストです。ここから見たいサイトを選んで接続できます。
とくするメニュー	楽しいキャンペーン情報、プレゼントやお得な割引クーポン情報などが掲載されています。毎週情報が更新されます（提供：D2コミュニケーションズ）。
ｉエリア	場所やその周辺に関する天気・地図・タウン情報などを簡単に利用できます。
ｉアプリサーチ	ｉアプリを情報料が無料のものや、ゲームができるものなど利用シーン別に紹介しているメニューです。
便利サイトサーチ	メニューリストの中から、日常的に利用できる便利な実用系サイトを利用シーン別にピックアップして掲載します。
マイボックス	サービスを提供するお店やサイトにあらかじめ登録することにより簡単にアクセスする会員向けのサービスです。一度登録すると簡単にアクセスできるようになります。
オプション設定	ｉモードメールの設定やｉモードパスワードの変更などを行います。
お知らせ＆ヘルプ	ドコモからのお知らせや、ｉモードの利用方法やご利用規則を掲載しています。
料金＆お申込	料金の確認やお支払い、また、ご契約内容の変更・各種サービスのお申し込みができます。
ENGLISH	ｉMenuを英語表記に変更できます。

※画面はイメージです。設定によっては、表示が異なる場合があります。

• サイトの表示方法→P27

お知らせ

- サイトによっては、利用するために情報料が必要なもの(ｉモード有料サイト)があります。
- IP(情報サービス提供者)が提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- ｉモードアイコンが点滅していても、ｉモードセンターとの通信中以外は、パケット通信料はかかりません。
- デュアルネットワークサービスご契約の場合、ｉMenu画面などが一部異なります。

こんなこともできます

■ ｉモーション

ｉモードのサイトから映像や音をｉモード端末に取り込み、再生したり、待受画面として楽しむことができます。

・ｉモーションを取り込む→P107
・ｉモーションを再生する→P270
・ｉモーションの自動再生設定をする→P110

・ｉモーションを取り込むには、ｉモードセンターを経由するパケット通信と、経由しないデジタル通信の2種類があります。

■ 着モーション

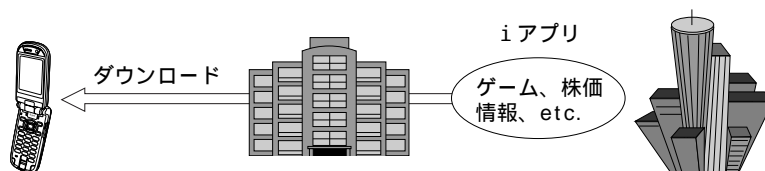
ｉモードのサイトからｉモーションをｉモード端末に取り込み、着信音や着信画像に設定できます。メロディだけではなくお好きな歌手の歌声なども着信音としてご利用いただけます(一部の対応していないｉモーションは着モーションに設定できません)。

・着モーションを設定するには→P107、P274

■ ｉアプリ

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード端末をより便利に活用できます。たとえばｉモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のｉアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図のｉアプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。

・ソフトをダウンロードする→P66
・ソフトを起動する→P68
・ｉアプリを自動起動する→P82

ｉモード端末
ｉモードセンター
IP（情報サービス提供者）
ｉアプリ
ダウンロード
ゲーム、株価
情報、etc.

■ ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面ではｉアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。

・ｉアプリ待受画面を設定する→P85

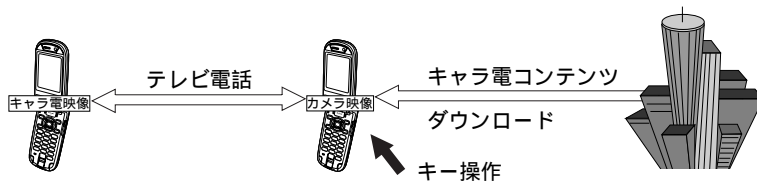
■ ｉアプリＤＸ

ｉアプリＤＸでは、ｉモード対応携帯電話の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信かを知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

・ｉアプリＤＸ→Ｐ６３

■ キャラ電

テレビ電話利用時に、相手のテレビ電話対応端末に、自分の映像を映す代わりにキャラクタを表示させ、キャラクタが音に反応して口を動かしたり、ボタン操作でキャラクタを動作させたりできます。お好きなキャラクタをダウンロードし、そのキャラ電を撮影した静止画・動画ファイルを待受画像に設定したり、メールに添付して送信することもできます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像ファイル・動画ファイルは送信できません）。

・キャラ電をダウンロードする→Ｐ９４
・キャラ電の確認→Ｐ９５
・キャラ電設定をする→Ｐ１０２
・キャラクタの操作方法→Ｐ９７
・キャラ電の撮影→Ｐ９９

■ 赤外線通信機能

赤外線通信機能が搭載された携帯電話、パソコンなどと電話帳やメール、ブックマークなどを送受信することができます。※

また、ｉアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動して、より広がりのある使いかたができます。

※：相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

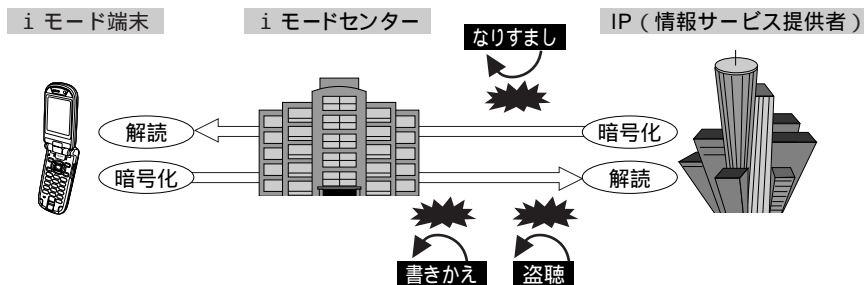
・赤外線通信をする→Ｐ３０２、Ｐ３０７

■ SSL通信

SSLとはSecure Sockets Layerの略で、認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSLページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴やなりすまし、書き替えを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。

SSL通信には、ｉモード端末から特別な操作なしに、端末内のCA証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと、FirstPassセンターからダウンロードしたユーザ証明書を利用し、FirstPassに対応したサイト（SSLページ）を表示するもの2つがあります。なお、サイトによって使用する証明書は異なります。

・FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信、メッセージR/Fの受信ができません。

・ｉモード端末に保存されているCA証明書を利用する→P59
・FirstPassのユーザ証明書を利用する→P60

※：なりすましとは、第三者がサイトになりすまして、不正にお客様の情報を入手したりすることです。

■FOMAカード動作制限機能

お客様情報（電話番号・電話帳（一部）など）を格納しているFOMAカードをｉモード端末に挿入することによって、サイトからダウンロードしたり、メールにて取得したメロディ・静止画・ｉモーションなどのファイルの動作を制限し、IP（情報サービス提供者）から提供された情報を保護する機能です。この機能によって、別のFOMAカードに差し替えたり、または未挿入の状態でｉモード端末の電源をONにした場合、取得したファイルの再生や表示もできなくなります。→P17

- 動作制限対象となるファイル
  - 画像ファイル（アニメーション、Flashを含む）
  - メロディファイル
  - ｉアプリ（ｉアプリ待受画面を含む）
  - ｉモーションファイル
  - キャラ電
  - 画面メモ内の画像（Flashを含む）
  - メッセージR/F
  - ｉモードメールに添付されているファイル
  - デコメール本文中に挿入されている画像

※カメラ機能によりお客様が撮影した静止画・動画、外部メモリからｉモード端末内に保存したファイルについては、本機能の対象外となります。

※着信音や待受画面設定などをｉモード端末に設定していた場合、本機能により設定がリセットされます。

■ ｉメロディ

サイトから最新の曲やお好みの曲をｉモード端末にダウンロードし、着信音として利用できます。→P48

ｉモーションも着モーションに設定でき、メロディだけではなくお好きな歌手の歌声と動画なども着信音、着信画像として利用できます。→P274

■ メッセージサービス

メッセージサービスを提供するサイトにお申し込みいただくことにより、欲しい情報(メッセージ)が自動的にお客様のｉモード端末に届くサービスです。
メッセージサービスにはメッセージR(リクエスト)とメッセージF(フリー)があります。

メッセージリクエスト(メッセージR)	メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと、欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。
メッセージフリー(メッセージF)	オプション設定で受信設定をすると、パケット通信料が無料で届けられるメッセージです。

・メッセージフリーの設定方法
Menu画面 ▶ オプション設定 ▶ メッセージ[F]設定 ▶「受信する」を選択後、ｉモードパスワード(数字4桁)を入力し、「決定」を選択
・メッセージサービスの受信方法→P111　・問合せ方法→P114

お知らせ

- お客様のｉモード端末の電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、メッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。
- ｉモードセンターでのメッセージR/Fの保管件数、保管期間は次のとおりです。最大保管期間を過ぎたメッセージR/Fは削除されます。最大保管件数を超えた場合は、最も古いメッセージR/Fから順に削除されます。

	最大保管件数	最大保管期間
メッセージR	300件	72時間
メッセージF	300件	72時間

- ｉモードセンターに保管されたメッセージR/Fは、ｉモード問合せ(→P114)により受信できます。

■ ｉモードパスワード

有料サイトのお申し込みやマイメニューの登録・解除、ｉモードメールの設定などを行うときには「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますので、お客様独自の4桁の数字に変更してください。→P35
ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

インターネット接続

インターネットホームページのアドレス(URL)を入力することにより、インターネットに接続し、ｉモード対応のインターネットホームページを表示することができます。
・表示方法→P36

お知らせ

- ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。ｉモード対応のインターネットホームページとは、ｉモード対応のタグなどで作成されたホームページのことです。
- パソコン上での表示とは異なる場合があります。
- URLが512文字を超えるインターネットホームページは、表示できない場合があります。

ｉモードのご使用にあたって

- サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらのサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- ｉモード端末に保存されている内容（メール、メッセージR/F、画面メモ、ｉアプリ、ｉモーション）やブックマークなどの登録内容は、電池パックを外したままの状態でも約1ヶ月は記録されていますが、それ以上経過すると消失する可能性があります。また、ｉモード端末の故障、修理やその他の取り扱いによっても消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ｉモード端末の修理などを行った場合、ｉモード・ｉアプリ・ｉモーションにてダウンロードした情報は、著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。また、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源をＯＮにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画・ｉモーション・メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画・動画・メロディ）、「画面メモ」および「メッセージR/F」などを表示・再生できません。
- FOMAカード動作制限機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定していると、別のFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合に、設定がお買い上げ時の状態に戻ります。データを受信・ダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、設定は元の状態に戻ります。

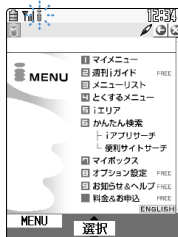
お知らせ

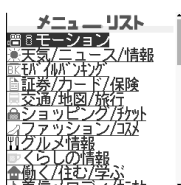
- パソコンをお持ちの場合は、添付のF900iT用のCD-ROM内のFOMA Fシリーズデータリンクソフトを利用することにより、メール、ブックマークなどの内容をパソコンに転送・保管することができます。→P390

サイトに接続する<ｉMenu>

ｉモードに接続して、いろいろなサイトを表示します。

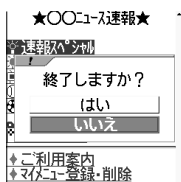
- Flash画像を利用したサイトでは、と[選択]をタップして項目を選択することができます。スタイラスペンで項目を直接タップすることはできません。

待受画面で（iα）（1）を押す

- ｉモード接続中画面で（　）を押すと、接続が中止されます。
- [1]、[2]などの番号付きの項目は、項目に対応する番号のキーを押して選択します（ダイレクトキー機能）。ただし、サイトによっては選択できない場合があります。
- ｉMenuの画面はFlash画像を利用しているため項目を直接タップすることはできませんが、と[選択]をタップして項目を選択することができます。

「[3]メニューリスト」を選択して（　）を押す

- ページ取得中に（　）を押すと、ページの取得が中止されます。

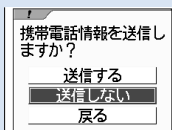
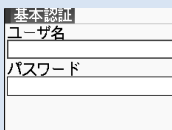
見たい項目を選択して（　）を押す

サイトに接続されます。以降同様にして目的のページを表示します。

サイトを見終わったら（電源）を押す

「はい」を選択して（　）を押す

サイトの表示が終了します。

お知らせ

- サイト表示中から操作する場合はMENUを押し、「Menu」を選択して操作します。
- サイトによっては、利用するために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
- IP（情報サービス提供者）が提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- サイトによっては、項目選択時に次の画面が表示されることがあります。

- サイトからお客様の携帯電話情報が要求されたときに表示されます。「送信する」を選択してを押すと、お客様の携帯電話情報が送信されます。
送信するお客様の携帯電話情報（FOMA端末の製造番号、FOMAカードの製造番号）はインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。

- サイトからユーザ名、パスワードの入力が要求されたときに表示されます。
サイトのユーザ名、パスワードを入力し、を押します。

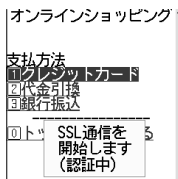
- 画像を含むサイトを表示したとき、画像の代わりに次のマークが表示されることがあります。
  - ：表示・効果設定（→P55）で画像を表示しない設定にしているときや、受信中に圏外になるなどで画像を受信できなかったとき
  - ：画像のデータが不正なときや画像が見つからないとき
  - ：画像のURLの誤りなど画像取得できないとき

SSLページに接続する

通常のサイトの表示と同様の操作で、SSLに対応したサイト(SSLページ)を表示できます。

- SSLページによっては、日付・時刻の設定をしないと接続できない場合があります。→『基本編』P65
- FirstPass対応ページに接続するには、ユーザ証明書をFirstPassセンターからダウンロードし、緑色のFOMAカードに保存する必要があります(→P60)。青色のFOMAカードを差し込んでいる場合は接続できません。

SSLページに接続する

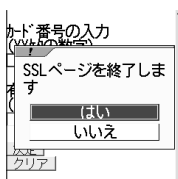
SSLページに接続する場合は次の画面が表示されます。

- SSLページが表示されると画面右上に[SSL]が表示されます。

■ SSLページ表示中に証明書を表示するとき

[MENU][9][2]を押す

- 証明書の内容→P59

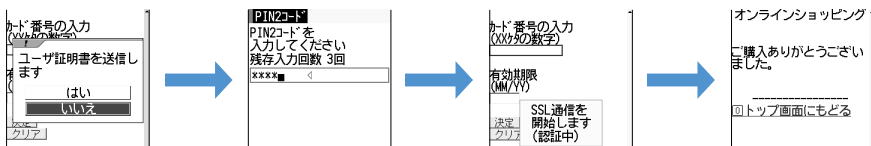
SSLページから通常ページに進む

SSLページから通常ページに進む場合は次の画面が表示されます。

「はい」を選択して[●]を押すと通常ページが表示され、画面右上の[SSL]が消えます。

FirstPass対応ページに接続する

FirstPass対応ページに接続する場合は次の画面が表示されます。

① 「はい」を選択して[●]を押すとユーザ証明書が送信され、PIN2コード画面が表示されます。→『基本編』P192

② PIN2コードを入力するとFirstPass対応ページが表示されます。

お知らせ

- SSL通信→P24
- サイトとの通信の安全性が確認できない場合、接続するかどうかの確認画面が表示されます。接続するときは「はい」、接続を中止するときは「いいえ」を選択して[●]を押します。
- SSL通信を行うには、接続サイトとFOMA端末に同じ認証機関が発行した「証明書」という電子情報が必要です。→P59

サイト表示中の操作

サイト表示中の基本的な操作方法について説明します。

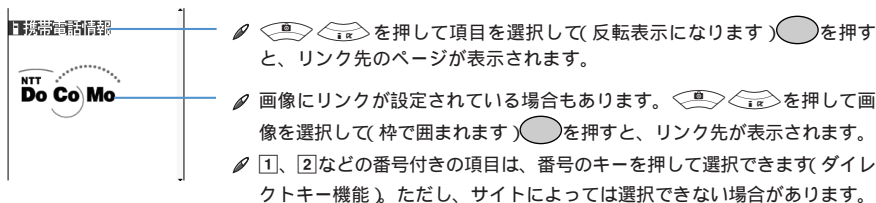
● タッチパネルの操作方法→『基本編』P36

項目を選択する

ｉモード接続中、サイトによっては次のような操作が可能です。

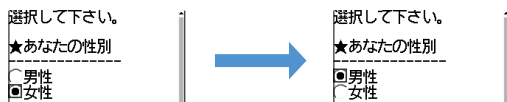
リンク先を表示する

表示中のページから関連するページへ進むための項目をリンク項目といいます。リンク項目は反転表示されます。

- を押して項目を選択して（反転表示になります）を押すと、リンク先のページが表示されます。
- 画像にリンクが設定されている場合もあります。を押して画像を選択して（枠で囲まれます）を押すと、リンク先が表示されます。
- 1、2などの番号付きの項目は、番号のキーを押して選択できます（ダイレクトキー機能）。ただし、サイトによっては選択できない場合があります。

ラジオボタンを選択する

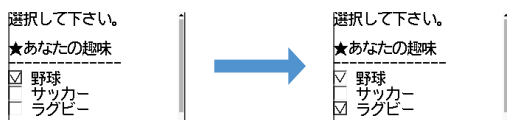
選択肢の中から１つだけ選択する場合のマークです。

○：選択されていない状態　◉：選択されている状態

- を押してラジオボタンを選択してを押します。

チェックボックスを選択する

選択肢の中から複数項目を選択できる場合のマークです。

□：選択されていない状態　☑：選択されている状態

- を押してチェックボックスを選択してを押します。
- 再度☑を選択してを押すと□に戻ります。

プルダウンメニューを選択する

選択肢が隠れた状態で表示されるメニューです。

✎ を押してプルダウンメニューを選択して を押し、 を押してメニュー項目を選択して を押します。

✎ サイトによっては、プルダウンメニュー選択画面で を押して項目を選択して を押す操作を繰り返して複数の項目が選択できます。選択後に を押すと、選択項目がすべて反映された画面に戻ります。

文字を入力する

入力欄を選択して文字を入力します。

✎① を押して入力欄を選択して を押します。

✎② 文字を入力して を押します。

- 入力できる文字モードと文字数は、入力欄により異なります。
- ｉモードパスワードなどを入力した場合、「*」で表示されることがあります。

ボタンを選択する

ページの設定内容を確定してサイトに送信したり、ページの設定内容を取り消したりできます。

✎ を押してボタンを選択して(実線枠で囲まれます) を押します。

ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:
決定
クリア

- ボタンの名称はサイトによって異なります。

Flash機能

Flashとは、絵や音を利用したアニメーション技術です。多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、Flashを利用した画像(Flash画像)をｉモード端末にダウンロードし、待受画面に設定することもできます。

Flash画像について

- 表示・効果設定の画像を「表示しない」に設定した場合は表示されません。→P55
- Flash画像を利用したサイトでは、操作は同じですが、表示が異なる場合があります。
- 保存したFlash画像を表示させると、サイトで表示したときと見えかたが異なる場合があります。
- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。また、正しく動作しないFlash画像は保存できない場合があります。
- 選択項目にFlash画像を利用したサイトでは、⇕と[選択]をタップして項目を選択することができます。スタイラスペンで項目を直接タップすることはできません。ただし、Flash画像やサイトによっては、⇕、[選択]が表示されているときでも、📷、iα、○の操作やタッチパネル操作ができない場合があります。

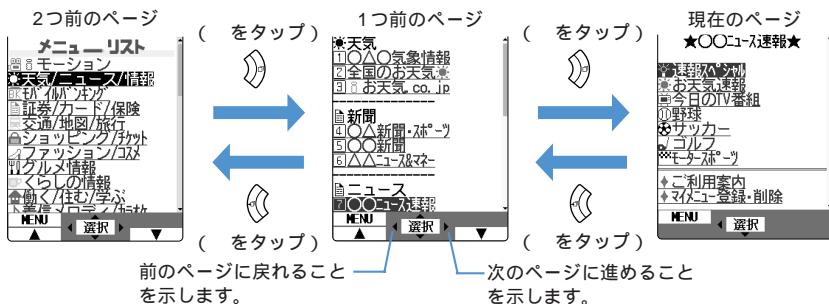
✎ Flash画像を再度、動作させたい場合は、MENU 9 6を押してください。

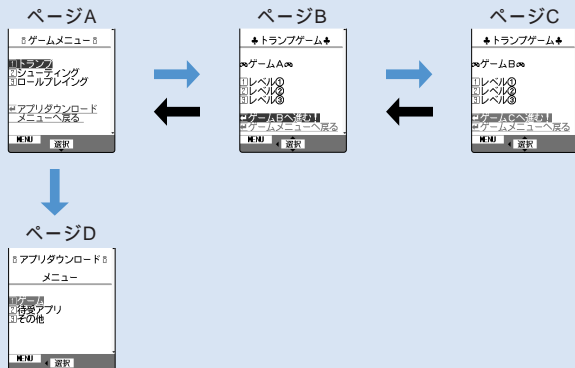
✎ Flash画像によっては効果音が鳴るものがあります。効果音を鳴らさない場合は、MENU 9 3を押し、効果音設定を「OFF」に設定してください(→P55)。また、バイブレータ設定中、Flash画像の効果音が鳴った場合は振動しません。

- 再生中に30秒以上操作しなかった場合は、一時停止します。再開するには、1～0、*、#を押してください。
- 再生中に他の画面に切り替えた場合、再度表示するとFlash画像の先頭から再生されます。

前のページに戻る・進む

FOMA端末は、ページの履歴を最大20件記録しています。これにより前のページに戻ったり、次のページに進めたりできます。

- FirstPassセンター接続中(→P60)は本機能を利用できません。

お知らせ

- ページA→ページB→ページCの順に表示(①、②)したあとでページAに戻り(③、④)、ページDに進む(⑤)と、ページA→ページB→ページCの表示履歴は消去されます。
  ページDからページAには戻れますが、さらにページBへ戻ることはできません。

- 履歴が削除されたページを再度表示する場合や、最新情報を読み込むように設定(作成)されたページを表示する場合は、再度通信が行われ新しいページが表示されます。ただし、表示するページによっては履歴が記録されていても通信を行う場合があります。
- 入力した文字や設定などの情報は記録されません。
- ｉモードを終了すると、記録されたページはすべて消去されます。
- Flash画像が表示されている場合は、表示操作が異なることがあります。

画面をスクロールする

サイトやインターネットホームページ、受信メールやメッセージR/Fの内容などを表示中に画面をスクロールします。

すべての行が表示されていないとき、またはリンク項目が選択できるときは▲や▼が表示されます。

- を押してスクロールします。1秒以上押すと連続スクロールとなります。
- を押すと画面単位でスクロールします。1秒以上押すと画面単位で連続スクロールとなります。
- スクロールバーをドラッグしてスクロールすることもできます。

ページを再度受信する<再読込み>

ページの情報が正常に受信できなかった場合に、再読み込みを行ってページの情報を受信し直します。

1 サイト表示中にMENU 5を押す

ページの情報が受信され、ページが再表示されます。

お知らせ

- 接続が中断されるなどしてサイトが表示できなかった場合、上記操作で再読み込みを行うとページを表示できることがあります。

マイメニューを使う<マイメニュー>

よく利用するサイトをマイメニューに登録することによって、次回からそのサイトに簡単にアクセスすることができます。

- movaサービス（ｉモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスで利用していた「マイメニュー」の内容は引き継がれます。サイトによって、FOMAに「マイメニュー」が引き継がれないサイトもありますので、その場合は再登録が必要です。
- 有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。
- マイメニューに登録できるのはｉモードのサイトだけです。ただし、登録できないサイトもあります。インターネットホームページを登録する場合はブックマークに登録します。
- マイメニュー登録にはｉモードパスワードが必要です。
- マイメニューには最大45件登録できます。

マイメニューに登録する

サイトを表示し、「マイメニュー登録」を選択して◯を押す

ｉモードパスワード入力画面が表示されます。

- 各サイトによりページ構成が異なりますので、該当する番号のキーを押すか、該当する項目を選択して◯を押します。

ｉモードパスワード欄を選択して◯を押し、ｉモードパスワードを入力して◯を押す

入力したパスワードは「*」で表示されます。

- ｉモードパスワードは初期設定では「0000」に設定されています。

「決定」を選択して◯を押す

サイトがマイメニューに登録されます。

マイメニューからサイトを表示する

ｉMenuで「1マイメニュー」を選択して◯を押す

マイメニュー一覧が表示されます。

- ｉMenu表示方法→P27

表示したいサイトを選択して◯を押す

サイトが表示されます。

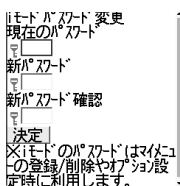
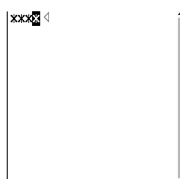
サイト（番組）接続

マイメニュー

ｉモード用のパスワードを変更する＜ｉモードパスワード変更＞

マイメニュー登録／削除、メッセージサービスやｉモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定を行うときはｉモードパスワードが必要です。ｉモードパスワードはｉモードご契約時には「0000」に設定されていますので、お客様独自のｉモードパスワードに変更してください。
なお、ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

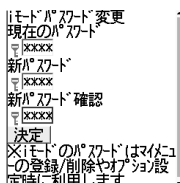
● ｉモードパスワードをお忘れの場合は、当社窓口において運転免許証などの公的証明書によりご契約者本人であることを確認させていただいた上で、ｉモードパスワードを「0000」にリセットさせていただくことになります。

ｉMenuで「8オプション設定」を選択して◯を押し、「2ｉモードパスワード変更」を選択して◯を押す

現在のパスワード欄を選択して◯を押し、ｉモードパスワードを入力して◯を押す

入力したパスワードは「*」で表示されます。

- ｉモードパスワードは初期設定では「0000」に設定されています。

新パスワード欄を選択して◯を押し、新しいｉモードパスワードを入力して◯を押す

入力したパスワードは「*」で表示されます。

新パスワード確認欄を選択して◯を押し、操作3で入力したｉモードパスワードをもう一度入力して◯を押す

入力したパスワードは「*」で表示されます。

5 「決定」を選択して◯を押す

ｉモードパスワードが変更されます。

✎入力した内容に誤りや抜けがあったときは、エラー画面が表示されます。「再入力」を選択してｉモードパスワードの設定画面に戻り、操作2から操作し直します。

インターネットホームページに接続する<インターネット接続>

インターネットに接続して、ｉモード対応のホームページにアクセスします。接続先はインターネットホームページのアドレス(URL)で指定します。

● ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。

待受画面で ｉα 3 1 を押す

URL入力画面が表示されます。

- 2回目からは前回接続操作をしたURLが表示されます。

接続したいインターネットホームページのURLを入力して ● を押し、 📖 を押す

インターネットホームページに接続されます。

- 半角で最大256文字入力できます。
- URLによく使う「/」「.」「-」などの記号は、英字入力モード時に 1 を押して入力します。また、「http://www.」「.co.jp」「.ne.jp」「.com」「.html」などは、英字入力モード時に ＊ を押して入力できます。

お知らせ

- サイト表示中から操作する場合は MENU を押し、「Internet」→「URL入力」を選択して操作します。
- インターネットホームページ表示中の操作方法は、ｉモードのサイトの場合と同じです。
- 受信データが1ページの最大サイズを超えたときはメッセージが表示され、 ● を押すと受信できた分のデータが表示されます。
- 文字入力のしかた→『基本編』P309

URL履歴を使って表示する<URL履歴>

FOMA端末は、接続操作をしたインターネットホームページのURLを新しい順に最大20件記録しています。この履歴からインターネットホームページに接続できます。

待受画面で ｉα 3 2 を押す

- URLが途中までしか表示されていないときは、 MENU 2 を押します。

■ URL履歴を削除するとき

①**削除するURLを選択して MENU 4 1 を押す**

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- URLをすべて削除するときは MENU 4 2 を押し、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。

②**「はい」を選択して ● を押す**

表示したいインターネットホームページのURLを選択して ● を押す

インターネットホームページに接続されます。

お知らせ

- URL履歴が20件を超えた場合は、古いものから上書きされます。
- サイト表示中から操作する場合は MENU を押し、「Internet」→「URL履歴」を選択して操作します。
- URLをブックマークに登録する→P38
- URLをコピーする→P51
- URLを電話帳に登録する→P53

文字を正しく表示する＜文字コード＞

サイトやインターネットホームページの文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示できる場合があります。

サイトやインターネットホームページ表示中に MENU 9 5 1 を押す

文字コードが、自動選択→SJIS→EUC→JIS→UTF8の順に切り替わります。

- MENU 9 5 1 を押すたびに画面の文字表示が切り替わります。操作を5回繰り返すと元の表示に戻ります。
- サイトやインターネットホームページを表示した時点では「自動選択」に設定されています。

お知らせ

- この操作を繰り返しても、文字を正しく表示できない場合があります。
- 文字コードとは、文字をコンピュータで利用可能にするために作られた取り決めや仕組みの総称のことです。FOMAでサイトやインターネットホームページを表示する際に、文字コードが一致していないと文字が正しく表示されません。
- 文字が正しく表示されているときに文字コードを変更すると、正しく表示されなくなる場合があります。

ホームページやサイトを登録してすばやく表示する<ブックマーク>

特定の地域の天気予報や特定銘柄の株価情報など、同じサイトの同じページを頻繁に見るときは、ブックマークに登録すると便利です。
登録したブックマークを選択するだけで、サイトやインターネットホームページをすばやく表示することができます。

- URLが半角256文字を超えるサイトやインターネットホームページは登録できません。
- サイトによってはブックマークに登録できないものがあります。

ブックマークに登録する

ブックマークを20個のフォルダに分類できます。

ブックマークに登録したいサイトを表示してMENU 2 1を押す

登録先フォルダ選択画面が表示されます。

登録先フォルダを選択して●を押す

ブックマークが登録されます。

■ ブックマークが最大保存件数を超えるとき

登録済みのブックマークを書き替えるかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は書き替えるブックマークを選択します。

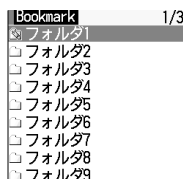
- ブックマークの最大保存件数→P16

お知らせ

- タイトルは設定・変更できます。→P41
- 画面メモ一覧、画面メモ表示画面、URL履歴一覧から操作する場合はMENUを押し、「Bookmark登録」を選択して操作します。

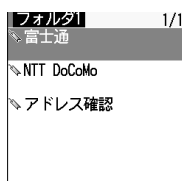
ブックマークからサイトやホームページを表示する

登録したブックマークからサイトやインターネットホームページを表示します。

待受画面でiα 2を押す

- マークの意味は次のとおりです。
  □：ブックマークなし　　▨：ブックマークあり

サイト（番組）接続　ブックマーク

フォルダを選択して●を押す

フォルダ1 1/1
富士通
NTT DoCoMo
アドレス確認

- マークの意味は次のとおりです。
  ：ツータッチ登録なし　　：ツータッチ登録あり
  0～9：ツータッチ登録されているキーの番号
  ・ツータッチ登録→P42

■ URLを確認するとき

URLを確認するブックマークを選択して MENU 4 を押す

表示したいブックマークを選択して●を押す

サイトやインターネットホームページに接続されます。

お知らせ

- サイト表示中から操作する場合は MENU を押し、「Bookmark」→「表示」を選択して操作します。
- ブックマークのURLをコピーする→P51
- ブックマークのURLを電話帳に登録する→P53

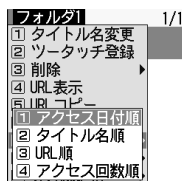
ブックマークの並び順を替える<ソート>

お買い上げ時	アクセス日付順

ブックマーク一覧の並び順を一時的に並べ替えます。並べ替えはすべてのフォルダが対象となります。

待受画面で i 2 を押す

フォルダ一覧が表示されます。

フォルダを選択して●を押し、MENU 7 を押す

並び順を選択して●を押す

ブックマークが一時的に並び替わります。

お知らせ

- ブックマークの表示を終了すると、並び順は「アクセス日付順」に戻ります。
- タイトル名順の場合、全角／半角の文字や英字、タイトルが無くURL表示になっているものが混在していると、五十音順と一致しない場合があります。

ブックマークのフォルダ名を変更する

保存されているブックマークのフォルダ名を変更します。

待受画面で［iα］［2］を押す

フォルダ一覧が表示されます。

フォルダ名を変更するフォルダを選択して［MENU］［3］を押す

- 全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。

フォルダ名を入力して［●］を押し、［📖］を押す

フォルダ名が変更されます。

お知らせ

- 文字入力のしかた→『基本編』P309

ブックマークを他のフォルダに移動する

保存されているブックマークを別のフォルダに移動します。

待受画面で［iα］［2］を押し、フォルダを選択して［●］を押す

ブックマーク一覧が表示されます。

移動するブックマークを選択して［MENU］［6］を押す

移動先フォルダ選択 1/3
フォルダ1
フォルダ2
フォルダ3
フォルダ4
フォルダ5
フォルダ6
フォルダ7
フォルダ8
フォルダ9

移動先フォルダを選択して［●］を押す

ブックマークが移動します。

ブックマークのタイトルを変更する

登録されているブックマークのタイトルを変更します。

待受画面で[i]2を押し、フォルダを選択して●を押す

ブックマーク一覧が表示されます。

タイトル名を変更するブックマークを選択してMENU 1を押す

- 全角で最大12文字、半角で最大24文字入力できます。
- 何も入力しないで登録すると、ブックマーク一覧でURLの先頭が42文字分表示されます。

タイトル名を入力して●を押し、[保存]を押す

タイトルが変更されます。

お知らせ

- タイトルに設定されているURLなどが入力できる文字数を超えた場合、超えた分は削除されます。
- 文字入力のしかた→『基本編』P309

ブックマークを削除する

1件ずつ削除したり、フォルダ内のブックマークをまとめて削除したり、すべてのブックマークをまとめて削除したりします。

- ブックマークのフォルダは削除できません。

待受画面で[i]2を押し、フォルダを選択して●を押す

ブックマーク一覧が表示されます。

- ブックマークを全件削除するときはフォルダ一覧でMENU 2を押し、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行い、操作3に進みます。
- フォルダ内のブックマークを全件削除するときはフォルダを選択してMENU 1を押し、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行い、操作3に進みます。

削除するブックマークを選択してMENU 3 1を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「はい」を選択して●を押す**

ブックマークが削除されます。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  ブックマーク一覧からフォルダ内のブックマークを全件削除する場合はMENUを押し、「削除」→「フォルダ内全件削除」を選択して操作します。
- ツータッチ登録されているブックマークを削除すると、ツータッチ登録も解除されます。

少ないキー操作でサイトに接続する<ツータッチ登録>

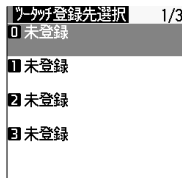
ブックマークをツータッチ登録すると、待受画面から手早くサイトやインターネットホームページを表示できます。

ツータッチ登録をする

待受画面で[iα][2]を押し、フォルダを選択して[●]を押す

ブックマーク一覧が表示されます。

登録するブックマークを選択して[MENU][2]を押す

ツータッチ登録先選択 1/3
0 未登録
1 未登録
2 未登録
3 未登録

- 登録先選択画面の番号（0〜9）が、サイト表示に使用するキー（[0]〜[9]）に対応しています。登録したいキーの番号を選択します。
- 登録先選択画面は3ページあります。[◁][▷]を押して切り替えます。

■ ツータッチ登録を解除するとき

ブックマーク一覧で解除するブックマークを選択して[MENU][2]を押す

登録先を選択して[●]を押す

ブックマークがツータッチ登録されます。

- ブックマーク一覧で、登録されたブックマークのマークがから に変わり、対応するキーの番号（0〜9）が表示されます。

お知らせ

- 待受画面で[iα][7][1]を押すと、ツータッチ登録されているブックマーク一覧が表示されます。ブックマークを選択して[MENU][1]を押し、「はい」を選択して[●]を押すと、ツータッチ登録を解除できます。

ツータッチでサイトを表示する<ツータッチサイト表示>

- PIMロック中は本機能を利用できません。

1 **待受画面でツータッチ登録した番号のダイヤルキー（[0]〜[9]）を押し、[iα]を押す**

サイトやインターネットホームページに接続されます。

■ ツータッチサイト一覧からサイトを表示するとき

①待受画面で[iα][7][1]を押す

ツータッチサイト一覧が表示されます。

②ブックマークを選択して[●]を押す

サイト（番組）接続　ブックマーク

サイトの内容を保存する<画面メモ>

お好きなサイトの画面を画面メモとして保存します。

画面メモを保存する

- 保存できる画面メモのファイルサイズは、画面内の画像などを含め最大100Kバイトです。

画面メモに保存したいサイトを表示して MENU 4 を押す

表示中のサイトが画面メモに保存されます。

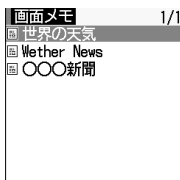
■ **画面メモの保存領域の空きが足りないとき・最大保存件数を超えるとき**

不要なデータを選択する旨の確認画面が表示されます。保存する場合は上書きする画面メモを選択します。

- 保護されている画面メモは上書きされません。
- 画面メモの最大保存件数→P16

画面メモを表示する

保存した画面メモを表示します。

1 待受画面で iα 4 を押す

- マークの意味は次のとおりです。

・画面メモを保護する→P44

表示する画面メモを選択して ● を押す

画面メモの内容が表示されます。

- 画面メモ表示中の操作方法は、一部を除きサイト表示中と同じです。

お知らせ

- 画面メモ表示中にFlash画像を再度動作させたいときは、MENU 5 2 を押します。
- 画面メモのURLをコピーする→P51
- 画面メモのURLをブックマークに登録する→P38
- 画面メモに表示されている電話番号やアドレスを電話帳に登録する→P52
- 画面メモのURLを電話帳に登録する→P53

画面メモのタイトルを変更する

保存されている画面メモのタイトルを変更します。

待受画面で[iα][4]を押す

画面メモ一覧が表示されます。

タイトルを変更する画面メモを選択して[MENU][6]を押す

タイトル名変更
タイトル名を
入力してください
世界の天気

- 全角で最大12文字、半角で最大24文字入力できます。
- 何も入力しないで登録すると「無題」と表示されます。

タイトル名を変更して[●]を押し、[📖]を押す

タイトルが変更されます。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  画面メモ表示中から操作する場合は[MENU]を押し、「タイトル変更」を選択して操作します。
- 文字入力のしかた→『基本編』P309

画面メモを保護する

保存領域の空きがなくなっても上書きされないように、画面メモを最大50件保護できます。

待受画面で[iα][4]を押す

画面メモ一覧が表示されます。

保護する画面メモを選択して[MENU][1]を押す

画面メモが保護されます。

- 画面メモ一覧で、保護された画面メモのマークが▤から▤に変わります。
- 保護を解除するときは保護されている画面メモを選択し、[MENU][1]を押します。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  画面メモ表示中から保護する場合は[MENU]を押し、「保護」を選択して操作します。
  保護解除する場合は[MENU]を押し、「保護解除」を選択して操作します。

画面メモを削除する

１件ずつ削除したり、すべての画面メモをまとめて削除したりします。

- 保護されている画面メモは削除できません。全件削除しても保護されている画面メモは残ります。保護を解除してから削除してください。

待受画面で[iα][4]を押す

画面メモ一覧が表示されます。

削除する画面メモを選択して[MENU][2][1]を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

画面メモを全件削除するときは[MENU][2][2]を押し、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。

「はい」を選択して[●]を押す

画面メモが削除されます。

お知らせ

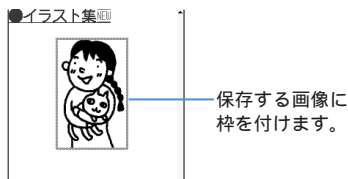
サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
画面メモ表示中から操作する場合は[MENU]を押し、「削除」を選択して操作します。

サイトから画像を取り込む＜画像保存＞

サイトから、お気に入りの画像やフレームなどをFOMA端末に保存します。保存した画像は「イメージ」で表示したり、待受画面などに設定したりできます。

● 保存できる画像のファイルサイズは最大100Kバイトです。

● GIF形式、JPEG形式、Flash形式の画像を保存できます。

1 保存したい画像のあるサイトを表示して MENU 6 を押す

2 保存する画像を選択して◯を押す

- 各設定項目→P252

3 設定する項目を選択して◯を押し、設定する

- サイトから取得した画像ファイルは、ファイル制限を変更できません。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像（ファイル制限欄に「あり」と表示）は管理用タイトルを除いた各項目の内容を変更できません。

■ 管理用タイトル、ファイル名、コメントを設定するとき

設定する項目を選択して◯を押し、ファイル名またはコメントを入力して◯を押す

- 管理用タイトルは全角・半角を問わず最大36文字入力できます。
- ファイル名は半角英数字、「.」、「-」、「_」で最大36文字入力できます。ただし、「.」はファイル名の先頭に使用できません。また、スペース（空白）は使用できません。
- コメントは全角・半角を問わず最大100文字入力できます。

■ フレーム候補、スタンプ候補を設定するとき

設定する項目を選択して◯を押し、1～2を押す

⌨を押す

画像が「イメージ」の「▯モード」フォルダに保存されます。→P245

- フレームまたはスタンプ画像の場合は「アイテム」フォルダに保存されます。

✎ MENUを押すと、待受画面などに設定できます。→P247

■ 画像の保存領域の空きが足りないとき・最大保存件数を超えるとき

FOMA端末に保存されている画像を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画像を保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き領域に達するまでFOMA端末内の画像を削除します。

✎ 削除する前に画像一覧で⌨を押して画像を表示したり、MENUを押して画像の詳細情報を表示したりできます。→P245、P251

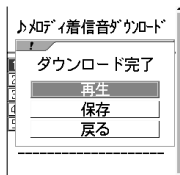
- 画像の最大保存件数→P16

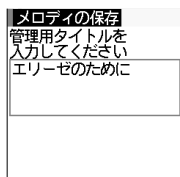
お知らせ

- 画像ファイルによっては設定できない項目があります。
- 画像入りのサイトを表示する際、画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
- 画像によっては正しく表示できない場合があります。
- 横縦（または縦横）のサイズが、GIF形式は640×480（ドット）、JPEG形式は960×1280（ドット）を超える画像は保存できません。
- 横352×縦288（ドット）を超える画像はフレーム候補にできません。また、横210×縦210（ドット）を超える画像はスタンプ候補にできません。
- 文字入力のしかた→『基本編』P309

サイトからメロディを取り込む＜ｉメロディ＞

サイトからお気に入りのメロディを取り込み、FOMA端末に保存します（ｉメロディ対応）。保存したメロディは「メロディ」（→P288）で再生したり、着信音に設定したりできます。

取り込みたいメロディのあるサイトを表示し、取り込むメロディを選択して◯を押す

- ダウンロード中に（iモード）を押すとダウンロードを中止できます。

「保存」を選択して◯を押す

- 管理用タイトルを設定するときはタイトルを入力し、◯を押します。全角で最大25文字、半角で最大50文字入力できます。
- メロディを再生して確認するには、「再生」を選択して◯を押します。メロディ再生画面が表示され、メロディが再生されます。→P288
- メロディの保存を中止するには、（クリア）を押した後、「戻る」を選択して◯を押します。

（iモード）を押す

メロディが「メロディ」の「iモード」フォルダに保存されます。→P288

■ メロディの保存領域の空きが足りないとき・最大保存件数を超えるとき

FOMA端末に保存されているメロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。メロディを保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き領域に達するまでFOMA端末内のメロディを削除します。

- 削除する前にメロディ一覧で（iモード）を押してメロディを再生したり、（MENU）を押してメロディの詳細情報を表示したりできます。→P288、P292
- メロディの最大保存件数→P16

お知らせ

- メロディによっては正しく再生できない場合があります。
- マナーモード中にメロディを再生すると、再生を行うかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メロディの音量（→P297）に設定されている音量で再生されます。
- 文字入力のしかた→『基本編』P309

便利な機能

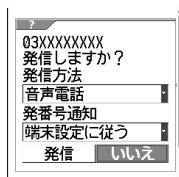
表示中の画面の電話番号やe-mailアドレス、URLから、直接電話をかけたり、メールを作成したり、サイトに接続したりすることができます。また、電話帳に登録することもできます。

電話をかける＜Phone To(AV Phone To)＞

表示中の画面(サイト、画面メモ、メッセージR/Fなど)の電話番号から、直接電話(テレビ電話を含む)をかけます。

〈例〉サイト中の電話番号に電話をかけるとき

1 サイトを表示し、電話番号を選択して◯を押す

- 反転表示される電話番号のみ選択できます。

項　目	説　明
発信方法	音声電話とテレビ電話（64Kまたは32K）のどちらで電話をかけるかを選択します。
発番号通知	発信者番号を通知するかしないかを選択します。「端末設定に従う」に設定すると、発信者番号通知の設定に従って電話をかけます。→『基本編』P295

2 発信方法欄を選択して◯を押し、1～3を押す

3 発番号通知欄を選択して◯を押し、1～3を押す

4 「発信」を選択して◯を押す

選択した電話番号に電話がかかります。

お知らせ

- サイトによってはPhone To(AV Phone To)機能を利用できない場合があります。

メールを送信する＜Mail To＞

表示中の画面(サイト、画面メモ、メッセージR/Fなど)のメールアドレスから、直接ｉモードメールを作成します。

- ショートメッセージ(SMS)は作成できません。

〈例〉サイト中のメールアドレスにｉモードメールを送信するとき

1 サイトを表示し、メールアドレスを選択して◯を押す

選択したメールアドレスがあらかじめ宛先に設定されているメール作成画面が表示されます。

- 反転表示されるメールアドレスのみ選択できます。

2 ｉモードメールを作成して送信する

選択したメールアドレスにｉモードメールが送信されます。

- ｉモードメールの作成・送信方法→P127

お知らせ

- 複数のメールアドレスが列記されている場合、Mail To機能を利用できないことがあります。
- サイトによってはMail To機能を利用できない場合があります。

インターネットに接続する<Web To>

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/Fなど）のURLから、直接サイトやインターネットホームページに接続します。

〈例〉画面メモ中のURLに接続するとき

1 画面メモを表示し、URLを選択して◯を押す

選択したURLサイトに接続します。

- 操作方法→P43
- 反転表示されるURLのみ選択できます。

お知らせ

- サイトによってはWeb To機能を利用できない場合があります。

URLを表示する

表示中のサイトや画面メモのURLを表示します。

〈例〉サイトのURLを表示するとき

1 サイトを表示して(MENU)(9)(1)を押す

URL表示
http://www.ΔΔΔ.ne.jp/Δ
ΔΔΔΔ.□□□.Δ□Δ□.html/□□□
html/

お知らせ

サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
URL履歴一覧、ブックマーク一覧、ツータッチサイト一覧、画面メモ一覧から操作する場合は(MENU)を押し、「URL表示」を選択して操作します。

URLをコピーする

表示中のサイトや画面メモのURLをコピーします。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けることができます。

- コピーした文字は電源を切るまでFOMA端末に保持され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。
- 記録できるのは1件だけです。新たにコピーを行うと、直前にコピーしている文字に上書きされます。

〈例〉サイトのURLをコピーするとき

1 サイトのURLを表示してMENU 1を押す

- 操作方法→P50

2 コピーする範囲の開始位置を選択して●を押し、終了位置を選択して●を押す

- 開始位置を指定する前にMENUを押すと全文が選択されます。
- 開始位置を指定し直すときはクリアを押します。
- 開始位置指定後にMENU、□を押すとカーソルが文頭、文末に移動します。

3 貼り付け先の文字入力画面を表示し、文字を貼り付ける

- 操作方法→『基本編』P324

お知らせ

- URLは半角で最大256文字コピーできます。
- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  URL履歴一覧、ブックマーク一覧、ツータッチサイト一覧、画面メモ一覧から操作する場合はMENUを押し、「URLコピー」を選択して操作します。これらの画面から操作する場合はURL全体がコピーされます。

電話番号やアドレスを電話帳に登録する

表示中の画面(サイト、画面メモ、メッセージR/F)の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。
新規に登録することも、登録済みの電話帳データに追加することもできます。

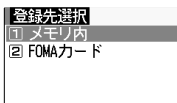
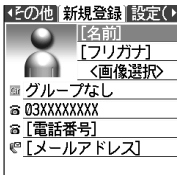
- サイトによっては登録できない場合があります。
- サイトによっては、画面に表示されている項目以外の情報も登録できる場合があります。
- 電話番号に0～9、「#」、「＊」、「＋」以外がある場合は、それらを削除して登録してください。
- プライバシーモード起動中(電話帳を「認証後に表示」に設定した場合)に電話帳を利用する場合は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。→『基本編』P208

新規登録する

〈例〉サイトの電話番号やメールアドレスを新規登録するとき

1 電話番号やメールアドレスがあるサイトを表示する

- 反転表示される電話番号、メールアドレスのみ登録できます。

2 登録する電話番号やメールアドレスを選択して MENU 8 1 を押す

3 1～2を押す

〈メモリ内画面の場合〉

- 選択した電話番号やメールアドレスがあらかじめ登録されています。

4 名前などを設定して登録する

- 電話帳の登録方法→『基本編』P113(ステップ2)、P123(ステップ2)

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
画面メモ表示画面から操作する場合はMENUを押し、「電話帳」→「新規登録」を選択します。また、メッセージR/F詳細表示画面から操作する場合はMENUを押し、「登録」→「電話帳新規」を選択します。

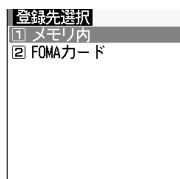
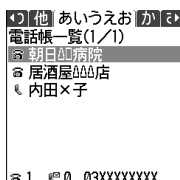
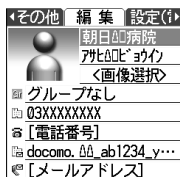
登録済みの電話帳データに追加する

- 以前に登録した内容が変更されてしまう場合があるので、電話帳編集画面で登録内容を確認してください。

〈例〉サイトの電話番号やメールアドレスを追加登録するとき

1 電話番号やメールアドレスがあるサイトを表示する

- 反転表示される電話番号、メールアドレスのみ登録できます。

2 登録する電話番号やメールアドレスを選択して[MENU][8][2]を押す

3 [1]～[2]を押す

4 更新する電話帳を選択して[○]を押す

- 選択した電話番号やメールアドレスが登録されています。

5 内容を確認し、登録する

- 電話帳の登録方法→『基本編』P113（ステップ2）、P123（ステップ2）

お知らせ

- 電話帳に電話番号を半角で最大26文字、メールアドレスを半角で最大50文字登録できます。
- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  画面メモ表示画面から操作する場合は[MENU]を押し、「電話帳」→「更新登録」を選択します。また、メッセージR/F詳細表示画面から操作する場合は[MENU]を押し、「登録」→「電話帳更新」を選択します。

URLを電話帳に登録する

ブックマーク一覧や画面メモ一覧からURLを電話帳に登録します。
新規に登録することも、登録済みの電話帳データに追加することもできます。

- プライバシーモード起動中（電話帳を「認証後に表示」に設定した場合）に電話帳を利用する場合は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。→『基本編』P208

新規登録する

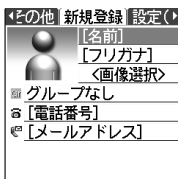
〈例〉ブックマーク一覧から新規登録するとき

1 待受画面で[iα][2]を押し、フォルダを選択して[○]を押す

ブックマーク一覧が表示されます。

サイト（番組）接続

便利な機能

2 登録するブックマークを選択してMENU 8 1を押す

選択したブックマークのURLが登録されています。

- ◁▷を押して「詳細（その他）画面」を表示するとURLが確認できます。

3 名前などを設定して登録する

選択したブックマークのURLが登録されます。

- 電話帳の登録方法→『基本編』P120（ステップ6）

お知らせ

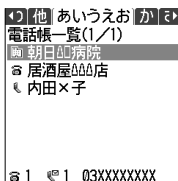
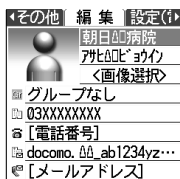
サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
画面メモ一覧から操作する場合は、MENUを押し、「電話帳」→「新規登録」を選択します。

登録済みの電話帳データに追加する

〈例〉ブックマーク一覧から追加登録するとき

1 待受画面でi 2を押し、フォルダを選択して●を押す

ブックマーク一覧が表示されます。

2 登録するブックマークを選択してMENU 8 2を押す

3 登録先の電話帳データを選択して●を押す

選択したブックマークのURLが登録されています。

- ◁▷を押して「詳細（その他）画面」を表示するとURLが確認できます。

4 内容を確認して登録する

- 電話帳の登録方法→『基本編』P120（ステップ6）

お知らせ

- 電話帳にURLを半角で最大100文字登録できます。

サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
画面メモ一覧から操作する場合は、MENUを押し、「電話帳」→「更新登録」を選択します。

- サイト画面からURLを表示（→P50）した場合は、そのURLを登録することはできません。

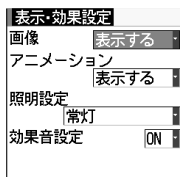
詳細機能を設定する

サイトやメッセージR/Fなどの詳細機能を設定します。

画像表示、照明、効果音を設定する<表示・効果設定>

お買い上げ時	画像：表示する　アニメーション：表示する　照明設定：常灯　効果音設定：ON

サイトや画面メモ、メッセージR/Fなどの内容を表示したときの画像や照明、効果音（Flash再生時）を設定します。

1 待受画面で[iα][8][1]を押す

項　目	説　明
画像	画像を表示するかしないかを設定します。 ・「表示しない」に設定すると、「アニメーション」は設定できません。
アニメーション	アニメーションを表示するかしないかを設定します。
照明設定	ディスプレイおよびキーの照明方法を設定します。 ・「端末設定に従う」に設定すると、設定メニューの照明設定（→『基本編』P187）に従います。 ・「常灯」に設定すると、サイトなどの表示中はディスプレイおよびキーの照明が常時点灯します。
効果音設定	Flash再生音を再生するかしないかを設定します。

2 設定する項目を選択して[●]を押し、設定する

3 [□]を押す

設定内容が登録されます。

お知らせ

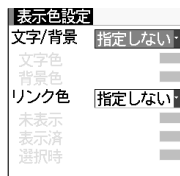
- サイト表示中から操作する場合は[MENU]を押し、「表示」→「表示・効果設定」を選択して操作します。
- 画像を「表示する」に設定しても、画像が正しく表示されない場合があります。
- 画像を「表示しない」に設定すると画像の表示を行わず、Flash画像も表示されません。また、画像の位置に[■]が表示されます。
- アニメーションを「表示しない」に設定したときは、アニメーションの最初の画像が表示されます。また、「表示しない」に設定してもFlash画像は再生されます。
- メッセージR/Fの場合、本文に組み込まれている画像の表示／非表示が設定できます。この設定は、添付ファイルとして添付されている画像の表示／非表示には影響しません。また、効果音設定のON／OFFもメッセージR/Fには影響しません。

サイト表示中の画面の色を設定する<表示色設定>

お買い上げ時	文字／背景：指定しない　リンク色：指定しない

サイトや画面メモの内容を表示するときの表示色を設定します。

- それぞれ16色から選択できます。

1 待受画面で[iα]8 2を押す

項　目		説　明	標準の設定
文字／背景		文字／背景色を指定するかどうかを設定します。 ●「指定しない」に設定すると、「文字色」「背景色」は設定できません。	ー
	文字色	文字の色を指定します。	黒
	背景色	背景の色を指定します。	白
リンク色		リンク色を指定するかどうかを設定します。 ●「指定しない」に設定すると、未表示、表示済、選択時のリンク色は設定できません。	ー
	未表示	リンク項目の文字色を指定します。	青
	表示済	一度表示したリンク項目の文字色を指定します。	赤
	選択時	リンク項目を選択したときの文字色を指定します。 ●リンク項目選択時の背景色は、「リンク色（未表示）」「リンク色（表示済）」に指定した色となります。	背景色と同色

2 文字／背景欄を選択して●を押し、1～2を押す

- 文字色／背景色を指定しないときは2を押し、操作5に進みます。

3 文字色欄を選択して●を押し、色を選択して●を押す

- 表示例が選択されている色で表示されます。

4 背景色欄を選択して●を押し、色を選択して●を押す

5 操作2～4と同様にしてリンク色を設定する

6 [メニュー]を押す

設定内容が登録されます。

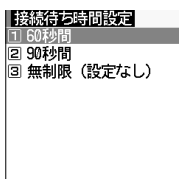
お知らせ

- リンク色（表示済）はリンク先の画面が履歴に記録されている間だけ有効です。
- サイトや画面メモのタグで、1ヶ所でも色が指定されているときは、それ以外の部分もその色が優先され、本設定で指定された色にはなりません。
- 色を設定したとき、サイトによっては文字が見えにくくなったり、見えなくなったりする場合があります。その場合は色の設定を変更してください。

接続待ち時間を設定する<接続待ち時間設定>

お買い上げ時	60秒間

ｉモードセンターに接続するまでの最大待ち時間を設定します。接続が正常に行われないときなどに、設定した時間で自動的に接続を中断するので、キー操作で中断する必要はありません。

1 待受画面で iα 7 2 を押す

2 1～3を押す

接続待ち時間が設定されます。

- 接続待ち時間を設定せずに、接続するまで待つときは3を押します。

お知らせ

- 「無制限（設定なし）」に設定していても、電波状況などによりｉモードセンターとの接続が中断されることがあります。

ｉモードから接続先を変更する<ISP接続通信>

※ドコモのｉモードサービスをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。

ＩＳＰ接続通信とは

ドコモのｉモード対応携帯電話機の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ＩＳＰ）への接続が可能になります。プロバイダに接続した際にパケット通信料がかかります。
※ドコモへの新たなお申し込みは不要です。

プロバイダ契約について

- ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申し込み方法については各プロバイダにお問い合わせください。
- プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合がありますが、ドコモよりご請求することはありません。
- お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様の電話番号が実際に閲覧されるサイトを提供するプロバイダに通知される場合があります。発信者番号の通知／非通知→Ｐ３６１
- 登録できる接続先は最大１０件です。
- 接続先通信中は設定／変更できません。

1 待受画面で［iα］［7］［3］を押す

■ iモードを利用する設定に戻すとき

「iモード」を選択して［●］を押す

□が☑に変わります。操作6に進みます。

■ 以前に設定した接続先に変更するとき

接続先を選択して［●］を押す

□が☑に変わります。操作6に進みます。

2 編集するユーザ設定を選択して［MENU］を押す

接続先設定
接続先名
接続先
HOST名

3 接続先名欄を選択し、接続先名を入力して［●］を押す

- 接続先名は全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。

4 操作3と同様にして接続先、HOST名を入力して［●］を押す

- 接続先は半角英数字で最大99文字入力できます。
- HOST名は半角英数字で最大30文字入力できます。
- 文字入力後に［MENU］を押すと、全項目に入力した内容を削除することができます。

5 ［📖］を押し、編集した接続先を選択して［●］を押す

選択した接続先の□が☑に変わります。

6 ［📖］を押す

接続先が設定されます。

お知らせ

- 文字入力のしかた→『基本編』P309

証明書を操作する

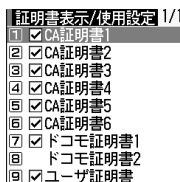
SSL通信時に必要な証明書の操作を行います。

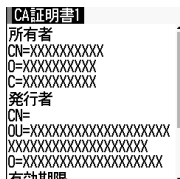
証明書を表示して有効／無効を設定する＜証明書表示／使用設定＞

SSL通信用の証明書を表示して確認したり、有効／無効を設定したりできます。

証明書を表示する

- ユーザ証明書をダウンロードしていない場合は、「ユーザ証明書」は表示されません。
- 青色のFOMAカードを差し込んでいる場合は、「ドコモ証明書」「ユーザ証明書」は表示されません。

1 待受画面で iα 7 4 を押す

証明書一覧が表示されます。

2 表示する証明書を選択して ● を押す

証明書が表示されます。

- 証明書画面で◁▷を押すと前後の証明書を表示できます。

お知らせ

- CA（Certification Authority）証明書 … 認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時の端末内に保存されています。
- ドコモ証明書 … FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、あらかじめ緑色のFOMAカード内に保存されています。
- ユーザ証明書 … FirstPass対応サイトへ接続するために必要な証明書で、ダウンロードすると緑色のFOMAカード内に保存されます。FirstPassセンターで発行要求を行います。→P60
- 証明書の表示内容
  証明書の所有者
  CN= …（Common Name）サーバの名前、管理者名、または識別番号
  O= …（Organization）会社名など
  C= …（Country）国名
  証明書の発行者
  CN= …（Common Name）サーバの名前、管理者名、または識別番号
  OU= …（Organization Unit）会社の部署など
  O= …（Organization）会社名など
  有効期限
  シリアル番号
- 証明書の所有者、発行者、有効期限について記述がない場合、記述がない項目は項目名のみ表示されます。

証明書の有効／無効を設定する

待受画面で［iα］［7］［4］を押す

証明書一覧が表示されます。

2 設定する証明書を選択して［MENU］を押す

- 設定状態は次のとおりです。
  ☑：有効　□：無効

3 ［📖✉］を押す

証明書の有効／無効が設定されます。

お知らせ

- 接続先のサイトがユーザ証明書を要求した場合は、「ユーザ証明書を送信します」というメッセージが表示されます。

ユーザ証明書を操作する＜ユーザ証明書操作＞

FirstPassセンターからユーザ証明書の発行要求や、ダウンロードができます。

- 青色のFOMAカードではご利用になれません。
- FirstPassセンターに接続する場合、日付・時刻の設定をしてください。→『基本編』P65
- FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
- FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージR/Fの受信はできません。

証明書の発行要求をする

待受画面で［iα］［7］［5］を押す

「次へ」を選択して［●］を押す

FirstPass

1. 証明書発行
2. ダウンロード
3. その他
4. ご利用規則

■ **発行された証明書を失効させるとき**

①「3.その他」を選択して［●］を押す

②「1.証明書失効」を選択して［●］を押す
ユーザ証明書を送信するかどうかの確認画面が表示されます。

③「はい」を選択して［●］を押す
PIN2コード入力画面が表示されます。

④PIN2コードを入力して［●］を押す

⑤「実行」を選択して［●］を押す

⑥「次へ」を選択して［●］を押す

⑦「実行」を選択して［●］を押す

3 「証明書発行」を選択して◯を押す

に起因する損害賠償額の総額は、FOMAｻｰﾋﾞｽ基本使用料の1か月分を上限とします。

「ご利用規則」にご同意の上、実行を行って下さい。

実行

4 「実行」を選択して◯を押す

PIN2ｺｰﾄﾞ
PIN2ｺｰﾄﾞを
入力してください
残存入力回数 3回
****

- PIN2コード→『基本編』P192

5 PIN2コードを入力して◯を押す

完了画面が表示され、ユーザ証明書の発行申請が完了します。

証明書をダウンロードする

1 待受画面で(iα)(7)(5)を押す

FirstPass

・FirstPassではﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ等が可能です。
・当ｻｲﾄの閲覧/ご利用にあたっては、ﾊﾟｹｯﾄ通信料がかかります(iﾓｰﾄﾞ通信ではありませんので、ﾊﾟｹ・ﾎｰﾀﾞｲの対象外になります)。

2 「次へ」を選択して◯を押す

FirstPass

1. 証明書発行
2. ダウンロード
3. その他
4. ご利用規則

3 「ダウンロード」を選択して◯を押す

k Secondary1
O=NTT DoCoMo, Inc,
C=JP
有効期限:
xxxxxxxxxxxxxxxx
シリアル番号:
XXXXX

実行

4 「実行」を選択して◯を押す

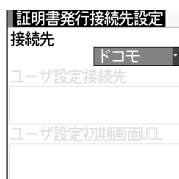
完了画面が表示され、ユーザ証明書がダウンロードされます。

お知らせ

- ユーザ証明書は、お客様がFOMA契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書は緑色のFOMAカードに保存され、FirstPassに対応しているサイトで利用できます。
- 添付のCD-ROMからFirstPass PCソフトをパソコンにインストールすると、FOMA端末をパソコンに接続して、FirstPassを使った通信を行うことができます。詳しくはCD-ROM内のFirstPass Manualをご覧ください。「FirstPass Manual」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます(別途通信料がかかります)。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。
- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信は、パケ・ホーダイの対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。

FirstPassご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただくことが可能です。パソコンでご利用いただくためには、添付のCD-ROM内のFirstPass PCソフトが必要です。
- FirstPassをパソコンでご利用いただく場合は、Bluetoothでも利用できます。
- ユーザ証明書の発行要求をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、要求してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。→『基本編』P192
PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、当社窓口にてユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモ及び認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

証明書発行接続先を変更する<証明書発行接続先設定>

お買い上げ時	接続先：ドコモ

FirstPass以外のサービスを受けるときに、接続先を設定します。設定を変更するとFirstPassセンターに接続できなくなります。

- ｉモード接続中は設定できません。

通常は設定を変更する必要はありません。

1 待受画面で［ｉα］［7］［6］を押す

2 接続先欄を選択して［●］を押し、［1］～［2］を押す

- FirstPassに接続する設定に戻すときは、［1］を押し、操作5に進みます。

3 ユーザ設定接続先欄を選択し、接続先を入力して［●］を押す

- ユーザ設定接続先は、半角英数字で最大99文字入力できます。

4 操作3と同様にユーザ設定初期画面URLを入力して［●］を押す

- ユーザ設定初期画面URLは、半角英数字で最大100文字入力できます。

5 ［］を押す

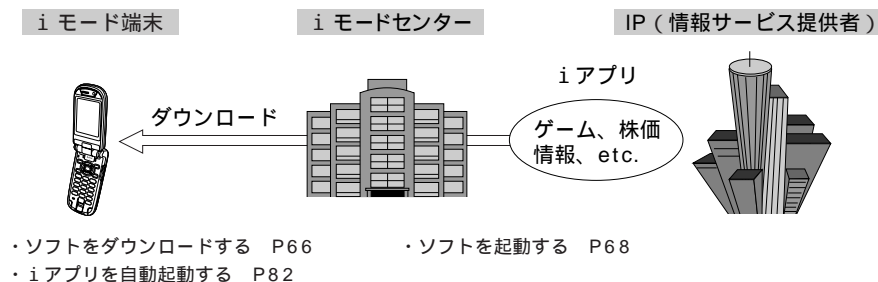
接続先が設定されます。

お知らせ

- 文字入力のしかた→『基本編』P309

ｉアプリとは

ｉアプリをサイトから取り込むことにより、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）を便利に活用いただけます。たとえばｉモード端末にいろいろなゲームを取り込んで楽しんだり、株価情報のｉアプリを取り込むことにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図のｉアプリでは、必要なデータだけを取り込むため、スムーズなスクロールが可能です。また、ｉアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得など「イメージ」と連動できるｉアプリもあります。

・ソフトをダウンロードする→P66
・ｉアプリを自動起動する→P82
・ソフトを起動する→P68

お知らせ

- ソフトによってはｉモード端末の携帯電話情報（FOMA端末の機種や製造番号、FOMAカードの識別番号など）を利用する場合があります。
- ソフトによっては実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないように設定することもできます。→P85

登録データを利用する

ｉアプリのソフトには、お客様のｉモード端末の登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）を参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- 電話帳登録
- アイコン情報利用
- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- 「イメージ」からの画像取得
- 「イメージ」への画像保存
- 「ｉモーション」への動画保存

お知らせ

- ｉアプリにより画像・動画が保存される場合は、それぞれ「イメージ」「ｉモーション」のｉモードフォルダに保存されます。

ｉアプリDXとは

ｉアプリDXでは、ｉモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信かを知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

登録データを利用する

ｉアプリDXのソフトでは、通常のｉアプリで利用できる登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）に加えて、メール、リダイヤル、着信履歴、着信音などの登録データを参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- 電話帳登録
- 電話帳参照
- アイコン情報利用
- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- メールメニューの利用
- ｉモードメール作成画面利用
- 最新のリダイヤル参照
- 最新の着信履歴参照
- 最新の未読メール参照
- 着信音変更（電話、メール、メッセージR/F）
- 「イメージ」からの画像取得
- 「イメージ」への画像保存
- 「ｉモーション」への動画保存
- 「メロディ」への着信音保存
- 画像設定の変更（待受画面、電話発着信、メール送受信、メッセージR/F受信）

お知らせ

- ｉアプリDXでは、ソフトの有効性を確認するため、ソフトの通信設定に関わらず通信する場合があります。通信回数やタイミングはソフトによって異なります。
- プライシーモード起動中（電話帳を「認証後に表示」に設定した場合）は、ソフトによっては利用できない場合があります。
- ｉアプリDXにより画像・動画・着信音が保存される場合は、それぞれ「イメージ」「ｉモーション」「メロディ」の「ｉモード」フォルダに保存されます。
- ｉアプリDXを起動するには日付・時刻の設定が必要です。→『基本編』P65

メール連動型ｉアプリとは

メール連動型ｉアプリはｉアプリＤＸの一種で、ｉモードメールで情報をやりとりすることにより、株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ソフトをより便利に楽しく利用することができます。

メール連動型ｉアプリの注意点

- メール連動型ｉアプリをダウンロードするときに、メール連動型ｉアプリのメールフォルダが5個ある場合はソフトをダウンロードできません。その場合はメール連動型ｉアプリのメールフォルダを削除してからダウンロードしてください。→P90
- 同じメールフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが、既にソフト一覧にある場合はダウンロードできません。
- プライバシーモード起動中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）は、メール連動型ｉアプリの再ダウンロード、バージョンアップに制限があります。→『基本編』P208
- メール連動型ｉアプリをダウンロードした場合は、「送信メール」「受信メール」「未送信メール」のフォルダ一覧にそのメール連動型ｉアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名が付き、変更できません。
- メール連動型ｉアプリをダウンロードしたときに、既にそのソフトに対応したメールを受信している場合は、自動的に作成されたフォルダにそのメールを振り分けることができます。→P66
- メール連動型ｉアプリで利用されるメールは、正しく表示できない場合があります。

こんなこともできます

■ ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面ではｉアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。→P85

- ｉアプリ待受画面に対応したソフトで利用できる機能です。

■ ｉアプリの自動起動

時刻や日付、曜日などを指定して、ソフトを自動起動できます。あらかじめソフトに設定されている時間間隔で自動起動できるソフトもあります。→P82

■ カメラ撮影

ソフトからｉモード端末のカメラを使って撮影できます。→P212

- カメラ撮影機能に対応したソフトで利用できる機能です。

■ 赤外線通信

ソフトから、赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。赤外線通信機能搭載機器と連動してより広がった使いかたができます。→P307

- 赤外線通信機能に対応したソフトで利用できる機能です。
- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

■ 赤外線リモコン

ソフトから赤外線リモコンに対応した家電機器など、各種機器を操作できます。→P307

- 赤外線リモコン機能に対応したソフトで利用できる機能です。相手の機器に対応したソフトが必要です。

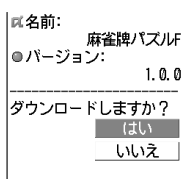
ソフトをダウンロードする

サイトからお気に入りのソフトをダウンロードしてFOMA端末に保存します。

- PIMロック中はダウンロードできません。
- メール連動型ｉアプリをダウンロードするときに、既にメール連動型ｉアプリ用のメールフォルダが5件ある場合はダウンロードできません。
- 同じメールフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが、既にソフト一覧にある場合はダウンロードできません。ただし、ソフトが新しくなっていればバージョンアップできます。
- プライバシーモード起動中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）は、メール連動型ｉアプリの再ダウンロードに制限があります。→『基本編』P208
- 電波状況などによりソフトのダウンロードに失敗した場合は、そのソフトは未登録となります。

ダウンロードしたいソフトのあるサイトを表示し、ソフトを選択して◯を押す

ダウンロード中に◯を押すと、終了するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して◯を押すとダウンロードを中止できます。

■ ソフト情報表示設定を「ON」に設定しているとき

「はい」を選択して◯を押す

◯を押すと、ダウンロードするソフトの詳細情報を表示できます。

- ソフト情報表示設定→P67

■ 異なるFOMAカードでダウンロードしたソフトが既に保存済みのとき

上書きをするかどうかの確認画面が表示されます。

「はい」を選択して◯を押す

■ 古いバージョンのソフトが既にダウンロード済みのとき

バージョンアップするかどうかの確認画面が表示されます。

「はい」を選択して◯を押す

■ 登録データや携帯電話情報を利用するソフトをダウンロードするとき

ダウンロードをするかどうかの確認画面が表示されます。

「はい」を選択して◯を押す

◯を押すと、利用されるデータの詳細を表示できます。ただし、ソフトによっては表示できません。

■ ダウンロードするメール連動型ｉアプリに対応したメールフォルダが既にあるとき

既にあるメールフォルダを利用するかどうかの確認画面が表示されます。

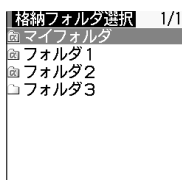
「はい」を選択して◯を押す

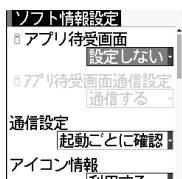
- メールフォルダを利用しない場合は、メールフォルダを削除して新規に作成しないかぎり、メール連動型ｉアプリをダウンロードできません。

■ ソフトの保存領域の空きが足りないとき・最大保存件数を超えるとき

FOMA端末に保存されているソフトを削除するかどうかの確認画面が表示されます。ソフトを保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き領域に達するまでFOMA端末内のソフトを削除します。

- 保護されているソフトは削除できません。
- ソフトの最大保存件数→P16

ダウンロードしたソフトを保存するフォルダを選択して○を押す

- メール連動型ｉアプリをダウンロードするとき、既にそのソフトに対応したメールを受信している場合は、自動的に作成されたフォルダにそのメールを振り分けることができます。
  ソフトを保存するフォルダを選択して○を押すと、メールを移動する旨の確認画面が表示されます。「はい」を選択して○を押します。ただし、プライバシーモード起動中（メールを「認証後に表示」または「指定フォルダを非表示」に設定した場合）は、自動的に振り分けることはできません。→『基本編』P208

設定する項目を選択して○を押し、iを押す

- ソフトによっては、設定できない項目があります。

「はい」を選択して○を押す

ダウンロードしたソフトが起動します。

- 通信するソフトを起動する→P68

お知らせ

- メール連動型ｉアプリをダウンロードしたとき、「送信メール」「受信メール」「未送信メール」のフォルダ一覧にそのメール連動型ｉアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。フォルダ名にはダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名が設定され、変更することはできません。
- ソフトを削除したあとでダウンロードに失敗しても、削除したソフトは元に戻りません。

ダウンロード時にソフトの情報を見る<ソフト情報表示設定>

お買い上げ時	OFF

ソフトをダウンロードするときに、ソフトの情報を表示するかどうかを設定します。「ON」に設定すると、ソフトの情報が表示されます。

待受画面でMENU i 3 2 3を押す

ソフト情報表示設定画面が表示されます。

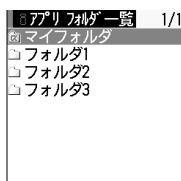
2 1～2を押す

ソフトの情報表示が設定されます。

ソフトを起動する

FOMA端末に保存されているソフトやダウンロードしたソフトを一覧表示し、起動します。

●サイトからダウンロードしたソフトは起動できなかったり、正常に動作しない場合があります。

1 待受画面で（iα）を1秒以上押す

- マークの意味は次のとおりです。

（グレー）：ソフトなし　（ブルー＋αマーク）：ソフトあり

2 フォルダを選択して（　）を押す

- マークの意味は次のとおりです。

①	：通常のソフト ：保護されたソフト ：ｉアプリ待受画面に設定可能なソフト（マークの背景色なし） ：ｉアプリ待受画面に設定可能な保護ソフト（マークの背景色なし） ：ｉアプリ待受画面に設定済みのソフト（マークの背景色グリーン） ：ｉアプリ待受画面に設定済みの保護ソフト（マークの背景色グリーン）
②	：ｉアプリDXのソフト ：メール連動型ｉアプリのソフト ：SSLページからダウンロードした通常のソフト ：SSLページからダウンロードしたｉアプリDXのソフト ：SSLページからダウンロードしたメール連動型ｉアプリのソフト なし：上記に該当しないソフト
③	：自動起動設定されているソフト ：ワンタッチボタン登録されているソフト ：自動起動設定、ワンタッチボタンの両方に登録されているソフト なし：上記に該当しないソフト

- ソフト起動中に（電源）を押すと起動を中止できます。確認画面が表示され、「終了する」を選択して（　）を押します。

3 起動するソフトを選択して（　）を押す

ソフト実行中に表示されます。

■ 通信するソフトのとき

通信設定が「起動ごとに確認」に設定されている場合に、通信するかどうかの確認画面が表示されます。

- 通信設定→P85

ソフトを終了するとき

ソフトごとに決められている終了操作を行います。

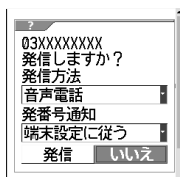
- （電源）を押しても終了できます。確認画面が表示され、「終了する」を選択して（　）を押します。

お知らせ

- ｉアプリの音は、着信音量調整(→『基本編』P83)で設定されている音量で再生されます。
- 通常マナーモード中は音は鳴りません。オリジナルマナーモード中は、オリジナルマナーモード設定の着信音量(→『基本編』P157、ステップトーンを除く)に設定されている音量で再生されます。
- 次の場合は、実行中のソフトは中断されます。中断したソフトは自動的に再開されますが、ソフトによっては、中断したときの状態に戻る場合と戻らない場合があります。
  ・電話がかかってきたとき
  ・スケジュールアラーム中や、目覚まし設定の設定時刻になったとき
  ・他の機能に切り替えたとき
  なお、通話中やアラーム中に(TASK)を押してｉアプリの画面に切り替えると、通話中やアラーム中のままｉアプリを再開できます。→『基本編』P273
- ソフトから指定されたソフトを起動するソフトがあります。このようなソフトを利用することでソフト一覧に戻ることなくソフトを楽しむことができます。ただし、起動するソフトが指定されていない場合は、ソフトを選択する必要があります。また、起動するソフトが指定されていても、ソフト一覧にない場合はダウンロードする必要があります。
- ｉアプリのソフトによって、ダウンロードをした後も自動的に通信を行う場合がありますが、このサービスを利用するにはあらかじめFOMA端末での設定が必要です。→P82
- ｉアプリ起動中にメールを受信すると、ディスプレイ上部に未読メール、未読メッセージR/Fのマークが表示されます。受信したメールを確認するときは、ｉアプリを終了させるか、またはマルチタスク機能をご利用ください。
- ｉアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどが、自動的にインターネットを経由して、サーバに送信される可能性があります。ｉアプリで利用する画像とは、実行中のｉアプリからカメラを起動して撮影した画像や、ｉアプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像などです。
- 3Dポリゴン※エンジン搭載により、ｉアプリで立体画像を表示できます。
  ※多角形(三角形や四角形など)を組み合わせることにより、立体的で奥行きがある画像を表現します。
- ｉアプリ作成者の方へ
  ソフトを作成中、正常動作しないときはトレース表示が参考になる場合があります。(MENU)(ｉアプリ)(3)(3)(4)を押すと表示されます。ただし、トレース情報を記録するように作られているソフトが保存されていないときは、トレース情報は表示できません。

ソフトからいろいろな機能を使う

ソフトの中には、ソフトから電話の発信、サイトの表示、赤外線通信ができるものがあります(操作の可否や操作方法はソフトによって異なります)。

■ ソフトから電話をかけるとき

項　目	説　明
発信方法	音声電話とテレビ電話(64Kまたは32K)のどちらで電話をかけるかを選択します。
発番号通知	発信者番号を通知するかしないかを選択します。「端末設定に従う」に設定すると、発信者番号通知の設定に従って電話をかけます。→『基本編』P295

①発信方法欄を選択して( )を押し、(1)～(3)を押す

②発番号通知欄を選択して( )を押し、(1)～(3)を押す

③「発信」を選択して( )を押す

電話をかけるとソフトは中断されます。

■ ソフトからサイトに接続するとき

- ｉアプリ待受画面からは、サイトに接続（Web To）できません。→P86

サイトに接続するかどうかの確認画面が表示されます。

「はい」を選択して（ ）を押す

サイトを表示させるとソフトは終了します。

■ ソフトから赤外線通信を行うとき

赤外線通信を実行するかどうかの確認画面が表示されます。

「はい」を選択して（ ）を押す

通信を実行するとソフトは中断されます。

- 赤外線通信→P302

お知らせ

- ソフトによってはカメラ撮影ができる場合があります。→P212

登録データを利用できずに終了したときの履歴を表示する<セキュリティエラー履歴>

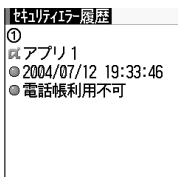
ソフトが登録データなどを利用できないようなエラーが発生したときに、ソフト名、日時、セキュリティエラー理由が記録されます。

- 最新の20件まで記録されます。

1 待受画面でMENU（📖）（3 さ DEF）（3 さ DEF）を押す

履歴表示の選択画面が表示されます。

2 （3 さ DEF）を押す

セキュリティエラー履歴
①
アプリ1
2004/07/12 19:33:46
電話帳利用不可

■ 履歴を削除するとき

（📖）を押し、「はい」を選択して（ ）を押す

履歴がすべて削除されます。

プリインストールソフトを使う

お買い上げ時、FOMA F900iTには7 件のソフトが入っています。ソフトを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードすることができます。

● 日付・時刻の設定が必要です。→『基本編』P65

ゲームソフト	• ちびわんふれんず2 • 人生ゲームF版	• 麻雀牌パズルF • フリーセル	• ルーインエクスプローラー
その他のソフト	• Dimo 絵文字メール	• マイリモコン	

アクセス方法（2004 年 5 月現在）

Menu ▶ メニューリスト ▶ ケータイ電話メーカー ▶ @Fケータイ応援団

注：アクセス方法は予告なしに変更されることがあります。

※上のＱＲコードをバーコードリーダーで読み取ると「@Ｆケータイ応援団」に直接接続することができます。→P242

●「Dimo 絵文字メール」「ちびわんふれんず2」「フリーセル」「マイリモコン」のソフトはｉアプリ待受画面に設定することができます。→P85

Dimo 絵文字メール

メール内の絵文字に対応して、キャラクタたちが愉快に動き回り、楽しいメールのやりとりができます。

また、相手がDimo対応の機種の場合は、キャラクタたちが電話やメールの着信を教えてくれたり、FOMA端末の未読メール情報などを伝えてくれます。

お知らせ

• 「Dimo 絵文字メール」の使いかたについては、別冊の「FOMA ｉモード操作ガイド」をご覧ください。

ちびわんふれんず2

JANコードやQRコードを使ってエサを与える、ボールで遊ぶ、なでる、しかるなどの操作を行いながら子犬を育てるシミュレーションゲームです。ｉアプリDXにも対応しており、相手に気持ち付きメールを送信することができます。受信メールランキング機能も搭載し、メールの楽しさが広がります。

1 ソフト一覧を表示し、「ちびわんふれんず2」を選択して〇を押す

2 タイトル画面で「ゲームスタート」を選択して〇を押す

ゲームがスタートします。

■ 初めてゲームを行う（やりなおす）とき

飼い主の名前、飼い犬（子犬）の名前と性別を決めます。

遊びかた

メニューアイコンから行為を選択してください。
エサはJANコードやQRコードを読み取って与えます。ボールで遊んだり注射をしたり、なでたりしかったりして育てていくと、子犬のレベルが上がり、お手伝いができるようになります。
ちびわんメールの受信箱では、画面に子犬が現れて、さまざまな動きや表情を見せてくれます。

メッセージウインドウ
メニューの説明や子犬の言葉などが表示されます。
子犬を写すカメラの位置
2：上から
4：左から　5：標準　6：右から
8：正面
メニューアイコン
でアイコンを選択してを押す
MENU：設定　：終了

■ メニューアイコン

項　目	説　明
(エサをあげる)	身近にあるJAN コードやQRコードを読み取って子犬にエサを与えます。JANコードやQRコードの値によってエサの種類が決まります。
(ボールで遊ぶ)	おなかがいっぱいで動けないときや言うことを聞かないときに有効です。
(注射)	病気を治したり、ワルイコモードを直します。
(なでる・しかる)	イイコモードのときはなでてあげたり、ワルイコモードのときはしかったりしてしつけます。
(お手伝い)	子犬のレベルが上がるとお手伝いができるようになります。
(ちびわんメール)	メールの作成、送受信ができます。また、メール受信ランキング※を表示します。
(状態)	名前や現在の状態を表示します。

※：電話帳に登録されている相手からの受信メールの件数です。ただし、未読のメールはカウントされません。

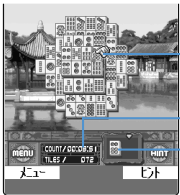
オプション

タイトル画面で次の項目を選択してを押すと、それぞれの設定ができます。

項　目	説　明
設定	BGM・SE、バックライト、省電力モードの設定とヘルプ表示ができます。ゲーム中にMENUを押しても設定できます。
やりなおし	データを消して最初からゲームをやり直すことができます。

※ JANコードやQRコードの読み取りについてはP243をご覧ください。
※「なでる・しかる」をするときは、あらかじめ指紋の登録が必要です。複数の指紋を登録しておくと、認証した指紋によって、子犬の喜びかたが変わります。指紋が1件も登録されていないときに「なでる・しかる」をすると、自動的に「しかる」になります。指紋認証機能の詳細→『基本編』P198

麻雀牌パズルF

整然と積み上げられた麻雀牌の山から、同じ牌どうしを選んで消していく、シンプルなパズルゲームです。BEGINNERとNORMALの2つの難易度があり、それぞれ4つずつステージが用意されています。

1 ソフト一覧を表示し、「麻雀牌パズルF」を選択して◯を押す

2 タイトル画面で「START」を選択して◯を押す

3 MODE SELECT画面で難易度(BEGINNERとNORMALの2種類)を選択して◯を押し、STAGE SELECT画面でステージ(4種類)を選択して◯を押す

ゲームがスタートします。

■ ゲームを終了するとき

タイトル画面でMENUを押し、「はい」を選択して◯を押す

遊びかた

- カーソルで同種の牌を2枚選択して◯を押すと、選択した牌が消えます。画面上の牌をすべて消すとステージをクリアできます。ただし、他の牌が上に乗っていたり、他の牌に左右を挟まれていたりする牌は選択できません。すべての牌を消す前に選択できる牌がなくなるとゲームオーバーになります。
  ステージをクリアした後、◯を押すと、ステージをクリアするまでの所要時間による順位表が表示されます。
- ※ゲーム画面で📖を押すと、ヒントとして消すことができる牌の位置が表示されます。

カーソル移動

📷／2：上

◁／4：左　▷／6：右

i／8：下

ゲーム開始からの所要時間

選択されている牌

◯／5：牌の選択／選択解除

MENU：メニューの表示

📖：ヒントの表示

＊：BGMのON／OFF切り替え

メニュー

項　目	説　明
ゲームへ	ゲームへ戻ります。
一手戻る	直前の選択を取り消して、ゲームを一手前の状態に戻します。
やり直す	ゲーム開始直後の状態に戻します。
ヘルプ	ヘルプ画面を表示します。
タイトル	タイトル画面に戻ります。

オプション

タイトル画面で次の項目を選択して を押すと、それぞれの設定・表示ができます。

項　目	説　明
OPTION	ゲーム中のBGMやバイブレータのON／OFFを設定します。
HELP	ゲームのルールが表示されます。

ルーインエクスプローラー

地下迷宮や塔などのダンジョンを探索するロールプレイングゲームです。ゲームスタートとともに入り込むダンジョンの中で、プレイヤーはレアアイテムやコインを集めながらゲームを進行させます。ダンジョンごとに異なる目的をクリアすると新たなダンジョンが現れ、その先へとさらに探索が続きます。

ソフト一覧を表示し、「ルーインエクスプローラー」を選択して を押す

2 タイトル画面で「Game Start」を選択して を押す

ゲームがスタートします。

■ 初めてゲームを行う（やりなおす）とき

でプレイするキャラクタを選択して を押す

遊びかた

■ 自宅パート

初めてゲームを行うときやプレイヤーが冒険から戻ったとき、倒されたときは、ここから始まります。

装備する持ち物を準備して、冒険するダンジョンを選択します。

を押して自宅玄関前に移動すると、「持ち物・保管庫リスト」が表示されます。冒険に持っていくアイテムを保管庫から取り出したり、冒険で得たアイテムを保管します。持ち物リストには20個まで、保管庫リストには200個までのアイテムが持てます（初めてゲームを行うときや倒されたときは、アイテムを持っていません。冒険から戻って再出発するときは、3個のアイテムが持てます）。

を押して画面下端に移動すると、冒険可能なダンジョンの一覧が表示されます。冒険するダンジョンを選択してください（初めてゲームを行うときは、「始まりの洞窟」になります）。

●メニュー

項　目	説　明
セーブ	ゲーム内容を保存します。
コインを預ける※	手持ちのコインをコインサーバに預けます。
タイトルに戻る	セーブ後の内容を保存せずに、タイトル画面に戻ります。
ゲームを終了	セーブ後の内容を保存せずに、ゲームを終了します。

※：コインを預ける場合は通信が発生します。通信状態のよい場所で預けてください。
　コインサーバに預けたコインは、最後に預けた日から180日間保管されます。期間内に再度預け入れた場合は、その日を含めてさらに180日間保管されます。
　詳しくは「@Fケータイ応援団」のサイトをご覧ください。

■ 冒険パート

冒険はダンジョンの1階から始まります。ダンジョンは複数のフロア（10 ～100 階程度）から構成されていて、地下へ降りていくものと上の階へ昇っていくものがあります。
各フロアでモンスターと戦いながらアイテムやコイン※を集めていきます。
※集めたコインをコインサーバに預け入れることができます。自宅パートのMENUより操作してください。

MENU ：CAMPの表示
ITEM ：持ち物リストのアイテムを表示
＊ ：サウンドのON／OFF切り替え
＃ ：マップ表示の切り替え

●移動

上：2／上
左上：1／左／上　　右上：3／右／上
左　：4／左　　移動なし：5／決定　　右　：6／右
左下：7／左／下　　右下：9／右／下
下：8／下

階段の昇り降りは、階段の上に移動して決定を押します。

●CAMP

項　目	説　明
アイテム	持ち物リストのアイテムを表示ます。
装備	武器、防具、楯、指輪を装備します。
ステータス	プレイヤーの状態、装備などを表示します。
セーブ	ゲーム内容を保存します。
タイトルに戻る	セーブ後の内容を保存せずに、タイトル画面に戻ります。
ゲームを終了	セーブ後の内容を保存せずに、ゲームを終了します。

●戦闘（直接攻撃）

モンスターにプレイヤーを体当たりさせます。

●戦闘（アイテム攻撃）

CAMP の「アイテム」または（ITEM）から使用するアイテムを選択後、攻撃先を指定します。

●装備

CAMP の「装備」から武器、防具、楯、指輪を装備して、ステータス（能力）をアップします。

●アイテム

ダンジョン内に置いてあるアイテムは、アイテムの上に移動すると入手できます。
また、宝箱が置いてある場合は、プレイヤーを宝石に隣接させ、宝箱の方向のボタンを押すと中身が入手できます。
アイテムは20個まで持つことができます。不要なアイテムは、アイテム表示からを押して削除します。

●**レベルアップ**

プレイヤーは、ダンジョン内を探索中にモンスターを倒すことで得た経験値により、レベルアップしていきます。レベルアップすると、HP(ライフ)の数値が上がったりステータス(能力)が向上したりします。ただし、ダンジョンを出て自宅へ戻ると、HP(ライフ)、ステータス値はすべてリセットされ、レベル1に戻ります。

●**ライフ**

HP値は、モンスターの攻撃などで減少していきます。回復薬などのアイテムを使用するか、自然回復(ターンごとに一定量回復)により回復します。
冒険中にライフのHP値が0になるとプレイヤーはアイテムやコインをすべて失い、自宅から再スタートになります。セーブした状態からは再スタートできません。

●**ダンジョン**

ゲーム開始時に冒険できるダンジョンは1種類のみですが、特定の目的※をクリアすることで新しいダンジョン(全6種類)に進むことができます。自宅へ戻り、ダンジョンを選んで再出発してください。
※特定の目的はダンジョンごとに異なります。
目的の例
・特定のモンスターを倒す
・特定のアイテムを入手する　など

オプション

タイトル画面で「データを消す」を選択して◯を押し、「はい」を選択して◯を押すと、保存されているデータを消去できます。

人生ゲームF版

定番の盤ゲーム『人生ゲーム』の携帯電話版です。「人生ゲームF版」は、1台のFOMA端末で最大4人が同時に遊ぶことができます。ゲームの各マスには、自分に影響するイベントだけでなく、他のプレイヤーに影響を与えるようないろいろなイベントが用意されています。

1. **ソフト一覧を表示し、「人生ゲームF版」を選択して◯を押す**
2. **タイトル画面で「はじめから」を選択して◯を押す**
3. **遊ぶ人数(1～4人)を選択して◯を押す**
4. **◯を押し、プレイヤーの名前を入力して◯を押す**
   確認画面が表示されます。
5. **「はい」を選択して◯を押す**
6. **◯を押し、罰ゲーム※を入力して◯を押す**
   確認画面が表示されます。
   ※プレイヤーの人数が1人のときは、罰ゲームを設定できません。

7 「はい」を選択して◯を押す

職業決定画面が表示されます。

8 ◯を押してルーレットを回転させ、◯を押してルーレットを停止させて◯を押す

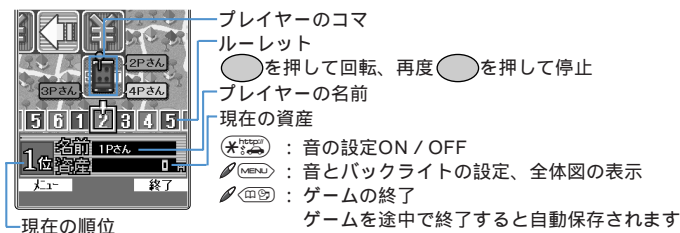
以降、操作4〜8をプレイヤーの人数分繰り返し行い、設定が完了するとゲームがスタートします。

■ 中断したゲームのつづきから始めるとき

1 ソフト一覧を表示し、「人生ゲームF版」を選択して◯を押す

2 タイトル画面で「つづきから」を選択して◯を押す

遊びかた

このゲームは4人で回ります。プレイヤーの不足分はFOMA端末が補います。順番にルーレットを回して出た目の数だけコマが自動で移動します。
止まったマスで発生するイベントに従いながらゴールをめざします。
全員がゴールすると資産が集計され順位が決まります。最下位の人は、ルーレットを回して罰ゲーム※を決めます。
※プレイヤーの人数が1人の場合、罰ゲームはありません。

オプション

タイトル画面で次の項目を選択して◯を押すと、それぞれの操作ができます。

項　目	説　明
ゲームの説明	ゲームの説明を表示します。
ランキング	過去のランキングを表示します。

フリーセル

52枚のカードをカーソルで選択して移動させながら、数の小さい順に並べ直す手軽なカードゲームです。

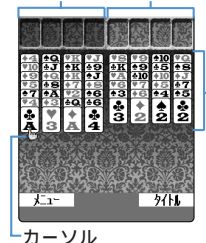
1 ソフト一覧を表示し、「フリーセル」を選択して○を押す

2 タイトル画面で○を押す

ゲームがスタートします。

遊びかた

ホームセルには、マークごとに数の小さいカードから移動させます。フリーセルには、ホームセルにカードを移動する際に妨げとなっているカードを、一時的に4枚まで置くことができます。途中で手詰まりするとゲームオーバーです。

フリーセル　ホームセル

カーソル

52枚のカード移動
：上
：左
：右
：下
○：カードの選択・移動※
：カードの選択解除／タイトル画面の表示
MENU：メニューの表示

※ カードにカーソルを合わせて○を2回押すと、自動的にフリーセルへ移動します。

●**メニュー**

項　目	説　明
やり直し	現在プレイ中のステージを最初からやり直します。
パス	現在プレイ中のステージを中止し、別のステージを表示します。ステージはランダムで自動選択されます。
ステージ選択	ステージ一覧画面に各ステージのクリア状況(クリア済み：ピンク　未クリア：暗い青)が表示されます。他のステージを選択するときは、画面右側のステージ移動矢印を選択して○を押します。
省電力モード設定	省電力モードが動作するまでの時間を15秒、1分、5分から設定します。

マイリモコン

FOMA端末をテレビのリモコンとして使うためのソフトです。複数の操作を組み合わせて登録することで、チャンネルを自動的に次々と切り替えるなどの動作を、ワンタッチで行うこともできます。

1 ソフト一覧を表示し、「マイリモコン」を選択して○を押す

2 機器セレクト画面でダイヤルキー0〜9、＊、＃を押して機器を選択する

メイン操作パネルでリモコンを操作する

〈メイン操作パネル〉

0～9、*、#：ダイレクトチャンネル切り替え
：チャンネル切り替え（1つ小さいチャンネルへ）
：チャンネル切り替え（1つ大きいチャンネルへ）
：音量を大きくする
：音量を小さくする
：テレビ電源のON／OFF
MENU：機器セレクト画面の表示
：サブ操作パネルの表示
サブ操作パネル編集で設定した機能を操作できます。

各種設定

機器セレクト画面でMENUを押して次の項目を設定します。

項　目	説　明
リモコンコード	機器のリモコンコードをダウンロード、削除できます。
機器セレクト編集	機器セレクト画面の表示を追加、編集、移動、削除できます。
メイン操作パネル編集	各機器のメイン操作パネルの表示を追加、編集、移動、削除、初期化できます。
サブ操作パネル編集	サブ操作パネルの表示を追加、編集、移動、削除できます。
ワンタッチボタン	ワンタッチボタンの作成、編集、削除ができます。 作成したワンタッチボタンはサブ操作パネルに追加できます。
省電力モード設定	省電力モードが動作するまでの時間を15秒、1分、5分から設定します。
イルミネーションカラー設定	画面内のパネルや文字の色を設定します。
バックライト切り替え	ディスプレイのバックライトのON／OFFを切り替えます。
終了	マイリモコンを終了します。

※ サイトやインターネットホームページからリモコンコードをダウンロードして登録できます。ただし、ご使用のテレビに該当するリモコンコードがない場合もあります。また、該当するリモコンコードでも、そのテレビに対応しておらずリモコン操作ができない場合があります。
※ マルチタスクにて赤外線送受信中、リモコン操作することはできません。

お知らせ

- マイリモコンは、FOMA端末の赤外線リモコン機能を利用したソフトです。→P307
- 本ソフトには、あらかじめ次の6種類のリモコンコードが内蔵されています。
  ・SONY　・SHARP　・松下　・松下2　・富士通ゼネラル　・富士通ゼネラル2
- ご使用のテレビに該当するリモコンコードを選んで設定してください。内蔵されているリモコンコードに該当するメーカー製のテレビでも、そのテレビに対応しておらずリモコン操作ができない場合があります。また、テレビに対応していても一部の機能が操作できない場合があります。

ソフトの情報を見る＜ソフト詳細情報＞

ソフトの情報を表示します。ソフト一覧から実行すると個々のソフトの詳細情報を確認できます。フォルダ一覧から実行すると現在の設定状況を確認できます。

ソフトの情報を見る

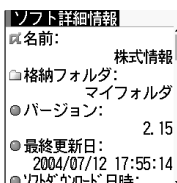
1 待受画面で［iα］を１秒以上押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択して［●］を押す

ソフト一覧が表示されます。

3 情報を確認するソフトを選択して［田］を押す

ソフト詳細情報
名前:
株式情報
格納フォルダ:
マイフォルダ
バージョン:
2.15
最終更新日:
2004/07/12 17:55:14
ｿﾌﾄﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ日時:

- 表示される項目はソフトによって異なります。
- ＳＳＬページから取得したソフトの場合、［田］を押すとダウンロード元サイトの証明書（→Ｐ５９）を確認できます。

お知らせ

- ソフト詳細情報で表示されるソフトの名前は変更できません。

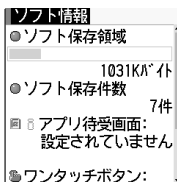
設定状況を見る

ソフトの保存領域や保存件数、ｉアプリ待受画面、ワンタッチボタン、自動起動の設定状況を確認します。

1 待受画面で［iα］を１秒以上押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 ［✉▼］を押す

ソフト情報
ソフト保存領域
1031Kﾊﾞｲﾄ
ソフト保存件数
7件
アプリ待受画面:
設定されていません
ワンタッチボタン:

項　目	説　明
ソフト保存領域	保存されているソフトの総容量が表示されます。
ソフト保存件数	保存されているソフトの総件数が表示されます。
ｉアプリ待受画面	待受画面に設定されているソフト名と格納フォルダが表示されます。
ワンタッチボタン	ワンタッチボタンに設定されているソフト名と格納フォルダが表示されます。
自動起動	次回自動起動設定されているソフト名と格納フォルダ、次回起動日時が表示されます。

ワンタッチでソフトを起動する<ワンタッチボタン>

簡単な操作でソフトを起動します。

●ワンタッチボタンを利用するには、あらかじめ登録しておく必要があります。→P85

1　待受画面で◯を1秒以上押す

登録されているソフトが起動します。

お知らせ

- ワンタッチボタンに登録されているソフトを確認できます。→P80

サイトやメールからソフトを起動する<ｉアプリTo>

サイトやｉモードメールにソフトを起動できるリンク項目がある場合に、リンク項目を選択してソフトを起動します（ｉアプリTo）。

●起動するソフト（サイトから起動するソフトを除く）はあらかじめFOMA端末に保存されている必要があります。

●選択したソフトがｉアプリToで起動しないように設定されている場合は、メッセージが表示されソフトを起動できません。→P85

〈例〉サイトからソフトを起動するとき

1　サイトを表示し、ソフトを起動できるリンク項目を選択して◯を押す

起動するかどうかの確認画面が表示されます。

2　「はい」を選択して◯を押す

サイト接続が終了し、ソフトが起動します。

お知らせ

- 外部機器から赤外線通信でソフトを起動することもできます。→P307
- 該当するソフトがFOMA端末に保存されていない場合は、指定されたソフトがない旨のメッセージが表示されます。
- ソフトによっては、サイトからダウンロード後すぐに起動するものがあります。このときソフトは保存されていません。また、FOMA端末に保存できないソフトもあります。
- サイトからダウンロード後すぐに起動するソフトは、実行中に通信するかどうかの確認画面が表示される場合があります。

ｉアプリを自動起動する

ソフトごとに自動起動の条件を設定し、一括して自動起動を行うかどうかを設定します。

● 日付・時刻の設定が必要です。→『基本編』P65

ソフトごとに自動起動の条件を設定する<自動起動情報登録>

自動起動に対応したソフトの起動日時や起動方法などを設定したり、あらかじめ設定されている内容を表示したりします。

- 設定した自動起動を実行するには、自動起動設定を「ON」にする必要があります。
- ユーザが設定・変更できる自動起動の条件はソフトにつき1件です。また、登録できる条件は、ソフトによって異なります。

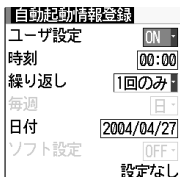
1 待受画面で[iα]を1秒以上押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択して[ ]を押す

ソフト一覧が表示されます。

3 条件を設定するソフトを選択して[MENU][6]を押す

自動起動情報登録
ユーザ設定　ON
時刻　00:00
繰り返し　1回のみ
毎週　日
日付　2004/04/27
ソフト設定　OFF
設定なし

項　目		説　明
ユーザ設定		ソフトを自動起動する日付や時刻を設定するかどうかを選択します。
	時刻	ソフトを自動起動する時刻を入力します。
	繰り返し	ソフトの自動起動を繰り返し行うときの起動方法を設定します。
	毎週	「繰り返し」でソフトを「毎週」に設定したとき、自動起動する曜日を設定します。
	日付	「繰り返し」でソフトを「1回のみ」に設定したとき、自動起動する日付を入力します。
ソフト設定		ソフトにあらかじめ設定されている時間間隔で自動起動させるかどうかを設定します。
ｉアプリ設定1～4		ソフト（ｉアプリDX）によっては、ソフト自身で自動起動の設定ができるソフトがあります。そのようなソフトでは、最大4つの設定が可能な場合があります。その設定内容を表示します。

4 ユーザ設定欄を選択して[ ]を押し、「ON」を選択して[ ]を押す

- 「ユーザ設定」を解除するときは[2]を押し、操作7に進みます。

5 時刻欄を選択して[ ]を押し、起動させる時刻を入力して[ ]を押す

6 繰り返し欄を選択して[ ]を押し、[1]～[3]を押す

■ 1回のみ自動起動させるとき

①[1]を押す

②日付欄を選択して[ ]を押し、起動させる日付を入力して[ ]を押す

■ 毎日自動起動させるとき

✐2を押す

■ 毎週決まった曜日に自動起動させるとき

✐①3を押す

✐②毎週欄を選択して●を押し、起動させる曜日を選択して●を押す

7 ソフト設定欄を選択して●を押し、1～2を押す

✐ソフト(ｉアプリＤＸ)によっては、ソフト自身で自動起動の設定ができるソフトがあります。そのようなソフトでは、「ｉアプリ設定」から設定されている自動起動を「OFF」にすることができます。その場合はｉアプリ設定欄を選択して●を押し、2を押します。

8 [ソフトキー]を押す

自動起動情報が登録されます。

- ソフト一覧で、設定したソフト名の左に[アイコン]または[アイコン]が表示されます。

お知らせ

- 自動起動を設定しても、次の状態のときに起動時刻になった場合は、ソフトは起動しません。また、次のうち、※印以外の理由でソフトが起動しなかったときは、待受画面に[アイコン]が表示され、ソフト名と日時が起動失敗履歴に記録されます。→P84
  - FOMA端末の電源が入っていない※
  - FOMAカード動作制限中→P17
  - 自動起動設定がOFFの場合※
  - 通話中、通信中、ターミナルリンク中
  - メニュー操作、ｉモード操作などで待受画面以外が表示されているとき、ｉアプリ待受画面の操作中
  - 他の機能動作中
  - オールロック、PIMロック中
  - スケジュールアラーム中や、目覚まし設定の設定時刻になったとき(自動起動と同一時刻の場合も含む)
- FOMA端末に設定されている日時より前の起動日時のみを設定した場合は、[アイコン]または[アイコン]は表示されません。

自動起動するかどうかを設定する<自動起動設定>

お買い上げ時	ON

ソフト全体の自動起動を一括して設定します。

- 本機能の設定は自動起動を設定したすべてのソフトが対象になります。
- 自動起動するためには、本機能を「ON」に設定し、ソフトごとの自動起動を設定してください。

1 待受画面でMENU[ソフトキー]322を押す

自動起動設定画面が表示されます。

2 1～2を押す

自動起動が設定されます。

お知らせ

- 「OFF」に設定すると個々のソフトの自動起動設定に関わらず自動起動は行われません。

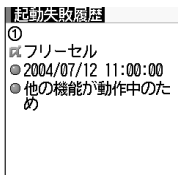
自動起動できなかったソフトの履歴を表示する<起動失敗履歴>

ソフトの自動起動に失敗したときに、ソフト名、日時、起動失敗理由が記録されます。

- 最新の20件まで記録されます。

1 待受画面でMENU 3 3を押す

履歴表示の選択画面が表示されます。

2 1を押す

■ 履歴を削除するとき

を押し、「はい」を選択してを押す

履歴がすべて削除されます。

ソフトの動作を設定する<ソフト情報設定>

ｉアプリを利用する際の各種条件を設定します。

1 待受画面で iα を１秒以上押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択して を押す

ソフト一覧が表示されます。

3 設定するソフトを選択して MENU 7PQRS を押す

項　目	説　明
ｉアプリ待受画面	ｉアプリ待受画面に対応しているソフトを待受画面に設定します。
ｉアプリ待受画面通信設定	ｉアプリ待受画面起動中に自動的に通信させるかどうかを設定します。
通信設定	ｉアプリ起動中に自動的に通信させるかどうかを設定します。
アイコン情報	ソフトがメール、メッセージR/F、電池残量、マナーモード、受信レベルの各種アイコンを利用するかどうかを設定します。
ワンタッチボタン	ソフトをワンタッチボタンに登録するかどうかを設定します。
ブラウザからの起動	サイトからソフトを起動させる（ｉアプリTo）かどうかを設定します。
メールからの起動	メールからソフトを起動させる（ｉアプリTo）かどうかを設定します。
外部機器からの起動	外部機器などからソフトを起動させるかどうかを設定します。
ソフトからの着信音／画像変更を※	ソフトによる着信音や待受画面などの画像の変更を許可するかどうかを設定します。 • 「許可する」に設定すると、自動的に着信音や画像などが変更されます。
変更ごとに確認画面を※	ソフトによる着信音や画像の変更時に、変更するかどうかを毎回確認します。
ソフトからの電話帳／履歴参照を※	ソフトによる電話帳や履歴の参照を許可するかどうかを設定します。 • 「許可する」に設定すると、自動的に電話帳や履歴を参照します。

※：ｉアプリDXのみ

4 設定する項目を選択して を押し、設定する

• ソフトが対応していない項目は選択できません。

5 を押す

設定内容が登録されます。

ｉアプリ待受画面を「設定する」にしたときは、現在設定されている待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。設定するには「はい」を選択して を押します。

お知らせ

- ｉアプリ待受画面の操作方法→P86
- ｉアプリ待受画面、ワンタッチボタンに設定できるｉアプリはそれぞれ1件のみです。
- ネットワークに接続したときは通信料がかかります。通信を許可する設定にするとソフトが自動的に接続しますのでご注意ください。
- 通信を許可しない設定にした場合は、ソフトが起動できない場合や株価情報やお天気情報などのソフトによるタイムリーな情報提供ができない場合がありますのでご注意ください。
- ｉアプリ待受画面のアイコン情報を「利用する」に設定すると、未読メール、未読メッセージR/F、電池残量、マナーモード、受信レベルのアイコンの有無が、お客様の携帯電話情報（FOMA端末の機種や製造番号、FOMAカードの識別番号）と同様にインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。

ｉアプリ待受画面を操作する＜ｉアプリ待受画面＞

ｉアプリ待受画面に設定しているソフトを操作します。

● あらかじめｉアプリを待受画面に設定しておく必要があります。→P85
● ｉアプリ待受画面を設定しているときは、画面上部に（αがグレー）または（dxがグレー）が表示されます。
● ｉアプリ待受画面からは、サイトに接続（Web To）できません。

ｉアプリ待受画面のソフトの設定や操作を行う

ｉアプリ待受画面のソフトの設定や操作を行うには、待受画面からソフトの画面に切り替えます。

1 ｉアプリ待受画面起動中に（クリア）を押す

ソフトの画面に切り替わり、画面上部に表示されている（αがオレンジ）または（dxがオレンジ）が点滅します。この状態になると、ソフトの設定や操作ができます。

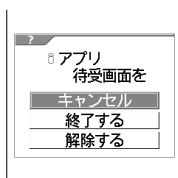
- ソフトの画面を終了する方法は、ソフトによって異なります。再度（クリア）を押すと終了するソフトもあります。

お知らせ

- ネットワークに接続して通信を行うソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合、電波状況などにより正しく動作しない場合があります。
- ｉアプリ待受画面を設定中にFOMA端末の電源を入れると、ｉアプリ待受画面を起動するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとｉアプリ待受画面が表示されます。「いいえ」を選択するとｉアプリ待受画面の設定が解除されます。確認画面が表示されてから何もせずに約5秒たつと、自動的にｉアプリ待受画面になります。ただし、自動電源ONでは確認画面は表示されず、自動的にｉアプリ待受画面になります。
- ｉアプリ待受画面を設定中にオールロックまたはPIMロックを設定すると、ｉアプリ待受画面は一時的に解除されます。ロックを解除するとｉアプリ待受画面が再度表示されます。
- ｉアプリ待受画面表示中にｉアプリ待受画面を続行できないようなエラーが発生すると、ｉアプリ待受画面が終了し、ｉアプリ待受画面の設定が解除されます。このとき、ソフト名と終了日時が異常終了履歴に記録されます。→P87
- ｉアプリ待受画面表示中は、時計表示設定で待受時計を「大きく表示」に設定していても、待受時計は小さく表示されます。→『基本編』P191
- ｉアプリ待受画面が通信中に（電源）を押すと、ｉアプリ待受画面の通信が切断されます。

ｉアプリ待受画面を解除する

待受画面からｉアプリ待受画面に設定したソフトを解除します。

1 **ｉアプリ待受画面で クリア 電源 を押す**

2 **「解除する」を選択して を押す**

ｉアプリ待受画面が解除されます。

- 「終了する」を選択して を押すとｉアプリ待受画面をいったん終了できますが、待受画面に戻るとｉアプリ待受画面が再起動します。
- 解除を中止するときは「キャンセル」を選択して を押します。

お知らせ

- ソフト一覧から操作する場合は、設定されているソフトを選択して MENU を押し、「ｉアプリ待受画面」を選択して操作します。

ｉアプリ待受画面の終了履歴を表示する＜異常終了履歴＞

ｉアプリ待受画面を続行できないようなエラーが発生したときに、ソフト名と日時が記録されます。

- 正常に終了したときは記録されません。
- 最新の20件まで記録されます。

1 **待受画面で MENU 3 3 を押す**

履歴表示の選択画面が表示されます。

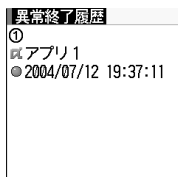
2 **2 を押す**

■ 履歴を削除するとき

を押し、「はい」を選択して を押す

履歴がすべて削除されます。

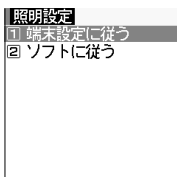
ｉアプリ

ｉアプリ待受画面

ソフト実行中の照明やバイブレータを設定する<照明設定・バイブレータ設定>

ソフト実行中の照明を点灯させる方法や、バイブレータの動作を設定します。

照明動作を設定する

お買い上げ時	端末設定に従う

1 待受画面でMENU 📖 3 2 4を押す

項　目	説　明
端末設定に従う	設定メニューの照明設定（→『基本編』P187）に従って点灯します。
ソフトに従う	ソフトからの照明の制御に従って点灯します。

2 1〜2を押す

照明が設定されます。

お知らせ

- ｉアプリ待受画面の照明動作は設定メニューの照明設定に従います。
- 「ソフトに従う」に設定した場合、照明が消えているときにキーを押してもソフト実行中は点灯しません。

バイブレータを設定する

お買い上げ時	ON

ソフトによっては、ソフト実行中にFOMA端末を振動させるものがあります。「ON」に設定すると、ソフトからのバイブレータ動作が有効になります。

1 待受画面でMENU 📖 3 2 5を押す

バイブレータ設定画面が表示されます。

2 1〜2を押す

バイブレータが設定されます。

お知らせ

- サイドキーロック中はバイブレータは振動しません。→『基本編』P210

ｉアプリを管理する

FOMA端末には、ソフトをより使いやすくするための、さまざまな管理機能があります。

ソフトをバージョンアップする<バージョンアップ>

ソフトの新しいバージョンがサイトに掲載されているとき、ソフトを簡単にバージョンアップすることができます。

- PIMロック中はダウンロードできません。
- プライバシーモード起動中(メールを「認証後に表示」に設定した場合)は、メール連動型ｉアプリのバージョンアップに制限があります。→『基本編』P208

1 待受画面で[iα]を1秒以上押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択して[●]を押す

ソフト一覧が表示されます。

3 バージョンアップするソフトを選択して[MENU][5]を押す

バージョンアップするかどうかの確認画面が表示されます。

4 「はい」を選択して[●]を押す

ソフトのバージョンアップが開始されます。

- 以降の操作はソフトのダウンロードと同じです。→P66

お知らせ

- バージョンアップが完了すると、バージョンアップを行ったソフトは新しいソフトに置き替わります。
- バージョンアップにより、ソフトが記録しているデータ(ゲームスコアなど)が消去されることがあります。
- ソフトによっては、起動時に使用期間・使用回数によりドコモのサーバへ継続して使用可能かを問い合わせる場合があります。このとき、サーバからソフトが更新されていると通知された場合は、ユーザ確認の上でバージョンアップすることができます。

ソフトの並び順を替える<ソート>

お買い上げ時	ダウンロード日時順

ソフト一覧の並び順を変更します。

1 待受画面で[MENU][□][3][2][1]を押す

ソフトの並べ替え
1 ダウンロード日時順
2 使用日時順
3 名前順
4 使用回数順
5 ソフトのサイズ順

2 [1]～[5]を押す

ソフト一覧でソフトが並び替わります。

お知らせ

- ダウンロード日時、使用日時は、実行時点でのFOMA端末の日時が記録されます。
- 名前順の場合、全角／半角の文字や英字が混在していると、五十音順と一致しない場合があります。
- 使用回数はソフトをバージョンアップしても引き継がれます。
- 「使用回数順」はｉアプリ待受画面として起動した回数は含みません。
- 「ソフトのサイズ順」はソフトのサイズと使用データ記録領域の合計が大きい順に並べ替えます。

ソフトのフォルダを作成／削除する

ｉアプリを保存するフォルダを作成したり、削除したりします。

フォルダを作成する

- 最大20個作成できます。

1　待受画面で［iα］を1秒以上押す

フォルダ一覧が表示されます。

2　［MENU］［4］を押し、フォルダ名を入力して［●］を押す

フォルダ作成
フォルダ名を
入力してください
ゲーム

- 全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。

■ フォルダ名を変更するとき

フォルダ名を変更するフォルダを選択して［MENU］［1］を押す

3　［📖］を押す

フォルダが作成されます。

お知らせ

- 文字入力のしかた→『基本編』P309

フォルダを削除する

- ソフトが残ったままフォルダを削除すると、そのフォルダ内のソフトはすべて削除されます。ただし、保護されているソフトがある場合は、フォルダを削除できません。
- 削除対象のメール連動型ｉアプリ用メールフォルダが使用中（一覧表示など）の場合、ソフトを削除できない場合があります。

1　待受画面で［iα］を1秒以上押す

フォルダ一覧が表示されます。

2　削除するフォルダを選択して［MENU］［2］［1］を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- フォルダ内にソフトが残ったままフォルダを削除する場合は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。

3　「はい」を選択して［●］を押す

フォルダが削除されます。

- 削除するフォルダ内にメール連動型ｉアプリが含まれる場合は、自動的に作られたメールフォルダを同時に削除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メールフォルダと、その中にあるメールが全件削除されます。「いいえ」を選択すると、ソフトのみ削除されます。「はい」を選択した場合でも、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合やプライバシーモード起動中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）は、ソフトもメールフォルダも削除できません。

お知らせ

- ソフトのみ削除し、メール連動型ｉアプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メール一覧のサブメニューからメールを見ることができます。→P150
- ソフトを1件ずつ削除する→P92

ソフトのフォルダの順番を変更する

フォルダ一覧のフォルダの表示順を変更します。

1 待受画面で［iα］を1秒以上押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 表示順を変更するフォルダを選択して［MENU］を押し、［5］～［6］を押す

- フォルダの表示順を1つ上へ移動するときは［5］を押します。
- フォルダの表示順を1つ下へ移動するときは［6］を押します。

ソフトを他のフォルダに移動する

保存されているソフトを別のフォルダに移動します。フォルダ内のすべてのソフトをまとめて移動することもできます。

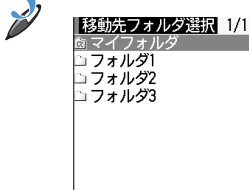
1 待受画面で［iα］を１秒以上押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択して［●］を押す

ソフト一覧が表示されます。

3 移動するソフトを選択して［MENU］［4］［1］を押す

移動先フォルダ選択 1/1
マイフォルダ
フォルダ1
フォルダ2
フォルダ3

- フォルダ内のソフトを全件移動するときは［MENU］［4］［2］を押します。

4 移動先フォルダを選択して［●］を押し、「はい」を選択して［●］を押す

ソフトが移動します。

ソフトを保護する

誤って削除しないように、ソフトを保護します。

1 待受画面で［iα］を１秒以上押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択して［●］を押す

ソフト一覧が表示されます。

3 保護するソフトを選択して［MENU］［3］を押す

ソフトが保護されます。

- ソフト一覧で保護されたソフトに表示されるマーク→P68

■ 保護を解除するとき

ソフト一覧で保護を解除するソフトを選択して［MENU］［3］を押す

ソフトを削除する

1件ずつ削除したり、フォルダ内のすべてのソフトをまとめて削除したりします。

- 保護されているソフトは「1件削除」で削除することはできません。保護を解除してから削除するか、「全件削除」を選択して端末暗証番号の入力または指紋認証を行い、「すべて削除」を選択して削除してください。

1 待受画面で[iα]を1秒以上押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択して[●]を押す

ソフト一覧が表示されます。

3 削除するソフトを選択して[MENU][2][1]を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

フォルダ内のソフトを全件削除するときは[MENU][2][2]を押し、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行い、「すべて削除」または「保護以外削除」を選択して[●]を押します。

4 「はい」を選択して[●]を押す

ソフトが削除されます。

- メール連動型ｉアプリを削除する場合は、自動的に作られたメールフォルダを同時に削除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メールフォルダと、その中にあるメールが全件削除されます。「いいえ」を選択すると、ソフトのみ削除されます。「はい」を選択した場合でも、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合やプライバシーモード起動中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）は、ソフトもメールフォルダも削除できません。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  ソフトのフォルダ一覧からフォルダ内のソフトを全件削除する場合は、フォルダを選択して[MENU]を押し、「削除」→「ソフト削除」を選択して操作します。
- ソフトのみ削除し、メール連動型ｉアプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メール一覧のサブメニューからメールを見ることができます。→P150
- お買い上げ時に登録されているソフトを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードすることができます。→P71

フォルダ内のソフトの件数を確認する<フォルダ内ソフト件数>

フォルダ内のソフトの件数を確認します。

1 待受画面で[iα]を1秒以上押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 件数を表示するフォルダを選択して[📖]を押す

ｉアプリからさまざまな機能を利用する

ｉアプリによっては、カメラ撮影、赤外線通信などのさまざまな機能を利用することができます。

ｉアプリからカメラ機能を利用する

ｉアプリからカメラ撮影ができます。

1 待受画面でを１秒以上押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択してを押す

ソフト一覧が表示されます。

3 カメラ撮影を行うソフトを選択してを押す

ソフトが起動します。
ソフトに従ってカメラ撮影を行います。

お知らせ

- カメラ機能→P212
- ソフトからカメラを起動した場合、撮影した画像は「イメージ」または「ｉモーション」の「撮影画像」フォルダには保存されず、ソフト内に保存されます。また、撮影した画像はソフトから通信により自動的にサーバへ送られる場合があります。

ｉアプリから赤外線通信を利用する

ｉアプリから赤外線通信ができます。

- 赤外線通信に対応したｉアプリをダウンロードする必要があります。
- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できない場合があります。

1 待受画面でを１秒以上押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択してを押す

ソフト一覧が表示されます。

3 赤外線通信を行うソフトを選択してを押す

ソフトが起動します。
ソフトに従って赤外線通信を行います。

お知らせ

- ｉアプリ赤外線通信→P307

キャラ電とは

キャラ電とは、テレビ電話利用時に自分の画像の代わりに画面に表示させるキャラクタのことです。テレビ電話中にダイヤルキーを押すことでキャラクタを動かしたり、そのときの気持ちを手軽に表したりすることができます。また、表示中のキャラ電の静止画や動画を撮影して保存することもできます。

● キャラ電によっては、送話口からの音声に反応して口を動かすものもあります(簡易リップシンク機能)。

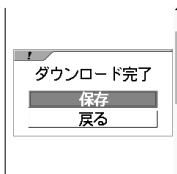
全体アクション：うれしい！

全体アクション：うわっ！？

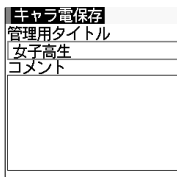
パーツアクション：パチパチ

キャラ電をダウンロードする

お買い上げ時に登録されているキャラ電の他に、サイトから任意のキャラ電をダウンロードしてFOMA端末に保存することができます。

1 ダウンロードしたいキャラ電のあるサイトを表示し、キャラ電を選択してを押す

ダウンロードが完了すると、ダウンロード完了画面が表示されます。

ダウンロード中にを押すと、ダウンロードを中止できます。

2 「保存」を選択してを押す

- 管理用タイトルを設定するときは管理用タイトル欄を選択してを押し、タイトルを入力してを押します。
  全角・半角を問わず最大36文字入力できます。
- コメントを設定するときはコメント欄を選択してを押し、コメントを入力してを押します。
  全角・半角を問わず最大100文字入力できます。

3 を押す

キャラ電が「キャラ電」の「モード」フォルダに保存されます。→P95

■ キャラ電の保存領域の空きが足りないとき・最大保存件数を超えるとき

FOMA端末に保存されているキャラ電を削除するかどうかの確認画面が表示されます。キャラ電を保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き領域に達するまでFOMA端末内のキャラ電を削除します。

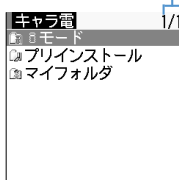
- 削除する前にキャラ電削除画面でを押してキャラ電を表示したり、MENUを押してキャラ電の詳細情報を表示したりできます。→P95、P106
- キャラ電の最大保存件数→P16

キャラ電を表示する

FOMA端末に保存されているキャラ電やダウンロードして保存したキャラ電を表示します。

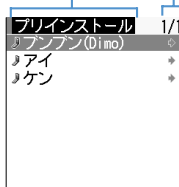
●キャラ電は次の固定フォルダに保存されます。

フォルダ名	キャラ電の種類
ｉモード	サイトから取り込んだキャラ電
プリインストール	お買い上げ時にFOMA端末に内蔵されているキャラ電

1 待受画面でMENU 3 4を押す

ページ番号／全ページ数

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：ｉモード
  - ：プリインストール
  - ：フォルダ

2 フォルダを選択してを押す

フォルダ名　ページ番号／全ページ数

キャラ電一覧が表示されます。

- キャラ電一覧のマークの意味は次のとおりです。
  - ：取得元（ｉモード）
  - ：取得元（プリインストール）

3 表示するキャラ電を選択してを押す

キャラ電が表示されます。

- を押して、キャラ電の表示サイズを画面中央に等倍表示（等倍サイズ）／画面の幅に合わせて表示（拡大サイズ）の2とおりに切り替えることができます。
- キャラ電表示中にMENU 8 1を押すとフォルダ一覧が表示され、キャラ電を選択し直すことができます。

お知らせ

- お買い上げ時は、次のキャラ電が「プリインストール」フォルダに登録されています。
  「アイ」と「ケン」が簡易リップシンク機能に対応しています。

ブンブン（Dimo）
©BVIG

アイ

ケン

- お買い上げ時に登録されているキャラ電のアクション一覧
  ・ブンブン（Dimo）

全体アクション	1	喜ぶ	4	ありがとう	7	ノーリアクション
	2	怒る	5	ラブラブ	8	バイバイ
	3	悲しむ	6	ごめんなさい	9	びっくり

・アイ

全体アクション	1	うれしい！	4	ZZZ・・・	7	シクシク
	2	ムカッ！！	5	うわっ！？	8	？？？
	3	ガックリ	6	ゴメンネ	9	はずかしい
パーツアクション	11	笑う	19	照れる	33	左向きっ
	12	怒る	21	右手でハーイ！	34	キック！
	13	悲しむ	22	ばんざーい	35	お座り
	14	目を閉じる	23	左手でハーイ！	41	右ひねり
	15	驚く	24	パチパチ	42	のけぞる
	16	謝る	25	バイバイ	43	左ひねり
	17	泣く	31	右向きっ	44	右！
	18	わからない	32	跳ねる	45	左！

・ケン

全体アクション	1	面白いっ！	4	ZZZ・・・	7	ううう。。。
	2	ムカッ！！	5	うわっ！？	8	？？？
	3	うぁーん！！	6	ゴメン	9	はずかしい
パーツアクション	11	笑う	19	照れる	33	左向きっ
	12	怒る	21	右手あげ	34	キック！
	13	悲しむ	22	ばんざーい	35	お座り
	14	目を閉じる	23	左手あげ	41	右ひねり
	15	驚く	24	パチパチ	42	のけぞる
	16	謝る	25	バイバイ	43	左ひねり
	17	泣く	31	右向きっ	44	右！左！
	18	わからない	32	足踏み	45	ペコペコ

- キャラ電表示中に、表内の数字と同じダイヤルキーを押すと、それに該当するアクションをします。→P97
- お買い上げ時に登録されているキャラ電は、同じパーツアクションでもキャラ電によって動きかたが異なる場合があります。
- お買い上げ時に登録されている上記キャラ電を削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードすることができます。→P71

＜スペシャルモード＞

アイ：パーツアクションに切り替え、# 2 2 2 #を押します。「好きっ！」の動作を行います。

ケン：パーツアクションに切り替え、# 8 8 8 #を押します。「ギャグ！」の動作を行います。

- キャラ電は、編集したりFOMA端末外に保存（転送、メール添付）したりできません。
- キャラ電表示中に電話をかけたり、受けたりした場合は、通話終了後にキャラ電表示には戻りません。音声通話終了後はキャラ電一覧に、テレビ通話終了後は待受画面にそれぞれ戻ります。

キャラ電のアクションを選択する

キャラ電を動かしたり、アクション(動きかた)を変更することができます。

●キャラ電のアクションは次の2種類から選択できます。

項　目	説　明
全体アクション	キャラクタが体全体を動かして感情を表現します。
パーツアクション	キャラクタが体の一部や表情を動かして感情を表現します。

●キャラ電によっては、アクションの数や種類が異なる場合があります。

1 待受画面でMENU 3 4を押し、フォルダを選択して●を押す

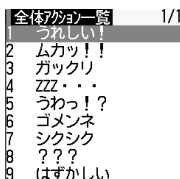
キャラ電一覧が表示されます。

2 キャラ電を選択して●を押す

キャラ電が「全体アクション」で表示されます。

- ✉を1秒以上押すたびにパーツアクションと全体アクションが切り替わります。

設定中のアクション
Parts：パーツアクション　　Action：全体アクション

3 ✉を押す

- アクション一覧が表示されます。

4 動作を選択して●を押す

キャラ電が動きます。

- キャラ電表示中にダイヤルキーを押しても、それぞれのアクションに該当したアクションをします。
- キャラクタのアクション中に0を押すと、アクションを中止できます。

お知らせ

- キャラ電撮影画面からアクションを切り替える場合はMENUを押し、「キャラ電設定」→「アクション切替」を選択して操作します。
  キャラ電撮影画面から選択中のアクション一覧を表示する場合はMENUを押し、「キャラ電設定」→「アクション一覧」を選択して操作します。
  キャラ電撮影→P99

キャラ電を利用してテレビ電話をかける<キャラ電>

テレビ電話で通話するときに、代替画像としてキャラ電を表示させます。表示されたキャラ電は、通話中に動かすことができます。

1 待受画面でMENU 3 4を押し、フォルダを選択して●を押す

キャラ電一覧が表示されます。

2 キャラ電を選択して（▲）を押す

- 最大26桁入力できます。

3 電話番号を入力して●を押し、（▲）を押す

キャラ電を代替画像にしてテレビ電話がかかります。

- テレビ電話の操作→『基本編』P93
- （電話帳）を押すとテレビ電話をかける相手を電話帳から選択できます。
- テレビ電話中にもキャラ電表示中と同様にキャラ電を動かしたり、アクションを切り替えたりできます。→P97

テレビ電話の代替画像に設定する

テレビ電話の代替画像として、キャラ電をあらかじめ設定しておくことができます。

1 待受画面でMENU 3 4を押し、フォルダを選択して●を押す

キャラ電一覧が表示されます。

2 キャラ電を選択して（▼）を押す

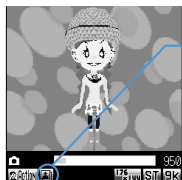
選択したキャラ電がテレビ電話の代替画像に設定されます。

お知らせ

- キャラ電表示中に（▲）を1秒以上押してもキャラ電をテレビ電話の代替画像に設定できます。→P95
- テレビ電話の代替画像選択でも変更できます。→『基本編』P106

キャラ電を撮影する<キャラ電撮影>

キャラ電の静止画や動画を撮影して表示させたり、保存したりすることができます。

■ キャラ電撮影画面の見かた

- マークの意味は次のとおりです。
  撮影種別
  ：動画＋音声　　：動画のみ（マイクあり）
  ：動画のみ（マイクなし）　：静止画
  ・その他のマークについて→P216、P217
- を押して、キャラ電の表示サイズを画面中央に等倍表示（等倍サイズ）／画面の幅に合わせて表示（拡大サイズ）の2とおりに切り替えることができます。

■ 撮影したキャラ電について

キャラ電を撮影した画像は、カメラで撮影した静止画や動画と同様の形式で保存されます。ただし、キャラ電の撮影サイズは、静止画・動画ともに「176×144」で変更できません。
画像ファイルの保存形式→P218、P226

静止画を撮る

1 待受画面でMENU 3 4を押し、フォルダを選択してを押す

キャラ電一覧が表示されます。

2 撮影するキャラ電を選択してを押し、撮影種別にが表示されるまでを繰り返し押す

キャラ電の静止画撮影画面が表示されます。
- 撮影画面でもキャラ電表示中と同様にキャラクタを動かしたり、アクションを切り替えたりできます。→P97
- 撮影画面でMENU 1 1を押して、キャラ電を切り替えることができます。

3 を押す

撮影確認音が鳴り静止画が撮影され、「イメージ」の「撮影画像」フォルダに保存されます。
→P245
- 撮影した静止画をすぐに確認する→P220

■ 自動保存を「しない」に設定しているとき

保存確認画面が表示されます。
- 静止画設定→P102
- 次の操作ができます。
  ：静止画を保存します。
  MENU：静止画の保存先（本体／miniSD）を切り替えます。
  ：保存せずに消去します。
  ：メールを作成します。→P127

キャラ電

キャラ電撮影

お知らせ

- キャラ電撮影画面から静止画／動画撮影を切り替える場合はMENUを押し、「撮影種別」を選択して操作します。
- キャラ電撮影画面からアクションを切り替える場合はMENUを押し、「キャラ電設定」→「アクション切替」を選択して操作します。
  キャラ電撮影画面から選択中のアクション一覧を表示する場合はMENUを押し、「キャラ電設定」→「アクション一覧」を選択して操作します。
- 撮影したキャラ電のファイルサイズがサイズ制限の設定値より大きい場合は、自動的に画質を落として設定値以下のファイルサイズにして保存されます。
  サイズ制限→P102
- ダウンロードしたキャラ電の撮影後ファイル制限が「あり」になっていると、撮影した静止画は編集、転送、メール添付できません。→P102
- 静止画撮影画面表示中に電話をかけたり、受けたりした場合は、通話終了後に静止画撮影画面には戻りません。音声通話終了後はキャラ電一覧に、テレビ通話終了後は待受画面にそれぞれ戻ります。
- 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保存されている画像を選択して削除してから、撮影した静止画を保存します。→P47
  画像の最大保存件数→P16
- 着信音量調整を「消音」に設定したり、マナーモードを設定したりすると、撮影確認音は鳴りません。

動画を撮る

1 待受画面でMENU 3 4を押し、フォルダを選択して◯を押す

キャラ電一覧が表示されます。

2 撮影するキャラ電を選択してを押し、を押して動画の撮影種別を選択する

項　目		説　明
動画+音声		キャラ電と送話口からの音声を動画として保存します。簡易リップシンク機能に対応しているキャラ電は、送話口からの音声に反応して口を動かします。
動画のみ（マイクあり）		キャラ電のみを動画として保存します。マイクは簡易リップシンク機能に対応しているキャラ電のみ有効となり、送話口からの音声に反応してキャラ電が口を動かします。ただし、音声は録音されません。
動画のみ（マイクなし）		キャラ電のみを動画として保存します。キャラ電は送話口からの音声に反応しません。

キャラ電の動画撮影画面が表示されます。

- 撮影画面や撮影中でもキャラ電表示中と同様にキャラ電を動かしたり、アクションを切り替えたりできます。→P97
- 撮影待機中にMENU 1 1を押して、キャラ電を切り替えることができます。

3 ◯を押す

撮影確認音が鳴り、撮影が開始されます。

4 を押す

撮影確認音が鳴り、撮影が終了し、その時点までに撮影した動画が「ｉモーション」の「撮影画像」フォルダに保存されます。→P270

- 撮影を一時停止するときは◯を押します。もう一度◯を押すと撮影が再開されます。
- 撮影中に動画のファイルサイズが制限値になると撮影が自動的に終了し、その時点までの動画が保存されます。
- 撮影した動画をすぐに確認する→P228

■ 自動保存を「しない」に設定しているとき

保存確認画面が表示されます。

- 動画設定→P103
- 次の操作ができます。

　（決定キー）：動画を保存します。
　MENU：動画の保存先（本体／miniSD）を切り替えます。
　（カメラキー）：保存せずに消去します。
　（iモードキー）：動画を再生します。
　（メールキー）：メールを作成します。→P127

お知らせ

- キャラ電撮影画面から静止画／動画撮影を切り替える場合はMENUを押し、「撮影種別」を選択して操作します。
- キャラ電撮影画面からアクションを切り替える場合はMENUを押し、「キャラ電設定」→「アクション切替」を選択して操作します。
  キャラ電撮影画面から選択中のアクション一覧を表示する場合はMENUを押し、「キャラ電設定」→「アクション一覧」を選択して操作します。
- 簡易リップシンク機能に対応したキャラ電は、送話口からの音声の大きさによっては正しく動作しない場合があります。
- 動画撮影画面上の時間表示はサイズ制限に達するまでの目安を示しています。キャラ電やアクションの操作により誤差が生じます。
- サイズ制限を「300Kバイト」に設定して撮影しても、キャラ電やアクションの操作によっては300Kバイト未満で撮影が終了する場合があります。
  サイズ制限→P102
- ダウンロードしたキャラ電の撮影後ファイル制限が「あり」になっていると、撮影した動画は編集、転送、メール添付できません。→P103
- 撮影中または一時停止中にFOMA端末をクローズ状態にしたりTASKを押したりすると、その時点で撮影が中止され、自動保存を「する」に設定している場合は動画が保存されます。
  撮影中または一時停止中に電話がかかってきた場合は、その時点で撮影が中止され、自動保存の設定に関わらず動画は保存されます。
- 動画撮影画面表示中に電話をかけたり、受けたりした場合は、通話終了後に動画撮影画面には戻りません。音声通話終了後はキャラ電一覧に、テレビ通話終了後は待受画面にそれぞれ戻ります。
- 動画の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保存されている動画を選択して削除してから、撮影した動画を保存します。→P109
  動画の最大保存件数→P16
- 着信音量調整を「消音」に設定したり、マナーモードを設定したりすると、撮影確認音は鳴りません。

キャラ電撮影の画質などを設定する<静止画設定・動画設定>

キャラ電を静止画または動画として撮影するときの静止画サイズや画質・品質、撮影確認音などを設定します。静止画と動画は別々に設定します。

静止画の設定をする

お買い上げ時	画質：スタンダード　サイズ制限：9000byte　撮影確認音：標準　撮影後ファイル制限：なし 自動保存：する　保存先：本体　表示サイズ：拡大

キャラ電を静止画として撮影する際の設定をします。

1 キャラ電の静止画撮影画面を表示し、MENU 4 を押す

静止画設定
画質 スタンダード
サイズ制限 9000byte
撮影確認音 標準
撮影後ﾌｧｲﾙ制限 なし
自動保存 する
保存先 本体
表示サイズ 拡大

• 操作方法→P99

項　目	説　明
画質	撮影時の画質を設定します。 • 「ファイン」が最も良い画質になります。画質が良くなるほど、静止画のファイルサイズは大きくなります。
サイズ制限	保存するファイルのサイズ制限値を設定します。 • ファイルサイズが制限値を超える場合、自動的に画質を落として制限値以下のファイルとして保存されます。
撮影確認音	撮影時の確認音を設定します。 • 選択中に音の確認ができます。
撮影後ファイル制限	撮影した静止画の編集、転送(メール添付を含む)、miniSDメモリーカードへの保存を制限するかどうかを設定します。 • あらかじめ「あり」に設定されているダウンロードしたキャラ電は、「なし」に設定し直すことはできません。 • 自端末で撮影した静止画の場合は、撮影後ファイル制限の設定に関わらずメール添付やデータ転送、miniSDメモリーカードへの保存ができます。ただし、「あり」の静止画をメール送信した場合、受け取った相手の機種によっては、受信した静止画をさらに別の相手にメール送信することはできません。
自動保存	撮影した静止画を自動保存するかどうかを設定します。 • 「する」に設定すると、撮影した静止画が設定されている保存先に自動的に保存されます。 • 「しない」に設定すると、撮影後に保存確認画面が表示され、保存を中止したり、保存先を変更したりできます。
保存先	自動保存を「する」に設定した場合の保存先を設定します。
表示サイズ	キャラ電を画面の幅に合わせて拡大表示するか、画面中央に等倍表示するかを設定します。 • 静止画撮影画面を表示したときから有効になります。

2 設定する項目を選択して◯を押し、設定する

3 ◯を押す

設定内容が登録されます。

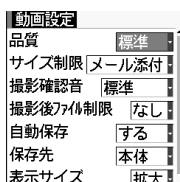
お知らせ

• 着信音量調整を「消音」に設定中やマナーモード中は、「撮影確認音」から音を選んでも、音を確認することはできません。

動画の設定をする

お買い上げ時	品質：標準　サイズ制限：メール添付　撮影確認音：標準　撮影後ファイル制限：なし 自動保存：する　保存先：本体　表示サイズ：拡大

キャラ電を動画として撮影する際の設定をします。

1 キャラ電の動画撮影画面を表示し、MENU 4 を押す

• 操作方法→P100

項　目	説　明
品質	撮影時の動画の画質や音声の品質を設定します。 • 「高品質」が最も良い品質になります。品質が良くなるほど、動画のファイルサイズは大きくなります。
サイズ制限	保存するファイルのサイズ制限値を設定します。 • 撮影中に制限値に達すると、自動的に撮影が終了します。
撮影確認音	撮影開始／終了の確認音を設定します。 • 選択中に音の確認ができます。
撮影後ファイル制限	撮影した動画の編集、転送（メール添付を含む）、miniSDメモリーカードへの保存を制限するかどうかを設定します。 • あらかじめ「あり」に設定されているダウンロードしたキャラ電は、「なし」に設定し直すことはできません。 • 自端末で撮影した動画の場合は、撮影後ファイル制限の設定に関わらずメール添付やデータ転送、miniSDメモリーカードへの保存ができます。ただし、「あり」の動画をメール送信した場合、受け取った相手の機種によっては、受信した動画をさらに別の相手にメール送信することはできません。
自動保存	撮影した動画を自動で保存するかどうかを設定します。 • 「する」に設定すると、撮影した動画が設定されている保存先に自動的に保存されます。 • 「しない」に設定すると、撮影後に保存確認画面が表示され、保存を中止したり、保存先を変更したりできます。
保存先	自動保存を「する」に設定した場合の保存先を設定します。
表示サイズ	キャラ電を画面の幅に合わせて拡大表示するか、画面中央に等倍表示するかを設定します。 • 動画撮影画面を表示したときから有効になります。

2 設定する項目を選択して◯を押し、設定する

3 [📖]を押す

設定内容が登録されます。

お知らせ

• 着信音量調整を「消音」に設定中やマナーモード中は、「撮影確認音」から音を選んでも、音を確認することはできません。

キャラ電を管理する

FOMA端末には、キャラ電をより使いやすくするためのさまざまな管理機能があります。

キャラ電の並び順を替える<ソート>

お買い上げ時	対象：保存日時　順序：降順

キャラ電一覧の並び順を変更します。

1 待受画面でMENU 3 4を押し、フォルダを選択して●を押す

キャラ電一覧が表示されます。

2 MENU 7を押す

ソート
対象　保存日時
順序　降順

項　目	説　明
対象	ソートする並び順を「管理用タイトル」「保存日時」「ファイルサイズ」から選択します。
順序	ソートの方法を「昇順」「降順」から選択します。

3 設定する項目を選択して●を押し、設定する

4 [本/時計]を押す

キャラ電が並び替わります。

お知らせ

- 管理用タイトルに全角／半角の文字が混在していると、五十音順と一致しない場合があります。

キャラ電のフォルダを作成／削除する

キャラ電を保存するフォルダを作成したり、削除したりします。

フォルダを作成する

- 最大10個作成できます。
- 固定フォルダ（→P95）のフォルダ名は変更できません。

1 待受画面でMENU 3 4を押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 MENU 1を押し、フォルダ名を入力して●を押す

- 全角・半角を問わず最大10文字入力できます。

■ フォルダ名を変更するとき

フォルダ名を変更するフォルダを選択してMENU 2を押す

3 [本/時計]を押す

フォルダが作成されます。

お知らせ

- 文字入力のしかた→『基本編』P309

キャラ電

キャラ電を管理する

フォルダを削除する

- お買い上げ時に登録されている固定フォルダ(「ｉモード」「プリインストール」)は削除できません。
- キャラ電が残ったままフォルダを削除すると、そのフォルダ内のキャラ電はすべて削除されます。

1 待受画面でMENU 3 4を押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 削除するフォルダを選択してMENU 3を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- フォルダ内にキャラ電が残ったままフォルダを削除する場合は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。

3 「はい」を選択して●を押す

フォルダが削除されます。

キャラ電を他のフォルダに移動する

保存されているキャラ電を別のフォルダに移動します。フォルダ内のすべてのキャラ電をまとめて移動することもできます。

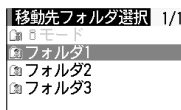
- 「プリインストール」フォルダ内のキャラ電は移動できません。

〈例〉1件移動するとき

1 待受画面でMENU 3 4を押し、フォルダを選択して●を押す

キャラ電一覧が表示されます。

2 移動するキャラ電を選択してMENU 5 1を押す

移動先フォルダ選択 1/1
ｉモード
フォルダ1
フォルダ2
フォルダ3

- フォルダ内のキャラ電を全件移動するときはMENU 5 2を押します。

3 移動先のフォルダを選択して●を押し、「はい」を選択して●を押す

キャラ電が移動します。

キャラ電を削除する

1件ずつ削除したり、フォルダ内のすべてのキャラ電をまとめて削除したりします。

1 待受画面でMENU 3 4を押し、フォルダを選択して●を押す

キャラ電一覧が表示されます。

2 削除するキャラ電を選択してMENU 6 1を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- フォルダ内のキャラ電を全件削除するときはMENU 6 2を押し、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。

3 「はい」を選択して●を押す

キャラ電が削除されます。

お知らせ

- お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトよりダウンロードすることができます。→P71

詳細情報を参照する＜詳細情報参照＞

キャラ電の詳細情報を表示します。

● 次の項目を表示できます。

・管理用タイトル※	・オリジナルタイトル	・ファイル名	・ファイル制限
・撮影後ファイル制限	・表示サイズ	・ファイルサイズ	・作成日時
・保存日時	・コメント※	・保存元	

※：詳細情報変更画面で変更できます。

1 待受画面で[MENU][3][4]を押し、フォルダを選択して[●]を押す

キャラ電一覧が表示されます。

2 詳細情報を確認するキャラ電を選択して[MENU][4][1]を押す

- [📖]を押すと詳細情報を変更できます。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  キャラ電撮影画面から操作する場合は[MENU]を押し、「詳細情報参照」を選択して操作します。

詳細情報を変更する＜詳細情報変更＞

キャラ電の詳細情報を変更します。

1 待受画面で[MENU][3][4]を押し、フォルダを選択して[●]を押す

キャラ電一覧が表示されます。

2 詳細情報を変更するキャラ電を選択して[MENU][4][2]を押す

詳細情報変更
管理用タイトル
アイ
オリジナルに戻す
コメント

項　目	説　明
管理用タイトル	端末内で管理するために必要なタイトルを設定します。設定したタイトルはキャラ電一覧に表示され、ソートなどをするときに利用されます。 • 全角・半角を問わず最大36文字入力できます。
コメント	コメントを設定します。 • 全角・半角を問わず最大100文字入力できます。

3 設定する項目を選択して[●]を押し、設定する

- キャラ電の管理用タイトルを初期化するときは「オリジナルに戻す」を選択して[●]を押します。

4 [📖]を押す

詳細情報が変更されます。

お知らせ

- 文字入力のしかた→『基本編』P309

ｉモーションを取り込む

サイトやインターネットホームページから映像や音を取り込んで再生・保存できます。FOMA端末に保存した映像や音は「ｉモーション」で再生したり、着モーション(電話着信音など)に設定したりできます。

●再生する期間や期限が設定されているｉモーションを取り込む場合には日付・時刻の設定が必要です。→『基本編』P65

●着モーションについて→『基本編』P174

サイトからｉモーションを取り込み再生する

1 取り込みたいｉモーションのあるサイトを表示し、ｉモーションを選択して◯を押す

ｉモーションが取り込まれます。

■ ストリーミングタイプのｉモーションを選択したとき

ストリーミング再生するかどうかの確認画面が表示されます。

「はい」を選択して◯を押す

- ストリーミングタイプのｉモーションを再生するにはｉモーション設定(→P110)のｉモーションタイプ設定を「標準・ストリーミングタイプ」に設定しておく必要があります。

■ データを取り込みながら再生するｉモーションのとき

受信済みのデータ量／全体のデータ量が表示されます。

<スタンダードタイプのｉモーション再生画面>

取り込みが開始されると取り込みながら再生されます。

再生中に次の操作ができます。

- [カメラ][iα]：音量調節(サイドキー[▲▼]でも操作できます)
- ◯：一時停止／再開(スタンダードタイプのみ)
- [クリア]：停止(スタンダードタイプ)
  (◯を押すと先頭から再生されます)
  中断(ストリーミングタイプ)
- [MENU]：詳細情報表示→P276
- 一時停止および停止した場合、再生は停止しますがデータの受信は継続します。
- 中断すると確認画面が表示されます。中断する場合は「はい」を選択して◯を押します。

- ストリーミングタイプのｉモーションは保存できません。再生が終了するとサイトに戻ります。

■ データを取り込んだ後に再生するｉモーション(スタンダードタイプ)のとき

取り込みが完了すると自動的に再生が開始されます。

再生中に次の操作ができます。

- [カメラ][iα]：音量調節(サイドキー[▲▼]でも操作できます)
- [右]：早送り再生(押し続けると早送りになります)
- ◯：一時停止／再開
- [クリア]：停止(サイト画面に戻ります)
- [MENU]：詳細情報表示→P276

お知らせ

- ｉモーションには、次のような種類があります。種類は取得するｉモーションごとにあらかじめ決められており、選択できません。

種　類		説　明
タイプ	再生の種類	
スタンダード（標準）タイプ（保存可※）	データを取り込みながら再生（最大300Kバイト）	ｉモーションのデータを取り込みながら再生します。取り込み完了後は、データを取り込んだ後に再生するｉモーションのときと同様に操作できます。
	データを取り込んだ後に再生（最大300Kバイト）	ｉモーションのデータをすべて取り込んだ後に再生します。
ストリーミングタイプ（保存不可）	データを取り込みながら再生（最大2Mバイト）	ｉモーションのデータを取り込みながら再生します。再生が終わったｉモーションデータは消去され、繰り返し再生したり、FOMA端末に保存することはできません。

※：スタンダードタイプのｉモーションによっては、保存できないものもあります。

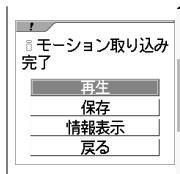
- ｉモーションには、次のような再生制限が設定されている場合があります。

種　類	説　明
再生回数制限	設定されている回数まで再生できます。FOMA端末に保存したｉモーションを再生すると再生回数がカウントされます。
再生期限制限	設定されている期限を過ぎていると再生・保存およびダウンロードできません。
再生期間制限	設定されている期間の前は保存・ダウンロードできますが再生できません。設定されている期間を過ぎているときは再生・保存およびダウンロードできません。

- ｉモーション設定の自動再生設定（→P110）を「自動再生しない」にしているときは、自動的に再生されません。ただし、ストリーミングタイプのｉモーションは設定に関わらず自動的に再生されます。
- データを取り込みながらｉモーションを再生しているときに、電波状況などにより再生ができなくなったり、停止したり、画像が乱れたりする場合があります。そのような場合でも、データの受信が正常に行われていれば受信完了後に再生できます。ただし、ｉモーションによってはデータを受信できても、正しく再生できない場合があります。
- 旧バージョンのｉモーションを取り込んだ場合は、文字化けすることがあります。
- ｉモーションのデータが不正だった場合、ｉモーションの受信が中止されることがあります。
- データを取り込みながらｉモーションを再生しているときにデータの受信待ちになり、再生が一時停止することがあります。データを受信すると自動的に再生が再開されます。
- ｉモーションのテロップ表示（再生と同時に文字が表示される）にリンク項目が設定されているものもあります。→P109
- ｉモーションの再生中にFOMA端末をクローズ状態にすると、その時点で再生が中止されます。

ｉモーションを保存する

- ストリーミングタイプや保存不可のｉモーションは保存できません。

1 サイトからｉモーションを取り込み、再生が終了する

- ｉモーションを取り込む→P107
- 「再生」を選択して◯を押すとｉモーションを再生できます。
- 「情報表示」を選択して◯を押すとｉモーションの情報を表示できます。→P276
- ｉモーションを保存しないときは「戻る」を選択して◯を押します。確認画面が表示され、「いいえ」を選択して◯を押すとサイト画面に戻ります。

「保存」を選択して◯を押す

▯モーションの保存
管理用タイトル名を 入力してください
Glass

- 管理用タイトルを設定するときは、タイトルを入力して◯を押します。全角・半角を問わず最大36文字入力できます。
- 管理用タイトルなどの保存時の情報は、「ｉモーション」の「▯モード」フォルダから参照した場合のファイルの詳細情報に反映されます。

[本/メール]を押す

ｉモーションが「ｉモーション」の「▯モード」フォルダに保存されます。→P270

- [MENU]を押すとｉモーションを待受画面などに設定できます。

■ 動画／ｉモーションの保存領域の空きが足りないとき・最大保存件数を超えるとき

FOMA端末に保存されている動画／ｉモーションを削除するかどうかの確認画面が表示されます。ｉモーションを保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き領域に達するまでFOMA端末内のｉモーションを削除します。

- 削除する前に動画／ｉモーション一覧で[本/メール]を押して動画／ｉモーションを再生したり、[MENU]を押して動画／ｉモーションの詳細情報を表示したりできます。→P270、P276
- 動画／ｉモーションの最大保存件数→P16

お知らせ

- 文字入力のしかた→『基本編』P309

テロップ中にリンクが設定されていたときは

〈例〉テロップ中のURLに接続するとき

サイトからｉモーションを取り込み、再生が終了する

リンク先に接続するかどうかの確認画面が表示されます。

- ｉモーションを取り込む→P107

「はい」を選択して◯を押す

リンク先が表示されます。

- ｉモーションのテロップ中にあるリンク項目は選択できません。

■ ｉモーションを保存するとき

ｉモーションを保存していないときには、リンク先を表示する前に保存するかどうかの確認画面が表示されます。

①「はい」を選択して◯を押す

ｉモーション保存画面が表示されます。

- 保存せずにリンク先を表示したときは、取り込んだｉモーションのデータは破棄されますのでご注意ください。

②タイトル（表示名）を設定して[本/メール]を押す

保存が完了し、リンク先が表示されます。

- 操作方法→P108

お知らせ

- テロップ中に電話番号（Phone To（AV Phone To）→P49）やメールアドレス（Mail To →P49）、サイト（Web To →P50）などのリンクが設定されていたときは、再生終了時に確認画面が表示され、それぞれの操作ができます。また、表示された電話番号やメールアドレスは電話帳に登録できます。→P52、P53
- 複数のリンク項目がある場合は、1つのリンク項目が有効になります。有効になるリンク項目は、ｉモーションによって異なります。

着モーションに利用する

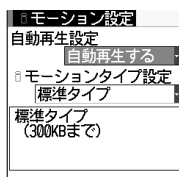
サイトなどから取り込んだｉモーションを着信音に設定すると、歌手の歌声や動画などが着信音、着信画像になります。

- 着モーションについて→『基本編』P174
- 設定方法→P274

ｉモーションを自動的に再生するかどうかを設定する<ｉモーション設定>

お買い上げ時	自動再生設定：自動再生する　ｉモーションタイプ設定：標準タイプ

受信したスタンダード（標準）タイプのｉモーションを自動的に再生するかどうかを選択したり、取り込み可能なｉモーションタイプを選択したりできます。

1 待受画面で［iα］［8］［3］を押す

項　目	説　明
自動再生設定	ｉモーションを取り込み中、または取り込み完了後に自動的に再生するかどうかを設定します。 • 「自動再生しない」に設定しても、取り込み完了後に表示される画面から手動で再生することができます。 • ストリーミングタイプのｉモーションは自動再生設定の設定に関わらず自動的に再生されます。
ｉモーションタイプ設定	取り込むｉモーションのタイプを設定します。 • ストリーミングタイプのｉモーションを再生するときは、「標準・ストリーミングタイプ」を選択します。設定していない場合はストリーミングタイプのｉモーションを取得できません。

2 設定する項目を選択して［●］を押し、設定する

3 ［電話帳］を押す

設定内容が登録されます。

お知らせ

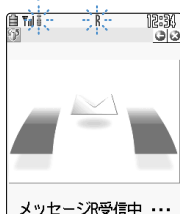
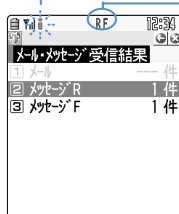
- ストリーミングタイプのｉモーションを取得するときに、ｉモーションタイプ設定を「標準・ストリーミングタイプ」に設定していない場合は、「このｉモーションを再生するためにはｉモーションタイプ設定を変更してください。今すぐ設定を行いますか？」という確認画面が表示されます。「はい」を選択して［●］を押すと、本機能の設定を変更できます。

✎ サイト表示中から操作する場合は［MENU］を押し、「表示」→「ｉモーション設定」を選択して操作します。

メッセージR/Fを自動的に受信する<メッセージR/F受信>

メッセージR/Fを受信すると画面表示や着信音、バイブレータ、着信ランプでお知らせします。受信したメッセージR/FはFOMA端末に保存されます。

1 メッセージR/Fを受信する

メッセージR/F受信中は点滅します。
点滅します。
受信完了
R：未読のメッセージRがあります。
F：未読のメッセージFがあります。
受信したメッセージR/Fの件数が表示されます。

とRまたはFが点滅し、「メッセージR受信中…」または「メッセージF受信中…」と表示されます。

メッセージR/F着信音が鳴り、着信ランプが点灯／点滅して受信結果画面が表示されます。

- メッセージ受信中画面でを押すと受信を中止できます。
- FOMA端末がクローズ状態のときは背面ディスプレイに受信状態が表示されます。→P14

■ 待受画面表示中に、自動表示設定（→P112）で設定した以外のメッセージを受信したとき、または、「表示しない」に設定してメッセージを受信したとき

受信結果画面が表示されてから約15秒間（待受画面以外で受信した場合は約3秒間）、または着信音が鳴り終わるまでの間何も操作しないでいると、自動的に受信前の画面に戻ります。早く受信前の画面に戻したいときは（クリア）を押します。

- 音声電話通話中は優先通信モード設定の設定に従って動作します。→『基本編』P170

■ 受信したメッセージR/Fをすぐに読むとき

受信結果画面で（2）～（3）を押す

メッセージR/F一覧が表示されます。→P115

■ 受信に失敗したとき

「メッセージR」「メッセージＦ」の後ろに「×」が表示されます。

■ 待受画面表示中に、自動表示設定（→P112）で設定したメッセージを受信したとき

何も操作しないでいると、受信結果画面から受信前の画面に戻る前に、設定に従って最新の未読メッセージR/Fの内容が表示されます。

- マルチタスク中は自動表示できません。

メッセージR/Fの保存領域の空きが足りないとき・最大保存件数を超えるとき

メッセージR/Fの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、古いメッセージR/Fから順に上書きされます。ただし、未読のメッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fには上書きされません。残しておきたいメッセージR/Fは保護してください。
→P116

- 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯で上書きできないときは、メッセージR/Fの受信は中止され、画面にはRやFのマークが表示されます。→P10
- メッセージR/Fの最大保存件数→P16

お知らせ

- 次のときはメッセージR/Fを自動受信しますが、受信中画面や受信結果画面は表示されず、着信音／着信ランプも動作しません。
  - ・待受以外のとき（他の機能が起動中）
  - ・オールロック中
  - ・ドライブモード中
  - ・PIMロック中

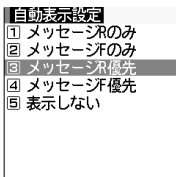
  受信したメッセージR/Fを確認するには、他の機能を終了、各ロックを解除、またはマルチタスク（オールロック、PIMロック中は利用できません）をご利用ください。
- 通話中はメッセージR/Fを受信しますが、そのときの画面は優先通信モード設定（→『基本編』P170）に従います。
- ショートメッセージ（SMS）受信中は、メッセージR/Fは受信できません。また、ショートメッセージ（SMS）の受信完了後も自動受信はされません。
- FOMA端末でメッセージR/Fを受信すると、ｉモードセンターに保管されているメッセージR/Fは削除されます。
- ｉモードセンターにメッセージR/Fが残っているときは や のマーク（→P10）が表示されます。ただし、メッセージR/Fがあっても表示されない場合もあります。また、ｉモードセンターの保管件数が満杯になったときは、マークが や に変わります。
  ｉモードセンターの保管件数→P25
- 途中で受信に失敗した場合などにメッセージR/Fを受信し直すには、メッセージR/Fのｉモード問合せ（→P114）を行ってください。ただし、メッセージR/Fが満杯のときは、あらかじめ未読メッセージR/Fの内容表示、不要メッセージR/Fの削除、保護解除などを行う必要があります。

メッセージR/Fを自動的に表示する<自動表示設定>

お買い上げ時	メッセージR優先

メッセージR/Fを受信したときに、未読のメッセージR/Fの内容を自動的に表示できます。
メッセージRとメッセージFを両方受信したときに、優先するメッセージも設定できます。

1 **待受画面で [iα] [9] [1] を押す**

自動表示設定
1 メッセージRのみ
2 メッセージFのみ
3 メッセージR優先
4 メッセージF優先
5 表示しない

2 **[1]～[5]を押す**

自動表示が設定されます。

お知らせ

- 自動表示設定をすると、メッセージR/Fの受信結果画面から受信前の画面に戻るときに、受信したメッセージR/Fの内容が自動表示されます。
- メッセージR/Fの内容は約15秒間表示されます。自動表示中にキー操作を行わなかった場合は、メッセージR/Fは未読の状態で保存されます。
- 受信結果画面からメールやメッセージR/Fの表示操作を行った場合は自動表示されません。また、ｉモード問合せでメッセージR/Fを受信したときは、自動表示されません。
- 待受画面以外からは自動表示できません。

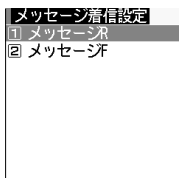
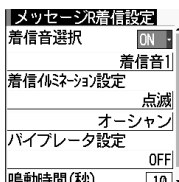
メッセージR/F着信時の動作を設定する<メッセージ着信設定>

お買い上げ時	着信音選択：ON／着信音1　着信イルミネーション設定：点滅／オーシャン バイブレータ設定：OFF　鳴動時間：10秒

メッセージR、メッセージFを受信したときの動作を設定します。

1 待受画面で i α 9 4 を押す

2 1～2を押す

メッセージR着信設定
着信音選択　ON
着信音1
着信イルミネーション設定
点滅
オーシャン
バイブレータ設定
OFF
鳴動時間(秒)　10

「メッセージR」を選択した場合

項　目	説　明
着信音選択	着信音を鳴らすかどうかと、着信音を鳴らすときのメロディを設定します。
着信イルミネーション設定	着信ランプの点灯／点滅パターンと色を設定します。 • 「メロディ連動」または「OFF」に設定すると色を選択できません。
バイブレータ設定	バイブレータの動作を設定します。 • パターンごとの振動内容→『基本編』P158
鳴動時間(秒)	着信音が鳴る時間を1～30秒の間で設定します。

3 設定する項目を選択して〇を押し、設定する

4 を押す

設定内容が登録されます。

お知らせ

- 着信イルミネーション設定やバイブレータ設定で「メロディ連動」に設定するとメロディに合わせて点灯、振動します。ただし、ダウンロードしたメロディのファイル仕様によっては連動しないことがあります。

メッセージR/Fがあるかどうかを問い合わせる<ｉモード問合せ>

圏外にいた間や電源を切っていた間にメッセージR/Fが届いていないかを、問い合わせます。

● 電波状態によってはｉモード問合せができない場合があります。

待受画面で ｉα 6 を押す

ｉモード問合せが実行されます。ｉモードセンターにメッセージR/Fが保管されていれば受信します。

- 受信結果画面の操作は自動受信時と同じです。→P111
  ただし、ｉモード問合せでメッセージR/Fを受信したときは、自動受信時とは異なり、約15秒経過しても元の画面には戻りません。メッセージR/Fを表示せずに待受画面に戻すときは クリア を2回押します。

お知らせ

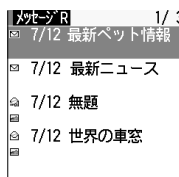
- 問い合わせを行うメッセージの種類は選択できます。→P149

受信したメッセージR/Fを見る

FOMA端末に保存されているメッセージR/Fを表示します。

● 未読の受信メッセージR/Fがあるときは待受画面にRまたはFが表示されます。FOMA端末がクローズ状態のときは、背面ディスプレイにRまたはFが表示されます。

〈例〉メッセージRを表示するとき

1 待受画面で[iα][5][1]を押す

ページ番号／全ページ数

受信日時、タイトル

● マークの意味は次のとおりです。

・状態マーク

：未読　：既読　：保護

・添付マーク

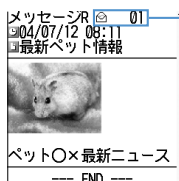
：画像　：画像＋メロディ

：メロディ　：ファイル異常

メッセージFを表示するときは[iα][5][2]を押します。

● 受信日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。

2 表示するメッセージRを選択して[●]を押す

メッセージR 01
04/07/12 08:11
最新ペット情報
ペット○×最新ニュース
--- END ---

状態マーク、添付マーク、メッセージR/F番号

● マークの意味は次のとおりです。

：受信日時　：タイトル

● [◀▶]を押すと前後のメッセージR/Fを表示できます。

お知らせ

● 添付ファイル自動再生設定（→P163）を「自動再生する」に設定している場合、メロディが添付されているメッセージR/Fを表示すると、着信音量調整（→『基本編』P83）で設定されている音量で、メロディが自動的に再生されます。再生を途中で止めるときは[クリア]を押します。

● 本文中に画像が組み込まれている場合は画像が表示されます。

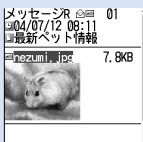
・画像をFOMA端末に取り込めます。操作方法はサイトからの画像の保存と同じです。→P46

・画像を正常に受信できなかったときは受信し直すことができます。→P116

・画像を受信できなかったときはマークが表示されます。マークはサイトで画像を表示できなかった場合と同じです。→P28

・本文中の画像は削除できません。

● 添付ファイルがある場合、詳細表示画面にマークと添付ファイル名、ファイルサイズなどが表示されます。

・添付ファイルの操作方法はｉモードメールと同じです。詳しくはそれぞれの参照先をご覧ください。

種　類	マーク	参照先
画像	：メール添付やFOMA端末外への出力可 ：メール添付やFOMA端末外への出力不可 ：画像データ異常	P154
メロディ	：メール添付やFOMA端末外への出力可 ：メール添付やFOMA端末外への出力不可 ：メロディデータ異常	P157

● 詳細表示画面から電話番号やメールアドレスを選択して電話帳に登録したりURLを選択してブックマークに登録できます。→P38、P52

● 詳細表示画面中の電話番号やメールアドレス、URLから電話をかけたり、ｉモードメールを送ったり、サイトを表示したりできます。→P49、P50

メッセージR/Fの画像を再度読み込む<再読込み>

メッセージR/Fの本文中に未受信の画像があるときに、画像を受信し直します。

- 表示・効果設定を「表示しない」に設定しているときは、再読込みを行っても画像は受信できません。→P55
- 画像によっては再読込みを行っても表示できない場合があります。

1 メッセージR/F一覧を表示する

- 操作方法→P115

2 メッセージR/Fを選択して◯を押す

メッセージR/Fの詳細表示画面が表示されます。

- 🖼は未受信のイメージデータがあることを示します。

3 画像を選択してMENU 1を押す

画像が読み込まれます。

お知らせ

- 本文中に未受信の画像がないときは、再読込みを行っても画像は受信されません。

メッセージR/Fを保護する

保存領域の空きがなくなっても上書きされないように、メッセージR/Fを保護します。

- メッセージR/Fはそれぞれ最大25件保護できます。
- 未読のメッセージR/Fは保護できません。

1 メッセージR/F一覧を表示する

- 操作方法→P115

2 保護するメッセージR/Fを選択してMENU 2 1を押す

メッセージR/Fが保護され、マークが✉から✉に変わります。

■ **保護を解除するとき**

メッセージR/F一覧で保護を解除するメッセージR/Fを選択してMENU 2 2を押す

- 保護を全件解除するときはMENU 2 3を押します。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  メッセージR/F詳細表示画面から保護する場合はMENUを押し、「保護」を選択して操作します。
  保護を解除する場合はMENUを押し、「保護解除」を選択して操作します。

メッセージR/Fを削除する

1件ずつ選択して削除したり、既読のメッセージR/FやすべてのメッセージR/Fをまとめて削除したりします。

- 保護されているメッセージR/Fは削除できません。全件削除しても保護されているメッセージR/Fは残ります。保護解除してから削除してください。

1 メッセージR/F一覧を表示する

- 操作方法→P115

2 削除するメッセージR/Fを選択し、MENU 1 1を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- 既読のみ削除するときはMENU 1 2を押します。
- 全件削除するときはMENU 1 3を押し、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。

3 「はい」を選択して●を押す

メッセージR/Fが削除されます。

お知らせ

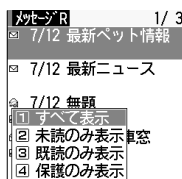
- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  メッセージR/F詳細表示画面から1件削除する場合はMENUを押し、「削除」を選択して操作します。

表示するメッセージR/Fの種別を選ぶ<表示種別>

メッセージR/F一覧に表示するメッセージR/Fの種別を選択します。

1 メッセージR/F一覧を表示する

- 操作方法→P115

2 MENU 3を押す

メッセージRの場合

3 1～4を押す

選択した表示種別で表示されます。

お知らせ

- メッセージR/F一覧の表示を終了すると「すべて表示」に戻ります。
- 「既読のみ表示」では、保護されているメッセージR/Fは表示されません。

メッセージサービス

受信したメッセージR／Fを見る

メール編

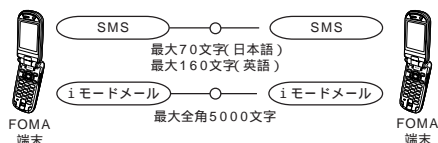
FOMA端末のメール機能について

FOMA端末では、ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）の2種類のメール機能を利用できます。

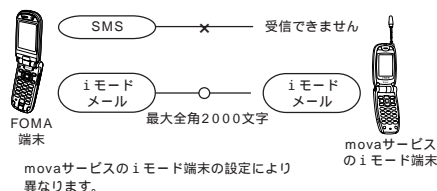
● ｉモードメールを利用するには、ｉモードのご契約が必要です。
● ショートメッセージ（SMS）は、ｉモードをご契約されていなくてもご利用いただけます。

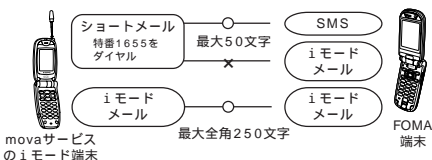
メール機能の送受信について

FOMA 端末→ FOMA 端末

ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）のどちらも使用できます（ショートメッセージ（SMS）は相手がFOMA端末の場合のみ送受信できます）。

FOMA端末→movaのｉモード端末

FOMA端末からmovaサービスのｉモード端末へのメッセージ送信にはｉモードメールを使用します。

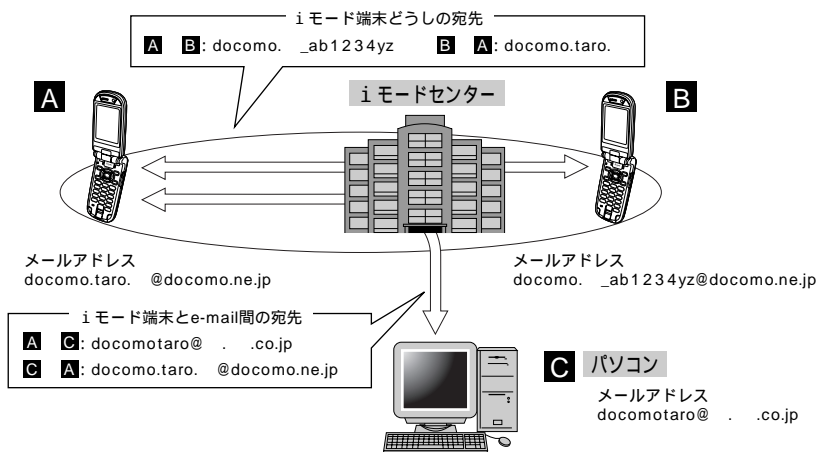
※movaサービスのｉモード端末の設定により異なります。

movaのｉモード端末→FOMA端末

movaサービスのｉモード端末から送られたｉモードメールとショートメールを受信できます。FOMA端末では、movaサービスのｉモード端末から送られたショートメールをショートメッセージ（SMS）として受信します。

※ショートメールとは、ドコモの携帯電話間で文字メッセージをやりとりできるサービスです。
・FOMA端末からショートメールを送信することはできません。特番1655をダイヤルしても送信することはできません。

ｉモードメールについて

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末（mova含む）間はもちろん、インターネットを経由してe-mailとのメールのやりとりができます。
ｉモードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

新規にｉモードをご契約の場合
@マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、ｉモード契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。
（例）abc1234～789xyz@docomo.ne.jp
●お客様のメールアドレスの確認方法（詳しくは→P165）
ｉMenu → 8オプション設定 → 1メール設定 → アドレス確認

- ｉモード端末（mova含む）間でメールをやりとりする場合は@マークより前の部分のみのアドレスで送信可能です。
- パソコンなどのe-mailからメールを受信する場合は@docomo.ne.jpも含めたアドレス全体を使用します。

・メールの送信方法→P127　・メールの受信方法→P145　・問合せ方法→P149

■ メールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、受信するｉモードメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでｉモードメールを削除したりできます。→P147

メール選択受信をご利用になるには、あらかじめメール選択受信設定を「ON」に設定する必要があります。→P148

■ メールアドレスを変更する

たとえば「docomo.△△_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの「@」より前の部分を、お好みのアドレスに変更できます。→P164

■ シークレットコードを登録する

電話番号のアドレス利用時に、メールアドレスに加えて4桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないメールは受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けられます。→P166

■ メールアドレスを電話番号にする（アドレスリセット）

メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にすることができます。→P167

■ メールアドレスを確認する

現在設定されているメールアドレスを確認できます。→P165

■ 特定のメールを受信／拒否する

以下のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限することができます。→P169

①ドメイン指定受信

- au・ボーダフォン・TU－KA・DDIポケットのうち、指定する会社からのメールの受信ができます。
- また、上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインからのメールを受信します。→P172

※ NTTドコモのｉモード・ｉショット・一定額到達通知サービス・eビリング請求額お知らせメール・M-stageビジュアルネットからのメールはすべて受信します。

②アドレス指定受信／拒否

- 受信するすべてのメールのうち指定するアドレスからのメールを受信／拒否します。→P171

③ｉモードメールのみ受信／拒否

- ｉモードどうしのメールのみ受信（インターネット経由のメールを拒否）／拒否します。→P170

④ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限

- １日に１台のｉモード端末（mova含む）から送信される200通目以降のｉモードメールを拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。→P169

⑤未承諾広告※メール拒否

- 受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信される、メール表題部の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信／拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません。（送信者はメール件名欄の最前部に未承諾広告※（全角6文字）と記載することが法律で義務づけられています。）→P169

※「ドメイン指定受信」、「アドレス指定受信」、「アドレス指定拒否」、「ｉモードメールのみ受信」、「ｉモードメールのみ拒否」は同時に設定することができません。

■ メール設定状況確認

現在設定されているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。→P173

■ メールのサイズを制限する

あらかじめ指定したサイズによって、受信するｉモードメールを制限することができます。→P168

■ メール機能を停止する

メール機能を利用されない場合、ｉモードセンターでのメール機能停止ができます。→P173

迷惑メールを防ぐために
メールアドレス変更（→P164）やメールアドレス指定受信・拒否（→P171）などの利用は、迷惑メールを防ぐのに効果的です。

送受信できる文字数

ｉモードメールで送受信できる文字数は次のとおりです。

項　目	全角文字（漢字、ひらがな、絵文字など）	半角文字（英字、数字、カタカナなど）
題名	15文字	30文字
メールアドレス	ー	50文字
本文	5000文字	10000文字

お知らせ

- ｉモードメールの本文は全角5000文字（10000バイト）まで送受信できますが、添付ファイルのデータ量により送受信できる文字数が少なくなります。
- 本文が受信できる文字数を超えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた分が自動的に削除されます。
- movaサービスのｉモード端末へｉモードメールを送信する場合、本文として送信できるのは全角で最大2000文字です。また、ｉショット以外の添付ファイルを送信した場合は、添付ファイルは削除されます。
- 題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
- ｉモード端末（mova含む）どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。正しく表示されない場合があります。

メールを受信できないとき

ｉモードセンターに届いたｉモードメールは、すぐにお客様のｉモード端末に送信されます。ただし、お客様のｉモード端末がテレビ電話中、電源が入っていない、ｉモード圏外などで受信できないとき、またはメール選択受信設定が「ON」のときは、ｉモードメールはｉモードセンターに保管されます。ｉモードセンターに保管されたメールは、一定の時間をおいて最大3回再送されます。
設定により、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールを選択して受信することができます。

お知らせ

- ｉモードセンターでのｉモードメールの最大保管件数、保管期間は次のとおりです。

	最大保管件数	最大保管期間
ｉモードメール	207～1000件 (約2Mバイトまで)	720時間

- 保管期間が超過したｉモードメールは自動的に削除されます。
- 最大保管件数は、ｉモードメールのデータサイズにより異なります。保管件数を超えた場合は、ｉモードセンターではｉモードメールを受信せず、送信者にエラーメッセージとともに返信します。このときｉモード端末には または が表示されます。→P10
  ただし、メール選択受信設定が「ON」のときは、保管件数を超えても または は表示されません。
- ｉモードセンターに保管されているｉモードメールは、ｉモード問合せ(→P149)やメール選択受信(→P147)により受信できます。また、新しいｉモードメールが届いたときは、保管されている他のｉモードメール、メッセージR/Fもあわせて受信できます。
- ｉモード端末でｉモードメールを受信するとｉモードセンターに保管されていたｉモードメールは削除されます。受信したｉモードメールはｉモード端末に保存されます。→P145
- 極端に容量の大きいｉモードメールはｉモードセンターで受け付けないことがあります。

こんなこともできます

■ ファイル添付メール

●メロディ添付メール

自分で作ったメロディや、サイト、インターネットホームページからダウンロードしたメロディファイルを、ｉモードメールに添付して送受信できます(メール添付やFOMA端末外への出力を禁止されているメロディファイルは送信できません)。

・送信する→P137　・受信したとき→P157

●画像添付メール

サイト、インターネットホームページまたは外部メモリから取得した静止画ファイルを、ｉモードメールに添付して送受信できます(メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画ファイルは送信できません。ｉショット以外の添付ファイルをmovaサービスのｉモード端末へ送信した場合は、添付ファイルは削除されます)。

・送信する→P137　・受信したとき→P154

■ｉショット送受信

自端末で撮影した静止画データを添付データとしてｉモード端末（mova含む）およびパソコンや他社携帯電話へ送受信できます。ただし、10000バイトより大きく100Kバイト以下の画像をFOMA端末やmovaサービスのｉモード端末へ送信した場合は、添付データ形式ではなく画像閲覧用URLと画像の保存期限が自動的に付与されて送信され、そのURLをクリックすることで画像を取得できます。

10000バイトより大きく100Kバイト以下の画像を送信する場合は、送信先アドレスの@マークの後に「p.」を付与してください。

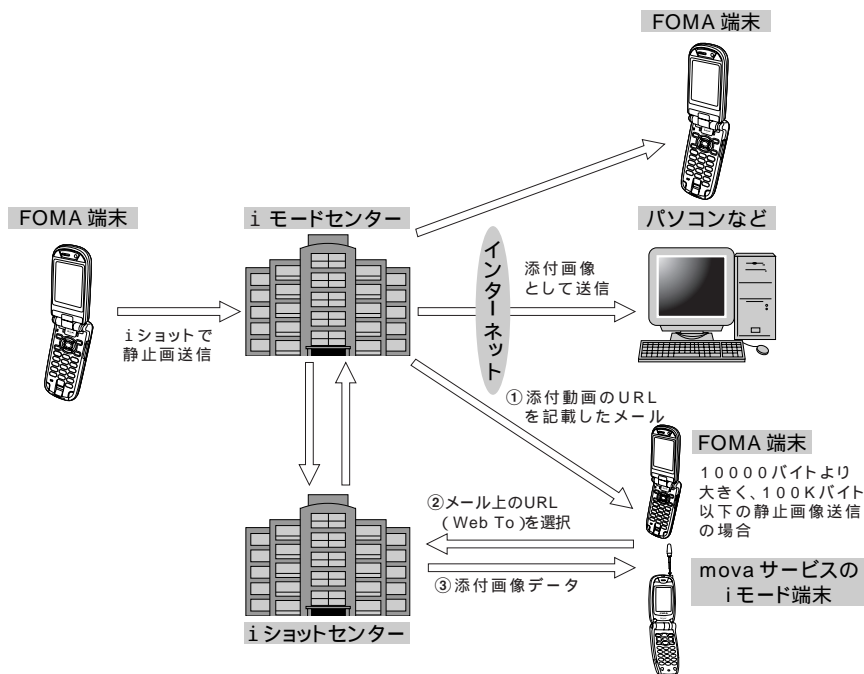
（例） 10000バイト以下の静止画像を添付する場合の送信先アドレス

docomo.taro.△△@docomo.ne.jp

10000バイトより大きい静止画像を添付する場合の送信先アドレス

docomo.taro.△△@p.docomo.ne.jp

movaサービスのｉモード端末へ送れるメール本文は最大全角184文字（369バイト）で、複数データを添付した場合添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。

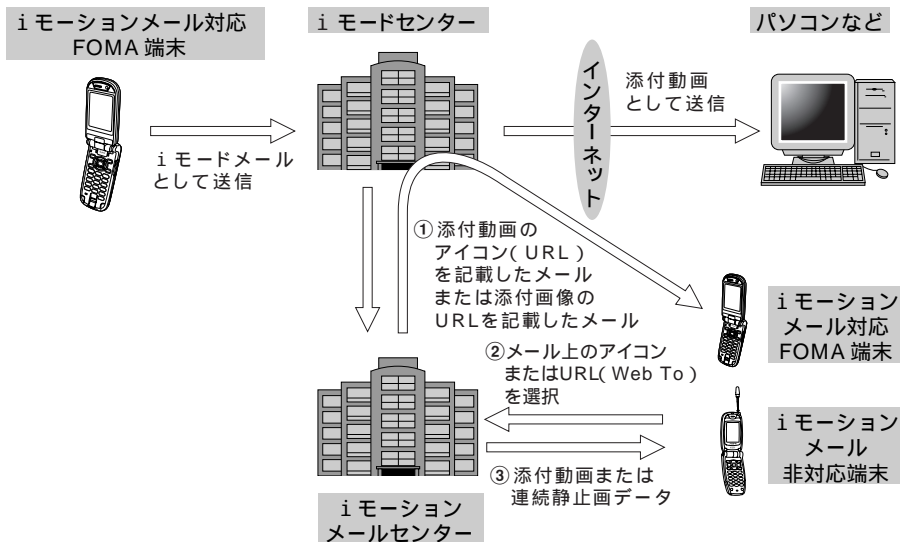
・送信する→P137

- ｉショットセンターでは最大10日間画像が保存され、保存期間経過後自動的に削除されます。

ｉモーションメールについて

ｉモーションメール対応端末で撮影した動画やサイトから取得した動画をｉモーションメールとして送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画ファイルは送信できません）。

・ｉモーションメールを送信する→P137　・ｉモーションメールを受信したとき→P160

- **サービスのしくみ**

ｉモーションメールに添付された動画ファイルはｉモーションメールセンターに送信され、そこで保存されます(送信先がパソコンなどの場合は、直接添付ファイルとして送信されます)。
ｉモーションメール対応端末での受信時は、メール内に「動画あり」と表記され、受信者は表示されているアイコンを選択して を押すことにより、動画を取り込むことができます。
ｉモーションメール非対応端末へ送信した場合は、ｉモーションが連続静止画に変換され、URLのついたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを選択すると、連続静止画を取り込むことができます。

- ｉモーションメールセンターでは最大10日間・15件まで画像を保管しています。最大保管期間を超えた場合は自動的に削除されます。

■ デコメール(デコレーションメール)

ｉモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信することができます(パソコンから装飾されたメールを受信する場合、ｉモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合があります)。

・デコメール編集方法→P130　・デコメール送信方法→P130　・対応機種　900iシリーズ

■ メール同報送信

同じｉモードメール、ｉモーションメールを、一度に5件までの宛先に送信できます。
→P129

お知らせ

- 通信料は、1通のみ送信した場合と同じです(ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます)。

■CC、BCC送受信

パソコンなどと同じように、ｉモードメール編集時に宛先をTO、CC、BCCから選択できます。ただし、TOが1件もない場合は、メールを送信できません。→P129

ショートメッセージ(SMS)について

FOMA端末間で文字メッセージをやりとりできます。

・送信方法→P175　・受信方法→P180　・問合せ方法→P181

お知らせ

- 海外からはショートメッセージ(SMS)の文字メッセージを送受信できません。

ショートメッセージ(SMS)の宛先

ショートメッセージ(SMS)の宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

送受信できる文字数

送信文字種の設定(→P209)により最大文字数が異なります。

項　目	送信文字種「日本語」	送信文字種「英語」
宛先	20文字(数字のみ)	
本文	全角・半角を問わず70文字	半角160文字※

※：半角の英数字と記号(｡｢ ｣ ､･ ﾞ ﾟ を除く)を送信できます。
記号(| ^ { } [ ] ~ \ )を入力すると送信できる文字数が少なくなります。

お知らせ

- ショートメッセージ(SMS)では題名は送信できません。
- ショートメッセージ(SMS)の本文に半角カタカナ、絵文字を使用すると、受信側で正しく表示されない場合があります。

ショートメッセージ(SMS)を受信できないときは

お客様のFOMA端末に送られてきたショートメッセージ(SMS)は、ショートメッセージセンターで受信し、すぐにお客様のFOMA端末に送信します。
ただし、お客様のFOMA端末に電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、ショートメッセージ(SMS)はショートメッセージセンターに保管されます。

お知らせ

- ショートメッセージセンターでのショートメッセージ(SMS)の最大保管期間は72時間です。送信者が保管期間を指定することもできます。→P209
- 保管期間が超過したショートメッセージ(SMS)は自動的に削除されます。
- ショートメッセージセンターに保管されているショートメッセージ(SMS)は、SMS問合せにより受信できます。→P181
- FOMA端末でショートメッセージ(SMS)を受信すると、ショートメッセージセンターに保管されていたショートメッセージ(SMS)は削除されます。受信したショートメッセージ(SMS)はFOMA端末に保存されます。→P180

こんなこともできます

■ 送達通知

送信したショートメッセージ(SMS)が相手に届いたかどうかを知らせる送達通知を受け取ることができます。→P209

■ FOMAカードへの保存

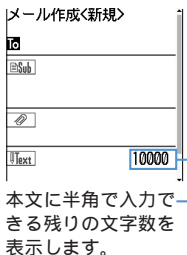
受信したショートメッセージ(SMS)や送信したショートメッセージ(SMS)をFOMAカードに保存できます。→P186

ｉモードメールを作成して送信する<新規メール>

ｉモードメールを作成して送信します。

● プライバシーモード起動中(電話帳を「認証後に表示」に設定した場合)に電話帳を利用する場合は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。→『基本編』P208

1 待受画面で を1秒以上押す

本文に半角で入力できる残りの文字数を表示します。

メール作成画面が表示されます。

■ メールの保存領域の空きが足りないとき・最大保存件数を超えるとき

ｉモードメールは作成できません。「未送信メール」から不要なｉモードメール、ショートメッセージ(SMS)を削除してください。→P194

- 未送信メールの最大保存件数→P16

2 To を選択して を押し、宛先を入力して を押す

- 半角で最大50文字入力できます。
- ｉモード端末にメールを送信するときは、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
- かな入力方式の場合、宛先によく使う「@」「.」「-」などの記号は、英字入力モード時に で入力します。また、「.co.jp」「.ne.jp」「.com」などは、英字入力モード時に で入力できます。

■ 電話帳から検索するとき

① To を選択して を押す

電話帳の検索結果の一覧が表示されます。

②送信する相手を選択して を押す

送信する相手のメールアドレス画面が表示されます。

③メールアドレスを選択して を押す

電話帳に登録した相手の名前が To に表示されます。

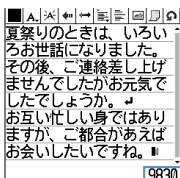
■ 相手がシークレットコードを登録しているときは

相手のｉモード端末の電話番号に続けて4桁のシークレットコードを入力します。

電話帳に相手のシークレットコードを登録している場合は、自動的にシークレットコードが付加されます。

3 Sub を選択して を押し、題名を入力して を押す

- 全角で最大15文字、半角で最大30文字入力できます。

4 Textを選択して○を押し、本文を入力して○を押す

半角で入力できる残りの文字数を表示します。

- 全角で最大5000文字、半角で最大10000文字入力できます。
- ファイルを添付しているときは入力できる文字数が減ります。
- 文中で改行することができます。かな入力方式の場合、改行するときは#を押します。
- 改行も本文の文字数に含まれます。
- 本文を装飾することもできます。→P130

■ 署名を挿入するとき

MENU 5 を押す

- 署名はあらかじめ登録しておく必要があります。→P207
- 署名の文字数も本文の文字数に含まれます。

5 ［m］を押す

ｉモードメールが送信されます。

- 送信を中止する場合は電源または○を押します。ただし、タイミングにより送信される場合があります。

お知らせ

- ｉモード端末（mova含む）どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。正しく表示されない場合があります。
- 一部の絵文字（→『基本編』P318）は、相手のｉモード端末の機種によっては正しく表示されない場合があります。
- 本文入力時に定型文を利用して顔文字やあいさつ、返事などを入力できます。→『基本編』P319
- メール編集中に他のアプリケーション（メール連動型ｉアプリや、メモ帳のMail Toなど）からメール作成を呼び出すと、作成途中のメールは未送信BOXに入ることがあります。
- 10000バイトを超えるメールが他のアプリケーションとの競合により自動保存される場合は、作成中のメールを一部保存できない場合があります。
- メールの本文入力時に、改行が含まれている定型文を挿入すると、改行は半角スペースに置き替わります。
- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 送信が正常に終了したときは、ｉモードメールが「送信メール」に保存されます。送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、古い送信メールから順に上書きされます。ただし、保護されている送信メールには上書きされません。残しておきたい送信メールは保護してください。
  →P192
  送信メールの最大保存件数→P16
- 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、ｉモードメールが「未送信メール」に保存されます。「未送信メール」からｉモードメールを表示して編集・送信できます。→P136
- 送信できていても電波状況によっては、「送信できませんでした」とエラーメッセージが表示される場合があります。
- メールアドレスが登録されている電話帳データを選択して✉を押してもｉモードメールを作成できます。
- ｉモードメールに手書きメモを添付して送信できます。→『基本編』P263
- テンプレートを利用して手早くメールを作成することもできます。→P140
- メモリ番号0～99に登録されている相手には簡単にｉモードメールを作成・送信できます（クイックメール）。→『基本編』P151
- 文字入力のしかた→『基本編』P309

複数の相手に送信する<宛先追加>

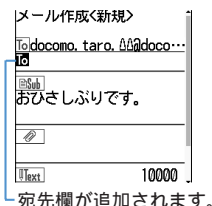
ｉモードメールを最大5人の相手に同時に送信（同報送信）することができます。

- 宛先にはTo（TO）、Cc（CC）、Bcc（BCC）の3種類があります。送信相手の宛先はToに入力します。
  - ・Ccには、直接の送信相手以外にメールの内容を知らせたい宛先を追加します。
  - ・Bccには、他の送信相手に知らせたくない宛先を追加します。Bccに入力したメールアドレスは、他の送信相手には表示されません。
- Toに宛先が1件も入力されていないメールは送信できません。
- プライバシーモード起動中（電話帳を「認証後に表示」に設定した場合）に電話帳を利用する場合は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。→『基本編』P208

〈例〉宛先にTOを追加するとき

1 ｉモードメールを作成する

- 操作方法→P127

2 [メール]を押す

宛先欄が追加されます。

宛先欄が追加されます。

- 送信する宛先数分の宛先欄ができるまで繰り返します。

■ CCを追加するとき

[MENU][6][2]を押す

電話帳の検索結果の一覧が表示されます。

- 電話帳から検索する。→P127
- 宛先を直接入力するときは電話帳一覧で[クリア]を押し、追加したCcを選択して[●]を押します。

■ BCCを追加するとき

[MENU][6][3]を押す

電話帳の検索結果の一覧が表示されます。

- 電話帳から検索する。→P127
- 宛先を直接入力するときは電話帳一覧で[クリア]を押し、追加したBccを選択して[●]を押します。

■ 追加した宛先を削除するとき

①削除する宛先を選択して[MENU][7]を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

②「はい」を選択して[●]を押す

3 追加された宛先欄に宛先を入力して送信する

- 操作方法は宛先欄が1件の場合と同じです。→P127

お知らせ

- ToとCcに入力したメールアドレスは、通常は受信側に表示されますが、受信側の端末や機器、メールソフトなどの種類によっては、表示されない場合があります。
- 送信に失敗した宛先があるときはエラーメッセージが表示されます。[●]を押すと、送信に失敗したメールアドレスの一覧が表示される場合があります。

デコメールを作成して送信する

ｉモードメールの本文の文字の大きさや背景の色などを変えたり、撮影した静止画やプリインストール画像(→P133)などを挿入することによって、自分のオリジナルメールを作成して送信することができます。装飾方法には装飾を指定してから文字を入力する方法(→P131)と、先に文字を入力し、範囲を指定してから装飾する方法(→P134)があります。
文字にかけたすべての装飾は、プレビュー機能を使って確認(→P134 操作5)することができます。

〈装飾例〉

● デコメールを非対応端末に送信した場合、装飾が削除された状態で受信します。また、「画像挿入」した画像については、FOMA端末では添付ファイルとして受信し、mova端末ではｉショットメールとして受信するか、挿入した画像が削除された状態で受信します。

デコメール作成の流れ

デコメール作成手順は次のような流れになります。

STEP1　メール作成画面から本文編集画面を表示する

ｉモードメール作成で本文を入力できる状態にします。

STEP2　装飾した文字や画像を入力する

[✉]を押し、装飾方法を選択して文字を入力します。編集中のバイト数に「約」が付いているときは、データ量は正確なバイト数ではありません。

- 編集中に[MENU][8]を押すと、装飾を確認できます。このとき画面には、入力できる残りのデータ量の正確なバイト数が表示されます。

STEP3　装飾を確認し送信する

メール作成画面で装飾を確認します。

- 画面には、入力できる残りのデータ量の正確なバイト数が表示されます。

装飾を指定してから文字を入力する

装飾をあらかじめ指定してから文字を入力します。

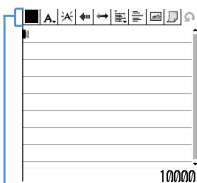
- メール本文の入力画面で(MENU)を押し、「デコレーション」を選択して◯を押しても同様に操作できます。

1 メール作成画面を表示する

- 操作方法→P127

2 Textを選択して◯を押す

本文編集画面が表示されます。

3 (✉▼)を押す

マークが選択できます。

項　目	説　明
■(文字色)	文字およびライン(罫線)挿入時の色を変更します。
A(文字サイズ)	文字サイズを変更します。
(点滅設定)	文字を点滅して表示します。一定時間がたつと点滅は自動的に停止します。
(テロップ)	文字を流して表示(テロップ表示)します。一定時間がたつと動作は自動的に停止します。
(スウィング)	文字を左右に揺らして表示(スウィング表示)します。一定時間がたつと動作は自動的に停止します。
(文字位置)	文字および画像挿入時の表示位置を変更します。
(ライン挿入)	ライン(罫線)を挿入します。
(画像挿入)	画像を挿入します。アニメーションなど動作のある画像の場合、一定時間がたつと動作は自動的に停止します。
(背景色)	本文の背景色を変更します。
(元に戻す)	1つ前の状態に戻します。

4 装飾方法を選択して文字を入力する

マークを選んで◯を押すことで、選択状態になります。
複数のマークを選択状態にすることで、複数の装飾をかけることができます。点滅設定、テロップ、スウィングの場合、もう一度マークを選んで◯を押し、マークを選択されていない状態に戻すと装飾が解除されます。

- 他の装飾をするときは操作3に戻ります。

■ 文字色を変更するとき(装飾例❶)

①(◁▷)を押し、■を選択して◯を押す

- 20色から選択できます。

②文字色を選択して◯を押し、文字を入力する

- 絵文字の文字色も変更されますが、通常の絵文字の文字色で入力したいときは「指定なし」を選択します。
- 変更した絵文字の文字色は元の色に戻すことができます。→P134　操作3

■ 文字のサイズを変更するとき(装飾例❷)

①◁▷を押し、A.を選択して◯を押す

- 「大」「標準」「小」から選択できます。

②文字サイズを選択して◯を押し、文字を入力する

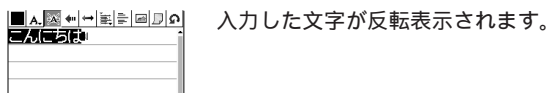
<「大」にしたとき>

■ 文字を点滅させるとき(装飾例❸)

①◁▷を押し、☆を選択して◯を押す

文字の点滅が設定されます。

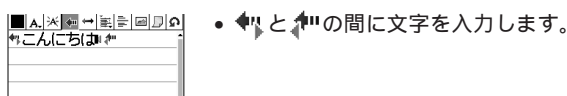
②文字を入力する

入力した文字が反転表示されます。

■ 文字をテロップにして右から左へ動かすとき(装飾例❹)

①◁▷を押し、⇐を選択して◯を押す

文字が右から左へ流れて動くように設定されます。

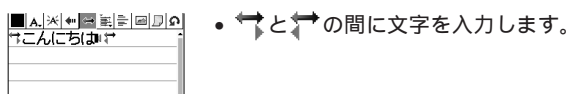
②文字を入力する

- ⇐と⇐の間に文字を入力します。

■ 文字を左右にスウィングさせて動かすとき(装飾例❺)

①◁▷を押し、⇔を選択して◯を押す

文字が左右に往復して動くように設定されます。

②文字を入力する

- ⇔と⇔の間に文字を入力します。

■ 文字の表示位置を変更するとき(装飾例❻)

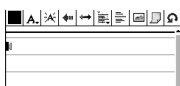
①◁▷を押し、≡を選択して◯を押す

- 「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」から選択できます。

②文字の表示位置を選択して◯を押し、文字を入力する

<「右寄せ」にしたとき>

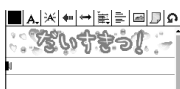
■ ライン(罫線)を挿入するとき(装飾例⑦)

を押し、を選択してを押す

■(文字色)で指定されている色でライン(罫線)が挿入されます。

■ 画像を挿入するとき(装飾例⑧)

①を押し、を選択してを押す

「イメージ」のフォルダ一覧が表示されます。

②フォルダを選択してを押し、画像を選択してを押す

(文字位置)で指定されている位置に画像が挿入されます。

- 動画/iモーションやファイルサイズが添付可能なデータ量を超える画像は選択できません。

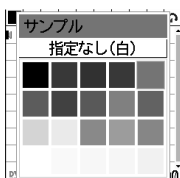
- 「プリインストール」フォルダからは次の画像が選択できます。

※:点線枠は入りません。

■ 本文の背景色を変更するとき(装飾例⑨)

①を押し、を選択してを押す

- 20色から選択できます。

②背景色を選択してを押す

■ 装飾を1つ前の状態に戻すとき

を押し、を選択してを押す

最後に行った装飾のみが解除されます。

5 [MENU][8]を押し、装飾を確認する

設定した装飾と、入力できる残りのデータ量の正確なバイト数を確認できます。

■ 装飾を変更するとき

[MENU][1][8]を押し、開始位置にカーソルを合わせて[ ]を押す

以降の操作は「範囲を指定してから文字を装飾する」の操作4以降と同じです。→下記

■ 装飾をすべて解除するとき

[MENU][1][9]を押す

装飾がすべて解除されます。

6 確認が終わったら[ ]を押し、[ ]を押す

メール作成画面に戻ります。

- 操作5で確認した、入力できる残りのデータ量の正確なバイト数が表示されます。

7 [ ]を押す

デコメールが送信されます。

範囲を指定してから文字を装飾する

メール本文に既に入力されている文字や、既に装飾されている文字の、装飾の変更を行います。

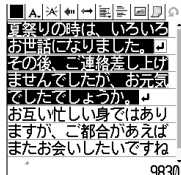
- メール本文の入力画面で[MENU]を押し、「デコレーション」→「デコレーション変更」を選択しても同様に操作できます。
- 装飾の変更時はライン挿入、画像挿入、背景色は操作できません。

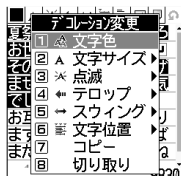
1 メール作成画面を表示する

- 操作方法→P127

2 [Text]を選択して[ ]を押す

本文編集画面が表示されます。

3 装飾する文字範囲の開始位置にカーソルを合わせて[ ]を押す

- カーソルを文頭に移動するときは[MENU]を押します。
- カーソルを文末に移動するときは[ ]を押します。
- 文章すべてを選択するときは[ ]を押し、操作5に進みます。

4 装飾する文字範囲の終了位置にカーソルを合わせて[ ]を押す

5 装飾方法を選択する

■ 文字色を変更するとき

1を押し、文字色を選択して●を押す

文字色が変更されます。

- 装飾により挿入されているライン（罫線）の色も変更できます。

■ 文字のサイズを変更するとき

2を押し、1～3を押す

文字のサイズが変更されます。

■ 文字を点滅させるとき

3を押し、1～2を押す

- 点滅を解除するときは、2を押します。

■ 文字をテロップにして右から左へ動かすとき

4を押し、1～2を押す

- テロップの設定を解除するときは、2を押します。

■ 文字を左右にスウィングさせて動かすとき

5を押し、1～2を押す

- スウィングの設定を解除するときは、2を押します。

■ 文字の表示位置を変更するとき

6を押し、1～3を押す

文字の表示位置が変更されています。

- 装飾により挿入されている画像の表示位置も変更できます。

6 ●を押してデコレーション操作を解除し、●を押す

メール作成画面に戻ります。

- 入力できる残りのデータ量の正確なバイト数が表示されています。

7 📖を押す

デコメールが送信されます。

お知らせ

- 装飾の確認や解除方法は、装飾を指定して文字を入力する場合と同じです。→P134
- デコメールの本文編集画面でバイト数表示に「約」が付く場合は、本文のデータ量が正確に表示されていません（「約」が付いていないときは正確なデータ量が表示されています）。本文編集画面でMENU 8を押すと、画面の右下に入力できる残りのデータ量の正確なバイト数が表示されます。
- 点滅、テロップ、スウィング、アニメーションなどを挿入して、メール作成画面や本文編集画面から装飾を確認した場合、その動作は一定時間がたつと自動的に停止します。
- デコメール対応FOMA端末以外からメール（パソコンなどのHTMLメール）を受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。
- 「画像挿入」「ライン挿入」「背景色」の装飾については「デコレーション変更」では表示されません。
- 文字入力のしかた→『基本編』P309

作成中のｉモードメールを保存しておき、あとで送信する

作成途中のｉモードメールを送信せずに保存したり、保存したｉモードメールを再編集して送信したりできます。

作成中のｉモードメールを保存する

作成途中のｉモードメールを、送信せずに保存しておきます。

1 ｉモードメールを作成する

- 操作方法→P127

2 MENU 2 を押す

ｉモードメールが「未送信メール」に保存されます。

- 題名、宛先、本文のいずれも入力されていない場合は保存できません。ただし、添付ファイルを付けた場合は、他の項目を入力していなくても保存できます。

お知らせ

- 未送信メールの最大保存件数→P16

送信・保存したｉモードメールを編集・送信する

送信済みのｉモードメールや、送信せずに保存したり送信に失敗したりしたｉモードメールを、編集・送信できます。

〈例〉未送信メールを再編集するとき

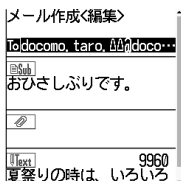
1 待受画面で 4 を押す

フォルダ一覧が表示されます。

- 送信メールのときは 5 を押します。

2 フォルダを選択して を押す

未送信メール一覧が表示されます。

3 編集するｉモードメールを選択して を押す

- 送信済みのメールを再編集するときは、編集するｉモードメールを選択して を押します。

4 ｉモードメールを編集して送信する

- 操作方法→P127

お知らせ

- 未送信メール一覧や送信メール一覧（→P143）で MENU 1 を押しても、メール編集画面が表示されます。
- 添付ファイル自動再生設定（→P163）で添付メロディを「自動再生する」に設定している場合、メロディが添付されている送信メールを表示すると、着信音量調整（→『基本編』P83）で設定されている音量で、メロディが自動的に再生されます。再生を途中で止めるときは クリア を押します。
- 文字入力のしかた→『基本編』P309

静止画やメロディ、動画／ｉモーションを添付して送信する<添付ファイル>

ｉモードメールに静止画やメロディを添付して送信します。また、FOMA端末で撮影した動画などを添付して、ｉモーションメールとして送信できます。

● 添付可能なファイルは次のとおりです。

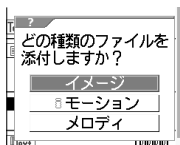
項　目	メロディ	10000バイト以内の静止画	10000バイトを超える静止画※1	動画／ｉモーション※2
1件のメールに添付可能な最大件数	10件※3		1件※4	
添付ファイルの条件	ファイルによっては添付不可	パラパラマンガ、連写画像は添付不可	静止画（JPEG）のみ添付可能	再生制限が設定されているものは添付不可

※1：パソコンや他社携帯電話などに送信できます。ただし、ｉモード端末に送る場合は宛先のアドレスを変更（@マークの後に「p.」を付けます）して送信します。
※2：ｉモーションメール非対応端末に送信した場合、相手端末はURL付きのメールとして受信します。
※3：静止画とメロディを合計最大10件、メール本文を含め最大10000バイト添付できます。ただし、添付ファイルのサイズによっては、添付可能な最大件数は少なくなります。
※4：最大100Kバイトの静止画もしくは動画／ｉモーションの、どちらか1件のみ添付できます。

● 手書きメモは静止画として添付することができます。→『基本編』P263
● 本文（添付したメロディ・静止画を含む）の残りのデータ量が全角100文字（半角200文字）（デコメールでは全角200文字（半角400文字））分未満の場合は、動画／ｉモーション、10000バイトを超える静止画を添付できません。
● メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイル（自端末でファイル制限を「あり」に設定した画像を除く）、FOMAカード動作制限機能が設定されているファイル、およびMFi形式のメロディファイルは添付できません。
● movaサービスのｉモード端末には、JPEG形式の静止画（最大100Kバイト）1枚のみ添付できます。その場合、相手端末はURL付きのメール（ｉショットメール）として受信します。その際送信できるメール本文の文字数は全角で最大184文字（369バイト）です。それ以外の添付ファイルは受信メールから削除されます。

1 メール作成画面を表示する

- 操作方法→P127

2 [添付]を選択して[決定]を押す

3 添付するファイルの種類を選択する

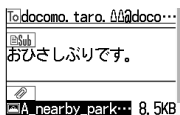
■ 静止画を添付するとき

①「イメージ」を選択して[決定]を押し、フォルダを選択して[決定]を押す

画像一覧が表示されます。

静止画を選択して[表示]を押すと静止画を表示できます。一覧に戻るには[クリア]を押します。

- 添付できない静止画は表示されません。

②静止画を選択して[決定]を押す

メール作成画面の添付欄に選択した静止画が表示されます。

- 「ファイル名」（→P251）で添付されます。

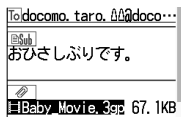
■ 動画／ｉモーションを添付するとき（ｉモーションメール）

①「ｉモーション」を選択して◯を押し、フォルダを選択して◯を押す

動画／ｉモーション一覧が表示されます。

動画／ｉモーションを選択して［ｉ］を押すと動画／ｉモーションを再生できます。一覧に戻るには［クリア］を押します。

- 添付できない動画／ｉモーションを選択して◯を押すと、その動画は選択できない旨のメッセージが表示されます。

②動画／ｉモーションを選択して◯を押す

メール作成画面の添付欄に選択した動画／ｉモーションが表示されます。

- 「ファイル名」（→P276）で添付されます。

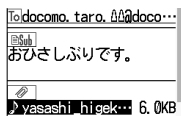
■ メロディを添付するとき

①「メロディ」を選択して◯を押し、フォルダを選択して◯を押す

メロディ一覧が表示されます。

メロディを選択して［ｉ］を押すとメロディを再生できます。一覧に戻るには［クリア］を押します。

- 添付できないメロディを選択して◯を押すと、そのメロディは選択できない旨のメッセージが表示されます。

②メロディを選択して◯を押す

メール作成画面の添付欄に選択したメロディが表示されます。

- 「ファイル名」（→P292）で添付されます。

4 ［ｉ］を押す

ｉモードメールが送信されます。

お知らせ

- メロディを送信する場合、受信側がFOMA F900iT、F900i以外の場合は受信したメロディを正しく再生できないことがあります。
- メールに添付されたｉモーションをパソコンなどで再生する場合は、対応のソフトが必要となります。詳しくはドコモのホームページをご覧ください。→P393

添付ファイルを変更／解除する

添付ファイルを変更したり、解除したりします。

〈例〉添付ファイルを解除するとき

1 メール作成画面を表示する

• 操作方法→P127

2 解除する添付ファイルを選択して[✉▼]を押す

解除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 添付ファイルを変更するとき

①メール作成画面を表示し、変更する添付ファイルを選択して[▲📷]を押す

添付するファイルの種類を選択する画面が表示されます。

②ファイルを添付する操作を行う

添付ファイルが変更されます。

• 操作方法→P137

3 「はい」を選択して[●]を押す

添付ファイルが解除されます。

メールテンプレートを利用する

メールテンプレートは、本文の先頭に同じ文章を入れたり、類似の内容を何度も送信したりするために、あらかじめｉモードメールの内容を登録しておく機能です。メールテンプレートを呼び出して内容を追加・修正するだけで、簡単にｉモードメールを作成できます。

- お買い上げ時は次のテンプレートが登録されています。

題　名	本　文
遅れます	お約束の時間に、少し遅れます。
到着します	まもなく到着しますので、しばらくお待ちください。
直行します	お疲れさまです。本日は直行しますので宜しくお願い致します。
帰ります	仕事が終わったので、今から帰ります。
至急!!	お忙しいとは思いますが、至急ご連絡ください。

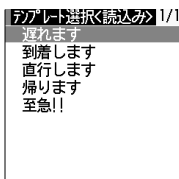
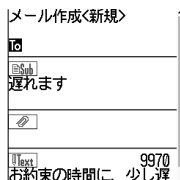
- 作成したテンプレートを登録することもできますが、その場合はお買い上げ時に登録されているテンプレートに上書きすることになります。
- ショートメッセージ（SMS）には使用できません。
- ダイヤル発信制限中は、テンプレートを読み込むことはできません。

メール作成時にテンプレートを使う<テンプレート読込み>

新規メールを作成するときに読み込んで使用します。

1 メール作成画面を表示する

• 操作方法→P127

2 MENU 5 1 を押す

3 読み込むテンプレートを選択して●を押す

テンプレートの内容がメール作成画面に設定されます。

4 内容を追加・修正して送信する

• 操作方法→P127

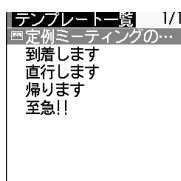
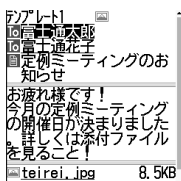
お知らせ

- 既にメール本文を入力したメール作成画面からテンプレートの読み込みを行うと、現在入力中のメールを保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して◯を押すと、入力済みの内容は未送信BOXに保存され、選択したテンプレートの内容がメール作成画面に設定されます。
- 1件のメールに複数のテンプレートを読み込むことはできません。
- デコメールには、テンプレートを読み込むことはできません。

テンプレートを表示してメールを作成する

登録されているテンプレートを一覧表示し、内容を確認してメール作成画面に設定します。

- プライバシーモード起動中(メールを「認証後に表示」に設定した場合)は、4〜8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。→『基本編』P208

1 待受画面で[✉][8]を押す

2 表示するテンプレートを選択して◯を押す

詳細表示画面が表示されます。

- 詳細表示画面で[◀][▶]を押すと前後のテンプレートを表示できます。

3 [📖]を押す

テンプレートの内容がメール作成画面に設定されます。

お知らせ

- 添付ファイル自動再生設定(→P163)で添付メロディを「自動再生する」に設定している場合、メロディが添付されているテンプレートを表示すると、着信音量調整(→『基本編』P83)で設定されている音量で、メロディが自動的に再生されます。再生を途中で止めるときは[クリア]を押します。

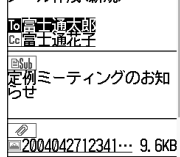
テンプレートの内容を変更する<テンプレート登録>

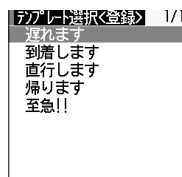
題名、宛先、本文、添付ファイルのうち登録する項目を設定して、既存のテンプレートの内容を変更します。複数宛先も登録できます。また、登録したテンプレートはお買い上げ時の状態に戻すことができます。

- テンプレートは5件登録できます。
- ｉモーション、10000バイトを超える静止画はテンプレートに登録できません。

1 メール作成画面を表示する

- 操作方法→P127

2 テンプレートに登録する内容を設定する

- 題名に何も入力しない場合、題名は「無題」と登録されます。

3 MENU 5 2 を押し、「はい」を選択して ● を押す

4 変更するテンプレートを選択して ● を押す

テンプレートの内容が変更されます。

テンプレートをお買い上げ時の状態に戻す

1 待受画面で ✉▼ 8 を押す

テンプレート一覧が表示されます。

2 初期化するテンプレートを選択して MENU 2 1 を押す

お買い上げ時の状態に戻すかどうかの確認画面が表示されます。

- すべてのテンプレートをお買い上げ時の状態に戻すときは MENU 2 2 を押し、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。

3 「はい」を選択して ● を押す

テンプレートがお買い上げ時の状態に戻ります。

お知らせ

- テンプレートの詳細表示中にテンプレートをお買い上げ時の状態に戻す場合は MENU を押し、「初期化」を選択して操作します。

送信・未送信のｉモードメールを見る＜送信・未送信メール＞

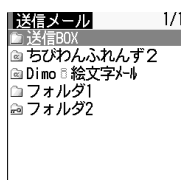
送信したｉモードメールは「送信メール」に保存されます。送信せずに保存したり送信に失敗したりしたｉモードメールは「未送信メール」に保存されます。

● プライバシーモード起動中は、メールのプライバシーモード設定の内容により、フォルダ一覧やフォルダが表示されません。→『基本編』P208

・「認証後に表示」にしている場合、フォルダ一覧を表示させるには、4〜8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要です。

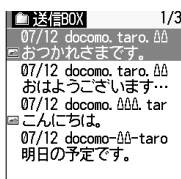
・「指定フォルダを非表示」にしている場合は、フォルダ設定（→P190）のプライバシーを「ON」に設定しているフォルダは表示されません。
送信・未送信メールの各フォルダ一覧画面で(クリア)を1秒以上押し、4〜8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行うことにより、一時的にプライバシーモードを解除し、フォルダを表示することができます。

〈例〉送信メールを表示するとき

1 待受画面で(✉▼)(5)を押す

送信メール 1/1 ― ページ番号／全ページ数
送信BOX
ちびわんふれんず2
Dimo 絵文字ﾒｰﾙ
フォルダ1
フォルダ2

● マークの意味は次のとおりです。
（グレー）：メールなし
（ブルー）：メールあり
：プライバシーON
：メール連動型ｉアプリで利用

● 未送信メールを表示するときは(✉▼)(4)を押します。

2 フォルダを選択して(●)を押す

フォルダ名、ページ番号／ページ数
送信日時、宛先、題名

● マークの意味は次のとおりです。
・状態マーク
マークなし：未保護　：保護
：メール連動型ｉアプリで利用されるメール
・添付ファイル
：10000バイト以内の静止画
：メロディ
：10000バイト以内の静止画＋メロディ
：ｉモーション
：10000バイトを超える静止画
※ｉモーションまたは10000バイトを超える静止画が添付されているときは、10000バイト以内の静止画やメロディの添付を示すマークは表示されません。

● 宛先が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。→P151

● 送信日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。

● メール一覧の表示方法を選択できます。→P194

● メール連動型ｉアプリフォルダを選択して(●)を押すと、対応するソフトが起動します。→P68

■ メール連動型ｉアプリフォルダに保存されているメールをソフトを起動せずに表示するとき

メール連動型ｉアプリフォルダを選択して(MENU)(1)を押す

3 表示するｉモードメールを選択して○を押す

送信済メール 1/ 9
04/07/12 07:11
To docomo.taro.ΔΔ@doco…
Cc docomo-ΔΔ-taro.□□□@…
おつかれさまです。
感想、ご意見はdocomotaro@ΔΔ.□□□.co.jpまで連絡を。 レポートの詳細はhttp://www.ΔΔΔΔΔΔΔΔ.ne.jp/2003/index.htmlをクリック。 好天に恵まれずはら

状態マーク、添付ファイル／SMSマーク、メール番号／件数

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：送信日時
  - To：宛先(TO)　Cc：宛先(CC)　Bcc：宛先(BCC)
  - ：題名
- 送信メールでは文字サイズを選択できます。→P197
- 未送信メール一覧からメールを選択して○を押すと、メール編集画面が表示されます。→P136

お知らせ

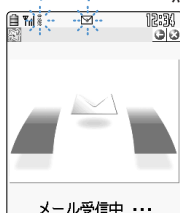
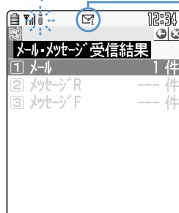
- 送信・未送信メールの最大保存件数→P16
- メール連動型ｉアプリを削除した場合でも、それに対応したメールフォルダが残っていればメールを表示できます。
- 添付ファイルがある場合、詳細表示画面にマークと添付ファイルなどが表示されます。詳しくはそれぞれの参照先をご覧ください。

種　類	マーク	参照先
静止画	：10000バイト以内	P154
	：10000バイトを超過	－
静止画＋メロディ	：10000バイト以内	P154、157
メロディ	♪	P157
ｉモーション		P160

- 詳細表示画面から電話番号やメールアドレス、URLを選択して電話帳に登録したり、URLを選択してブックマークに登録したりできます。→P200、P201
- 詳細表示画面の電話番号やメールアドレス、URLから電話をかけたり、ｉモードメールを送ったり、サイトを表示したりできます。→P49、P50
- 送信日時・保存日時の表示には日付・時刻の設定が必要です。→『基本編』P65
- 送信、未送信ショートメッセージ(SMS)の見かた→P178

ｉモードメールを自動的に受信する<メール自動受信>

ｉモードメールが送信されてきたときは自動的に受信し、画面表示や着信音、バイブレータ、着信ランプでお知らせします。受信したｉモードメールは「受信メール」に保存されます。

1 ｉモードメールを受信する

と が点滅し、「メール受信中…」と表示されます。

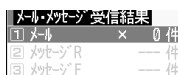
メール着信音が鳴り、着信ランプが点灯／点滅して受信結果画面が表示されます。

- メール受信中に を押すと受信を中止できます。
- FOMA端末がクローズ状態のときは、背面ディスプレイに受信状態が表示されます。→P14
- 受信結果画面が表示されてから約15秒間（待受画面以外で受信した場合は約3秒間）、または着信音が鳴り終わるまでの間何も操作しないでいると、自動的に受信前の画面に戻ります。早く受信前の画面に戻したいときは（クリア）を押します。
- 音声電話通話中は優先通信モード設定の設定に従って動作します。→『基本編』P170

■ 受信したｉモードメールをすぐに読むとき

受信結果画面で または（1）を押す

フォルダ一覧が表示されます。→P150

■ 受信に失敗したとき

「メール」の後ろに「×」が表示されます。

受信メールの保存領域の空きが足りないとき・最大保存件数を超えるとき

受信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、古い受信メールから順に上書きされます。ただし、未読メールと保護されているメールには上書きされません。残しておきたい受信メールは保護してください。→P192

- 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、ｉモードメールの受信は中止され、画面には や のマークが表示されます。→P10
- 受信メールの最大保存件数→P16

お知らせ

- 新しいｉモードメールが届いたときには、ｉモードセンターで保管している他のｉモードメールもあわせて受信します。
- メール選択受信設定を「ON」に設定すると、メールを自動的に受信せずに、必要なメールだけを選択して受信できます。→P147、P148
- 極端に容量の大きいｉモードメールは、ｉモードセンターで受け付けずに送信者に返信されることがあります。
- ｉモードメールではメロディや静止画を添付ファイルとして送受信できます。対応していない添付ファイルはｉモードセンターで削除されます。添付ファイルが削除された場合は、題名の下に[添付ファイル削除]のメッセージが追加されます。
- 受信可能なデータ量（添付可能なデータ量）を超えた添付ファイルは、ｉモードセンターで削除されます。添付可能なデータ量→P137
- ｉモーションメールを受信した場合は、動画／ｉモーションデータはｉモーションメールセンターに保存されます。
- 次のときはメールを自動受信しますが、受信中画面や受信結果画面は表示されず、着信音／着信ランプも動作しません。
  - ・待受以外のとき（他の機能が起動中）　・オールロック中　・ドライブモード中
  - ・PIMロック中　・カメラ撮影中　・スケジュールおよび目覚ましアラーム中
  - ・ｉアプリ待受画面でクリアを押してソフトの画面に切り替えているとき

  受信したメールを確認するには、他の機能を終了、ソフトを終了してｉアプリ待受画面へ切り替え、アラームを中断、各ロックを解除、またはマルチタスク（オールロック、PIMロック中は利用できません）をご利用ください。
- プライバシーモード起動中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）に自動受信したメールが、フォルダ設定のプライバシーが「ON」（→P190）のフォルダにすべて保存された場合は、受信結果画面は表示されず、着信音／着信ランプも動作しません。
- フォルダ設定のプライバシーが「ON」のフォルダに受信されたメールは、未読件数としてカウントされません。
- FOMA端末内の電話帳にメール着信設定のある相手からｉモードメールを受信した場合は、その設定に従って動作します。

  電話帳との照合は次のように行われます。
  - ・メールアドレスが完全に一致した場合だけ名前が表示されます。ｉモード端末のメールアドレスの場合、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録していると、@より前の部分が一致しても名前は表示されません。ただし、電話番号@docomo.ne.jpの相手からメールを受信した場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録していても、@より前の部分が一致すれば、名前が表示されます。
  - ・複数のｉモードメールを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメールに設定されている条件に従いメール着信音や着信バイブレータ、着信ランプが動作します。
  - ・シークレット属性を設定した電話帳データにメールアドレスが登録されている場合は、シークレットモード中だけ有効です。
  - ・プライバシーモード起動中（電話帳を「認証後に表示」に設定した場合）は、登録されている相手の名前は表示されず、登録されている着信音やバイブレータなども動作しません。→『基本編』P208
- ショートメッセージ（SMS）受信中にｉモードメールは受信できません。また、ショートメッセージ（SMS）の受信完了後も自動受信はされません。
- 通話中にｉモードメールを受信したときの画面は、優先通信モード設定（→『基本編』P170）に従います。
- FOMA端末でｉモードメールを受信すると、ｉモードセンターのｉモードメールは削除されます。
- ｉモードメールを自動受信できないときは、ｉモードメールセンターに保管されます。保管されたメールは一定の時間をおいて最大3回再送されます。
- ｉモードセンターにｉモードメールが残っているときは、やのマーク（→P10）が表示されます。ただし、ｉモードメールがあっても表示されない場合もあります。また、ｉモードセンターの保管件数（→P123）が満杯になったときは、マークがやに変わります。

  途中で受信に失敗した場合などにｉモードメールを受信し直すには、ｉモード問合せ（→P149）またはメール選択受信（→P147）を行ってください。ただし、受信メールが最大保存件数まで達しているときは、あらかじめ未読メールの内容表示（→P150）、不要メールの削除（→P193）、保護解除（→P192）などを行う必要があります。
- 自分宛てのｉモードメールは送信直後に自動受信できない場合があります。ｉモード問合せ（→P149）を行ってください。
- TO、CC、BCCを設定できる相手からのメールを受信した場合、自分がTO、CC、BCCのどれに当てはまるかを確認することができます。→P151

ｉモードメールを自動受信しないようにする＜メール選択受信＞

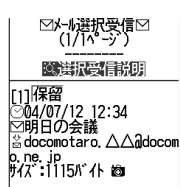
ｉモードセンターに保管されているｉモードメールを自動受信せず、選択して受信するように設定します。

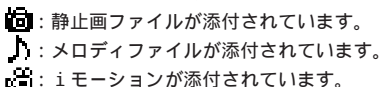
必要なメールだけを選択して受信する＜メール選択受信＞

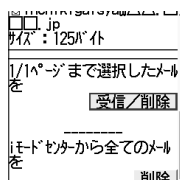
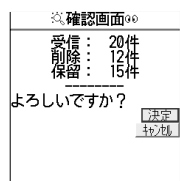
ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、必要なメールだけを選択して受信します。不要なｉモードメールを受信せずに削除することもできます。

- メール選択受信を利用するには、あらかじめメール選択受信設定を「ON」に設定しておく必要があります。→P148
- メール選択受信設定を「ON」に設定した場合でも、ｉモード問合せを行うと全メールを受信しますので、不要なメールを受信したくない場合には、問合せの項目からメールを外しておいてください。→P149

1 待受画面で［✉▼］［6］［3］を押す

✉ﾒｰﾙ選択受信✉
（1/1ﾍﾟｰｼﾞ）
選択受信説明
[1]保留
04/07/12 12:34
明日の会議
docomotaro.△△@docomo.ne.jp
ｻｲｽﾞ：1115ﾊﾞｲﾄ

ｉモードに接続され、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールが一覧表示されます。

- メールの末尾の絵文字は以下を示します。
  - 📷：静止画ファイルが添付されています。
  - ♪：メロディファイルが添付されています。
  - 🎞：ｉモーションが添付されています。

2 メールごとに「受信」「削除」「保留」のいずれかを選択して［●］を押す

□□.jp
ｻｲｽﾞ：125ﾊﾞｲﾄ
1/1ﾍﾟｰｼﾞまで選択したﾒｰﾙを
受信／削除
ｉﾓｰﾄﾞｾﾝﾀｰから全てのﾒｰﾙを
削除

- 「保留」を選択した場合は、そのままｉモードセンターに保管されます。ｉモード問合せなどで受信できます。
- ✎ ページが複数ある場合には、メール一覧の最後に表示される「前ページ」「次ページ」を選択して［●］を押すと前後のページを表示できます。

3 「受信／削除」を選択して［●］を押す

■ ｉモードセンターに保管されている全メールを削除するとき

✎**「ｉモードセンターから全てのメールを」の「削除」を選択して［●］を押す**

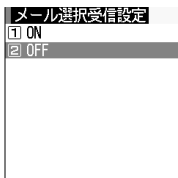
4 「決定」を選択して［●］を押す

確認画面が表示され、「受信」を選択したメールはすぐに受信されます。→P145

選択受信するかどうかを設定する<メール選択受信設定>

お買い上げ時 | OFF

ｉモードメールを自動受信しないように設定します。

1 待受画面で✉▼ 9 5 を押す

2 1 ～ 2 を押す

メール選択受信が設定されます。

お知らせ

- 「ON」に設定した場合、送られてきたｉモードメールはｉモードセンターに保管され、FOMA端末には自動的に配信されません。ｉモードセンターにメールが届くと、左の画面が表示されますが、着信音や着信バイブレータは動作しません。
- 「ｉモード問合せ」を行うと、ｉモードセンターに保管されているすべてのｉモードメールを受信できます。→P149
- 「ON」に設定しても、ショートメッセージ（SMS）、メッセージR/Fは自動受信します。

ｉモードメールがあるかどうかを問い合わせる<ｉモード問合せ>

圏外にいた間や電源を切っていた間にｉモードメールが届いていないかを問い合わせます。

● 電波状態によってはｉモード問合せができない場合がありますのでご了承ください。

1 待受画面でサイドキー[▼]を1秒以上押す

ｉモード問合せが実行されます。ｉモードセンターにｉモードメールが保管されていれば受信されます。

- 受信結果画面の操作は自動受信時と同じです。→P145
  ただし、ｉモード問合せでｉモードメールを受信したときは、約15秒経過しても元の画面には戻りません。ｉモードメールを表示せずに待受画面に戻すときは(クリア)を押します。

お知らせ

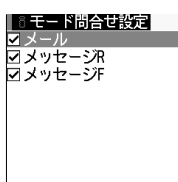
- FOMA端末がクローズ状態のときにサイドキー[▼]を1秒以上押してもｉモード問合せができます。
- FOMA端末がクローズ状態のときに、新しいｉモードメールを受信したときは背面ディスプレイの表示でお知らせします。→P14

問合せの内容を設定する<ｉモード問合せ設定>

お買い上げ時	すべて選択

ｉモードセンターへ問い合わせをする際に、ｉモードメール、メッセージR/Fの中から受信する項目を設定します。

- お買い上げ時はメール、メッセージR、メッセージFのすべてに「☑」が付いています。メッセージRやメッセージFの配信を希望されない場合は、「□」にしてご利用ください。

1 待受画面で(メール▼)(9)(8)を押す

2 問い合わせ項目を選択して(●)を押す

- 設定状態は次のとおりです。
  ☑：有効　□：無効

3 (メニュー)を押す

ｉモードセンターへ問い合わせる項目が設定されます。

受信したｉモードメールを見る<受信メール>

受信済みのｉモードメールは「受信メール」に保存されます。

● プライバシーモード起動中は、メールのプライバシーモード設定の内容により、フォルダ一覧やフォルダが表示されません。→『基本編』P208

・「認証後に表示」にしている場合、フォルダ一覧を表示させるには、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要です。

・「指定フォルダを非表示」にしている場合は、フォルダ設定（→P190）のプライバシーを「ON」に設定しているフォルダは表示されません。
受信メールのフォルダ一覧画面で(クリア)を1秒以上押し、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行うことにより、一時的にプライバシーモードを解除し、フォルダを表示することができます。

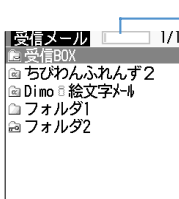
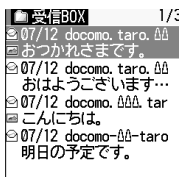
1 待受画面で(✉▼)(1)を押す

受信メール 1/1
受信BOX
ちびわんふれんず2
Dimo 絵文字メール
フォルダ1
フォルダ2

保存領域の使用率
ページ番号／全ページ数

• マークの意味は次のとおりです。
(グレー)：メールなし
(ブルー)：未読メールなし
：プライバシーON
：未読メールなし（メール連動型ｉアプリで利用）
：未読メールあり
：未読メールあり（メール連動型ｉアプリで利用）

2 フォルダを選択して(●)を押す

受信BOX 1/3
07/12 docomo. taro. ΔΔ
おつかれさまです。
07/12 docomo. taro. ΔΔ
おはようございます…
07/12 docomo. ΔΔΔ. tar
こんにちは。
07/12 docomo-ΔΔ-taro
明日の予定です。

フォルダ名、ページ番号／全ページ数
受信日時、発信元、題名（SMSでは本文の先頭）

• マークの意味は次のとおりです。

・状態マーク

：未読 ：未読（返信不可）
：既読 ：既読（返信不可）
：既読（返信済み） ：既読（転送済み）
：保護 ：保護（返信不可）
：保護（返信済み） ：保護（転送済み）
：メール連動型ｉアプリで利用されるメール

※返信済／転送済は後から行った操作のマークが優先表示されます。

・添付ファイルマーク

：10000バイト以内の静止画
：メロディ
：10000バイト以内の静止画＋メロディ
：ｉアプリToあり
：ｉモーション

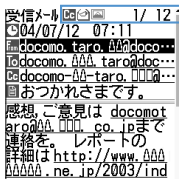
※ｉモーションが添付されているときは、10000バイト以内の静止画やメロディが添付されていてもマークは表示されません。

• 発信元が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。→P151
• 受信日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。
• メール一覧の表示形式を選択できます。→P194
• メール連動型ｉアプリフォルダを選択すると、それに対応するソフトが起動します。→P68

■ メール連動型ｉアプリフォルダに保存されているメールを、ソフトを起動せずに表示するとき

メール連動型ｉアプリフォルダを選択して(MENU)(1)を押す

3　ｉモードメールを選択して◯を押す

受信ﾒｰﾙ 1/ 12
04/07/12　07:11
docomo. taro. ΔΔΔdoco…
docomo. ΔΔΔ. taro@doc…
docomo-ΔΔ-taro. ΔΔΔ@…
おつかれさまです。
感想，ご意見は docomot
aro@ΔΔ. ΔΔΔ. co. jpまで
連絡を。　レポートの
詳細はhttp://www.ΔΔΔ
ΔΔΔΔΔ. ne. jp/2003/ind

宛先マーク※、状態マーク、添付ファイルマーク、メール番号／件数
※ 発信元からどの宛先（TO、CC、BCC）で送られてきたのかを確認できます。

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：受信日時
  - From：発信元
  - To：宛先（TO）
  - Cc：宛先（CC）
  - Bcc：宛先（BCC）
  - ：題名
  - ：発信元（返信不可）
  - ：宛先（TO）（返信不可）
  - ：宛先（CC）（返信不可）
- 文字サイズを選択できます。→P197

お知らせ

- 受信メールの最大保存件数→P16
- パソコンから装飾されたメールを受信する場合、ｉモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合があります。
- 受信メールは「受信BOX」フォルダと最大45個のフォルダ（メール連動型ｉアプリ用のフォルダ5個を含む）に分類して保存できます。お買い上げ時の設定では、新たに受信したｉモードメールは「受信BOX」フォルダに保存されますが、受信時に自動的に他のフォルダに振り分けることもできます。→P203
- メール連動型ｉアプリを削除した場合でも、それに対応したメールフォルダが残っていればメールを表示できます。
- 添付ファイル、ｉモーションが再生できるリンク項目、ソフトが起動できるリンク項目がある場合、詳細表示画面にマークと添付ファイル名などが表示されます。詳しくはそれぞれの参照先をご覧ください。

種　類	マーク	参照先
静止画	：メール添付やFOMA端末外への出力可 ：メール添付やFOMA端末外への出力不可 ：静止画データ異常	P154
メロディ	：メール添付やFOMA端末外への出力可 ：メール添付やFOMA端末外への出力不可 ：メロディデータ異常	P157
ｉモーションが再生できるリンク項目		P160
ソフトが起動できるリンク項目	α	P81

- メール本文の添付データ（ｉモーションが再生できるリンク項目、ソフトが起動できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ）が複数添付されていると添付データは無効になります。このとき添付マークには ? が表示されます。
- ｉモードメールでは、発信元または宛先のメールアドレスが電話帳データのメールアドレス欄と照合されます。ショートメッセージ（SMS）では、発信元または宛先の電話番号が電話帳データの電話番号欄と照合されます。
  - ・ｉモードメールの場合、メールアドレス全体が完全に一致した場合だけ名前が表示されます。ｉモード端末のメールアドレスでは「@docomo.ne.jp」の有無も含めて一致しないと名前は表示されません。
  - ・シークレット属性を設定した電話帳データにメールアドレスや電話番号が登録されている場合は、シークレットモードを設定していないと名前は表示されません。→『基本編』P205
  - ・プライバシーモード起動中（電話帳を「認証後に表示」に設定した場合）は、プライバシーモードを解除しないと名前は表示されません。→『基本編』P208
- 受信メール一覧や受信メールの内容表示中に新たにメールを受信しても、「ページ番号／全ページ数」「メール番号／件数」は更新されません。
- 詳細表示画面から電話番号やメールアドレス、URLを選択して電話帳に登録したり、URLを選択してブックマークに登録したりできます。→P200、P201
- 詳細表示画面の電話番号やメールアドレス、URLから電話をかけたり、ｉモードメールを送ったり、サイトを表示したりできます。→P49、P50、P199
- 受信ショートメッセージ（SMS）の見かた→P182

受信したｉモードメールに返信する<返信>

受信したｉモードメールに返信します。

● 受信メールによっては返信できない場合があります。

1 待受画面で［✉▼］［1］を押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択して［●］を押す

受信メール一覧が表示されます。

3 返信するｉモードメールを選択して［□］を押す

引用文字

［To］には受信メールの発信元のメールアドレス、［Sub］には先頭に「RE:」の付いた受信メールの題名、［Text］には「>受信メール本文」が入力されています。

- 返信する際に本文を引用するかどうかと、引用した本文の先頭に付ける引用文字を設定できます。→P208

■ 複数の宛先に送られた受信メールに返信するとき

［MENU］［1］［2］を押す

- 自分以外のすべての宛先と、発信元に返信できます。

4 ｉモードメールを編集して送信する

- 操作方法→P127
- 返信すると、受信メールの状態マークが［✉］から［↩］、または［✉］から［↩］に変わります。→P150

お知らせ

- 受信メール詳細表示画面から操作する場合は［□］を押して操作します。
- 受信メールの添付ファイルは、返信メールには添付されません。
- 受信メール本文中の添付データ（ｉモーションが再生できるリンク項目、ソフトが起動できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ）は、返信メールには設定されず、また、文字としても引用されません。
- 受信したデコメールを引用した場合、装飾と挿入した画像は引用された状態で本文が表示されます。ただし、ファイル制限が設定されている画像は削除されます。
- 複数の宛先に送られた受信メールから返信する場合は、操作する画面により［To］に表示されるメールアドレスが異なります。
  受信メール一覧から返信する場合は、発信元のメールアドレスが表示され、受信メール詳細表示画面から返信する場合は、自分以外のすべての宛先と発信元のメールアドレスが表示されます。

受信したｉモードメールを転送する<転送>

受信したｉモードメールを他の宛先に転送します。

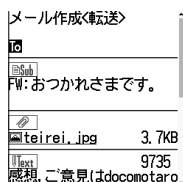
● ｉモードメールで転送されます。

1 待受画面で［✉］［1］を押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択して［●］を押す

受信メール一覧が表示されます。

3 転送するｉモードメールを選択して［✉］を押す

［Sub］には先頭に「FW:」の付いた受信メールの題名、［Text］には受信メールの本文が入力されています。

- 添付ファイルがある受信メールを転送する場合は、添付ファイルも設定されています。

4 ｉモードメールを編集して送信する

- 操作方法→P127
- 転送すると、受信メールの状態マークが［✉］から［➡］、または［✉］から［➡］に変わります。→P150

お知らせ

- 受信メール詳細表示画面から操作する場合は［MENU］を押し、「返信／転送」→「転送」を選択して操作します。
- メールの添付ファイル（静止画、メロディ）のうち、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは転送メールに添付されません。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されていなくても、メロディファイルの種類によっては添付されない場合があります。
- 受信メール本文中の添付データ（ｉモーションが再生できるリンク項目、ソフトが起動できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ）は転送メールには設定されず、また、文字としても引用されません。
- 受信したデコメールを引用した場合、装飾と挿入した画像は引用された状態で本文が表示されます。

添付されている静止画を表示・保存する<画像表示・保存>

受信メールに添付されている静止画を表示・保存します。保存した静止画は「イメージ」で表示したり、待受画面などに設定したりできます。

静止画を表示する

静止画が添付されている受信メールを表示すると、本文の後ろに静止画が表示されます。また、静止画を非表示にすることもできます(ファイル名のみ表示)。

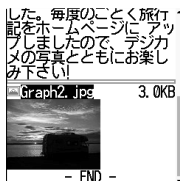
1 待受画面で[メールキー][1]を押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択して[決定キー]を押す

受信メール一覧が表示されます。

3 静止画が添付されているｉモードメールを選択して[決定キー]を押す

静止画のマークとファイル名、サイズが表示され、その下に静止画が表示されます。

- マークの意味は次のとおりです。
  - [アイコン]：メール添付やFOMA端末外への出力可
  - [アイコン]：メール添付やFOMA端末外への出力不可
  - [アイコン][アイコン]：静止画データ異常

■ 画像表示からファイル名表示にするとき

表示されている静止画のファイル名を選択して[決定キー]を押す

お知らせ

- 送信メール詳細表示画面、メールテンプレート詳細表示画面に添付されている静止画からも同様の操作で表示／非表示を切り替えられます。
- 静止画が添付されている受信メールを表示したときは、添付された静止画は自動的に表示されます。ただし、受信メールがデコメールの場合は、メールを表示すると、メール本文に挿入されている静止画は自動的に表示されますが、添付された静止画は自動的に表示されません。画像を表示するときは静止画のファイル名を選択して[決定キー]を押します。
- 添付されている静止画のファイルサイズが10000バイトよりも大きい場合、静止画はｉショットセンターに保管され、受信メールの本文には静止画の代わりにURLが表示されます。URLを選択して[決定キー]を押すと、ｉショットセンターに接続され、静止画が表示されます。静止画をFOMA端末に保存する方法は、サイトの画像を保存する方法と同じです。→P43
- 静止画の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
- 静止画によっては正しく表示できない場合があります。

静止画を保存する

添付されている静止画を、静止画の編集で使用するフレームやスタンプとして保存します。

1 待受画面で[✉▼][1]を押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択して[●]を押す

受信メール一覧が表示されます。

3 静止画が添付されているｉモードメールを選択して[●]を押す

受信メール詳細表示画面が表示されます。

4 保存する静止画のファイル名を選択して[MENU][6][3]を押す

- メール添付やFOMA端末外への出力を禁止されている静止画（ファイル制限欄に「あり」と表示）では各項目の内容を変更できません。操作5に進みます。

■ デコメール内に表示されている画像を保存するとき

画像を表示し、[MENU][4][4]を押して[●]を押す

5 設定する項目を選択して[●]を押し、設定する

- 設定方法は、サイトから画像を保存するときと同じです。→P46

6 [📖]を押す

静止画が「イメージ」の「ｉモード」フォルダに保存されます。→P245

- アイテム画像の場合は「アイテム」フォルダに保存されます。

[MENU]を押すと、待受画面などに設定できます。→P247

■ 画像の保存領域の空きが足りないとき・最大保存件数を超えるとき

FOMA端末に保存されている画像を、削除するかどうかの確認画面が表示されます。画像を保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き領域に達するまでFOMA端末内の画像を削除します。

削除する前に画像一覧で[📖]を押して画像を表示したり、[MENU]を押して画像の詳細情報を表示したりできます。→P245、P251

- 画像の最大保存件数→P16

お知らせ

- 送信メール詳細画面に添付されている静止画も同様の操作で保存できます。
- 横352×縦288（ドット）を超える静止画はフレーム候補にできません。
  また、横縦（または縦横）のサイズが210×210（ドット）を超える静止画はスタンプ候補にできません。
- 横縦（または縦横）のサイズがGIF形式は640×480（ドット）、JPEG形式は960×1280（ドット）を超える静止画は保存できません。

静止画のタイトルを確認する＜タイトル確認＞

静止画に付けられているタイトルを確認します。

1 待受画面で[✉▼][1]を押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択して[●]を押す

受信メール一覧が表示されます。

3 静止画が添付されているｉモードメールを選択して[●]を押す

受信メール詳細表示画面が表示されます。

4 タイトルを表示する静止画のファイル名を選択して[MENU][6][2]を押す

5 [●]を押す

受信メール詳細表示画面に戻ります。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  送信メール詳細表示画面、メールテンプレート詳細表示画面から操作する場合は[MENU]を押し、「添付ファイル」→「タイトル確認」を選択して操作します。

添付されているメロディを再生・保存する<メロディ再生・保存>

受信メールに添付されているメロディを再生・保存します。保存したメロディは「メロディ」で再生したり、着信音に設定したりできます。

● 発信元がFOMA F900iT、F900i以外の場合、送られてきたメロディが正しく再生できない場合があります。

メロディを再生する

1 待受画面で(✉▼)(1 あ/@)を押す

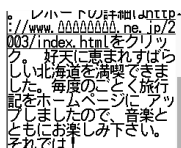
フォルダ一覧が表示されます。

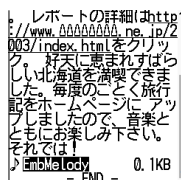
2 フォルダを選択して( )を押す

受信メール一覧が表示されます。

3 メロディが添付されているｉモードメールを選択して( )を押す

- 添付メロディの表示形式には、メロディファイルの種類によって2種類あります。

〈本文の後に表示〉

本文の後にメロディのマークとファイル名、サイズが表示されます（SMF形式）。

〈本文中に表示〉

本文中にメロディのマークとタイトル名、サイズが表示されます（MFi形式）。

- マークの意味は次のとおりです。

  ♪　：メール添付やFOMA端末外への出力可
  ♪©　：メール添付やFOMA端末外への出力不可
  ♪× ♪×©：メロディデータ異常

4 再生するメロディを選択して( )を押す

メロディが再生されます。

- 再生を途中で止めるときは(クリア)を押します。

お知らせ

- MFi形式のメロディにタイトル名が設定されていない場合、タイトル名にはメールを受信した日時が表示されます。
- MFi形式のメロディの場合、マークが♪でもメールに返信／転送することはできません。
- 添付ファイル自動再生設定で添付メロディを自動再生する設定にしている場合、メロディが添付されている受信メールを表示すると、着信音量調整（→『基本編』P83）で設定されている音量で、メロディが自動的に再生されます。
- メロディ再生中はサイドキー[▲▼]で音量調整ができます。
- マナーモード中は、再生を行うかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、通常マナーモード中は着信音量調整（→『基本編』P83）で設定されている音量で再生されます。オリジナルマナーモード中は、オリジナルマナーモード設定の着信音量（→『基本編』P157）で設定されている音量で再生されます。
- 送信メール、メールテンプレートの添付メロディも同様にして再生できます。

メロディを保存する

1 待受画面で(✉▼)(1)を押す

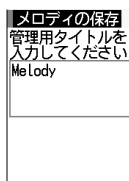
フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択して( )を押す

受信メール一覧が表示されます。

3 メロディが添付されているｉモードメールを選択して( )を押す

受信メール詳細表示画面が表示されます。

4 保存するメロディを選択して(MENU)(6)(2)を押す

- 管理用タイトルを設定するときはメロディの保存画面でタイトルを入力し、( )を押します。全角で最大25文字、半角で最大50文字入力できます。

5 (📖)を押す

メロディが「メロディ」の「ｉモード」フォルダに保存されます。

■ メロディの保存領域の空きが足りないとき・最大保存件数を超えるとき

FOMA端末に保存されているメロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

メロディを保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き領域に達するまでFOMA端末内のメロディを削除します。

- 削除する前にメロディ一覧で(📖)を押してメロディを再生したり、(MENU)を押してメロディの詳細情報を表示したりできます。→P288、P292
- メロディの最大保存件数→P16

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  送信メール詳細表示画面から操作する場合は(MENU)を押し、「添付ファイル」→「保存」を選択して操作します。
- 文字入力のしかた→『基本編』P309

メロディのタイトルを確認する<タイトル確認>

メロディに付けられているタイトルを確認します。

1 待受画面で[✉▼][1]を押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択して[●]を押す

受信メール一覧が表示されます。

3 メロディが添付されているｉモードメールを選択して[●]を押す

受信メール詳細表示画面が表示されます。

4 タイトルを確認するメロディを選択して[MENU][6][5]を押す

- 本文中に表示されているメロディのタイトルを確認するときはメロディを選択して[MENU][6][4]を押します。

5 [●]を押す

受信メール詳細表示画面に戻ります。

タイトル表示とデータ表示を切り替える<データ表示>

本文中に表示されているメロディのデータを文字として表示することができます。

- 本文の後に表示されるメロディではこの機能は利用できません。

1 待受画面で[✉▼][1]を押す

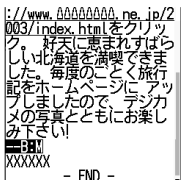
フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択して[●]を押す

受信メール一覧が表示されます。

3 メロディが添付されているｉモードメールを選択して[●]を押す

受信メール詳細表示画面が表示されます。

4 データ表示するメロディを選択して[MENU][6][5]を押す

■ タイトル表示に戻すとき

データ表示されているメロディの先頭行を選択して[MENU][6][5]を押す

お知らせ

- データ表示時にメロディを再生・保存するときはサブメニューから操作します。
- 本文の文字が誤ってメロディデータとして認識されてしまった場合は、この操作で文字を表示し、読むことができます。

ｉモードメールからｉモーションを受信・再生する<ｉモーション受信・再生>

発信元がメールに添付した動画／ｉモーションはｉモーションメールセンターに保管され、受信メールにはｉモーションのアイコンが挿入されます（ｉモーションメール）。このアイコンを選択して、ｉモーションを受信したり、再生したりできます。

- ｉモーションは最大10日間、最大15件ｉモーションメールセンターに保管されます。最大保存期限を過ぎたｉモーションは受信していなくてもｉモーションメールセンターから削除され、受信できなくなりますのでご注意ください。
- 再生時の音量は、「ｉモーション」の動作設定に従います。→P285

1 待受画面で（✉▼）（1）を押す

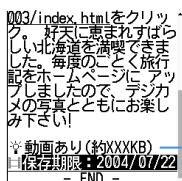
フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択して（●）を押す

受信メール一覧が表示されます。

3 ｉモーションのアイコンを含むｉモードメールを選択して（●）を押す

ｉモーションが添付されていることを示す文が挿入されています。

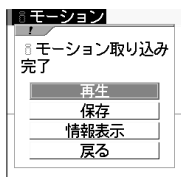
ｉモーションのマーク（保存した場合は）と、ｉモーションメールセンターでのｉモーションの保存期限が表示されます。

■ リンク先のURLを確認するとき

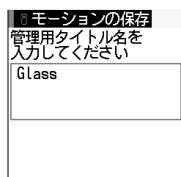
ｉモーションの保存期限を選択して（MENU）（6）（2）を押す

4 ｉモーションの保存期限を選択して（●）を押す

ｉモーションメールセンターに接続され、ｉモーションの受信・再生が始まります。

- 再生画面の操作方法→P270
- 受信したｉモーションはｉモーションメールセンターから削除されます。
- ｉモーションを保存済みの場合は、「ｉモーション」に保存されているｉモーションが再生されます。操作4以降は必要ありません。

5 再生が終了する

- 「再生」を選択して（●）を押すとｉモーションが再生できます。
- 「情報表示」を選択して（●）を押すとｉモーションの情報を表示できます。→P276

6 「保存」を選択して（●）を押す

- 管理用タイトルを設定するときはタイトルを入力して（●）を押します。全角・半角を問わず最大36文字入力できます。
- 受信・再生した後にｉモーションを保存しなかった場合は、再度ｉモーションのアイコンを選択しても受信できません。受信したｉモーションを繰り返し再生する場合は「保存」を選択してください。

[メール]を押す

iモーションが「iモーション」の「iモード」フォルダに保存されます。→P270

「戻る」を選択して[決定]を押す

メール詳細表示画面に戻ります。

お知らせ

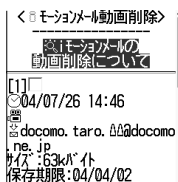
- 送信メールに添付されている動画／iモーションも同様にして再生できます。ただし、動画／iモーションがFOMA端末から削除されているときは再生できません。

iモーションメールセンターの動画／iモーションを削除する<iモーションメール動画削除>

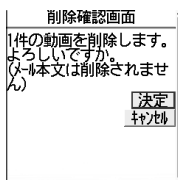
iモーションメールセンターに保管されている動画／iモーションを、受信する前に削除します。

待受画面で[iα][1]を押す

iモードに接続され、iMenuが表示されます。

「[3]メニューリスト」を選択して[決定]を押し、「iモーションメール動画削除」を選択して[決定]を押す

削除する動画／iモーションを選択して[決定]を押す

- 選択すると番号の横の□が☑に変わります。

「削除」を選択して[決定]を押す

■ iモーションメールセンターに保管されている全動画／iモーションを削除するとき

「全てのメールの動画を」の「削除」を選択して[決定]を押す

「決定」を選択して[決定]を押す

完了画面が表示されます。

お知らせ

- iモーションメールセンターに保管されている動画／iモーションを削除しても、受信メール一覧の[動画]、および受信メール詳細表示画面の「動画あり」が表示されたままとなります。

添付ファイルを削除する<添付ファイル削除>

受信メールから添付されている静止画、添付メロディを削除します。

- 本文中に表示されるメロディは削除できません。
- iモーションが再生できるリンク項目、ソフトが起動できるリンク項目は削除できません。

〈例〉添付されている静止画を削除するとき

1 待受画面で✉▼ 1 を押す

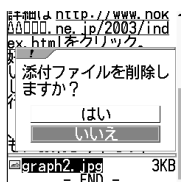
フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択して●を押す

受信メール一覧が表示されます。

3 静止画が添付されているiモードメールを選択して●を押す

受信メール詳細表示画面が表示されます。

4 削除する静止画のファイル名を選択してMENU 6 4 を押す

- 添付されている静止画ファイルを一括削除するときはMENU 6 5 を押します。

5 「はい」を選択して●を押す

添付ファイルが削除されます。

- 削除した添付ファイルはファイル名が薄く表示されて選択できなくなります。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  送信メール詳細表示画面に添付されている静止画、添付メロディから操作する場合はファイル名（管理用タイトル）を選択してMENUを押し、「添付ファイル」→「削除」または「一括削除」を選択して操作します。

添付ファイルを受信するかどうかを設定する<メール受信添付ファイル設定>

お買い上げ時	画像：受信する　メロディ：受信する

iモードメールに添付されている静止画、添付メロディを受信するかどうかを設定します。

待受画面で［メール］［9］［6］を押す

2 設定する項目を選択して［決定］を押し、設定する

3 ［i］を押す

設定内容が登録されます。

お知らせ

- 受信しない添付ファイルはｉモードセンターで削除され、受信できなくなりますのでご注意ください。
- メール本文中に貼付されたMFi形式のメロディは、本設定に関わらず受信します。

メロディを自動的に再生するかどうかを設定する<添付ファイル自動再生設定>

お買い上げ時	自動再生する

メロディが添付されているｉモードメールやメッセージR/Fを表示したときに、メロディを自動的に再生するかどうかを設定します。

待受画面で［メール］［9］［9］［2］を押す

2 ［1］～［2］を押す

設定内容が登録されます。

お知らせ

- メロディを自動再生する設定の場合、メロディが添付されている受信メール、送信メール、メールテンプレート、メッセージR/Fを表示すると、メロディが1回再生されます。複数のメロディが添付されているときは順番にメロディが再生されます。

ｉモードメールのアドレスや受信拒否などを設定する＜メール設定＞

ｉモードセンターに接続して、ｉモードメールのアドレスや受信拒否などを設定します。

● メール設定ができるのはお手持ちのFOMA端末からだけです。
● 詳しくは『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

メールアドレスを変更する

ｉモードメールアドレスを任意のメールアドレスに変更できます。

- 「docomo.△△_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、変更できるのは@マークより前の部分（下線部分）となります。変更するときは、@マークより前の部分だけを入力してください。なお、変更部分は、半角英数字と「_」（アンダーバー）、「.」（ピリオド）「-」（ハイフン）の記号を使って、3文字以上30文字まで設定できます。
  - ・メールアドレスの先頭は英字のみ使用できます。英字の大文字・小文字の区別はありません。
  - ・スペース（空白）は使用できません。
  - ・「.」（ピリオド）をアドレス内で連続使用したり、アドレスの最後に設定したりすると、一部のプロバイダとメールを送受信できない場合があります。
- 変更される際はなるべく桁数を増やし、英字と数字の組み合わせにより他人が簡単に想定できないアドレスにすることをおすすめします。
- メールアドレスを変更すると、変更前のメールアドレスを再び使えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 変更前のアドレスではｉモードメールが届かなくなり、送信者には宛先不明のエラーメッセージが表示されるか、エラーメールが返信されます。

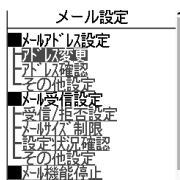
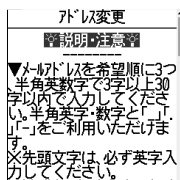
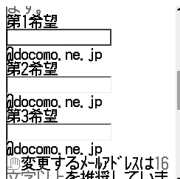
待受画面で[iα][1あ./@]を押す

ｉモードに接続され、ｉMenuが表示されます。

2 「8オプション設定」を選択して○を押し、「1メール設定」を選択して○を押す

「アドレス変更」を選択して○を押す

ｉモードメール

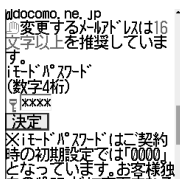
メール設定

第１希望欄を選択して〇を押し、任意のメールアドレスを入力して〇を押す

- ＠マークより前の部分を入力します。

操作4と同様に第2希望、第3希望のメールアドレスを入力する

- 第2希望、第3希望は入力しなくても先に進むことはできます。

ｉモードパスワード欄を選択して〇を押し、ｉモードパスワードを入力して〇を押す

- 入力したｉモードパスワードは「*」で表示されます。
- ｉモードパスワードは初期設定では「0000」に設定されています。

「決定」を選択して〇を押す

メールアドレスが変更され、新しいメールアドレスが表示されます。

- 変更が完了すると、すぐに新しいメールアドレスがご利用になれます。

お知らせ

- メールアドレス変更前にｉモードセンターに保管されたメールは、メールアドレス変更後も受信することができます。
- movaサービス（ｉモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスで利用していたｉモードメールアドレスは引き継がれます。
- メールアドレスを変更しても、プロフィール情報に登録したメールアドレスは変更されません。変更後のメールアドレスをあらためてプロフィール情報に登録してください。→『基本編』P236
- 文字入力のしかた→『基本編』P309

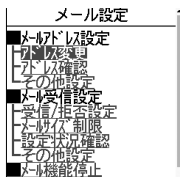
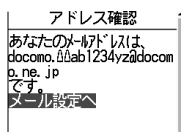
メールアドレスを確認する

現在設定されているｉモードメールアドレスを確認します。

ｉMenuからメール設定画面を表示する

- 操作方法→P164

2 「アドレス確認」を選択して◯を押す

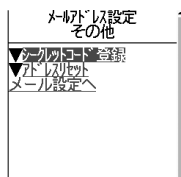
アドレス確認
あなたのﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽは、
docomo.ΔΔab1234yz@docom
o.ne.jp
です。
メール設定へ

現在設定されているメールアドレスが表示されます。

シークレットコードを登録する

「電話番号@docomo.ne.jp」のｉモードメールアドレスをご利用のとき、シークレットコードを登録すると、登録したシークレットコード（数字4桁）がついたメール以外は受信しません。送信者には宛先不明のエラーメッセージが表示されるか、エラーメールが返信されます。これにより不要なｉモードメールの受信を避けることができます。

- ｉモードメールの送信時にはメールアドレスのシークレットコード部分は隠されるため、送信先にシークレットコードが表示されることはなく、受信者がそのまま返信することはできません。シークレットコードを指定せずにそのまま返信すると、宛先不明のエラーメッセージが表示されるか、エラーメールが返信されます。
- 「電話番号@docomo.ne.jp」以外のメールアドレスではシークレットコードを登録できません。あらかじめアドレスリセット（→P167）でメールアドレスを「電話番号@docomo.ne.jp」に変更してからご利用ください。

ｉMenuからメール設定画面を表示し、「■メールアドレス設定」の「その他設定」を選択して◯を押す

ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ設定
その他

- 操作方法→P164

2 「シークレットコード登録」を選択して◯を押す

シークレットコード欄を選択して◯を押し、シークレットコード（4桁の数字）を入力して◯を押す

- 入力モードは数字になっています。
- 「0000」は使用できません。

ｉモードパスワード欄を選択して◯を押し、ｉモードパスワードを入力して◯を押す

- 入力したｉモードパスワードは「*」で表示されます。
- ｉモードパスワードは初期設定では「0000」に設定されています。

「決定」を選択して◯を押す

シークレットコードが登録され、新しいメールアドレスが表示されます。

- 電話番号以下の4桁の数字がお客様の指定されたシークレットコードとなります。
- 登録が完了すると、すぐに新しいメールアドレスが利用できます。

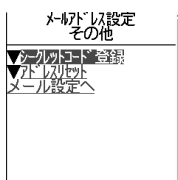
お知らせ

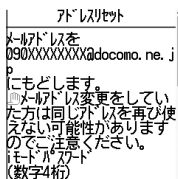
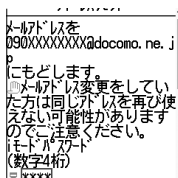
- シークレットコード登録を設定する前にｉモードセンターに保管されたメールは、設定後も受信することができます。
- シークレットコード登録を取り消すときは、メールアドレス変更(→P164)またはアドレスリセット(→下記)を行ってください。
- シークレットコード登録をしたときは、ドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合に、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。

電話番号をメールアドレスにする<アドレスリセット>

ｉモードメールアドレスを「電話番号@docomo.ne.jp」に変更します。

- アドレスリセットを行うと、変更前のメールアドレスを再び使えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- リセット前のアドレスではｉモードメールが届かなくなります。送信者には宛先不明のエラーメッセージが表示されるか、エラーメールが返信されます。

ｉMenuからメール設定画面を表示し、「■メールアドレス設定」の「その他設定」を選択して⬭を押す

- 操作方法→P164

「アドレスリセット」を選択して⬭を押す

ｉモードパスワード欄を選択して⬭を押し、ｉモードパスワードを入力して⬭を押す

- 入力したｉモードパスワードは「*」で表示されます。
- ｉモードパスワードは初期設定では「0000」に設定されています。

「確認」を選択して⬭を押す

メールアドレスがリセットされ、新しいメールアドレスが表示されます。

- アドレスリセットが完了すると、すぐに新しいメールアドレスが利用できます。

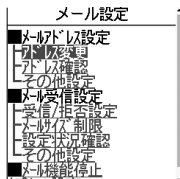
お知らせ

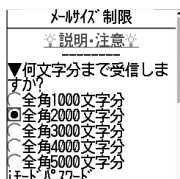
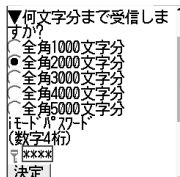
- アドレスリセット前にｉモードセンターに保管されたメールは、リセット後も受信できます。

受信するｉモードメールのサイズを制限する

受信するｉモードメールを、データ量によって制限します。

- 初期設定では「全角5000文字」に設定されています。

ｉMenuからメール設定画面を表示する

- 操作方法→P164

「メールサイズ制限」を選択してを押し、受信する文字分を選択してを押す

- 選択するとがに変わります。

ｉモードパスワード欄を選択してを押し、ｉモードパスワードを入力してを押す

- 入力したｉモードパスワードは「*」で表示されます。
- ｉモードパスワードは初期設定では「0000」に設定されています。

4

「決定」を選択してを押す

メールサイズ制限が設定されます。

お知らせ

- 設定された文字数を超えた場合はｉモードセンターで削除され、本文の最後に「/」または「//」が挿入されます。削除された部分を見ることはできませんのでご注意ください。
- 添付データのあるｉモードメールの全体のサイズが、設定された文字数相当サイズを超えた場合、ｉモードセンターは次のような順位でデータを削除します。
  ①イメージ、メロディの添付ファイルおよびリンク項目、ｉアプリのリンク項目
  ②メール本文
  ③動画／ｉモーションの添付データ
  ※①が最初に削除されます。

ｉモードメールの受信を拒否する

次のいずれかの方法でｉモードメールの受信を拒否できます。

- 未承諾広告※メール拒否
  メール表題部の最前部に未承諾広告※と記載されているメールを受信または拒否できます。これにより、受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信されるメールを拒否することができます。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません（送信者はメール表題部欄の最前部に未承諾広告※（全角6文字）と記載することが法律で義務づけられています）。
- ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限
  1日に1台のｉモード端末から送信される200通目以降のｉモードメールを拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。
- ｉモードメールのみ受信／拒否
  ・ｉモードどうしのメールのみ受信（インターネット経由のメールを拒否）／拒否します。
- アドレス指定受信／拒否
  ・受信するすべてのメールのうち、指定するアドレスからのメールを受信／拒否します。
- ドメイン指定受信
  ・ｉモード、ｉショット、ｅビリング請求額お知らせメール、一定額到達通知サービスおよび他の携帯電話・PHS 会社（ドコモのPHS・アステルグループを除く）からのメールと、指定するドメインからのメールを受信します。
  ※ドメインとは「×××@△△△.ne.jp」の下線部分のような、メールアドレスの@より後ろの部分のことです。ドメインを指定することにより、指定したドメインで終わるメールアドレスのメールを受信できます。
  ※日本語のアドレスやドメインは設定できません。
  ※ドメインを指定する場合は、ｉモードからのすべてのメールは受信しますので、「docomo.ne.jp」を指定する必要はありません。「docomo.ne.jp」を入力してしまうと、ｉモードになりすましたメールが届いてしまいます。
- ｉモードメールのみ受信／拒否とアドレス指定受信／拒否、ドメイン指定受信は同時には利用できません。

未承諾広告※メール拒否

ｉMenuからメール設定画面を表示する

- 操作方法→P164

「■メール受信設定」の「その他設定」を選択して◯を押し、「未承諾広告※メール拒否」を選択して◯を押し項目を選択して◯を押す

- 選択すると◯が◉に変わります。

ｉモードパスワード欄を選択して◯を押してｉモードパスワードを入力し、◯を押す

- 入力したｉモードパスワードは「*」で表示されます。
- ｉモードパスワードは初期設定では「0000」に設定されています。

「決定」を選択して◯を押す

未承諾広告※メール拒否が設定されます。

ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限

ｉMenuからメール設定画面を表示する

- 操作方法→P164

2 「■メール受信設定」の「その他設定」を選択して◯を押し、「ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限」を選択して◯を押し項目を選択して◯を押す

- 選択すると○が◉に変わります。

3 ｉモードパスワード欄を選択して◯を押してｉモードパスワードを入力し、◯を押す

- 入力したｉモードパスワードは「*」で表示されます。
- ｉモードパスワードは初期設定では「００００」に設定されています。

4 「決定」を選択して◯を押す

ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限が設定されます。

ｉモードメールのみ受信／拒否

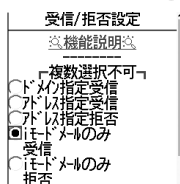
- 設定が完了すると、拒否を設定したメールが届かなくなり、送信者には宛先不明のエラーメッセージが表示されるか、エラーメールが返信されます。

〈例〉「ｉモードメールのみ受信」に設定するとき

1 ｉMenuからメール設定画面を表示する

メール設定
■メールアドレス設定
├アドレス変更
├アドレス確認
└その他設定
■メール受信設定
├受信/拒否設定
├メールサイズ制限
├設定状況確認
└その他設定
■メール機能停止

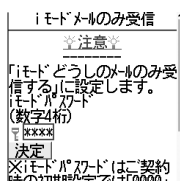
- 操作方法→P164

2 「受信/拒否設定」を選択して◯を押し、「ｉモードメールのみ受信」を選択して◯を押す

- 選択すると○が◉に変わります。

■「ｉモードメールのみ拒否」に設定するとき

「ｉモードメールのみ拒否」を選択して◯を押す

現在登録されている設定を解除するには「設定解除」を選択して◯を押します。

3 「次へ」を選択して◯を押し、ｉモードパスワード欄を選択して◯を押してｉモードパスワードを入力し、◯を押す

- 入力したｉモードパスワードは「*」で表示されます。
- ｉモードパスワードは初期設定では「００００」に設定されています。
- 既に他の受信／拒否設定をしている場合、設定を変更するかどうかの確認画面が表示されます。

4 「決定」を選択して◯を押す

ｉモードメールのみ受信／拒否が設定されます。

お知らせ

- ｉモードメールのみ受信／拒否を設定する前にｉモードセンターに保管されたメールは、設定後も受信することができます。
- 「ｉモードメールのみ受信」を設定した場合は、希望しているメール配信が届かなくなることがあります。
- 設定によっては、送信したｉモードメールがエラーになっても、宛先不明などのエラーメールを受信しなくなる場合があります。

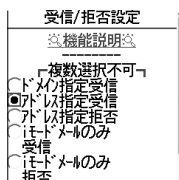
アドレス指定受信／拒否

- 設定が完了すると、拒否を設定したメールが届かなくなり、送信者には宛先不明のエラーメッセージが表示されるか、エラーメールが返信されます。

〈例〉「アドレス指定受信」を設定するとき

ｉMenuからメール設定画面を表示する

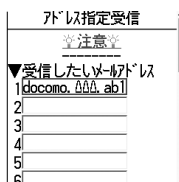
- 操作方法→P164

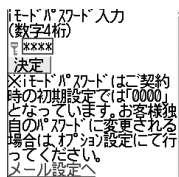
「受信/拒否設定」を選択してを押し、「アドレス指定受信」を選択してを押す

- 選択するとがに変わります。

■「アドレス指定拒否」を設定するとき

「アドレス指定拒否」を選択してを押す

現在登録されている設定を解除するには「設定解除」を選択してを押します。

「次へ」を選択してを押し、メールアドレス欄を選択してを押して指定するメールアドレスを入力し、を押す

- ｉモード端末のメールアドレスを入力するときは「@docomo.ne.jp」は省略できます。
- 既に他の受信／拒否設定をしている場合、設定を変更するかどうかの確認画面が表示されます。

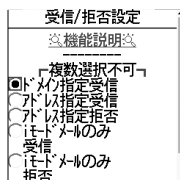
「登録」を選択してを押し、ｉモードパスワード欄を選択してを押してｉモードパスワードを入力し、を押す

- 入力したｉモードパスワードは「*」で表示されます。
- ｉモードパスワードは初期設定では「0000」に設定されています。

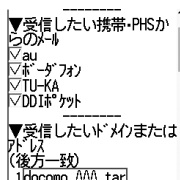
「決定」を選択してを押す

アドレス指定受信／拒否が設定されます。

ｉMenuからメール設定画面を表示する

- 操作方法→P164

「受信／拒否設定」を選択してを押し、「ドメイン指定受信」を選択してを押す

- 選択するとがに変わります。
- 現在登録されている設定を解除するには「設定解除」を選択してを押します。

「次へ」を選択してを押し、受信したい携帯・PHSからのメールやドメインまたはアドレスを入力する

- お買い上げ時は４つの携帯電話・ＰＨＳ会社すべてのチェックボックスが選択されています。
- 既に他の受信／拒否設定をしている場合、設定を変更するかどうかの確認画面が表示されます。

「登録」を選択してを押し、ｉモードパスワード欄を選択してを押してｉモードパスワードを入力し、を押す

「決定」を選択してを押す

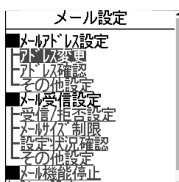
ドメイン指定受信が設定されます。

お知らせ

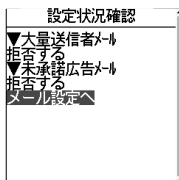
- アドレス指定受信／拒否、ドメイン指定受信を設定する前にｉモードセンターに保管されたメールは、設定後も受信することができます。
- 「アドレス指定受信」「ドメイン指定受信」を設定した場合は、希望しているメール配信が届かなくなることがあります。
- 「アドレス指定受信／拒否」の場合、ドメインは指定できません。
- ｉモード、ｉショット、eビリング請求額お知らせメール、一定額到達通知サービスおよび他の携帯電話・PHS会社（ドコモのPHS・アステルグループを除く）からのメールは、ドメインを入力しなくてもすべてのメールを受信しますので入力は不要です。入力してしまうと、携帯電話、PHSから送信したようにみえる「迷惑メール」が届いてしまいますので、ご注意ください。
- 「アドレス指定受信／拒否」「ドメイン指定受信」の場合、コンテンツプロバイダなどからのメール配信サービスを受けているときは、送信元のメールアドレスまたはドメインを指定してください。
- 設定によっては、送信したｉモードメールがエラーになっても、宛先不明などのエラーメールを受信しなくなる場合があります。
- ｉモードサイトの利用に際し、利用内容確認などをメールで行う場合がありますので、これらのメールを受信するために、各サイトのドメインやメールアドレスなどを指定してご利用ください。

現在の拒否設定を確認する

現在の拒否設定内容を確認します。

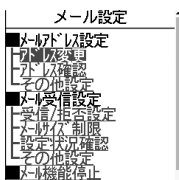
ｉMenuからメール設定画面を表示する

- 操作方法→P164

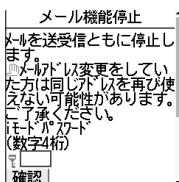
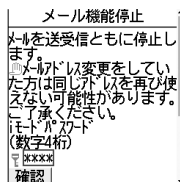
「設定状況確認」を選択して◯を押す

現在の拒否設定内容が表示されます。

ｉモードメール機能を停止する

ｉモードのメール機能を利用しない場合、ｉモードセンターでのメール機能停止を行うことができます。

- メール機能を停止すると、停止前のメールアドレスを再び使えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- メール機能を停止した場合、送信者には宛先不明のエラーメッセージが表示されるか、エラーメールが返信されます。
- メール機能を停止すると、メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にリセットされます。

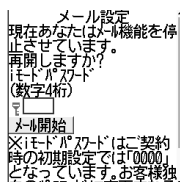
ｉMenuからメール設定画面を表示する

- 操作方法→P164

「■メール機能停止」を選択して◯を押す

ｉモードパスワード欄を選択してを押し、ｉモードパスワードを入力してを押す

- 入力したｉモードパスワードは「*」で表示されます。
- ｉモードパスワードは初期設定では「００００」に設定されています。

「確認」を選択してを押す

メール機能が停止されます。

- 設定が完了すると、すぐにメール機能が停止します。

ｉモードメール機能を再開する

ｉMenuからメール設定画面を表示する

- 操作方法→Ｐ１６４

ｉモードパスワード欄を選択してを押し、ｉモードパスワードを入力してを押す

- 入力したｉモードパスワードは「*」で表示されます。
- ｉモードパスワードは初期設定では「００００」に設定されています。

「メール開始」を選択してを押す

メール機能が再開されます。

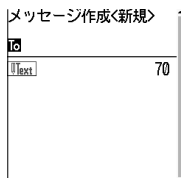
お知らせ

- メール機能停止前にｉモードセンターで保管されたｉモードメールは、受信時から７２０時間そのまま保管され、ｉモード問合せ、またはメール選択受信で受信できます。
- メール機能停止中はｉモードセンターで新しいメールの保管は行いません。
- メール機能停止中にｉモードメールを送信した場合、エラーメッセージが表示されます。
- メール機能停止中にｉモードメールの送信やｉモード問合せの操作を行うと、ｉモードセンターとの通信が行われ、パケット通信料がかかります。

ショートメッセージ(SMS)を作成して送信する<SMS作成>

ショートメッセージ(SMS)を作成して送信します。

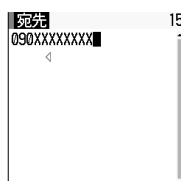
- 半角カタカナや絵文字を使うと受信側に正しく表示されない場合があります。
- プライバシーモード起動中(電話帳を「認証後に表示」に設定した場合)に電話帳を利用する場合は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。→『基本編』P208

1 待受画面で✉▼ 3 を押す

メッセージ作成画面が表示されます。

■ メールの保存領域の空きが足りないとき・最大保存件数を超えるとき

ショートメッセージ(SMS)は作成できません。「未送信メール」から不要なｉモードメール、ショートメッセージ(SMS)を削除してください。→P194

- 未送信メールの最大保存件数→P16

2 Toを選択して◯を押し、宛先を入力して◯を押す

- 相手のFOMA端末の電話番号を入力します。

■ 電話帳から検索するとき

①Toを選択して📖を押す

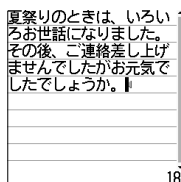
電話帳の検索結果の一覧が表示されます。

②送信する相手を選択して◯を押す

送信する相手の電話画面が表示されます。

③電話番号を選択して◯を押す

電話帳に登録した相手の名前がToに表示されます。

3 Textを選択して◯を押し、本文を入力して◯を押す

- SMS設定で送信文字種を「日本語」に設定した場合は、全角・半角を問わず最大70文字入力できます。→P209
- SMS設定で送信文字種を「英語」に設定した場合は、半角の英数字と記号(。「 」、・ ゛ ゜を除く)を最大160文字入力できます。→P209
- 文中で改行することができます。かな入力方式の場合、改行するときは# を押します。改行も本文の文字数に含まれます。

■ 署名を挿入するとき

MENU 4 を押す

- 署名はあらかじめ登録しておく必要があります。→P207
- 署名の文字数も本文の文字数に含まれます。

4 📖 を押す

ショートメッセージ(SMS)が送信されます。

お知らせ

- 一部の絵文字(→『基本編』P318)は、相手のｉモード端末の機種によっては正しく表示されない場合があります。
- 本文入力時に定型文を利用して顔文字やあいさつ、返事などを入力できます。→『基本編』P319
- 文字の装飾はできません。
- ショートメッセージ(SMS)の本文入力時に、改行が含まれている定型文を挿入すると、改行は半角スペースに置き替わります。
- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 送信する文字種や送達通知を受け取るかどうかは、あらかじめSMS設定で設定します。また、送達通知、有効期間の設定はショートメッセージ(SMS)の作成開始後に変更することもできます。→P209
- 送信する文字種により送信できない文字があります。→P126
- SMS設定で送信文字種を「英語」に設定した場合、署名は挿入されません。→P209
- 送信が正常に終了したときは、ショートメッセージ(SMS)が「送信メール」に保存されます。送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、古い送信メールから順に上書きされます。ただし、保護されている送信メールには上書きされません。残しておきたい送信メールは保護してください。→P192
  送信メールの最大保存件数→P16
- 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、ショートメッセージ(SMS)が「未送信メール」に保存されます。「未送信メール」からショートメッセージ(SMS)を編集・送信できます。→P177
- 送達通知を「要求する」に設定して送信した場合(→P209)、ショートメッセージ(SMS)が相手のFOMA端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知は「受信メール」に保存されます。→P182
- メモリ番号0〜99に登録されている相手には簡単にショートメッセージ(SMS)を作成・送信できます(クイックメール)。→『基本編』P151
- 送信文字種が英語の場合、一部の記号(｜^ { } [ ] ~ \ )を入力すると送信できる文字数が少なくなるため、最大文字数以下の文字数でも送信できない場合があります。この場合は、入力文字を少なくして送信し直してください。
- 発信者番号通知が「通知しない」に設定されていても、ショートメッセージ(SMS)送信時は送信先に発信者番号が通知されます。
- 文字入力のしかた→『基本編』P309

作成中のショートメッセージ(SMS)を保存しておき、あとで送信する

作成中のショートメッセージ(SMS)を送信せずに保存したり、保存したショートメッセージ(SMS)を再編集して送信したりできます。

作成中のショートメッセージ(SMS)を保存する

作成途中のショートメッセージ(SMS)を、送信せずに保存しておきます。

1 ショートメッセージ(SMS)を作成する

- 操作方法→P175

2 MENU 2 を押す

ショートメッセージ(SMS)が「未送信メール」に保存されます。

- 宛先、本文のいずれも入力されていない場合は保存できません。

お知らせ

- 未送信メールの最大保存件数→P16

送信・保存したショートメッセージ(SMS)を編集・送信する

送信済みのショートメッセージ(SMS)や、送信せずに保存したり送信に失敗したりしたショートメッセージ(SMS)を、表示して編集・送信できます。

〈例〉未送信ショートメッセージ(SMS)を再編集するとき

1 待受画面で 4 を押す

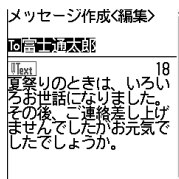
フォルダ一覧が表示されます。

- 送信ショートメッセージ(SMS)のときは 5 を押します。

2 フォルダを選択して を押す

未送信メール一覧が表示されます。

- ショートメッセージ(SMS)は が表示されます。

3 編集するショートメッセージ(SMS)を選択して を押す

- 送信済みのショートメッセージ(SMS)を再編集するときは編集するショートメッセージ(SMS)を選択して を押します。

4 ショートメッセージ(SMS)を編集して送信する

- 操作方法→P175

お知らせ

- 未送信メール一覧や送信メール一覧(→P178)で MENU 1 を押しても、メッセージ編集画面が表示されます。
- 文字入力のしかた→『基本編』P309

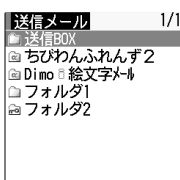
送信・未送信のショートメッセージ(SMS)を見る<送信・未送信メール>

送信したショートメッセージ(SMS)は「送信メール」に保存されます。送信せずに保存したり送信に失敗したりしたショートメッセージ(SMS)は「未送信メール」に保存されます。

● プライバシーモード起動中は、メールのプライバシーモード設定の内容により、フォルダ一覧やフォルダが表示されません。→『基本編』P208

・「認証後に表示」にしている場合、フォルダ一覧を表示させるには、4〜8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要です。

・「指定フォルダを非表示」にしている場合は、フォルダ設定(→P190)のプライバシーを「ON」に設定しているフォルダは表示されません。
送信・未送信メールの各フォルダ一覧画面で(クリア)を1秒以上押し、4〜8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行うことにより、一時的にプライバシーモードを解除し、フォルダを表示することができます。

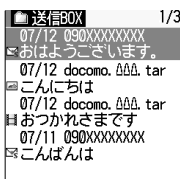
〈例〉送信ショートメッセージ(SMS)を表示するとき

1 待受画面で(✉▼)(5)を押す

送信メール 1/1
送信BOX
ちびわんふれんず2
Dimo 絵文字メール
フォルダ1
フォルダ2

ページ番号／全ページ数

- マークの意味は次のとおりです。
  - (グレー)：メールなし
  - (ブルー)：メールあり
  - ：プライバシーON
  - ：メール連動型iアプリで利用
- 未送信メールを表示するときは(✉▼)(4)を押します。

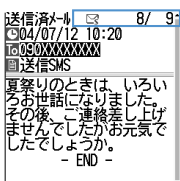
2 フォルダを選択して(●)を押す

送信BOX 1/3
07/12 090XXXXXXXX
おはようございます。
07/12 docomo.ΔΔΔ.tar
こんにちは
07/12 docomo.ΔΔΔ.tar
おつかれさまです
07/11 090XXXXXXXX
こんばんは

フォルダ名、ページ番号／全ページ数

送信日時、宛先、本文の先頭

- ショートメッセージ(SMS)に表示されるマークの意味は次のとおりです。
  - 状態マーク
    マークなし：未保護　：保護
  - SMSマーク
    ：ショートメッセージ(SMS)
- 宛先が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。→P151
- 送信日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。
- メール一覧の表示方法を選択できます。→P194

3 表示するショートメッセージ(SMS)を選択して(●)を押す

送信済メール 8/ 9
04/07/12 10:20
To 090XXXXXXXX
送信SMS
夏祭りのときは、いろいろお世話になりました。その後、ご連絡差し上げませんでしたがお元気でしたでしょうか。
- END -

状態マーク、SMSマーク、メール番号／件数

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：送信日時
  - ：宛先
  - ：「送信SMS」
- 送信メールでは文字サイズを選択できます。→P197
- 未送信メール一覧からメールを選択して(●)を押すと、メール編集画面が表示されます。→P177

お知らせ

- 詳細表示画面から電話番号やメールアドレス、URLを選択して電話帳に登録したり、URLを選択してブックマークに登録したりできます。→P200、P201
- 詳細表示画面中の電話番号やメールアドレス、URLから電話をかけたり、ｉモードメールを送ったり、サイトを表示したりできます。→P49、P50、P199
- 宛先や、本文の文字をコピーできます。→P199
- 送信日時・保存日時の表示には日付・時刻の設定が必要です。→『基本編』P65
- 送信、未送信ｉモードメールの見かた→P143

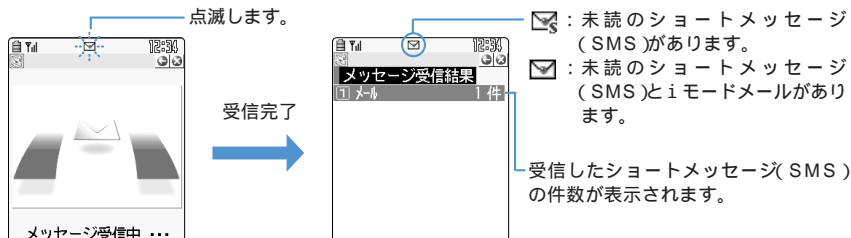
ショートメッセージ(SMS)を自動的に受信する<SMS受信>

ショートメッセージ(SMS)が送られてきたときは自動的に受信し、画面表示や着信音、バイブレータ、着信ランプでお知らせします。受信したショートメッセージ(SMS)は「受信メール」に保存されます。

1 ショートメッセージ(SMS)を受信する

：未読のショートメッセージ(SMS)があります。

：未読のショートメッセージ(SMS)とｉモードメールがあります。

受信したショートメッセージ(SMS)の件数が表示されます。

が点滅し、「メッセージ受信中…」と表示されます。

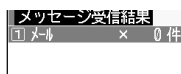
メール着信音が鳴り、着信ランプが点灯／点滅して受信結果画面が表示されます。

- メッセージ受信中画面で(電源)を押すと受信を中止できます。
- FOMA端末がクローズ状態のときは、背面ディスプレイに受信状態が表示されます。→P14
- 受信結果画面が表示されてから約15秒間(通話中や操作中に受信した場合は約3秒間)、または、着信音が鳴り終わるまでの間何も操作しないでいると、自動的に受信前の画面に戻ります。早く受信前の画面に戻すときは(クリア)を押します。

■ 受信したショートメッセージ(SMS)をすぐに読むとき

受信結果画面で◯または(1)を押す

フォルダ一覧が表示されます。→P182

■ 受信に失敗したとき

「メール」の後ろに「×」が表示されます。

受信メールの保存領域の空きが足りないとき・最大保存件数を超えるときは

受信メールの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、古い受信メールから順に上書きされます。ただし、未読メールと保護されているメールには上書きされません。残しておきたい受信メールは保護してください。→P192

- 未読メールと保護されているメールが満杯で上書きできないときは、ショートメッセージ(SMS)の受信は中止され、画面にはやのマークが表示されます。→P10
- 受信メールの最大保存件数→P16
- FOMAカードにショートメッセージ(SMS)が最大件数(20件)保存されているときは、「受信メール」に空きがあっても、ショートメッセージ(SMS)を受信できないことがあります。このとき、画面にはやのマークが表示されます。→P10　FOMA端末(本体)に移動するか、FOMAカードのショートメッセージ(SMS)を削除してください。→P188、P189

お知らせ

- 次のときはショートメッセージ(SMS)を自動受信しますが、受信中画面や受信結果画面は表示されず、着信音／着信ランプも動作しません。
  ・待受以外のとき(他の機能が起動中)　・オールロック中　・ドライブモード中
  ・PIMロック中　・カメラ撮影中　・スケジュールおよび目覚ましアラーム中
  ・ｉアプリ待受画面で[クリア]を押してソフトの画面に切り替えているとき
  受信したショートメッセージ(SMS)を確認するには、他の機能を終了、ソフトを終了してｉアプリ待受画面へ切り替え、アラームを中断、各ロックを解除、またはマルチタスク(オールロック、PIMロック中は利用できません)をご利用ください。
- フォルダ設定のプライバシーが「ON」のフォルダに受信されたショートメッセージ(SMS)は、未読件数としてカウントされません。
- FOMA端末内の電話帳に、メール着信設定のある相手からショートメッセージ(SMS)を受信した場合は、その設定に従って動作します。
  電話帳との照合は次のように行われます。
  ・複数のショートメッセージ(SMS)を同時に受信したときは、最後に受信したショートメッセージ(SMS)に設定されている条件に従いメール着信音や着信バイブレータ、着信ランプが動作します。
  ・シークレット属性を設定した電話帳データに電話番号が登録されている場合は、シークレットモード中だけ有効です。
  ・プライバシーモード起動中(電話帳を「認証後に表示」に設定した場合)は、登録されている相手の名前は表示されず、登録されている着信音やバイブレータなども動作しません。→『基本編』P208
- ｉモードメール、メッセージR/F受信中は、ショートメッセージ(SMS)を自動受信しません。また、ｉモードメール、メッセージR/Fの受信完了後も自動受信はされません。SMS問合せを行ってください。
- FOMA端末でショートメッセージ(SMS)を受信すると、ショートメッセージセンターに保管されているショートメッセージ(SMS)は削除されます。
- movaサービスのｉモード端末から送信したショートメールは、FOMA端末ではショートメッセージ(SMS)として受信します。
- 途中で受信に失敗した場合などにショートメッセージ(SMS)を受信し直すには、SMS問合せ(→下記)を行ってください。ただし、受信メールが最大保存件数まで達しているときは、あらかじめ未読メールの内容表示、不要メールの削除、保護解除などを行う必要があります。

ショートメッセージ(SMS)があるかどうかを問い合わせる<SMS問合せ>

圏外にいた間や電源を切っていた間にショートメッセージ(SMS)が届いていないかを問い合わせます。

●電波状態によってはSMS問合せができない場合がありますのでご了承ください。

待受画面で[✉▼][6][2]を押す

SMS問合せが実行されます。ショートメッセージセンターにショートメッセージ(SMS)が保管されていれば受信されます。

お知らせ

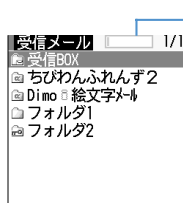
- SMS問合せを行っても、受信するまでに時間がかかる場合があります。

受信したショートメッセージ(SMS)を見る<受信メール>

受信済みのショートメッセージ(SMS)は「受信メール」に保存されます。

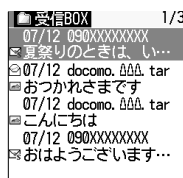
● プライバシーモード起動中は、メールのプライバシーモード設定の内容により、フォルダ一覧やフォルダが表示されません。→『基本編』P208

- 「認証後に表示」にしている場合、フォルダ一覧を表示させるには、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要です。
- 「指定フォルダを非表示」にしている場合は、フォルダ設定(→P190)のプライバシーを「ON」に設定しているフォルダは表示されません。
  受信メールのフォルダ一覧画面で(クリア)を1秒以上押し、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行うことにより、一時的にプライバシーモードを解除し、フォルダを表示することができます。

1 待受画面で(✉▼)(1あ/@)を押す

保存領域の使用率
ページ番号／全ページ数

- マークの意味は次のとおりです。
  - (グレー) ：メールなし
  - (ブルー) ：未読メールなし
  - ：プライバシーON
  - ：未読メールなし(メール連動型ｉアプリで利用)
  - ：未読メールあり
  - ：未読メールあり(メール連動型ｉアプリで利用)

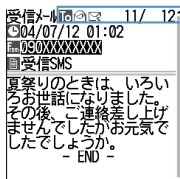
2 フォルダを選択して( )を押す

受信BOX 1/3
07/12 090XXXXXXXX
夏祭りのときは、い…
07/12 docomo.ΔΔΔ.tar
おつかれさまです
07/12 docomo.ΔΔΔ.tar
こんにちは
07/12 090XXXXXXXX
おはようございます…

フォルダ名、ページ番号／全ページ数
受信日時、発信元、本文の先頭(ｉモードメールでは題名)

- マークの意味は次のとおりです。
  - 状態マーク
    - ：未読
    - ：既読
    - ：既読(返信済み)
    - ：保護
    - ：保護(返信済み)
    - ：未読(返信不可)
    - ：既読(返信不可)
    - ：既読(転送済み)
    - ：保護(返信不可)
    - ：保護(転送済み)
    - ：メール連動型ｉアプリで利用されるメール

    ※ 返信済み／転送済みは後から行った操作のマークが優先表示されます。
  - SMSマーク
    - ：ショートメッセージ(SMS)
- 受信日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。
- データ異常のショートメッセージ(SMS)にはが表示され、受信日時は--/--(受信当日のみ)となります。発信元は表示されません。
- メール一覧の表示形式を選択できます。→P194

3 ショートメッセージ(SMS)を選択して◯を押す

受信メール 11/ 12
04/07/12 01:02
090XXXXXXXX
受信SMS
夏祭りのときは、いろいろお世話になりました。その後、ご連絡差し上げませんでしたがお元気でしたでしょうか。
－ END －

宛先マーク、状態マーク、SMSマーク、メール番号／件数
受信日時、発信元、題名

- マークの意味は次のとおりです。

To：宛先　　　◷：受信日時
From：発信元　　✕↰：返信不可の発信元
▤：題名「受信SMS」「SMS送達通知」

- 文字サイズを選択できます。→P197
- データ異常のショートメッセージ(SMS)には✕↰が表示され、From以外は表示されません。
- ◁▷を押すと前後のメールを表示できます。

お知らせ

- 受信メールの最大保存件数→P16
- 受信メールは「受信BOX」フォルダと最大45個のフォルダ(メール連動型ｉアプリ用のフォルダ5個を含む)に分類して保存できます。お買い上げ時の設定では、新たに受信したショートメッセージ(SMS)は「受信BOX」フォルダに保存されますが、受信時に自動的に他のフォルダに振り分けることもできます。→P203
- ショートメッセージ(SMS)および送達通知の題名、発信元は次のように表示されます。

項　目	ショートメッセージ(SMS)	送達通知
題名	受信SMS	SMS送達通知
発信元	電話番号	SMS Center

※ 電話番号が電話帳に登録されているときは、受信メール一覧の発信元には名前が表示されます。ただし、プライバシーモード起動中(電話帳を「認証後に表示」に設定した場合)は、名前は表示されません。→『基本編』P208

※ 発信者番号が通知されなかったときは、次の文字が発信元に表示されます。
「非通知設定」(非通知に設定して送られてきた場合)
「公衆電話」(公衆電話から送られてきた場合)
「通知不可能」(発信者番号を通知できない方法で送られてきた場合)

- 受信したショートメッセージ(SMS)に半角英数字や記号(。「 」、・ ゛ ゜を除く)以外のラテン文字、ギリシア文字、記号、および区点コード一覧表(→『基本編』P342)に記載されていない全角文字が含まれていたときは、スペースで表示されます。
- 受信メール一覧や受信ショートメッセージ(SMS)の内容表示中に新たにメールを受信しても、「ページ番号／全ページ数」「メール番号／件数」は更新されません。
- 詳細表示画面から電話番号やメールアドレス、URLを選択して電話帳に登録したり、URLを選択してブックマークに登録したりできます。→P200、P201
- 詳細表示画面の電話番号やメールアドレス、URLから電話をかけたり、ｉモードメールを送ったり、サイトを表示したりできます。→P49、P50、P199
- 受信ｉモードメールの見かた→P150

受信したショートメッセージ(SMS)に返信する<返信>

受信したショートメッセージ(SMS)に返信します。

● 発信元に「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」が表示される受信ショートメッセージ(SMS)には返信できません。

1 待受画面で[メールキー][1キー]を押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択して[決定キー]を押す

受信メール一覧が表示されます。

3 返信するショートメッセージ(SMS)を選択して[キー]を押す

引用文字

[To]には受信ショートメッセージ(SMS)の発信元の電話番号、[Text]には「>受信メッセージ(SMS)本文」が入力されています。

- 返信する際に本文を引用するかどうかと、引用した本文の先頭に付ける引用文字を設定できます。→P208

4 ショートメッセージ(SMS)を編集して送信する

- 操作方法→P175
- 返信すると、受信ショートメッセージ(SMS)の状態マークが[アイコン]から[アイコン]、または[アイコン]から[アイコン]に変わります。→P182

お知らせ

- 受信メール詳細表示画面から操作する場合は[キー]を押して操作します。

受信したショートメッセージ(SMS)を転送する<転送>

受信したショートメッセージ(SMS)を他の宛先に転送します。

● ショートメッセージ(SMS)で転送されます。

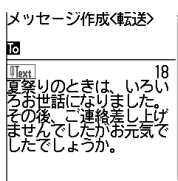
1 待受画面で(✉▼)(1 あ.@)を押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択して( )を押す

受信メール一覧が表示されます。

3 転送するショートメッセージ(SMS)を選択して(✉▼)を押す

メッセージ作成<転送>
To
Text 18
夏祭りのときは、いろいろお世話になりました。その後、ご連絡差し上げませんでしたがお元気でしたでしょうか。

Textには受信ショートメッセージ(SMS)の本文が入力されています。

4 ショートメッセージ(SMS)を編集して送信する

- 操作方法→P175
- 転送すると、受信ショートメッセージ(SMS)の状態マークが から 、または から に変わります。→P182

お知らせ

- 受信メール詳細表示画面から操作する場合は(MENU)を押し、「返信／転送」→「転送」を選択して操作します。

ショートメッセージ(SMS)をFOMAカードに保存する<FOMAカード保存SMS>

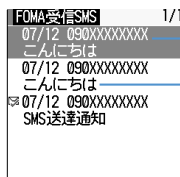
送受信したショートメッセージ(SMS)を、FOMA端末本体から移動またはコピーしてFOMAカードに保存できます。

FOMAカード内のショートメッセージ(SMS)を表示する

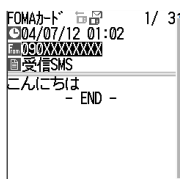
FOMAカードに保存されているショートメッセージ(SMS)を表示します。

〈例〉受信ショートメッセージ(SMS)を表示するとき

1 待受画面で[メール▼][7][1]を押す

FOMA受信SMS 1/1
07/12 090XXXXXXXX
こんにちは
07/12 090XXXXXXXX
こんにちは
07/12 090XXXXXXXX
SMS送達通知

ページ番号／全ページ数
受信日時、発信元または宛先
本文の先頭または「SMS送達通知」

- マークの意味は次のとおりです。
  - [マーク]：未読（返信可）　[マーク]：未読（返信不可）
  - なし：既読（返信可）　[マーク]：既読（返信不可）
  - [マーク]：送達通知
- 受信日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。
- 一覧の既読／未読のマークは、FOMAカード内のショートメッセージ(SMS)を表示したかどうかを示します。移動／コピー前の未読／既読の状態も引き継がれます。
- 送信ショートメッセージ(SMS)を表示するときは[メール▼][7][2]を押します。

2 ショートメッセージ(SMS)を選択して[●]を押す

FOMAカード 1/ 3
04/07/12 01:02
090XXXXXXXX
受信SMS
こんにちは
－ END －

ページ番号／全ページ数

- マークの意味は次のとおりです。
  - [マーク]：受信（返信可）　[マーク]：受信（返信不可）
  - [マーク]：送信　[マーク]：送達通知
  - [マーク]：FOMAカード内のショートメッセージ(SMS)
  - [マーク]：発信元または宛先　[マーク]：日時
  - [マーク]：題名「受信SMS」「送信SMS」「SMS送達通知」
- 送達通知の詳細表示画面には、宛先が表示されます。発信元は「SMS Center」と表示されます。
- 送信ショートメッセージ(SMS)をFOMAカードに移動／コピーした場合、FOMAカード内の送信ショートメッセージ(SMS)から送信日時のデータが消去されます。
- 詳細表示画面で[◀▶]を押すと前後のメールを表示できます。

お知らせ

- FOMAカード内のショートメッセージ(SMS)からも、受信ショートメッセージ(SMS)の返信／転送、送信ショートメッセージ(SMS)の再送信、文字サイズの変更、電話帳登録などの操作ができます。操作方法は送信ショートメッセージ(SMS)、受信ショートメッセージ(SMS)と同じです。
→P178、P182
- FOMAカード内のショートメッセージ(SMS)から返信／転送、再送信などを行った場合の送信済みメールは、本体の送信メールに保存されます。

ショートメッセージ(SMS)をFOMAカードに移動/コピーする

FOMA端末(本体)に保存されているショートメッセージ(SMS)を、FOMAカードに移動またはコピーします。

- FOMAカードには、送受信したショートメッセージ(SMS)を合わせて最大20件保存できます。
- iモードメールは、FOMAカードに保存できません。
- 未送信メールのショートメッセージ(SMS)は、FOMAカードに保存できません。
- 送信ショートメッセージ(SMS)を移動/コピーすると、対応する送達通知が同時にFOMAカードの「受信メール」に移動/コピーされます。送達通知だけを移動/コピーすることはできません。
- 送達通知の件数は保存可能件数の20件には含まれません。
- FOMAカードにショートメッセージ(SMS)が20件保存されているときは移動/コピーできません。FOMAカードから不要なショートメッセージ(SMS)を削除してください。→P189

〈例〉受信ショートメッセージ(SMS)をFOMAカードに移動するとき

1 待受画面で[✉▼][1]を押す

フォルダ一覧が表示されます。

- 送信ショートメッセージ(SMS)→P178

2 フォルダを選択して[●]を押す

受信メール一覧が表示されます。

3 移動するショートメッセージ(SMS)を選択して[MENU][4][2]を押す

確認画面が表示されます。

- ショートメッセージ(SMS)をコピーするときは[MENU][4][3]を押します。

4 「はい」を選択して[●]を押す

ショートメッセージ(SMS)が移動されます。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  受信メール詳細表示画面、送信メール詳細表示画面から操作する場合は[MENU]を押し、「移動/コピー」→「FOMAカードへ移動」または「FOMAカードへコピー」を選択して操作します。

FOMAカード内のショートメッセージ(SMS)をFOMA端末(本体)に移動／コピーする

FOMAカードに保存されているショートメッセージ(SMS)を、FOMA端末(本体)の「受信メール」、「送信メール」に移動またはコピーします。

- 送信ショートメッセージ(SMS)を移動／コピーすると、対応する送達通知が同時に「受信メール」に移動／コピーされます。送達通知だけを移動／コピーすることはできません。
- 受信メールまたは送信メールの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、移動／コピーできません。保護されていないショートメッセージ(SMS)やｉモードメールがあっても上書きされません。

〈例〉受信ショートメッセージ(SMS)をFOMA端末(本体)に移動するとき

1 待受画面で[メール][7][1]を押す

受信ショートメッセージ(SMS)一覧が表示されます。

- 送信ショートメッセージ(SMS)を移動／コピーするときは[メール][7][2]を押します。

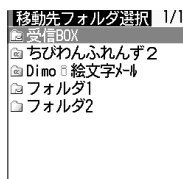
2 移動するショートメッセージ(SMS)を選択して[●]を押す

3 [MENU][2][1]を押す

確認画面が表示されます。

- ショートメッセージ(SMS)をコピーするときは[MENU][2][2]を押します。

4 [●]を押す

移動先フォルダ選択　1/1
受信BOX
ちびわんふれんず2
Dimo 絵文字ﾒｰﾙ
フォルダ1
フォルダ2

5 移動先フォルダを選択して[●]を押し、「はい」を選択して[●]を押す

受信ショートメッセージ(SMS)が移動されます。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  FOMAカードの受信ショートメッセージ(SMS)一覧、送信ショートメッセージ(SMS)一覧から操作する場合は[MENU]を押し、「移動／コピー」→「メモリ内へ移動」または「メモリ内へコピー」を選択して操作します。

FOMAカード内のショートメッセージ(SMS)を削除する

ショートメッセージ(SMS)を1件ずつ削除したり、まとめて削除したり、送達通知だけをまとめて削除します。

- 送信ショートメッセージ(SMS)を削除した場合、対応する送達通知がFOMAカード内にあれば、同時に削除されます。

1 待受画面で✉▼ 7 1を押す

受信ショートメッセージ(SMS)一覧が表示されます。

- 送信ショートメッセージ(SMS)を削除するときは✉▼ 7 2を押します。

2 削除するショートメッセージ(SMS)を選択してMENU 2 1を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- 受信ショートメッセージ(SMS)を全件削除するときはMENU 2 2を押し、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。
- 送達通知を全件削除するときはMENU 2 3を押します。

3 「はい」を選択して●を押す

ショートメッセージ(SMS)が削除されます。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  ショートメッセージ(SMS)の詳細表示画面から操作する場合はMENUを押し、「削除」を選択して操作します。

メールを管理する

FOMA端末には、メールをより使いやすくするためのさまざまな管理機能があります。

メールのフォルダを作成／削除する

メールを保存するフォルダの作成や削除をします。

- プライバシーモード起動中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）は、フォルダの作成、および削除はできません。→『基本編』P208

フォルダを作成する

- 「受信メール」では「受信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダ以外に最大40個作成できます。
- 「未送信メール」「送信メール」では「未送信BOX」「送信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダ以外にそれぞれ最大10個作成できます。
- 「受信BOX」「送信BOX」「未送信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリのフォルダのフォルダ設定は変更できません。

〈例〉受信メールのフォルダを追加するとき

1 待受画面で[メール][1]を押す

フォルダ一覧が表示されます。

- 未送信メール→P143、P178
- 送信メール→P143、P178

2 [MENU][1]を押し、フォルダ名を入力して[●]を押す

フォルダ設定
フォルダ名
富士通太郎
プライバシー　OFF

項　目	説　明
フォルダ名	メールのフォルダ名称を設定します。 全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。
プライバシー	プライバシーモード起動中に、フォルダを表示するかどうかを設定します。→『基本編』P208 ・「ON」に設定すると、プライバシーモード起動中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）はフォルダを表示しません。

■ フォルダ設定を変更するとき

フォルダ設定を変更するフォルダを選択して[MENU][3]を押す

3 設定する項目を選択して[●]を押し、設定する

4 [ｉα]を押す

フォルダが作成されます。

お知らせ

- メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、「受信メール」「送信メール」「未送信メール」のフォルダ一覧にそのメール連動型ｉアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。フォルダ名にはダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名が設定され、変更することはできません。
- 文字入力のしかた→『基本編』P309

フォルダを削除する

- お買い上げ時に登録されている「受信BOX」「送信BOX」「未送信BOX」フォルダは削除できません。
- メール連動型ｉアプリフォルダは、そのフォルダに対応するソフトを削除しない限り削除できません。→P92

〈例〉受信メールのフォルダを削除するとき

1 待受画面で✉▼ 1 を押す

フォルダ一覧が表示されます。

- 未送信メール→P143、P178
- 送信メール→P143、P178

2 削除するフォルダを選択してMENU 2 を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- フォルダ内にメールが残ったままフォルダを削除する場合は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。

3 「はい」を選択して●を押す

フォルダが削除されます。

メールを他のフォルダに移動する

保存されているメールを別のフォルダに移動します。

〈例〉受信メールを他のフォルダに移動するとき

1 待受画面で✉▼ 1 を押す

フォルダ一覧が表示されます。

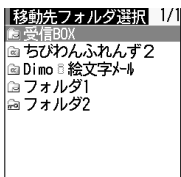
- 未送信メール→P143、P178
- 送信メール→P143、P178

2 フォルダを選択して●を押す

受信メール一覧が表示されます。

3 移動するメールを選択してMENU 4 1 を押し、●を押す

移動先フォルダ選択 1/1
受信BOX
ちびわんふれんず2
Dimo 絵文字ﾒｰﾙ
フォルダ1
フォルダ2

- 未送信メールを移動するときはMENU 4 を押します。

4 移動先フォルダを選択して●を押し、「はい」を選択して●を押す

受信メールが移動します。

メールを保護する

受信メール、送信メール、未送信メールの保存領域の空きがなくなっても上書きされないように、メールを保護します。

- 受信メールは最大500件、送信メールおよび未送信メールは最大100件保護できます。
- 未読メールは保護できません。

〈例〉受信メールを保護するとき

1 待受画面で[✉▼][1]を押す

フォルダ一覧が表示されます。

- 未送信メール→P143、P178
- 送信メール→P143、P178

2 フォルダを選択して[●]を押す

受信メール一覧が表示されます。

3 保護するメールを選択して[MENU][3][1]を押す

- メールを保護すると状態マークが次のいずれかに変わります。
  受信メール　：(既読)、(返信不可)、(返信済み)、(転送済み)
  送信メール　：
  未送信メール：
- メールを全件保護するときは[MENU][3][2]を押します。

■ 保護を解除するとき

受信メール一覧で、保護を解除するメールを選択して[MENU][3][3]を押す

- 受信メールの保護を全件解除するときは[MENU][3][4]を押します。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  メール詳細表示画面から保護する場合は[MENU]を押し、「保護」を選択して操作します。保護解除する場合には[MENU]を押し、「保護解除」を選択して操作します。送信メール、未送信メール一覧から保護する場合は[MENU]を押し、「保護」→「保護」または「全件保護」を選択して操作します。保護解除する場合には[MENU]を押し、「保護」→「保護解除」または「全件保護解除」を選択して操作します。
- 全件保護の途中で最大保護件数を超える場合は、日時が新しいメールから順に、最大保護件数に達するまで保護されます。

メールを削除する

「受信メール」「未送信メール」「送信メール」から不要なメールを削除します。

- 保護されているメールは削除できません。まとめて削除する場合、条件に該当していても保護されているメールは残ります。保護解除してから削除してください。

受信メールを削除する

- 次の方法で削除できます。

○：実行可　－：実行不可

削除方法	削除されるメール	実行する画面		
		フォルダ一覧	メール一覧	詳細表示
メール全件	全メール（未読も削除）	○	－	－
フォルダ内-既読	フォルダ内の既読メール	○	○	－
フォルダ内-全件	フォルダ内の全メール（未読も削除）	○	○	－
フォルダ内-7日経過	フォルダ内の受信後指定日数経過したメール（未読も削除）	○	○	－
フォルダ内-14日経過		○	○	－
フォルダ内-30日経過		○	○	－
選択メール1件	選択したメール	－	○	○

1 待受画面で ✉ 1 を押す

フォルダ一覧が表示されます。

- フォルダ内のメールを全件削除するときは、フォルダを選択して MENU 4 2 を押し、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行い操作5に進みます。

2 フォルダを選択して ● を押す

受信メール一覧が表示されます。

- メールを1件だけ削除するときは削除する受信メールを選択します。

3 MENU 2 を押す

4 1 ～ 6 を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- フォルダ内のメールを全件削除するときは 3 を押し、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。

5 「はい」を選択して ● を押す

メールが削除されます。

送信メール、未送信メールを削除する

- 次の方法で削除できます。

○：実行可　－：実行不可

削除方法	削除されるメール	実行する画面		
		フォルダ一覧	メール一覧	詳細表示
メール全件	全メール	○	－	－
フォルダ内-全件	フォルダ内の全メール	○	○	－
選択メール1件	選択したメール	－	○	○（送信メールのみ）

〈例〉送信メールを削除するとき

1 待受画面で[メール][5]を押す

フォルダ一覧が表示されます。

- フォルダ内のメールを全件削除するときは、フォルダを選択して[MENU][4][1]を押し、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行い操作4に進みます。

2 フォルダを選択して[●]を押す

送信メール一覧が表示されます。

- 未送信メール→P143、P178

3 削除するメールを選択して[MENU][2][1]を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- 保護メール以外全件削除するときは[MENU][2][2]を押し、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。

4 「はい」を選択して[●]を押す

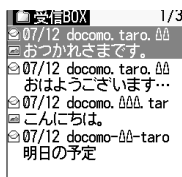
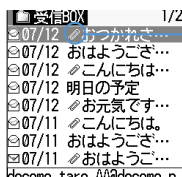
メールが削除されます。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  フォルダ一覧から操作する場合は[MENU]を押し、「メール削除」を選択して操作します。
  メール一覧から操作する場合は[MENU]を押し、「削除」を選択して操作します。

メール一覧の表示形式を変更する<メール一覧表示設定>

お買い上げ時	2行表示

「受信メール」「送信メール」のメール一覧の表示形式を、1行表示と2行表示から選択します。

＜2行表示＞

＜1行表示＞

- 「未送信メール」「FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）」の表示形式は選択できません。

2 [1キー]〜[2キー]を押す

表示形式が設定されます。

メールの件数を確認する<フォルダ内メール件数>

受信メール、未送信メールまたは送信メールが何件保存されているかを、フォルダごとに確認します。

〈例〉受信メールの保存件数を確認するとき

1 待受画面で[メールキー][1キー]を押す

フォルダ一覧が表示されます。

- 未送信メール→P143、P178
- 送信メール→P143、P178

2 件数を確認するフォルダを選択して[MENUキー][5キー]を押す

3 確認が終わったら[決定キー]を押す

フォルダ一覧に戻ります。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  メール一覧から操作する場合は[MENUキー]を押し、「表示」→「メール件数確認」を選択して操作します。

メールの並び順を替える<ソート>

お買い上げ時	日付順

「受信メール」「送信メール」のメール一覧の並び順を一時的に並べ替えます。

- 「未送信メール」「FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）」の並び順は変更できません。

〈例〉受信メール一覧を並べ替えるとき

1 待受画面で[メールキー][1キー]を押す

フォルダ一覧が表示されます。

- 送信メール→P143、P178

2 フォルダを選択して◯を押す

受信メール一覧が表示されます。

3 MENU 5 を押す

- 送信メールでは「日付順」「宛先順」「タイトル順」から選択できます。

4 並び順を選択して◯を押す

メールが一時的に並び替わります。

お知らせ

- 受信メール一覧や送信メール一覧の表示を終了すると、並び順は「日付順」に戻ります。
- タイトル順の場合、全角／半角の文字が混在していると、五十音順と一致しない場合があります。
- 同一フォルダ内にショートメッセージ（SMS）が含まれていると、一覧画面ではショートメッセージ（SMS）はメッセージの本文の先頭が表示されるため、タイトル順でソートした場合、五十音順と一致しません。

表示するメールの種別を選ぶ<表示種別>

お買い上げ時	すべて表示

「受信メール」「送信メール」のメール一覧に表示するメールの種別を選択します。

- 「未送信メール」「FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）」の表示種別は選択できません。

〈例〉受信メールの表示種別を選択するとき

1 待受画面で ✉ 1 を押す

フォルダ一覧が表示されます。

- 送信メール→P143、P178

2 フォルダを選択して◯を押す

受信メール一覧が表示されます。

3 MENU 7 2 を押す

- 送信メールでは「すべて表示」「保護のみ表示」から選択できます。

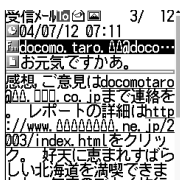
4 表示種別を選択して◯を押す

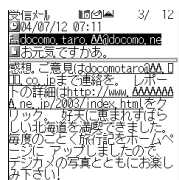
選択した種別で表示されます。

お知らせ

- 受信メール一覧や送信メール一覧の表示を終了すると「すべて表示」に戻ります。
- 「既読のみ表示」では、保護されている受信メールは表示されません。

メールの文字サイズを変更する<フォントサイズ>

お買い上げ時	中(標準)

受信メールや送信メール、メールテンプレートなどの内容を表示するときの文字サイズを変更します。

- メール作成(編集)時の文字サイズは変更できません。

<フォントサイズ大>

<フォントサイズ中(標準)>

<フォントサイズ小>

〈例〉受信メールの文字サイズを変更するとき

1 **待受画面で[✉▼][1]を押す**

フォルダ一覧が表示されます。

- 送信メール→P143、P178
- メールテンプレート→P141
- FOMAカード内のショートメッセージ(SMS)→P186

2 **フォルダを選択して[●]を押す**

受信メール一覧が表示されます。

3 **メールを選択して[●]を押し、[MENU][3][1]を押す**

4 **[1]～[3]を押す**

選択した文字サイズで表示されます。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  [MENU]を押し、「表示」→「フォントサイズ」を選択して操作します。
- 文字サイズを変更すると、次に受信メール、送信メール、メールテンプレートを表示するときも同じ文字サイズで表示されます。

メールアドレスを確認する<アドレス表示>

受信メール、送信メール、未送信メールの発信元や宛先のメールアドレスを表示します。メールアドレスがすべて表示できない場合や、電話帳に登録されていて名前が表示されている場合は、この方法でメールアドレスを確認できます。

メール一覧から表示する

宛先が複数あるときは全宛先のメールアドレスを、受信メールの場合には自分以外の宛先を表示します。

〈例〉受信メール一覧でメールアドレスを確認するとき

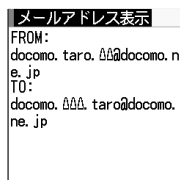
1 待受画面で(✉▼)(1)を押す

フォルダ一覧が表示されます。

- 未送信メール→P143、P178
- 送信メール→P143、P178

2 フォルダを選択して( )を押す

受信メール一覧が表示されます。

3 アドレスを表示するメールを選択して(MENU)(7)(3)を押す

4 確認が終わったら( )を押す

メール一覧に戻ります。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  メール詳細表示画面から操作する場合は(MENU)を押し、「表示」→「アドレス表示」を選択して操作します。

詳細表示画面から表示する

1 メール詳細表示画面を表示する

- 操作方法
  - ・受信メール→P150、P182　・送信メール→P143、P178　・メールテンプレート→P141

2 表示する発信元または宛先を選択して( )を押す

3 ( )を押す

メール詳細表示画面に戻ります。

便利な機能

表示中のｉモードメール、ショートメッセージ(SMS)の本文中の文字をコピーします。また、本文に電話番号、メールアドレス、URLがあるとき、これらを選択して音声電話／テレビ電話をかけたり(Phone To／AV Phone To)、ｉモードメールを作成したり(Mail To)、サイトを表示したり(Web To)できます。電話番号やメールアドレスなどを電話帳に登録することもできます。

Phone To(AV Phone To)・Mail To・Web Toを使う

- 操作方法はサイトからのPhone To(AV Phone To)、Mail To、Web Toと同じです。次の参照先をご覧ください。
  ・Phone To(AV Phone To)→P49　・Mail To→P49　・Web To→P50
  ・項目を選択してMENUを押すと、その電話番号に対して行えるサブメニューが表示されます。

お知らせ

- 電話番号を選択して〇を押し、発信方法を選択して〇を押すと、電話をかけられます。
- 電話帳に相手の電話番号とメールアドレスが登録されている場合は、相手のメールアドレスから電話帳の1件目に登録されている電話番号に電話をかけることができます。
  メールアドレスを選択してMENUを押し、「電話」を選択して〇を押した後、発信方法を選択して操作します。サブメニューの項目番号は画面により異なります。
- パソコンなどからメールを受信した場合、Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能が利用できないことがあります。

本文などをコピーする

表示中のｉモードメール、ショートメッセージ(SMS)中の文字をコピーします。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けることができます。

- 次のコピーができます。

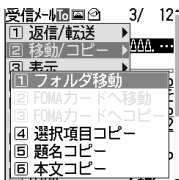
項　目	説　明
選択項目コピー	反転表示されている項目(メールアドレス、電話番号など)をコピーします。
題名コピー	題名をコピーします。
本文コピー	本文中の指定した範囲の文字をコピーします。

- FOMAカード内のショートメッセージ(SMS)の場合、本文コピーと宛先コピー、送信者コピーができます。
- デコメールの場合、装飾情報はコピーされず、テキスト部分のみコピーができます。
- コピーした文字は電源を切るまでFOMA端末に記録され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。
- 記録できるのは1件だけです。新たにコピーを行うと、前にコピーした文字に上書きされます。

〈例〉受信メール詳細画面からコピーするとき

1 **コピーする項目を含む受信メール詳細表示画面を表示する**

- 操作方法
  ・受信メール→P150、P182　・送信メール→P143、P178　・メールテンプレート→P140
  ・FOMAカード内のショートメッセージ(SMS)→P186
- 選択項目コピーの場合はコピーする項目を選択します。

2 MENU 2 を押す

3 コピー方法を選択して⬭を押す

- 本文コピーの場合はコピーする範囲を指定します。
  操作方法→P51 操作2

4 貼り付け先の文字入力画面を表示し、文字を貼り付ける

コピーした文字が貼り付けられます。

- 操作方法→『基本編』P324

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  送信メール詳細画面、メールテンプレート詳細画面、FOMAカード内のショートメッセージ(SMS)詳細画面から操作するときはMENUを押し、「移動／コピー」を選択して操作します。
- メールにDate To形式の本文が含まれている場合は、いったんメモ帳にコピーしてからスケジュール登録をすることができます。→『基本編』P254

電話番号やアドレス、URLを電話帳に登録する

表示中のｉモードメール、ショートメッセージ(SMS)中のメールアドレス、電話番号、URLを電話帳に登録します。新規に登録することも、登録済みの電話帳データに追加することもできます。

- プライバシーモード起動中(電話帳を「認証後に表示」に設定した場合)は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。→『基本編』P208

〈例〉受信メール詳細表示画面から電話帳登録するとき

1 登録する項目を含むメールを表示する

- 操作方法
  ・受信メール→P150、P182　・送信メール→P143、P178
  ・FOMAカード内のショートメッセージ(SMS)→P186
- 反転表示されるメールアドレス、電話番号、URLのみ登録できます。

2 項目を選択して MENU 4 を押す

3 (1 あ .,/@)～(2 か ABC)を押す

- 新規登録する場合は(1 あ .,/@)を押します。以降の操作はサイトからの登録操作(→P52操作3以降)と同様です。
- 更新登録する場合は(2 か ABC)を押します。以降の操作はサイトからの登録操作(→P53操作3以降)と同様です。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  送信メール詳細画面、FOMAカード内のショートメッセージ(SMS)詳細画面から操作するときは(MENU)を押し、「登録」を選択して操作します。
- 表示中のｉモードメールやショートメッセージ(SMS)にメールアドレスや電話番号、URLが設定されていても、反転表示されていなければ登録操作はできません。ただし、受信メールでは発信元、送信メールでは宛先(複数宛先のときは選択可能)を反転表示して電話帳に登録することはでき、この場合、ｉモードメールではメールアドレス、ショートメッセージ(SMS)では電話番号が登録されます。
- デコメールからは登録できない場合があります。
- メール本文などに複数のメールアドレスが列記されている場合は、登録できないことがあります。

URLをブックマークに登録する

表示中のｉモードメール、ショートメッセージ(SMS)の本文中にURLがあるとき、その画面から直接、URLをブックマークに登録できます。

〈例〉受信メール詳細表示画面からブックマーク登録するとき

1 登録するURLを含むメールを表示する

- 操作方法
  - ・受信メール→P150、P182　・送信メール→P143、P178
  - ・FOMAカード内のショートメッセージ(SMS)→P186

2 URLを選択して(MENU)(4 た GHI)を押す

- 反転表示されるURLのみ選択できます。

3 (3 さ DEF)を押す

登録先フォルダ選択画面が表示されます。

4 登録先フォルダを選択して( )を押す

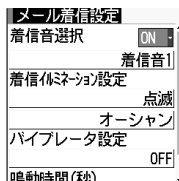
ブックマークが登録されます。→P38

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  送信メール詳細画面、FOMAカード内のショートメッセージ(SMS)詳細画面から操作するときは(MENU)を押し、「登録」を選択して操作します。
- デコメールからは登録できない場合があります。

メール着信時の動作を設定する＜メール着信設定＞

お買い上げ時	着信音選択：ON／着信音1　着信イルミネーション設定：点滅／オーシャン バイブレータ設定：OFF　鳴動時間：10秒

iモードメール、ショートメッセージ（SMS）を受信したときの動作を設定します。

1 待受画面で[メール][9][1]を押す

メール着信設定
着信音選択　ON
着信音1
着信ｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝ設定
点滅
オーシャン
バイブレータ設定
OFF
鳴動時間(秒)

項　目	説　明
着信音選択	着信音を鳴らすかどうかと、着信音を鳴らすときのメロディを設定します。
着信イルミネーション設定	着信ランプの点灯／点滅パターンと色を設定します。 • 「メロディ連動」または「OFF」に設定すると色を選択できません。
バイブレータ設定	バイブレータの動作を設定します。 • パターンごとの振動内容→『基本編』P158
鳴動時間	着信音が鳴る時間を設定します。

2 設定する項目を選択して[決定]を押し、設定する

3 [電話帳]を押す

設定内容が登録されます。

お知らせ

- 電話帳でメール着信時の設定をしている相手からの着信があった場合は、電話帳の設定で動作します。→『基本編』P120
- 着信イルミネーション設定やバイブレータ設定でメロディ連動に設定するとメロディに合わせて点灯、振動します。ただし、ダウンロードしたメロディのファイル仕様によっては連動しないことがあります。

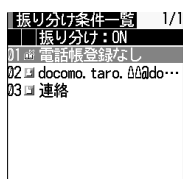
受信メールを自動的にフォルダに振り分ける<メール振り分け設定>

受信したｉモードメールやショートメッセージ(SMS)に振り分け条件を設定し、自動的にフォルダに振り分けるかどうかを設定します。

- 条件は30件登録できます。
- プライバシーモード起動中(電話帳を「認証後に表示」に設定した場合)に電話帳を利用する場合は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。→『基本編』P208

振り分け条件を設定する

- 設定した振り分け条件を実行するには、自動振り分け設定を「ON」に設定する必要があります。→P206

1 待受画面で[✉▼][9][2]を押す

自動振り分け設定のON／OFFが表示されます。

登録済みの条件が優先順位順に一覧表示されます。
マークは条件の種類を示します。

From：メールアドレス　No.：メモリ番号　×：電話帳登録なし
：題名　Gr.：グループ　：条件なし

■ 振り分け条件を確認するとき

条件を選択して[●]を押す

■ 登録済みの条件を変更するとき

変更する条件を選択して[MENU][2]を押す

操作2に進みます。

■ 優先順位を変更するとき

①変更する条件を選択して[MENU][5]を押す

優先順位指定画面が表示されます。

②条件を移動する位置を選択して[●]を押す

- 選択した行の上に条件が移動します。一覧の最後に移動するときは、[最後に移動する]を選択します。

■ 条件を削除するとき

①削除する条件を選択して[MENU][3]を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- 条件をすべて削除するときは[MENU][4]を押し、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。

②「はい」を選択して[●]を押す

条件が削除されます。

2 MENU 1を押す

振り分け条件の指定
1 メールアドレス
2 題名
3 メモリ番号
4 グループ
5 電話帳登録なし
6 条件なし

条　件	説　明
メールアドレス	指定したメールアドレスから送られてきたメールを振り分けます。メールアドレスは@以降の文字も含めてアドレス全体を指定します（半角で最大50文字）。アドレスの一部の文字を指定して振り分けることはできません。 電話番号を指定すると、ショートメッセージ（SMS）も振り分けできます。
題名	指定した文字を含む題名のメールを振り分けます（全角で最大15文字）。 ショートメッセージ（SMS）は題名では振り分けできません。
メモリ番号※	指定したメモリ番号で登録されている発信元からのメールを振り分けます。
グループ	電話帳で指定したグループに登録されている発信元からのメールを振り分けます。
電話帳登録なし※	電話帳に登録されていない発信元からのメールを振り分けます。
条件なし	上記条件に該当しないメールを振り分けます。

※：振り分ける場合の条件としてｉモードメールでは電話帳のメールアドレスと、ショートメッセージ（SMS）では電話帳の電話番号と照合されます。

3 追加する条件を選択する

■メールアドレスを指定するとき

①1を押す

②1～2を押す

- 電話帳に登録されているメールアドレスを指定するときは1を押し、入力するアドレスのある電話帳を選択して◯を押し、メールアドレスを選択して◯を押します。
→『基本編』P128
- 直接メールアドレスを入力するときは2を押し、メールアドレスを入力して◯を押し、田を押します。

■ 題名を指定するとき

①2を押す

②題名を入力してを押し、を押す

■ メモリ番号を指定するとき

①3を押す

②電話帳を選択してを押す

■ グループを指定するとき

①4を押す

②1～2を押す

③指定するグループを選択してを押す

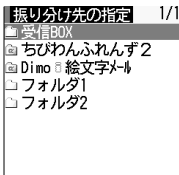
■ 電話帳登録なしを指定するとき

5を押す

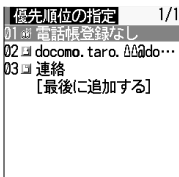
■ 条件なしを指定するとき

6を押す

4 振り分け先フォルダを選択して◯を押す

振り分け先の指定 1/1
受信BOX
ちびわんふれんず2
Dimo 絵文字メール
フォルダ1
フォルダ2

- プライバシーモード起動中は、次の操作が必要です。
  - ・「認証後に表示」にしている場合は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。→『基本編』P208
  - ・「指定したフォルダを非表示」にしている場合に、フォルダ設定(→P190)のプライバシーを「ON」に設定しているフォルダに振り分ける場合は、(クリア)を1秒以上押し、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行い、フォルダを選択します。
- メール連動型ｉアプリフォルダを選択したときは、フォルダを利用するかどうかの確認画面が表示されます。
  利用するときは「はい」を選択して◯を押します。

5 優先順位を指定して◯を押す

優先順位の指定 1/1
01 電話帳登録なし
02 docomo.taro.@do…
03 連絡
[最後に追加する]

選択した行の上に新しい振り分け条件が追加されます。

- 最後に追加するときは[最後に追加する]を選択して◯を押します。
- 条件は優先順位の高いものから順に並びます。
- 登録済みの条件を変更したときは[最後に追加する]は、[最後に移動する]と表示されます。

お知らせ

- 条件は優先順位に従って判定されます。たとえば、条件を2件設定した場合、次のように振り分けられます。
  ①優先順位1の条件に該当するかが判定され、条件に合えば指定のフォルダに保存されます。条件に合わなかったときは②に進みます。
  ②優先順位2の条件に該当するかが判定され、条件に合えば指定のフォルダに保存されます。条件に合わなかったときは「受信BOX」フォルダに保存されます。
- 設定した条件は、条件設定後に受信するメールに対して有効です。受信済みのメールは振り分け直されません。
- 送信元の端末がｉモード端末でメールアドレスが電話番号の場合、受信するアドレスは電話番号のみになるので、振り分け設定に「電話番号@docomo.ne.jp」と登録した場合は振り分けられません。
- 送信メールは振り分けられません。
- 文字入力のしかた→『基本編』P309

振り分けるかどうかを設定する

お買い上げ時 | ON

1 待受画面で(✉▼)(9)(2)を押し、(MENU)(6)を押す

自動振り分け設定画面が表示されます。

2 (1)～(2)を押す

自動振り分けが設定されます。

メールの署名を登録する<署名設定>

お買い上げ時 | する

ｉモードメールやショートメッセージ(SMS)の本文に付ける署名を登録します。また、メール作成時に署名を自動的に挿入するかどうかを設定します。

1 待受画面で ✉▼ 9 3 を押す

2 自動挿入欄を選択して ● を押し、1 〜 2 を押す

- 2 を押したときは、操作4に進みます。

3 署名欄を選択して ● を押し、署名を入力して ● を押す

- 全角で最大50文字、半角で最大100文字入力できます。

4 📖 を押す

設定内容が登録されます。

お知らせ

- 署名も本文の文字数に含まれます。
- ｉモード端末(mova含む)どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。正しく表示されない場合があります。
- 一部の絵文字(→『基本編』P318)は、相手のｉモード端末の機種によっては正しく表示されない場合があります。
- 署名を自動挿入しない設定にしたときは、メール作成時にサブメニューから選択して挿入できます。→P128
- 署名に電話番号やメールアドレス、URLを入れておくと、ｉモード端末にｉモードメールを送信した場合、相手がPhone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能を使うことができます。
- 文字入力のしかた→『基本編』P309

返信時に本文を引用するかどうかを設定する<メール返信引用設定>

お買い上げ時	引用：する　引用文字：>

ｉモードメールやショートメッセージ（SMS）に返信する際に、受信メールの本文を引用するかどうかを設定します。また、引用する本文に付ける引用文字を設定します。

待受画面で［メール］［9］［4］を押す

2 引用欄を選択して［決定］を押し、［1］～［2］を押す

- ［2］を押したときは、操作4に進みます。

3 引用文字欄を選択して［決定］を押し、引用文字を入力して［決定］を押す

- 全角で1文字、半角で最大2文字入力できます。

4 ［登録］を押す

設定内容が登録されます。

お知らせ

- 引用文字も本文の文字数に含まれます。
- 文字入力のしかた→『基本編』P309

ショートメッセージ(SMS)の各種利用条件を設定する<SMS設定>

お買い上げ時	送信文字種：日本語　送達通知：要求しない　有効期間：3日 SMSC：ドコモ　Type of Number：international

ショートメッセージ(SMS)を利用する際の各種条件を設定します。

通常はSMSC、アドレス、Type of Numberの設定を変更する必要はありません。

1 待受画面で[メール][9][7]を押す

SMS設定
送信文字種　日本語
送達通知　要求しない
有効期間　3日
SMSC　ドコモ
アドレス
Type of Number
international

項　目	説　明
送信文字種	日本語のメッセージを送信するか、英語のメッセージを送信するかを選択します。文字種により送信できる文字数が異なります。→P126
送達通知	ショートメッセージ(SMS)を送信する際に、送達通知の配信を要求するかどうかを設定します。
有効期間	送信したショートメッセージ(SMS)を相手が受け取れないときに、ショートメッセージセンターで保管する期間を選択します。
SMSC	ドコモ以外のSMSサービスを受ける場合に設定します。 ●「その他」に設定したときは、アドレス欄を選択し、アドレスを入力します。半角で最大20文字入力できます。
Type of Number	「international」「unknown」のいずれかを設定します。

2 設定する項目を選択して[●]を押し、設定する

3 [電話帳/確定]を押す

設定内容が登録されます。

お知らせ

- メッセージ作成画面から操作する場合は[MENU]を押し、「SMS設定」を選択して操作します。この場合には、「送達通知」「有効期間」のみ設定できます。また、メッセージ作成画面のサブメニューから設定した場合は、作成中のショートメッセージ(SMS)にだけ有効です。

マルチメディア編

カメラをご使用になる前に

撮影して保存した静止画や動画でこんなこともできます

- 撮影した静止画や動画は、FOMA端末で表示・再生して楽しむ他に、ｉモードメールやデータ転送で他のFOMA端末やe-mail(パソコンや他社携帯電話など)に送信することができます。→P247、P273
- 撮影した静止画や動画を、待受画面や電話の着信画面などに設定できます。また、動画の音声を電話の着信音に設定することもできます。→P247、P274
- 静止画や動画にフレームを重ねて撮影したり、モノトーン、セピアなどの効果をかけて撮影することができます。さらに静止画には、撮影後に「イメージ」でフレームを重ねたり、文字やスタンプを貼り付けたり、いろいろな効果をかけたりすることもできます。
- 撮影した静止画や動画は、miniSDメモリーカードに保存することができます。→P309
- 設定によっては、カメラを起動した場合に、撮影画面に画像が表示されるまで時間がかかることがあります。

カメラのご使用について

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますのでご了承ください。
- FOMA端末を暖かい場所に長時間置いた後で撮影したり、画像を保存したりすると、画質が劣化することがあります。
- カメラ部分に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 直接、太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- レンズの特性により、画像がゆがんで見える場合があります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面が明るくなったり暗くなったりする「フリッカー現象」が起こる場合があり、撮影のタイミングによっては、画像の色合いが異なることがあります。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- ◯を押してから実際に撮影されるまでに若干の時間差がありますので、速く動いている被写体を撮影すると、◯を押したときにディスプレイに表示されていた位置とは若干ずれた位置で被写体が撮影される場合があります。
- FOMA端末のインカメラはCMOSカメラです。薄暗い場所での撮影時などは、CCDカメラであるアウトカメラの映像と比較すると若干粗く見えることがありますが、故障ではありませんのでご了承ください。

撮影時の留意事項

- レンズに指紋や油脂などがつくと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布できれいに拭いてください。
- アウトカメラで撮影する場合は、レンズ部分を指などで覆わないようにしてください。
- 手ぶれにご注意ください。FOMA端末が動かないようにしっかり持って撮影するか、FOMA端末を安定した場所に置き、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
- ◯を押してから実際に撮影されるまでに若干の時間差がありますので、◯を押してから少しの間、FOMA端末を動かさないようにしてください。
- 動画撮影の際、手ぶれをおこしたり、動きの激しいものを撮影したりすると、画像が乱れることがあります。
- 静止画撮影時にワンタッチライトを使用していると、撮影時の点灯が確認しにくい場合があります。また、動画撮影時にワンタッチライトを使用していると、撮影中の点灯／点滅は確認できません。
- インカメラで自画像を表示すると鏡像表示されます。撮影保存される静止画や動画は正像となりますが、静止画の場合、自動保存を「しない」に設定して保存確認画面で鏡像を保存することもできます。→P223
- ｉアプリのソフトからカメラ撮影を実行した場合、撮影した静止画や動画は「イメージ」や「ｉモーション」のフォルダには保存されず、ソフト内(ソフトによっては「モード」フォルダ→P245、P270)に保存されます。また、撮影した静止画や動画はソフトから通信によりサーバへ自動的に送られる場合があります。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、カメラ使用中にminiSDメモリーカードを抜かないでください。miniSDメモリーカードが破損したり、本体の故障の原因になります。

- miniSDメモリーカードの空き容量が少なくなると撮影できないことがあります。miniSDメモリーカードを利用する場合は十分な空き容量があることを確認してから撮影してください。
- 撮影した静止画、動画を保存する前に電池残量がなくなると、撮影画像は破棄されます。

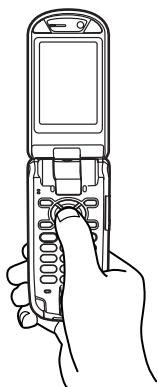
著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して録画や録音などされたもの並びにサイト(番組)やインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されておりますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。録画または録音などされたものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、録画または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

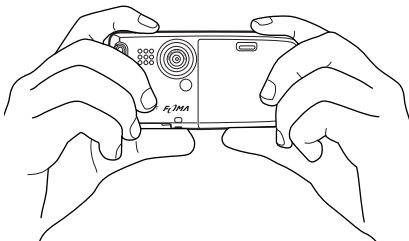
撮影時の端末の状態について

FOMA端末の開きかたによって、2とおりの撮影状態があります。

- FOMA端末の操作状態→『基本編』P35

オープン状態

FOMA端末を片手で持ち、マルチカーソルキーやダイヤルキーなどを操作して撮影するスタイルです。

- オープン状態で撮影する場合は、アウトカメラのレンズ部分を指で覆わないように注意してください。

ターン状態

FOMA端末をデジタルカメラのように持ち、スタイラスペンでメニューや撮影効果の設定をした後、サイドキー操作で撮影するスタイルです。

カメラを起動する／終了する

静止画や動画を撮影するには、はじめにカメラやビデオカメラを起動して、静止画撮影画面や動画撮影画面を表示します。
ここでは、FOMA端末の操作状態ごとに静止画撮影画面／動画撮影画面を起動／終了する方法を説明します。

● FOMA端末の操作状態→『基本編』P35

オープン状態で起動／終了する

オープン状態でカメラを起動／終了します。

静止画を撮影する場合

1 待受画面で[カメラキー]を押す

静止画撮影画面が表示されます。

- 静止画を撮影する→P219

動画を撮影する場合

1 待受画面で[カメラキー]を1秒以上押す

動画撮影画面が表示されます。

- 動画を撮影する→P227

カメラを終了する

1 [電源]を押す

待受画面に戻ります。

ターン状態で起動／終了する

ターン状態でカメラを起動／終了します。

- 待受中にFOMA端末をターン状態にするとタッチメニューが表示されます。をタップして待受画面に戻してからカメラを起動してください。

静止画を撮影する場合

1 待受画面でサイドキー[ ]を1秒以上を押す

静止画撮影画面が表示されます。

タッチメニューで「カメラ」をタップしても起動できます。

- 静止画を撮影する→P219

動画を撮影する場合

1 待受画面でサイドキー[ ]を1秒以上押す

静止画撮影画面が表示されます。

2 サイドキー[▼]を1秒以上押す

動画撮影画面が表示されます。

- 動画を撮影する→P227

カメラを終了する

1 をタップする

待受画面に戻ります。

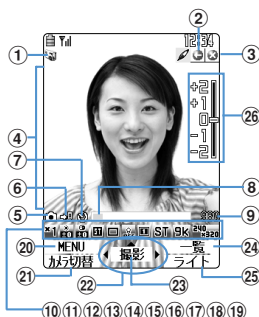
カメラを利用して静止画を撮る<カメラ>

さまざまな撮影方法を選択して静止画を撮影します。

● セルフタイマーのカウントダウン音および撮影確認音（シャッター音）を鳴らさないようにすることはできません。着信音量調整を「消音」に設定したり、マナーモードを設定したりしていてもカウントダウン音および撮影確認音（シャッター音）は鳴ります。
● 接写モードと通常モードを画面上で識別することはできません。近くのものを撮影するとき以外は、通常モード（本体左側の接写切替スイッチが●の示す方向の位置）になっていること（ •）を確認してから撮影してください。
● アウトカメラで撮影する場合は、レンズ部分を指などで覆わないようにしてください。
● FOMA端末をターン状態で撮影したときは着信ランプが隠れてしまうため、点灯／点滅は確認できません。

静止画撮影画面とタップについて

カメラを起動すると、静止画撮影画面が表示されます。マークは現在の設定内容を表示しています。また、一部のマークはスタイラスペンでタップして設定を変更することもできます。
静止画撮影画面のマークの表示とタップの可否は次のとおりです。

静止画撮影画面

番号	機能名	タップの可否	説　明
①	静止画撮影画面表示中	○	新規起動メニューの表示→『基本編』P273
②	1つ前の画面に戻る→P11	○	——
③	カメラを終了する→P11	○	——
④	ファインダ（マークが表示されていない部分）	○	カメラからの画像が表示されます。 • 撮影画面でタップすると、標準画面モードと全画面モードが切り替わります。 • 設定変更中にタップすると、確認メッセージが表示されます。「保存」をタップすると、選択した内容が保存されます。
⑤	静止画撮影状態	—	：撮影待機中
⑥	保存先選択→P223	—	：端末本体 ：miniSDメモリーカード
⑦	セルフタイマー→P220	—	：ON 表示なし：OFF
⑧	インジケータ	—	通常：静止画保存領域の使用率 セルフタイマー撮影中（カウントダウン中）：撮影までの残り時間 •「保存先選択」で「本体」を選択した場合、お買い上げ時の状態でもインジケータの使用率は0にはなりません。 •「保存先選択」で「miniSDカード」を選択した場合、撮影画像が保存されていなくても、インジケータの使用率が0にならないことがあります。→P223
⑨	カウンタ	—	通常：静止画撮影の残り枚数（目安） セルフタイマー撮影中（カウント中）：撮影までの秒数
⑩	ズーム→P235	○	：標準　：2倍　：4倍※　：6倍※ ：8倍※　：10倍※　：12倍※　：16倍※ ※アウトカメラ撮影時のみ
⑪	明るさ→P236	○	：－2　：－1　：±0　：＋1　：＋2
⑫	色の濃さ→P237	○	：－2　：－1　：±0　：＋1　：＋2
⑬	効果→P235	○	：標準　：夜景　：風景　：海・雪 ：夕焼け　：モノトーン　：セピア ：逆光
⑭	フレーム→P237	○	：設定　：解除
⑮	ワンタッチライト→P233	○	：ON　：OFF アウトカメラ撮影時に表示されます。
⑯	連続撮影→P221	○	：オフ（1枚）　：手動　：自動

番号	機能名	タップの可否	説　明
⑰	画質→P239	○	ECO：エコノミー　FINE：ファイン ST：スタンダード
⑱	サイズ制限 →P240	○	9k：9000バイト　100k：100Kバイト ∞：制限なし
⑲	画像サイズ →P238	○	96×72：96×72　128×96：128×96 176×144：176×144　240×320：240×320※ 352×288：352×288　640×480：640×480※ 480×640：480×640※　960×1280：960×1280※ ※アウトカメラ撮影時のみ
⑳	ガイド行表示	○	MENUを押した場合と同じ操作ができます。 MENU：サブメニューが表示され、タップでメニューを選択できます。
㉑		○	を押した場合と同じ操作ができます。 カメラ切替：インカメラ／アウトカメラを切り替えます。→P234
㉒		○	を押した場合と同じ操作ができます。 ● 操作文中は【ガイド行】と記載しています。
㉓		○	を押した場合と同じ操作ができます。 撮影：撮影します。→P219 保存：撮影した画像を保存します。→P220 選択：画像やメニューなどを選択します。→P220 決定：設定を確定します。
㉔		○	を押した場合と同じ操作ができます。 一覧：画像を一覧表示します。→P220 補正：画像を補正します。→P263 中断：セルフタイマーを途中でキャンセルします。→P220 登録：静止画設定を登録します。→P223
㉕		○	を押した場合と同じ操作ができます。 ライト：ワンタッチライトのON／OFFを切り替えます。→P233 ✉作成：メールを作成します。→P247
㉖	スライダ	○	ズーム、明るさ、色の濃さの設定する値をタップします。

- ｉアプリから起動されたときは、残り枚数、保存領域の使用率、ファイルサイズ制限は表示されません。また、カメラの切り替え、ワンタッチライトのON／OFF、セルフタイマーのON／OFF以外の変更はできません。

● お買い上げ時の静止画設定一覧

項　目	お買い上げ時の設定	項　目	お買い上げ時の設定
画像サイズ	待受サイズ240×320	**連続撮影枚数**	5
画質	スタンダード	**自動保存**	しない
撮影日時	なし	**保存先選択**	本体
サイズ制限	9000バイト	**自動終了時間**	1分後
セルフタイマー間隔	10秒	**撮影確認音**	標準
連続撮影間隔	速い	**照明設定**	常灯

■ 静止画ファイルについて

ファイル形式		JPEG
画像サイズ	96×72(電話帳サイズ) 128×96(Sub-QCIF) 176×144(QCIF) 240×320 (縦長QVGA)※ 352×288(CIF)	iモードメールに添付してiモード端末やパソコンなどに送信できます。また、miniSDメモリーカードや専用のデータリンクソフトを利用することでパソコンや他の対応する端末に取り込むことができます。→P137、313、390 • iモード端末に送信できるファイルサイズは100Kバイトまでです。
	640×480(横長VGA)※ 480×640(縦長VGA)※	iモードメールに添付してiモード端末やパソコンなどに送信できます。また、miniSDメモリーカードや専用のデータリンクソフトを利用することでパソコンや他の対応する端末に取り込むことができます。→P137、313、390 • iモード端末に送信できるファイルサイズは100Kバイトまでです。
	960×1280 (縦長SXGA)※	ファイルサイズが100Kバイト以下であればiモードメールに添付してiモード端末やパソコンなどに送信できます。miniSDメモリーカードや専用のデータリンクソフトを利用することでパソコンや他の対応する端末に取り込むことができます。→P137、313、390 • iモード端末に送信できるファイルサイズは100Kバイトまでです。
拡張子		.jpg
ファイル名		撮影日時により自動設定 (例)2004年7月12日12時34分56秒に撮影した場合 →20040712123456.jpg
ファイルサイズの制限		100Kバイト、9000バイト • 最大値は「制限なし」に変更できます。→P223
メール添付・出力		メール添付やFOMA端末外への出力可能 • iモードメールに添付してiモード端末に送信する場合は、サイズ制限を「制限なし」以外に設定します。→P223
最大保存件数		端末本体:1000件 miniSDメモリーカード:9999件→P311 • データサイズや他の画像サイズによっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。

※:アウトカメラ撮影時のみ

- **保存可能な枚数の目安**

撮影可能な枚数は、静止画設定(→P223)の「画質」「画像サイズ」「サイズ制限」の設定や撮影状況によって変わります。
撮影可能な枚数の目安は次のとおりです。

<FOMA端末本体に保存する場合>

画質＼画像サイズ	96×72	128×96	176×144	240×320	352×288	640×480	480×640	960×1280
エコノミー	約960※(枚)	約960※(枚)	約960※(枚)	約599(枚)	約599(枚)	約359(枚)	約359(枚)	約94(枚)
スタンダード	約960※(枚)	約960※(枚)	約960※(枚)	約499(枚)	約499(枚)	約224(枚)	約224(枚)	約52(枚)
ファイン	約960※(枚)	約899(枚)	約750(枚)	約299(枚)	約299(枚)	約112(枚)	約112(枚)	約35(枚)

※:イメージの「アイテム」フォルダ内のデータを削除すれば空き容量が増え、最大1000件保存可能になりますが、お買い上げ時の状態での上限は約960枚です。

<付属のminiSDメモリーカード(16MB)に保存する場合>

画質＼画像サイズ	96×72	128×96	176×144	240×320	352×288	640×480	480×640	960×1280
エコノミー	約7200(枚)	約3600(枚)	約2400(枚)	約960(枚)	約960(枚)	約576(枚)	約576(枚)	約151(枚)
スタンダード	約3600(枚)	約1800(枚)	約1600(枚)	約800(枚)	約800(枚)	約360(枚)	約360(枚)	約84(枚)
ファイン	約2880(枚)	約1440(枚)	約1200(枚)	約480(枚)	約480(枚)	約180(枚)	約180(枚)	約54(枚)

静止画を撮影する

- 撮影時にさまざまな設定ができます。→P233
- 静止画撮影画面とタップについて→P216

1 静止画撮影画面で被写体にカメラを向け、 またはサイドキー[ ]を押す

オープン状態の場合：
撮影確認音(シャッター音)が鳴り、着信ランプ、ワンタッチライト(アウトカメラ撮影時のみ)が赤色で点灯して静止画が撮影されます。
ターン状態の場合：
撮影確認音(シャッター音)が鳴り、ワンタッチライト(アウトカメラ撮影時のみ)が赤色で点灯して静止画が撮影されます。

- インカメラ撮影時、またはアウトカメラで鏡像表示して撮影した場合、保存確認画面には鏡像が表示されます。

次の操作ができます。

またはサイドキー[▲▼]：
連続撮影した画面を切り替えて表示します。→P221

クリア またはサイドキー[▲]を1秒以上：
静止画の保存を中止します。

：静止画を補正します。→P263

：メールを作成します。
保存確認画面で「はい」を選択して を押します。→P247
保存先を「miniSDカード」にしていても本体に保存されます。

・静止画の画像サイズによってはできない操作があります。

- 保存確認画面を表示せずに保存することもできます。→P223

■ 保存先をFOMA端末本体／miniSDメモリーカードに切り替えるとき

MENU 1 を押す

■ 鏡像で保存するとき

MENU 2 を押す

- インカメラ撮影時でフレームが設定されていない場合のみ選択できます。

■ 正像表示／鏡像表示を切り替えるとき

MENU 3 を押す

- インカメラ撮影時、またはアウトカメラで鏡像表示して撮影した場合に切り替えられます。

2 ◯またはサイドキー[▭]を押す

撮影した静止画が、「イメージ」の「撮影画像」フォルダに保存されます。→P245

✎ 保存先に「miniSDカード」を選択した場合は、「miniSDカード」の「マイピクチャ」に保存されます。→P312

■ 保存した静止画をすぐに確認するとき

✎① [📖] を押す

「イメージ」の撮影画像一覧が表示されます。

- 静止画設定（→P223）の保存先選択欄を「miniSDカード」に設定している場合は、miniSDメモリーカードの画像一覧が表示されます。
- 電話帳またはｉアプリからカメラを起動したときは表示できません。

✎② 静止画を選択して◯を押す

静止画が表示されます。

✎ 確認後[クリア]を2回押すと静止画撮影画面に戻ります。

お知らせ

- 設定によっては、撮影した静止画を保存するのに時間がかかる場合があります。
- 撮影した静止画は、保存先を「本体」にした場合は撮影日時のタイトル（たとえば2004年7月12日12時34分56秒の場合は20040712123456）で保存されます。日付・時刻が設定されていないと、タイトルは「--------------」になります。保存先を「miniSDカード」にした場合のタイトル→P314
- 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保存されている画像を選択して削除してから、静止画を撮影・保存します。→P47　画像の最大保存枚数→P16
- 撮影した静止画のファイルサイズがファイルサイズ制限の設定値より大きくなる場合は、自動的に画質を落とすかサイズを縮小して保存します。
- 音声電話通話中に撮影した場合は、音声が途切れるときがあります。

セルフタイマーを使って静止画を撮る<セルフタイマー>

セルフタイマーを使用して静止画を撮影します。

1 静止画撮影画面で[MENU][4]を押す

セルフタイマーが設定されます。

✎ セルフタイマーを解除するときは再度[MENU][4]を押します。

セルフタイマー設定中に表示されます。

◯またはサイドキー[▭]を押した後に撮影までの残り時間の目安と、残り秒数が表示されます。

2 被写体にカメラを向けて◯またはサイドキー[▭]を押す

カウントダウン音が鳴り、着信ランプが緑色で点滅し、ワンタッチライト（アウトカメラ撮影時のみ）が赤色で点滅します。撮影時間に近づくにつれ、点滅間隔が短くなります。設定した時間が経過すると撮影確認音（シャッター音）が鳴り、着信ランプとワンタッチライト（アウトカメラ撮影時のみ）が赤色で点灯して静止画が撮影されます。

✎ 撮影を途中で中止するには[📖]を押すか、サイドキー[▭]を1秒以上押します。

- カウントダウン中に[クリア][電源][TASK]のいずれかを押すと撮影が中断されます。

またはサイドキー[ ]を押す

撮影した静止画が「イメージ」の「撮影画像」フォルダに保存されます。→P245

- 撮影中や保存時の動作は通常の撮影と同じです。→P219

お知らせ

- 撮影開始までの時間を変更できます。→P223
- セルフタイマーのカウントダウン中にFOMA端末をクローズ状態にすると、その時点でカウントダウンおよび撮影が中止されます。

連写する＜連続撮影＞

静止画を連続して撮影します。

- 連続撮影枚数は最大5枚です。
- 撮影待機中のみ操作できます。
- 連写するには静止画設定で画像サイズを「128×96」「176×144」「240×320」「352×288」に設定します。→P223
- ｉアプリまたは電話帳から起動されたときは連写はできません。ただし、ｉアプリの種類によっては連写を指定できるものもあります。

自動で連写する

「静止画設定」で設定した連続撮影間隔、連続撮影枚数で自動的に連写します。→P223

- 自動連写中の撮影確認音（シャッター音）は、静止画設定で設定した撮影確認音では鳴らず、変更もできません。また、撮影確認音（シャッター音）を鳴らさないようにすることはできません。着信音量調整を「消音」に設定したり、マナーモードを設定したりしていても撮影確認音（シャッター音）は鳴ります。

静止画撮影画面でMENU 5 1を押す

自動連写に設定されていると表示されます。

連続撮影のマークが から に切り替わります。

- 7を押しても連写を設定できます。
- をタップしても連写を設定できます。
- 連写を解除するときはMENU 5 3を押します。

被写体にカメラを向けて またはサイドキー[ ]を押す

撮影時は自動連写用の撮影確認音（シャッター音）が鳴り、アウトカメラ撮影時は着信ランプが最大5色、インカメラ撮影時は赤色で点灯して、設定した連続撮影枚数分がすべて撮影されます（撮影中は を押した直後の静止画が表示されます）。

- 保存確認画面で またはサイドキー[▲▼]を押すと、連続撮影した画像を切り替えて確認できます。

またはサイドキー[ ]を押す

撮影した画像が「イメージ」の「撮影画像」フォルダに保存されます。→P245

- 表示されている画像1枚だけを保存するときは またはサイドキー[ ]を1秒以上押し、「はい」を選択して を押します。
- 保存時の動作は通常の撮影と同じです。→P219

手動で連写する

「静止画設定」で設定した連続撮影枚数まで連写できます。→P223

静止画撮影画面でMENU 5 2を押す

連続撮影のマークが から に切り替わります。

- 7を押しても連写を設定できます。
- をタップしても連写を設定できます。
- 連写を解除するときはMENU 5 3を押します。

被写体にカメラを向けてまたはサイドキー[ ]を押す

撮影時は撮影確認音（シャッター音）が鳴り、着信ランプ、ワンタッチライト（アウトカメラ撮影時のみ）が赤色で点灯して撮影されます。

- 最大5回までまたはサイドキー[ ]を押し、撮影できます。
- 途中で撮影を中止するときはを押します。

またはサイドキー[ ]を押す

撮影した画像が「イメージ」の「撮影画像」フォルダに保存されます。→P245

- 表示されている画像1枚だけを保存するときはまたはサイドキー[ ]を1秒以上押し、「はい」を選択してを押します。
- 保存時の動作は通常の撮影と同じです。→P219

お知らせ

- 自動連写中に着信またはスケジュールアラームが起動した場合は撮影が中断されます。その場合、指定した枚数分の画像が撮影されていない場合があります。
- 撮影した画像は、保存先を「本体」にした場合は撮影日時のタイトル（たとえば2004年7月12日12時34分56秒の場合は20040712123456-1）で保存されます（-1は画像の番号です。「パラパラマンガ」の「解除」で、連写した画像を1枚ずつ別々の画像にすると、解除された個々の画像に-1、-2の番号が付きます→P250）。日付・時刻が設定されていないと、タイトルは「---------------1」になります。保存先を「miniSDカード」にした場合は1枚ずつ別々の画像で保存されます。保存先を「miniSDカード」にした場合のタイトル→P311
- 連写中にFOMA端末をクローズ状態にすると、その時点で撮影が中止され、保存確認画面が表示されます。自動保存を「する」に設定しているときは、設定されている保存先に自動的に保存されます。
- 手動連写中に電話がかかってきたりアラームが起動した場合は、その時点で撮影が中止され、保存確認画面が表示されます。自動保存を「する」に設定しているときは、設定されている保存先に自動的に保存されます。
- 連写中にメール着信があっても、撮影を継続したままメールを受信できます。

静止画の画像サイズや画質などを設定する<静止画設定>

お買い上げ時	画像サイズ：待受サイズ 240×320　画質：スタンダード　撮影日時：なし　サイズ制限：9000バイト セルフタイマー間隔：10秒　連続撮影間隔：速い　連続撮影枚数：5枚　自動保存：しない 保存先選択：本体　自動終了時間：1分後　撮影確認音：標準　照明設定：常灯

静止画を撮影する際の設定をします。

● ｉアプリまたは電話帳から起動されたときは設定できません。また、自動終了時間が自動的に「設定なし」に設定されます。
● 撮影待機中のみ操作できます。

静止画撮影画面でMENU 8を押す

プルダウンメニュー

項　目	説　明
画像サイズ	静止画撮影時の静止画サイズを設定します。 • インカメラ撮影時に「240×320」「640×480」「480×640」「960×1280」に設定すると、アウトカメラに切り替わります。 • 「96×72」のときは撮影日時を設定できません。 • 「480×640」「640×480」に設定すると、サイズ制限を「9000バイト」に設定できません。 • 「960×1280」に設定すると、サイズ制限を「9000バイト」「100Kバイト」に設定できません。
画質	静止画撮影後に保存される静止画ファイルの画質を設定します。 • 「ファイン」が最も良い画質になります。画質が良くなるほど、静止画のファイルサイズは大きくなります。
撮影日時	静止画撮影後に保存される静止画ファイルに挿入される撮影日時を設定します。
サイズ制限	保存するファイルのサイズ制限値を設定します。 • ファイルサイズが制限値を超える場合、自動的に画質を落とすか縮小して保存されます。 • 「9000バイト」に設定すると、画像サイズを「640×480」「480×640」「960×1280」に設定できません。 • 「100Kバイト」に設定すると、画像サイズを「960×1280」に設定できません。 • ｉモードメールに添付してｉモード端末に送信する場合は、「制限なし」以外に設定します。
セルフタイマー間隔※	セルフタイマー撮影時の撮影開始までの時間を設定します。
連続撮影間隔	連写時の撮影間隔を設定します。
連続撮影枚数※	連写時の撮影枚数を設定します。
自動保存	撮影した静止画を自動で保存するかどうかを設定します。 • 「する」に設定すると、撮影した静止画が設定されている保存先に自動的に保存されます。 • 「しない」に設定すると、撮影後に保存確認画面が表示され、保存を中止したり、保存先を変更したりできます。
保存先選択	撮影した静止画の保存先を設定します。
自動終了時間（撮影待機中のみ有効）	撮影待機時間を設定します。 • 「1分後」「5分後」を選択した場合は、設定した時間が経過するまでの間に何も操作しなかった場合、カメラを終了して待受画面に戻ります。他のアプリケーションを起動している場合はその画面に戻ります。
撮影確認音	撮影時の確認音（シャッター音）を設定します。 • 選択中に音の確認ができます。
照明設定	ディスプレイの照明を設定します。 • 「端末設定に従う」に設定すると、設定メニューの照明設定（→『基本編』P187）に従います。 • 「常灯」に設定すると、静止画撮影画面表示中はディスプレイの照明が常時点灯します。

※：スタイラスペンで設定できません。

2 設定する項目を選択して（ボタン）を押し、設定する

3 （ボタン）を押す

設定内容が登録されます。

お知らせ

- 静止画設定は各種設定リセットを行っても、お買い上げ時の設定には戻りません。
- マナーモード中は「撮影確認音」から音を選んでも、音を確認することはできません。

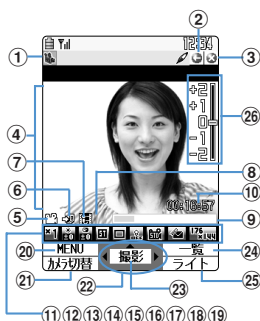
ビデオカメラを利用して動画を撮る<ビデオカメラ>

さまざまな撮影方法を選択して動画を撮影します。また、動画と一緒に音声を録音します。

- 他のアプリケーションを終了させてから撮影するようにしてください。
- セルフタイマーのカウントダウン音および撮影確認音を鳴らさないようにすることはできません。着信音量調整を「消音」に設定したり、マナーモードを設定したりしていてもカウントダウン音および撮影確認音は鳴ります。
- 通話中および音声録音中は動画を撮影できません。
- 接写モードと通常モードを画面上で識別することはできません。近くのものを撮影するとき以外は、通常モード（本体左側の接写切替スイッチが●の示す方向の位置）になっていること（●）を確認してから撮影してください。
- アウトカメラで撮影する場合は、レンズ部分を指などで覆わないようにしてください。
- FOMA端末をターン状態で撮影したときは着信ランプが隠れてしまうため、点灯／点滅は確認できません。

動画撮影画面とタップについて

ビデオカメラを起動すると、動画撮影画面が表示されます。マークは現在の設定内容を表示しています。また、一部のマークはスタイラスペンでタップして設定を変更することもできます。
動画撮影画面のマークの表示とタップの可否は次のとおりです。

動画撮影画面

番号	機能名	タップの可否	説　明
①	動画撮影画面表示中	○	新規起動メニュー表示→『基本編』P274
②	1つ前の画面に戻る→P11	○	――
③	カメラを終了する→P11	○	――
④	ファインダ（マークが表示されていない部分）	○	カメラからの画像が表示されます。 • 設定変更中にタップすると、確認メッセージが表示されます。「保存」をタップすると、選択した内容が保存されます。
⑤	動画撮影状態	－	：撮影待機中　●：撮影中　▮▮：一時停止中
⑥	保存先選択→P232	－	：端末本体　：miniSDメモリーカード
⑦	撮影種別→P232	－	：画像＋音声　：画像のみ　：音声のみ
⑧	セルフタイマー→P229	－	：ON　表示なし：OFF
⑨	インジケータ	－	通常：動画保存領域の使用率 撮影中（一時停止中）：ファイルサイズ制限に対する使用率 • 「保存先選択」で「miniSDカード」を選択した場合、撮影画像が保存されていなくても、インジケータの使用率が0にならないことがあります。→P232

番号	機　能	タップの可否	説　明
⑩	カウンタ	－	通常：動画保存領域に対する残り時間（目安） 撮影中（一時停止中）：ファイルサイズ制限に対する残り時間と撮影経過時間
⑪	ズーム→P235	○	×1：標準　×2：2倍　×4：4倍※　×6：6倍※ ×8：8倍※　×10：10倍※　×12：12倍※　×16：16倍※ ※アウトカメラ撮影時のみ
⑫	明るさ→P236	○	－2：－2　－1：－1　±0：±0　＋1：＋1 ＋2：＋2
⑬	色の濃さ→P237	○	－2：－2　－1：－1　±0：±0　＋1：＋1 ＋2：＋2
⑭	効果→P235	○	：標準　：海・雪　：夕焼け ：モノトーン　：セピア　：逆光
⑮	フレーム→P237	○	：設定　：解除
⑯	ワンタッチライト→P233	○	ON：ON　OFF：OFF
⑰	画像品質→P239	○	：長時間　：標準　：高品質
⑱	サイズ制限→P240	○	：メール添付モード　300k：300Kバイト ：制限なし
⑲	画像サイズ→P238	○	128×96：128×96 176×144：176×144
⑳	ガイド行表示	○	MENUを押した場合と同じ操作ができます。 MENU：サブメニューが表示され、タップで選択できます。 miniSD：保存先をminiSDに切り替えます。→P228 本体：保存先を本体に切り替えます。→P228
㉑		○	を押した場合と同じ操作ができます。 カメラ切替：インカメラ／アウトカメラを切り替えます。→P234 取消：保存を取り消します。→P228
㉒		○	を押した場合と同じ操作ができます。 • 操作文中は【ガイド行◆◀ ▶】と記載しています。
㉓		○	を押した場合と同じ操作ができます。 撮影：撮影を開始します。→P227 保存：撮影した動画を保存します。→P228 選択：動画やメニューなどを選択します。→P228 決定：設定を確定します。 ポーズ：撮影を一時停止します。→P227 再開：撮影を再開します。→P227
㉔		○	を押した場合と同じ操作ができます。 一覧：動画を一覧表示します。→P228 中断：セルフタイマー撮影を途中で中止します。→P229 停止：撮影を終了します。→P228 再生：撮影した動画を再生します。→P228 登録：動画設定を登録します。→P232
㉕		○	を押したときと同じ操作ができます。 ライト：ワンタッチライトのON／OFFを切り替えます。→P233 作成：メールを作成します。→P273
㉖	スライダ	○	ズーム、明るさ、色の濃さの設定する値をタップします。

- ｉアプリから起動されたときは、残り時間、保存領域の使用率、ファイルサイズ制限は表示されません。また、カメラの切り替え、ワンタッチライトのON／OFF、セルフタイマーのON／OFF以外の変更はできません。

- **お買い上げ時の動画設定一覧**

項　目	お買い上げ時の設定	項　目	お買い上げ時の設定
品質	標準	**自動保存**	しない
撮影種別	画像＋音声	**保存先選択**	本体
サイズ制限	メール添付	**自動終了時間**	1分後
撮影サイズ	176×144	**撮影確認音**	標準
セルフタイマー間隔	10秒	**照明設定**	常灯

■ 動画ファイルについて

ファイル形式		MP4（MobileMP4）
符号化方式		映像：MPEG-4　音声：AMR
画像サイズ	**128×96（Sub-QCIF）** **176×144（QCIF）**	ｉモードメールに添付してFOMA端末やパソコンなどに送信できます。また、miniSDメモリーカードや専用のデータリンクソフトを利用することでパソコンや他の対応する端末に取り込むことができます。→P137、313、390 • movaサービスのｉモード端末（501全機種、R691i、R209iを除く）、FOMA2001・2002・2101Vシリーズに送信した場合、相手端末はURL付きのメールとして受信します。 • ｉモードメールに添付できるファイルサイズは100Kバイトまでです。
拡張子		.3gp
タイトル		撮影日時により自動設定 （例）2004年7月12日12時34分56秒に撮影した場合 　　→「20040712123456」
ファイルサイズの制限		95Kバイト（メール添付モード）、300Kバイト • 最大値は「制限なし」に変更（保存先がminiSDメモリーカードのときのみ）できます。→P232
メール添付・出力		メール添付やFOMA端末外への出力可能 • ｉモードメールに添付してｉモード端末に送信する場合は、サイズ制限を「メール添付」に設定します。→P232
最大保存件数		端末本体：100件 miniSDメモリーカード：4095件→P311 • データサイズや他の画像サイズによっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。

- **保存可能な時間の目安**

撮影可能な時間は、動画設定（→P232）の「品質」「撮影種別」「サイズ制限」「撮影サイズ」の設定や撮影状況によって変わります。
撮影可能な時間の目安は次のとおりです。

<FOMA端末本体に保存する場合>

項　目	ファイルサイズ制限		メール添付（95KB）				300KB			
	画像サイズ		128×96		176×144		128×96		176×144	
	撮影種別		画像のみ	画像+音声	画像のみ	画像+音声	画像のみ	画像+音声	画像のみ	画像+音声
1回あたりの撮影時間	品質	長時間	約60秒	約34秒	約40秒	約28秒	約195秒	約110秒	約130秒	約90秒
		標準	約30秒	約22秒	約17秒	約14秒	約99秒	約70秒	約54秒	約45秒
		高品質	約20秒	約14秒	約12秒	約10秒	約75秒	約40秒	約38秒	約30秒
FOMA端末本体の最大録画時間（最大保存件数100件）	品質	長時間	約89分	約50分	約59分	約41分	約92分	約51分	約61分	約42分
		標準	約44分	約32分	約25分	約20分	約46分	約33分	約25分	約21分
		高品質	約29分	約20分	約17分	約14分	約35分	約18分	約17分	約14分

＜付属のminiSDメモリーカード（16MB）に保存する場合＞

項　目	ファイルサイズ制限		メール添付（95KB）				300KB				制限なし			
	画像サイズ		128×96		176×144		128×96		176×144		128×96		176×144	
	撮影種別		画像のみ	画像+音声	画像のみ	画像+音声	画像のみ	画像+音声	画像のみ	画像+音声	画像のみ	画像+音声	画像のみ	画像+音声
miniSDメモリーカード（16MB）（最大保存件数4095件）	品質	長時間	約150分	約85分	約100分	約70分	約146分	約82分	約97分	約67分	約139分	約89分	約92分	約69分
		標準	約75分	約55分	約42分	約35分	約74分	約52分	約40分	約33分	約69分	約44分	約37分	約34分
		高品質	約50分	約35分	約30分	約25分	約56分	約30分	約28分	約22分	約52分	約40分	約22分	約27分

- **録音可能な時間の目安**
  録音可能な時間は、動画設定（→P231）の「品質」「サイズ制限」の設定によって変わります。録音可能な時間の目安は次のとおりです。

＜FOMA端末本体に保存する場合＞

項　目	ファイルサイズ制限		メール添付（95KB）	300KB
1回あたりの録音時間	品質	標準	約90秒	約290秒
		高品質	約60秒	約190秒
FOMA端末本体の最大録音時間（最大保存件数100件）	品質	標準	約134分	約136分
		高品質	約89分	約89分

＜付属のminiSDメモリーカード（16MB）に保存する場合＞

項　目	ファイルサイズ制限		メール添付（95KB）	300KB	制限なし
miniSDメモリーカード（16MB）（最大保存件数4095件）	品質	標準	約225分	約217分	約217分
		高品質	約150分	約142分	約142分

動画を撮影する

- 撮影時にさまざまな設定ができます。→P231
- 動画撮影画面とタップについて→P224

1 動画撮影画面で被写体にカメラを向け、◯またはサイドキー［▭］を押す

オープン状態の場合：
撮影確認音が鳴り撮影が開始され、着信ランプは最大5色で、ワンタッチライト（アウトカメラ撮影時のみ）は赤色でそれぞれ2秒間隔で点滅します。
ターン状態の場合：
撮影確認音が鳴り撮影が開始され、ワンタッチライト（アウトカメラ撮影時のみ）が赤色で点滅します。

- 撮影を一時停止するときは◯またはサイドキー［▭］を押します。もう一度◯またはサイドキー［▭］を押すと撮影が再開されます。
- 一時停止中は着信ランプが緑色で点灯し、ワンタッチライト（アウトカメラ撮影時のみ）が赤色で点灯します。

[メール/iモード]を押すか、またはサイドキー[ ]を1秒以上押す

終了確認音が鳴り撮影が終了し、保存確認画面が表示されます。

- 撮影中に動画のファイルサイズが制限値になると、撮影が自動的に終了します。終了した時点までの動画が保存対象となります。
- 撮影一時停止中に[メール/iモード]を押すか、またはサイドキー[ ]を1秒以上押すと、撮影が終了します。終了した時点までの動画が保存対象となります。
- 次の操作ができます。

  [▲] またはサイドキー[▲]を1秒以上：
  動画の保存を取り消します。

  [MENU]：動画の保存先（本体／miniＳＤ）を切り替えます。

  [メール/iモード]：動画を再生します。→Ｐ２７０

  [メール▼]：メールを作成します。→Ｐ２７３
  保存確認画面で「はい」を選択して[ ]を押します。
  →Ｐ２４７
  保存先を「miniＳＤカード」にしていても本体に保存されます。

・動画のファイルサイズによってはできない操作があります。

[ ]またはサイドキー[ ]を押す

撮影した動画が「ｉモーション」の「撮影画像」フォルダに保存されます。→Ｐ２７０

- 保存確認画面を表示せずに保存することもできます。→Ｐ２３２
- 保存先に「miniＳＤ」を選択した場合は、「miniＳＤカード」の「動画」に保存されます。→Ｐ３１１

■ 保存した動画をすぐに確認するとき

① [メール/iモード]を押す

「ｉモーション」の撮影画像一覧が表示されます。

- 動画設定（→Ｐ２３１）の保存先選択欄を「miniＳＤカード」に設定している場合は、miniＳＤメモリーカードの動画一覧が表示されます。
- 電話帳およびｉアプリからカメラを起動したときは表示できません。

② 動画を選択して[ ]を押す

動画が再生されます。

- 確認後[クリア]を２回押すと動画撮影画面に戻ります。

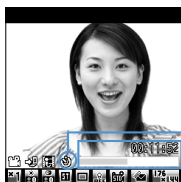
お知らせ

- 鏡像撮影しても、すべて正像で保存されます。
- FOMA端末で撮影して保存した動画は、パソコンで再生することもできます。→P393
- サイズ制限を「300Kバイト」に設定して撮影しても、撮影する動画によっては300Kバイトに到達しない場合があります。
- 撮影した動画は、撮影日時のタイトル(たとえば2004年7月12日12時34分56秒の場合は20040712123456)で保存されます。日付・時刻が設定されていないと、タイトルは「--------------」になります。
- 動画の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保存されている動画を選択して削除してから、撮影した動画を保存します。→P109　動画の最大保存件数→P16
- 撮影中または一時停止中に電話がかかってきたり、FOMA端末をクローズ状態にすると、その時点で撮影が停止されますが、電話を切ったり、FOMA端末をオープン状態またはターン状態にすると保存確認画面が表示されます。自動保存を「する」に設定しているときは、設定されている保存先に自動的に保存されます。
- 撮影中にメール着信があっても、撮影を継続したままメールを受信できます。
- 撮影中に目覚ましやスケジュールの設定時刻になった場合、その時点で撮影が停止されますが、撮影したデータの最後にアラーム音が記録されることがあります。
- 撮影中にキー操作を行うと、操作音が録音される場合があります。
- 撮影中に充電を開始すると、設定によっては充電確認音が録音されます。→『基本編』P58
- ファイルサイズ制限を「制限なし」に設定して録画中に電池残量がなくなった場合、動画が保存されないことがあります。
- miniSDメモリーカードに十分な空き容量がある状態で、連続10時間以上撮影する場合、保存した動画が正しく表示・再生できないことがあります。

セルフタイマーを使って動画を撮る<セルフタイマー>

セルフタイマーを使用して動画を撮影します。

- 動画設定の撮影種別を「画像」「画像＋音声」に設定します。→P232

動画撮影画面で[MENU][3]を押す

セルフタイマーが設定されます。

- セルフタイマーを解除するときは再度[MENU][3]を押します。

セルフタイマー設定中に表示されます。

[●]またはサイドキー[□]を押した後に撮影までの残り時間の目安と、残り秒数が表示されます。

被写体にカメラを向けて[●]またはサイドキー[□]を押す

カウントダウン音が鳴り、着信ランプが緑色で点滅し、ワンタッチライト(アウトカメラ撮影時のみ)が赤色で点滅します。撮影開始に近づくにつれ、点滅間隔が短くなります。設定した時間が経過すると撮影確認音が鳴り撮影が開始され、着信ランプは最大5色で、ワンタッチライト(アウトカメラ撮影時のみ)は赤色でそれぞれ2秒間隔で点滅します。

撮影を途中で中止するには[CLR]を押すか、またはサイドキー[□]を1秒以上押します。

を押すか、またはサイドキー[ ]を1秒以上押し、 保存確認画面で またはサイドキー[ ]を押す

終了確認音が鳴り、撮影が終了します。

- 撮影中や保存時の動作は通常の撮影と同じです。→P227

お知らせ

- 撮影開始までの時間を変更できます。→P232
- セルフタイマーのカウントダウン中にFOMA端末をクローズ状態にすると、その時点でカウントダウンおよび撮影が中止されます。

サウンドレコーダーとして使う

FOMA端末を、音声だけを録音するサウンドレコーダーとして使うことができます。

- サウンドレコーダーはオープン状態でご利用ください。

動画撮影画面で MENU 7 2 を押す

サウンドレコーダー画面が表示され、撮影種別のマークが に切り替わります。

- 動画設定の撮影種別を「音声のみ」に設定しても、サウンドレコーダー画面が表示されます。→P232

を押して録音を開始する

撮影確認音が鳴り録音が開始され、着信ランプは最大5色で、ワンタッチライト(アウトカメラ撮影時のみ)は赤色でそれぞれ2秒間隔で点滅します。

- 録音を一時停止するときは を押します。もう一度 を押すと録音が再開されます。
- 一時停止中は着信ランプは緑色でワンタッチライト(アウトカメラ撮影時のみ)は赤色で点灯します。

を押す

終了確認音が鳴り録音が終了し、保存確認画面が表示されます。

- 撮影中に動画のファイルサイズが制限値になると、録音が自動的に終了します。終了した時点までの音声が保存対象となります。
- 録音の一時停止中に を押すと、録音が終了します。終了した時点までの音声が保存対象となります。
- 次の操作ができます。
  - MENU:音声の保存先(本体/miniSD)を切り替えます。
  - :音声を再生します。→P270
  - :保存を取り消します。
  - :メールを作成します。→P273
    保存確認画面で「はい」を選択して を押します。
    →P247
    保存先を「miniSDカード」にしていても本体に保存されます。

・ファイルサイズによってはできない操作があります。

を押す

録音した音声が「iモーション」の「撮影画像」フォルダに保存されます。→P270

- 保存時の動作は通常の撮影と同じです。→P227

お知らせ

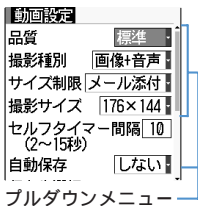
- 音声は送話口から録音されるため、オープン状態でご利用ください。また、送話口をふさがないようにしてください。
- 周囲の雑音が少ないできるだけ静かな場所で録音してください。
- FOMA端末で録音して保存した音声は、パソコンで再生することもできます。→ P393
- サイズ制限を「300Kバイト」に設定して録音しても、録音する音声によっては300Kバイトに到達しない場合があります。
- 録音した音声は、撮影日時のタイトル(たとえば2004年7月12日12時34分56秒の場合は20040712123456)で保存されます。日付・時刻が設定されていないと、タイトルは「--------------」になります。
- 動画の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保存されている動画を選択して削除してから、録音した音声を保存します。→ P109　動画の最大保存件数→ P16
- 録音中または一時停止中に電話がかかってきたり、FOMA端末をクローズ状態にすると、その時点で録音が停止されます。電話を切ったり、FOMA端末をオープン状態またはターン状態にすると保存確認画面が表示されます。自動保存を「する」に設定しているときは、設定されている保存先に自動的に保存されます。
- 録音中にメール着信があっても、録音を継続したままメールを受信できます。
- 録音中に目覚ましやスケジュールの設定時刻になった場合、その時点で録音が停止されますが、録音したデータの最後にアラーム音が記録されることがあります。
- 録音中にキー操作を行うと、操作音が録音される場合があります。
- 録音中に充電を開始すると、設定によっては充電確認音が録音されます。→『基本編』P58
- ファイルサイズ制限を「制限なし」に設定して録音中に電池残量がなくなった場合、音声が保存されないことがありますのでご注意ください。
- サウンドレコーダーで撮影を終了した場合、次に動画撮影を起動するとサウンドレコーダーが起動します。
- サウンドレコーダーで撮影を終了した場合、次にバーコードリーダーから動画撮影を起動すると、撮影種別が「画像＋音声」に切り替わります。

動画の品質や撮影種別などを設定する<動画設定>

お買い上げ時	品質：標準　撮影種別：画像＋音声　サイズ制限：メール添付　撮影サイズ：176×144 セルフタイマー間隔：10秒　自動保存：しない　保存先選択：本体　自動終了時間：1分後 撮影確認音：標準　照明設定：常灯

動画を撮影する際の設定をします。

● iアプリまたは電話帳から起動されたときは設定できません。また、自動終了時間が自動的に「設定なし」に設定されます。
● 撮影待機中のみ操作できます。

1 動画撮影画面でMENU 6を押す

プルダウンメニュー

項　目	説　明
品質	撮影時の動画ファイルの品質を設定します。 • 「高品質」が最も良い品質になります。品質によって撮影可能な時間が異なります。→P226 • 「長時間」に設定すると、撮影種別は「音声のみ」に設定できません。
撮影種別	動画とともに音声を録音するかどうかを設定します。 • 「音声のみ」に設定すると、サウンドレコーダーとして使用できます。 • 品質を「長時間」に設定すると、「画像＋音声」「画像のみ」に設定できます。
サイズ制限	保存するファイルのサイズ制限値を設定します。 • 撮影中に制限値に達すると自動的に撮影が終了します。 • 「制限なし」は保存先選択が「miniSDカード」に設定されているときのみ設定できます。 • ｉモードメールに添付してｉモード端末に送信する場合は、サイズ制限を「メール添付」に設定します。
撮影サイズ	動画撮影時の撮影サイズを設定します。
セルフタイマー間隔※	セルフタイマー撮影時の撮影開始までの時間を設定します。
自動保存	撮影した動画を自動で保存するかどうかを設定します。 • 「する」に設定すると、撮影した動画が設定されている保存先に自動的に保存されます。 • 「しない」に設定すると、撮影後に保存確認画面が表示され、保存を中止したり、保存先を変更したりできます。
保存先選択	撮影した動画の保存先を設定します。
自動終了時間（撮影待機中のみ有効）	撮影待機時間を設定します。 • 「1分後」「5分後」を選択した場合は、設定した時間が経過するまでの間に何も操作しなかった場合、ビデオカメラを終了して待受画面に戻ります。他のアプリケーションを起動している場合はその画面に戻ります。
撮影確認音	撮影時の確認音を設定します。 • 選択中に音の確認ができます。
照明設定	ディスプレイの照明を設定します。 • 「端末設定に従う」に設定すると、設定メニューの照明設定（→『基本編』P187）に従います。 • 「常灯」に設定すると、動画撮影画面表示中はディスプレイの照明が常時点灯します。

※：スタイラスペンで設定できません。

2 設定する項目を選択して◯を押し、設定する

3 を押す

設定内容が登録されます。

お知らせ

- 動画設定は各種リセットを行っても、お買い上げ時の設定には戻りません。
- マナーモード中は「撮影確認音」から音を選んでも、音を確認することはできません。
- miniSDメモリーカードに十分な空き容量がある状態で、連続10時間以上撮影する場合、保存した動画が、正しく表示・再生できないことがあります。

撮影時の設定をする

撮影するときの設定を変更します。

● 設定できる項目は次のとおりです。

項　目	参照先	項　目	参照先
カメラモードを切り替える	下記	色の濃さを調整する※	P237
ワンタッチライトを利用する	下記	フレームを付ける	P237
画面表示を切り替える※（静止画撮影時のみ）	P234	画像のサイズを設定する※	P238
		静止画の画質を設定する※（静止画撮影時のみ）	P239
カメラを切り替える	P234		
近くのものを撮影する※	P234	動画の品質を設定する※（動画撮影時のみ）	P239
ズームする	P235	サイズ制限を設定する※	P240
特殊な効果をかける	P235	正像表示／鏡像表示を切り替える（アウトカメラ撮影時のみ）	P240
明るさを調整する※	P236		

※：撮影終了後も設定内容が保持されます。

● iアプリまたは電話帳からカメラを起動したときは、設定できない項目もあります。

● 電話帳からカメラを起動したときは、MENUを押して項目を選択し、設定を変更します。スタイラスペンでは操作できません。

カメラモードを切り替える

静止画撮影モードと動画撮影モードを切り替えます。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で▲を1秒以上押す

モードが切り替わります。

- ターン状態のときはサイドキー[▼]を1秒以上押します。
- 前回サウンドレコーダーを起動していたときは、動画撮影に切り替えるとサウンドレコーダー画面が表示されます。

ワンタッチライトを利用する

アウトカメラでの撮影時にワンタッチライトを点灯します。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で✉を押す

ワンタッチライトのマーク

ワンタッチライトが点灯します。

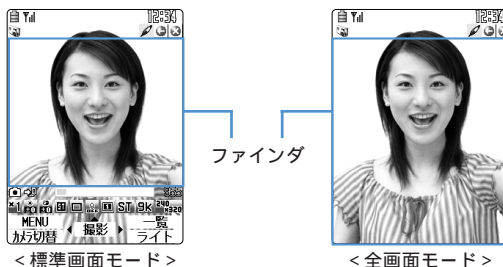
- ✉を押すたびに点灯（ON）／消灯（OFF）が切り替わります。
- 6を押してもON／OFFが切り替えられます。
- ワンタッチライトのマークをタップしてもON／OFFが切り替えられます。

画面表示を切り替える

静止画撮影画面の表示方法を切り替えます。
- 動画撮影画面では画面表示は切り替わりません。

〈例〉画像サイズ「待受サイズ240×320」
- 設定した画像サイズ（→P238）によって、画面に表示される画像の大きさが変わります。

1 静止画撮影画面で(✳)を押す

＜標準画面モード＞　＜全画面モード＞

画面表示が切り替わります。
ファインダをタップしても画面表示を切り替えられます。

カメラを切り替える

撮影時に使用するカメラをアウトカメラとインカメラで切り替えます。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で(▲)を押す

切り替えたカメラからの画像が表示されます。

お知らせ
- カメラを切り替えてもズームや撮影効果モードの設定は保持されます。
- アウトカメラで4倍以上のズームを使用しているときにインカメラに切り替えた場合は、自動的に2倍ズームに変更されます。
- アウトカメラで画像サイズを「240×320」「640×480」以上に設定しているときにインカメラに切り替えた場合は、自動的に「352×288」に変更されます。

近くのものを撮影する

アウトカメラで6～11cmのごく近い距離を撮影するときは、FOMA端末の左側にある接写切替スイッチ をの表示がある方向にスライドさせて接写モードにして撮影すると、画像のピントを合わせることができます。→『基本編』P34
接写モード（ •）での撮影終了後は、通常モード（ •）に戻してください。
- バーコードリーダー機能を利用するときには、FOMA端末を本設定にする必要があります。→P242

1 静止画撮影画面で本体左側にある接写切替スイッチ をの方向へスライドさせる

- 以降の操作は静止画を撮影する場合と同様です。→P219

お知らせ
- 接写モードのマークは画面に表示されません。

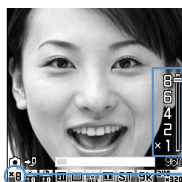
ズームする

表示倍率を選択します。

- アウトカメラ撮影時は2～16倍、7段階の表示倍率から選択できます。インカメラ撮影時は2倍までズームできます。
- 撮影待機中および動画撮影中と動画撮影の一時停止中のみ操作できます。動画撮影中は、スライダ部をタップしてスライダを表示させます。ズームのマークをタップしてもスライダは表示されません。
- 撮影する画像サイズによって変更できる表示倍率は次のとおりです。

設定可：○　設定不可：－

画像サイズ ＼ 表示倍率	2倍	4倍	6倍	8倍	10倍	12倍	16倍
96×72（電話帳サイズ）	○	○	○	○	○	○	－
128×96	○	○	○	○	○	○	○
176×144	○	○	○	○	○	○	－
240×320（待受サイズ）	○	○	○	○	－	－	－
352×288	○	○	－	－	－	－	－
640×480	○	－	－	－	－	－	－
480×640	○	○	－	－	－	－	－
960×1280	○	－	－	－	－	－	－

静止画撮影画面／動画撮影画面で[カメラキー][iαキー]またはサイドキー[▲▼]を押し、表示倍率を選択する

- [1]を押し、[カメラキー][iαキー]で表示倍率を選択して[決定キー]を押してもズームできます。
- ズームのマークをタップし、スライダをタップしてもズームできます。

カメラの設定をする<カメラ設定>

お買い上げ時	撮影効果：標準　ズーム：標準　明るさ：±0　色の濃さ：±0

カメラの設定を変更します。

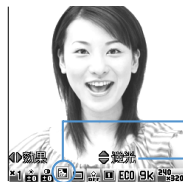
特殊な効果をかける

次の効果をかけて撮影できます。

項　目		説　明
標準	[アイコン]	標準的な撮影です。
逆光	[アイコン]	被写体が逆光のときに光量を検出し、自動的に露出を補正します。
セピア	[アイコン]	セピア色で撮影します。
モノトーン	[アイコン]	単純白黒色で撮影します。
夕焼け	[アイコン]	夕焼けをバックに人物を撮影するときに使用します。
海・雪	[アイコン]	海や雪面などの光の反射をより美しく撮影します。
風景※	[アイコン]	色のコントラストが強調された鮮やかな画像になります。
夜景※	[アイコン]	長時間露光モードです。夜景や暗いところでの撮影に使用します。

※：動画撮影では「風景」「夜景」、自動連写では「夜景」を設定できません。

- 撮影待機中および動画撮影の一時停止中のみ操作できます。

静止画撮影画面／動画撮影画面でを押し、効果のマークを選択する

- を押しても、効果のマークを選択できます。

またはサイドキー[▲▼]を押し、効果を選択してを押す

効果が設定されます。

- を押すたびに効果が切り替わります。

効果のマークをタップしても効果が切り替わります。

効果を解除するには標準()を選択してを押します。

お知らせ

- 設定する効果によっては、撮影画面にカメラからの画像が表示されるまで時間がかかることがあります。効果を設定した場合は、撮影画面に画像が表示されてから撮影を行ってください。

明るさを調整する

撮影時の明るさを調整します。

- 5段階で調整できます。
- 撮影待機中および動画撮影の一時停止中のみ操作できます。

静止画撮影画面／動画撮影画面でを押し、明るさのマークを選択する

- を押しても、明るさのマークを選択できます。

またはサイドキー[▲▼]を押し、明るさを調整してを押す

明るさが変更されます。

明るさのマークをタップし、スライダをタップしても明るさを調整できます。

お知らせ

- 画像によっては、明るさを調整しても表示があまり変化しない場合があります。

色の濃さを調整する

撮影時の色の濃さを調整します。

- 5段階で調整できます。
- 撮影待機中および動画撮影の一時停止中のみ操作できます。

静止画撮影画面／動画撮影画面で◁▷を押し、色の濃さのマークを選択する

- 3を押しても、色の濃さのマークを選択できます。

またはサイドキー[▲▼]を押し、色の濃さを調整してを押す

色の濃さが変更されます。

色の濃さのマークをタップし、スライダをタップしても色の濃さを調整できます。

お知らせ

- 画像によっては、色の濃さを調整しても表示があまり変化しない場合があります。

カメラ設定を初期値に戻す

カメラ設定を一括して元に戻します。

静止画撮影画面でMENU 6 5／動画撮影画面でMENU 4 5を押す

設定を元に戻すかどうかの確認画面が表示されます。

「はい」を選択して◯を押す

カメラ設定が初期値に戻ります。

フレームを付ける<フレーム設定>

FOMA端末に保存されているフレーム用の画像を付けて撮影します。

- 画像サイズが「96×72」「640×480」「480×640」「960×1280」のときは設定できません。
- 撮影待機中および動画撮影の一時停止中のみ操作できます。

静止画撮影画面／動画撮影画面で◁▷を押し、フレームのマークを選択する

- 5を押しても、フレームのマークを選択できます。

2 [カメラ][iα]またはサイドキー[▲▼]を押し、フレームを選択して[Enter]を押す

フレームが設定されます。

- [5]を押すたびにフレームの種類が切り替わります。

✎ フレームのマークをタップしてもフレームの種類が切り替わります。

✎ フレームを解除するには解除(▣)を選択して[Enter]を押す。

- [5]を1秒以上押してもフレームを解除できます。

お知らせ

- 静止画撮影時は[MENU][7][1]、動画撮影時は[MENU][5][1]を押してフレームを選択することもできます。
- マルチタスクでサイトからフレームをダウンロードしたときは、静止画撮影時は[MENU][7][3]、動画撮影時は[MENU][5][3]を押すとフレーム情報を最新のものに更新することができます。
- お買い上げ時にFOMA端末に登録されているフレームは「176×144」「240×320」の画像サイズに対応しています。
- 静止画には、撮影後に「イメージ」でフレームを重ねることもできます(連写画像を除く)。→P258
- フレームが表示されるまでに時間がかかることがあります。
- フレームの種類→P261

画像のサイズを設定する

撮影時の画像サイズを設定します。

- 8種類から選択できます。
- 動画撮影時は「128×96」「176×144」のみ設定できます。
- インカメラでの静止画撮影時は「96×72」「128×96」「176×144」「352×288」のみ設定できます。
- 撮影待機中のみ操作できます。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で[◁][▷]を押し、画像サイズのマークを選択する

画像サイズのマーク

- [0]を押しても、画像サイズのマークを選択できます。

2 [カメラ][iα]またはサイドキー[▲▼]を押し、画像サイズを選択して[Enter]を押す

画像サイズが設定されます。

- [0]を押すたびに画像サイズが切り替わります。

✎ 画像サイズのマークをタップしても画像サイズが切り替わります。

お知らせ

- 画像サイズによってサイズ制限が変更される場合があります。

静止画の画質を設定する

静止画撮影後に保存される静止画ファイルの画質を設定します。

- 3種類から選択できます。
- 撮影待機中のみ操作できます。

静止画撮影画面で（◀▶）を押し、画質のマークを選択する

- （8）を押しても、画質のマークを選択できます。

画質のマーク

（カメラ）（iα）またはサイドキー[▲▼]を押し、画質を選択してを押す

画質が設定されます。

- （8）を押すたびに画質が切り替わります。

画質のマークをタップしても画質が切り替わります。

お知らせ

- 「ファイン」が最も良い画質になります。画質が良くなるほど、静止画ファイルのサイズは大きくなります。

動画の品質を設定する

動画撮影後に保存するファイルの画像品質を設定します。

- 3種類から選択できます。
- 撮影待機中のみ操作できます。

動画撮影画面で（◀▶）を押し、画像品質のマークを選択する

- （8）を押しても、画像品質のマークを選択できます。

画像品質のマーク

（カメラ）（iα）またはサイドキー[▲▼]を押し、品質を選択してを押す

画像品質が設定されます。

- （8）を押すたびに画像品質が切り替わります。

画像品質のマークをタップしても画像品質が切り替わります。

お知らせ

- 「高品質」が最も良い品質になります。品質によって撮影可能な時間が異なります。→P226

サイズ制限を設定する

撮影後に保存するファイルサイズを設定します。

- 静止画は3種類、動画は2種類(保存先を「miniSDカード」に設定している場合は3種類)から選択できます。
- 撮影待機中のみ操作できます。

静止画撮影画面／動画撮影画面で◀▶を押し、サイズ制限のマークを選択する

サイズ制限のマーク

- 9を押しても、サイズ制限のマークを選択できます。

またはサイドキー[▲▼]を押し、サイズ制限を選択して●を押す

サイズ制限が設定されます。

- 9を押すたびにサイズ制限が切り替わります。

サイズ制限のマークをタップしてもサイズ制限が切り替わります。

お知らせ

- 動画撮影中に制限値になると撮影は終了します。
- 静止画サイズが10000バイトを超えると、iモードメールには添付できません。ただし、送信先アドレスの@マークの後に「p.」を付与することで、静止画サイズが10000バイトより大きく100Kバイト以下の画像を送信することができます。→P124
- 動画撮影した動画ファイルを、iモードメールに添付してFOMA端末に送信するときは、サイズ制限を「メール添付」に設定します。ただし、サイズ制限を設定して保存しても、動画のファイルサイズが100Kバイトを超えていなければメールに添付できます。
- 画像サイズによってサイズ制限が変更される場合があります。

正像表示／鏡像表示を切り替える

アウトカメラ撮影時に表示される画像を鏡像表示にします。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で#を押す

鏡像表示に切り替わります。

お知らせ

- アウトカメラで鏡像表示して撮影しても、保存できるのは正像のみです。

通話中の相手に撮影画像を送る<ワンショットメール>

音声電話通話中に撮影した静止画を、ｉモードメールに添付して通話中の相手に送信します。

● 本機能は、音声電話通話中のみ有効です。
● ワンショットメールを使用するには、静止画設定で自動保存を「する」、保存先を「本体」、画像サイズを「960×1280」以外に設定します。→P223

1 通話中に[▲]を押す

静止画撮影画面が表示されます。

- 通話中にターン状態にしたときは、サイドキー[ ]を押し6→1をタップします。

2 ( )またはサイドキー[ ]を押して静止画を撮影する

静止画が「イメージ」の「撮影画像」フォルダに保存されます。

- 撮影方法→P219

次の操作ができます。

[ ][ ]：撮影した静止画を拡大表示します。
[ ]：連続撮影した画面を切り替えて表示します。→P221

・静止画の画像サイズによってはできない操作があります。

3 ( )またはサイドキー[ ]を押す

メール作成画面が表示されます。撮影した静止画が添付ファイルとして設定されています。→P137

- 電話帳に通話相手の電話番号に対応するメールアドレスが設定されていると、そのアドレスが宛先へ自動的に設定されます。ただし、プライバシーモード起動中（電話帳を「認証後に表示」に設定した場合）は設定されません。
- 送信しないときは(クリア)を押して撮影画面に戻します。撮影を中止するときは撮影画面で(クリア)を押します。

4 ｉモードメールを作成して送信する

- 操作方法→P127

お知らせ

- 自動保存を「しない」に設定している場合でも、撮影後、保存確認画面で[✉▼]を押し、「はい」を選択して( )を押すとメールを送信することができます。
- 連写画像は表示している1枚のみｉモードメールに添付できます。

バーコードリーダーを利用する

JANコードやQRコードをカメラで読み取ることによって、Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To、ブックマーク登録、電話帳登録、文字表示などができます。また、文字のコピーや貼り付けもできます。

● アウトカメラでのみ操作できます。
● 読み取ったデータはソフトで利用される場合があります。
● 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射により読み取れない場合があります。
● QRコードの種類やサイズによっては読み取れない場合があります。
● JANコードとQRコード以外のバーコード・二次元コードは読み取ることができません。
● 通常のサイズのJANコードやQRコードを読み取るときは、FOMA端末の左側にある接写切替スイッチ（　）を🌷の表示がある方向にスライドさせて接写モードにしてください。接写モードにしていないと、JANコードやQRコードを認識できないことがあります。JANコードやQRコードの読み取り後は、接写切替スイッチを元に戻してください。

JAN コードとは

JANコードとは、幅の異なる縦の線(バー)で数字を表現しているバーコードの1つです。8桁(JAN8)または13桁(JAN13)のバーコードを読み取ることができます。

• JANコードサンプル

・左の例では、「4942857315721」という文字が読み取られます。

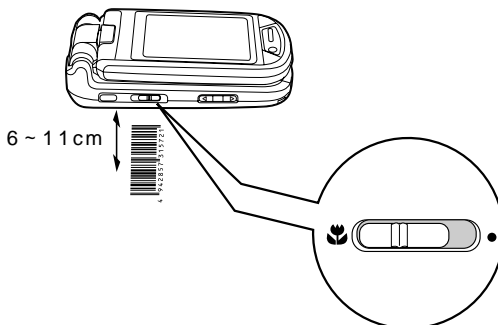
QRコードとは

QRコードとは、縦・横方向の模様で英数字・文字列(漢字・カナ・絵文字)、音楽データ、画像データなどを表現している2次元コードの1つです。

• QRコードサンプル

・左の例では、「株式会社NTTドコモ」という文字が読み取られます。

バーコードを読み取るには

FOMA端末の左側にある接写切替スイッチを🌷の表示がある方向にスライドさせて接写モードにし、アウトカメラをJANコード・QRコードから6～11cm離してください。
JANコードを読み取るときは、JANコードとFOMA端末のタテ方向を合わせてご使用ください。

バーコードを読み取る

- 読み取りデータには次の種類があります。
  - ・電話帳登録データ　・メール連携データ　・ブックマーク登録データ
  - ・ｉアプリ連携データ　・テキスト表示データ　・コンテンツデータ
- 読み取りデータは、最大5件保存できます。

1 待受画面でを押す

バーコード認識中／バーコード読み取り待機中

✎ を押すと、保存データ一覧が表示され、保存された読み取りデータを確認できます。
保存一覧で、読み取りデータを選択して を押すと表示、 を押すと再読み取り、 を押し、「はい」を選択して を押すと削除できます。

- を押すと、バーコードの読み取りを中止します。

■ ワンタッチライトを使用するとき

✎ を押す

ワンタッチライトが点灯します。

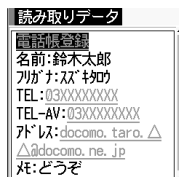
- を押すたびに点灯（）／消灯（表示なし）が切り替わります。

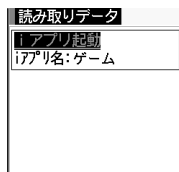
2 JANコードまたはQRコードを読み取る

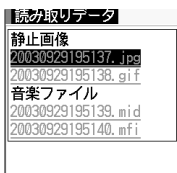
読み取りの確認音が鳴り、読み取ったデータが表示されます。

- を押すと、終了するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 読み取りデータの画面例と操作例

●電話帳登録データ

- データのすべての情報を電話帳に登録するときは、「電話帳登録」を選択して を押します。
  - ・プライバシーモード起動中（電話帳を「認証後に表示」に設定した場合）に電話帳を利用する場合は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。→『基本編』P208

●ｉアプリ連携データ

- ｉアプリを起動するときは、「ｉアプリ起動」を選択して を押します。

●コンテンツデータ

■ 音楽ファイルを再生・保存するとき

①音楽ファイルを選択して◯を押す

②「再生」または「保存」を選択して◯を押す

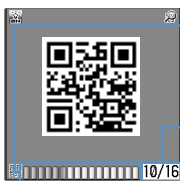
- 「保存」を選択すると、音楽ファイルは「メロディ」の「データ交換」フォルダに保存されます。

■ 静止画ファイルを表示・保存するとき

①静止画ファイルを選択して◯を押す

②「表示」または「保存」を選択して◯を押す

- 「保存」を選択すると、静止画ファイルは「イメージ」の「データ交換」フォルダに保存されます。

●連結コード

連結に必要なQRコードの総数分のマスが表示され、読み取り完了は青色、読み取り未完了は灰色で表示されます。読み取り中または最後に読み取られたマスは緑色で表示されます。

読み取りに必要な残りのQRコード数／読み取りに必要なQRコードの総数が表示されます。

1つのデータが複数のQRコードに分割されている連結コードの場合、必要な数(最大16枚)のQRコードを読み取って連結します。画面に表示されるメッセージに従って操作してください。

- 連結コードを読み取り中に(クリア)を押すと、読み取りデータを破棄するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して◯を押すと、読み取りデータを破棄してバーコードの読み取りを中断します。

3 MENU 4 を押す

読み取ったデータが保存されます。

- 既に5件保存されている場合は、確認画面が表示され削除するデータを選択します。
- 保存した読み取りデータは確認できます。→P243

お知らせ

- カメラ起動中や対応するｉアプリ、サイト表示中の文字入力画面のサブメニューからバーコードリーダーを起動することもできます。
- マナーモード中は読み取りの確認音は鳴りません。
- バーコード読み取り画面でMENU 2 1 を押すと静止画撮影モード、MENU 2 2 を押すと動画撮影モードに切り替えることができます。ただし、カメラ／ビデオカメラ起動中、ｉアプリ、サイト表示中の文字入力画面からバーコードリーダーを起動したときは、この方法でカメラモードの切り替えはできません。
- 読み取りデータ画面のサブメニューから次の操作をすることができます。
  MENU 1 を押すと、読み取りデータの文字情報をコピーできます。→P51
  MENU 2 を押すと、バーコードの再読み取りができます。
  読み取りデータに電話番号やメールアドレスが含まれている場合は、MENU 3 1 を押すと電話帳の新規登録、MENU 3 2 を押すと電話帳の更新登録ができます。→P200
  読み取りデータにURLが含まれている場合は、MENU 3 3 を押すとブックマークに登録できます。→P201
- 読み取りデータに電話番号やメールアドレス、URL が含まれている場合は、Phone To (AV Phone To)、Mail To 、Web To機能を利用できます。→P49、P50
- 読み取りデータを保存した場合、読み取り日時＋ファイル項番＋拡張子(JANコードは.jan、QRコードは.qr)のファイル名で保存されます(たとえば2004年7月12日12時34分にJANコードを保存した場合は「200407121234 00.jan」になります)。同じ日時に保存したデータが既に1件ある場合ファイル項番が01に増加します。ファイル名は変更できません。

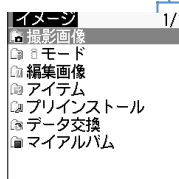
画像を表示する

FOMA端末の「イメージ」に保存されている画像を表示します。

● 画像は次の6つの固定フォルダに分類されて保存されます。

フォルダ名	画像の種類
撮影画像	カメラで撮影した画像、キャラ電で撮影した画像
iモード	サイトやｉモードメールなどから取り込んだ画像
編集画像	コピーした画像や編集して保存した画像、手書きメモ
アイテム	お買い上げ時にFOMA端末に内蔵されているアイテム画像、ダウンロードしたアイテム画像
プリインストール	お買い上げ時にFOMA端末に内蔵されている画像
データ交換	データ転送で受信した画像、miniSDメモリーカードからコピーした画像、バーコードリーダーで取り込んだ画像

● miniSDメモリーカード内に保存されている画像を再生することもできます。→P246、312

待受画面でMENU 3 1を押す

ページ番号／全ページ数

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：撮影画像
  - ：iモード
  - ：編集画像
  - ：アイテム
  - ：プリインストール
  - ：データ交換
  - ：アルバム

フォルダを選択して●を押す

管理用タイトル名
フォルダ名
ページ番号／全ページ数

- マークの意味は次のとおりです。

①	取得元	：プリインストール　：アイテム ：ｉモード　：データ交換 ：カメラ　：キャラ電 ：編集画像
②	種類	：連写画像、パラパラマンガ ：アニメーション
③	ファイル形式	GIF：GIF　JPG：JPEG　：SWF(Flash)
④	メール添付・FOMA端末外への出力	(ブルー)：添付・出力可 (グレー)：添付・出力不可 • 自端末で撮影、編集した静止画や、データ交換などで取得した画像は、ファイル制限の設定に関わらずメールの添付や編集、データ転送、miniSDメモリーカードへの移動またはコピーができます。 ・ファイル制限→P252 ・メールに添付可能な静止画のファイルサイズ→P137

✎ を押すたびに、12枚表示とリスト表示が切り替わります。

表示する画像を選択して◯を押す

- 画像表示中は でフォルダ内の前後の画像を表示できます。
- 画面に表示しきれないサイズの静止画は、◯を押すと でスクロールして表示できます。または、 をタップすると、画像の上をポイントし、ドラッグしてスクロールできます。
- アニメーションやFlashの再生を途中で停止するときは◯を押します。停止中に◯を押すと再生できます。
- パラパラマンガ、連写画像のときは停止中に を押すとスローで再生されます。
- コメントは、画像にコメントが設定されていて、動作設定でコメント表示が「あり」に設定されているとき表示されます。
- 画面に表示しきれないサイズの画像を縮小表示したり、サイズの小さい画像を拡大表示したりできます。→P267

お知らせ

- 画像の最大保存件数→P16
- 12枚表示のとき、FOMAカード動作制限機能が設定されている画像は で表示されます。
- miniSDメモリーカードに保存されている画像を再生するには、「イメージ」のフォルダ一覧で を押してリスト画面を表示します。この後の再生操作は、端末本体の場合と同様です。
  miniSDメモリーカードのフォルダ構成→P311
- FOMA端末に保存した画像はminiSDメモリーカードに保管することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、添付のF900iT用CD-ROM内のFOMA Fシリーズデータリンクソフトをご利用いただくことにより、画像をパソコンに転送・保管することができます。→P390
- FOMA端末で編集した画像をパソコンなどで表示した場合、FOMA端末で透過表示されていた部分は白く表示されます。
- miniSDメモリーカード内の画像をFOMA端末本体にコピーすることができます。→P314

画像を利用する

画像を待受画面などに表示したり、ｉモードメールに添付したりします。

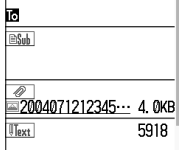
静止画を添付してｉモードメールを作成する

静止画を添付してｉモードメールを作成します。

- 添付できない画像からはｉモードメールを作成できません。→P137

1 待受画面でMENU 3 1を押し、フォルダを選択して●を押す

画像一覧が表示されます。

2 添付する静止画を選択して✉を押す

- 選択した静止画があらかじめ添付されています。
- 「ファイル名」で添付されます。→P252

3 ｉモードメールを作成して送信する

- 操作方法→P127

画像を待受画面・電話帳などに設定する

画像を待受画面や電話帳、メール送受信画面などに設定できます。

- プライバシーモード起動中（電話帳を「認証後に表示」に設定した場合）に電話帳を利用する場合は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。→『基本編』P208
- 横縦（または縦横）のサイズが640×480（ドット）を超える画像を設定している場合、その画像を利用した機能（電話帳や電話の着信画面、ｉモード問合せなど）で画像の表示に時間がかかることがあります。

1 待受画面でMENU 3 1を押し、フォルダを選択して●を押す

画像一覧が表示されます。

2 設定する画像を選択してMENU 2を押す

3 設定方法を選択する

■ 待受画面に設定するとき

①1を押す

設定するかどうかの確認画面が表示されます。

- 拡大表示が可能な画像の場合は、確認画面で表示方法を選択することができます。

②「はい」を選択して○を押す

- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、解除するかどうかの確認画面が表示されます。選択した画像を設定するには「はい」を選択して○を押します。
- アニメーション、パラパラマンガ、連写画像を待受画面に設定すると、電源を入れたときや、待受中にFOMA端末をオープン状態にしたときなどに自動的に再生されます。

■ 電話帳に新規登録するとき

①2を押す

- 選択した画像があらかじめ設定されています。

②名前、電話番号などを設定して登録する

- 電話帳の登録方法→『基本編』P113（ステップ2）
- パラパラマンガ、連写画像を電話帳データに登録すると、最初の画像が表示されます。

■ 登録済みの電話帳データに追加登録するとき

①3を押す

電話帳の検索結果一覧が表示されます。

②電話帳データを選択して○を押す

- 選択した画像があらかじめ設定されています。
- 既に画像が設定されていたときは画像が置き替わります。

③内容を確認して登録する

- 電話帳の登録方法→『基本編』P114（ステップ3）
- パラパラマンガ、連写画像を電話帳データに登録すると、最初の画像が表示されます。

■ 電話発着信画面、メール送受信画面、問合せ画面に設定するとき

4または6～8を押す

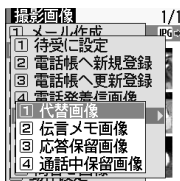
画像が各画面に設定されます。

- メール送受信画面に設定すると、メールだけでなくメッセージR/F、ショートメッセージ（SMS）の送受信画面も変更されます。
- パラパラマンガ、連写画像を電話発着信画面、メール送受信画面、問合せ画面に設定すると、最初の画像が表示されますが、再生はされません。

イメージ

画像を利用する

■ TV電話画面に登録するとき

✐① (5 なJKL)を押す

✐② (1 あ.,/@)～(4 たGHI)を押す

画像が設定されます。

お知らせ

- TV電話画面には176×144(ドット)を超える画像、FOMA端末外に出力不可の画像は設定できません。
- 画像表示画面から操作する場合は(MENU)を押し、「イメージの利用」を選択して操作します。
- 画像のサイズによっては、設定した画面ですべてを表示できない場合があります。
- 画像の保存中や削除中に電話着信などがあった場合は、登録された画像が表示されず、お買い上げ時に設定されていた表示に戻る場合があります。

パラパラマンガを作成する

同一フォルダ内の静止画を複数選択してパラパラマンガとして登録します。

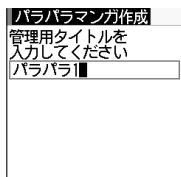
● 最大5枚の静止画を登録できます。
● パラパラマンガを作成すると、個別に表示したり編集したりできなくなります。

待受画面でMENU 3 1を押し、フォルダを選択して●を押す

画像一覧が表示されます。

MENU 4 1を押し、パラパラマンガにする画像を選択して●を押す

- 表示する順に静止画を2～5枚選択します。選択した順に画像の上に番号が表示されます。1つしか選択していないとパラパラマンガとして登録できません。
- 選択をすべて解除するにはMENUを押します。
- 画像を2回タップしても選択できます。

パラパラマンガにする静止画の選択が終了したら📖を押す

管理用タイトルを入力して●を押す

- 全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

📖を押す

パラパラマンガが作成されます。

- 画像一覧には作成したパラパラマンガの最初の画像が表示され、のマークと操作4で入力した管理用タイトル名が表示されます。

パラパラマンガを解除するとき

作成したパラパラマンガを1枚ずつの静止画に戻します。連写画像を1枚ずつの静止画に分けることもできます。

画像一覧でパラパラマンガを選択してMENU 4 2を押す
パラパラマンガが解除されます。

お知らせ

- 作成したパラパラマンガの表示方法は、画像を表示する(→P245)場合と同じです。表示すると、画像が設定した順に切り替わって表示されます。
- 画像表示画面から操作する場合はMENUを押し、「パラパラマンガ」→「作成」または「解除」を選択して操作します。
- 文字入力のしかた→『基本編』P309

詳細情報を参照する<詳細情報参照>

画像の詳細情報を表示します。

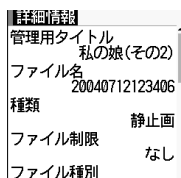
● 次の項目を表示できます。

- ・管理用タイトル※
- ・ファイル名※
- ・種類
- ・ファイル制限※
- ・ファイル種別（Flash画像は---と表示されます）
- ・表示サイズ（Flash画像では表示されません）
- ・ファイルサイズ
- ・作成日時
- ・保存日時
- ・フレーム候補※
- ・スタンプ候補※
- ・コメント※
- ・保存元

※：詳細情報変更画面で変更できます。

待受画面でMENU 3 1を押し、フォルダを選択して●を押す

画像一覧が表示されます。

詳細情報を確認する画像を選択してMENU 3 1を押す

を押すと詳細情報を変更できます。

お知らせ

- 画像表示画面から操作する場合はMENUを押し、「詳細情報」→「参照」を選択して操作します。
- 静止画をminiSDメモリーカードに移動／コピーした場合、移動／コピーした静止画の詳細情報は端末での表示と異なります。→P314

詳細情報を変更する<詳細情報変更>

画像の詳細情報を変更します。

- FOMA端末外への出力が禁止されている画像（自端末でファイル制限を「あり」に設定した画像を除く）、サイト画面（画面メモを含む）やメールから保存したファイル制限が設定されている画像は、管理用タイトル以外の詳細情報を変更できません。
- 横352×縦288（ドット）を超える画像はフレーム候補にできません。
- 横210×縦210（ドット）を超える画像はスタンプ候補にできません。
- アイテム（フレーム、スタンプ）と合成した静止画はフレーム候補、スタンプ候補にできません。

待受画面でMENU 3 1を押し、フォルダを選択して●を押す

画像一覧が表示されます。

詳細情報を変更する画像を選択して MENU 3 2 を押す

詳細情報変更
管理用タイトル
私の娘(その2)
ファイル名
20040712123456
コメント
かわいい〜っ！
フレーム候補 しない
スタンプ候補 しない

項　目	説　明
管理用タイトル	端末内で管理するために必要なタイトルを設定します。設定したタイトルは画像一覧に表示され、ソートなどをするときに利用されます。 • 全角・半角を問わず最大36文字入力できます。
ファイル名	メール添付時や、送信した相手の添付ファイルに表示されるファイル名を設定します。 • 半角英数字、「.」、「-」、「_」で最大36文字入力できます。ただし、「.」はファイル名の先頭に使用できません。
コメント	コメントを設定します。 • 全角・半角を問わず最大100文字入力できます。
フレーム候補	フレーム候補にするかどうかを設定します。 • フレーム候補にすると、フレーム選択で選択できます。→P258
スタンプ候補	スタンプ候補にするかどうかを設定します。 • スタンプ候補にすると、スタンプ貼り付けで選択できます。→P258
ファイル制限	メール添付やFOMA端末外への出力の可（なし）／不可（あり）を設定します。 • 自端末で撮影した静止画、データ転送やminiSDメモリーカードから取得した画像の場合は、ファイル制限の設定に関わらずメール添付やデータ転送することができます。ただし、「あり」の画像を送信した場合、受け取った相手の機種によっては、受信した画像をさらに別の相手に送信することはできません。

設定する項目を選択して ● を押し、設定する

• 操作方法→P46

［メール］を押す

詳細情報が変更されます。

お知らせ

• 画像ファイルによっては設定できない項目があります。
• 画像表示画面から操作する場合は MENU を押し、「詳細情報」→「変更」を選択して操作します。
• フレーム候補に設定した画像は、カメラ撮影の重ね撮り画像や、画像編集のフレームの候補として表示されます。画像は元のフォルダに保存されます（「アイテム」フォルダからは表示できません）。
• スタンプ候補に設定した画像は、画像編集のスタンプの候補として表示されます。画像は元のフォルダに保存されます（「アイテム」フォルダからは表示できません）。
• 文字入力のしかた→『基本編』P309

静止画を編集する

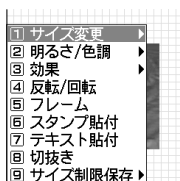
静止画を編集します。

●次の画像は編集できません。
- パラパラマンガ、連写画像、アニメーション、「アイテム」フォルダ内の画像
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画（自端末でファイル制限を「あり」に設定した静止画を除く）
- サイト画面（画面メモを含む）やメールから保存したファイル制限が設定されている静止画
- 横縦（または縦横）のサイズが1280×960（ドット）を超える静止画
- 横縦のどちらかのサイズが8ドットより小さい静止画

●画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保存できません。不要な画像を削除し、保存し直してください。→P47

1 待受画面でMENU 3 1を押し、フォルダを選択して●を押す

画像一覧が表示されます。

2 編集する静止画を選択して[画像]を押し、MENUを押す

3 静止画を編集する

- 編集方法→P254～P263

4 ●を押し、「保存」を選択して●を押す

固定フォルダの静止画を編集したときは「イメージ」の「編集画像」フォルダに、アルバムの静止画を編集したときは同じアルバム内に新しい静止画として保存されます。

✎ 編集した静止画をフレームやスタンプに使用するときは、「フレーム・スタンプ用」を選択して●を押します。

お知らせ

- 静止画サイズによって、編集できる項目が異なります。

設定可：○　設定不可：－

編集項目／サイズ（縦横または横縦）	サイズ変更	明るさ／色調	効果	反転／回転	フレーム	スタンプ貼付	テキスト貼付	切抜き	サイズ制限保存	補正
240×320（ドット）までの静止画	○※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
240×320（ドット）より大きく352×288（ドット）までの静止画	○	○	－	○	○	○	○	－	○	○
352×288（ドット）より大きく640×480（ドット）までの静止画	○※2	－	－	○	－	－	－	－	○※3	－
640×480（ドット）より大きく1280×960（ドット）までの静止画	○※4	－	－	－	－	－	－	－	－	－

※1 「切出し」は編集するサイズより小さいサイズのみ可能です。
※2 「拡大／縮小」はできません。
※3 「100Kバイト」のみ可能です。
※4 「待受用　240×320」、「176×144」、「128×96」、「電話帳用　96×72」のみ可能です。

- 画像サイズが352×288（ドット）より大きい静止画は、サイズ変更をするとフレームを付けることができます。
- 画像サイズより大きい静止画の表示方法を設定（大きい画像の縮小を「あり」（→P267））していても、静止画編集時はそのままの大きさで表示されます。
- オリジナルのフレームを付けたり、スタンプを貼り付けたりするには、フレームやスタンプにしたい静止画の詳細情報のフレーム候補、またはスタンプ候補を「する」に設定して登録する必要があります。→P252
- 静止画や編集方法によっては、編集結果がイメージと異なる場合があります。
- 静止画編集を繰り返し行うと、画質が劣化することがあります。
- 静止画編集を行うと、編集後のファイルサイズが大きくなる場合があります。

静止画の大きさを変更する

1あ を押す

項　目	説　明
拡大／縮小	静止画を拡大したり縮小したりします。
待受用 240×320	静止画を待受画面のサイズに合わせます。
176×144	静止画を176×144ドットのサイズに合わせます。
128×96	静止画を128×96ドットのサイズに合わせます。
電話帳用 96×72	静止画を96×72ドットの大きさに合わせます。
切出し	サイズを選択して静止画の一部を切り出します。

2 変更方法を選択する

■「拡大／縮小」をするとき

①(1)を押す

②(◁)(▷)を押す

高さと幅の比率を保持したまま、幅を5%ずつ拡大または縮小します。

(MENU)(📖)を押すと、20%ずつ拡大または縮小します。

- 横縦（または縦横）のサイズが352×288（ドット）になるまで拡大できます（どちらか一辺が288ドットを超える場合、他辺は288ドット以下となります）。
- 横縦どちらかのサイズが8ドットになるまで縮小できます。

③( )を押す

静止画が拡大または縮小され、静止画編集画面に戻ります。

■「待受用 240×320」「176×144」「128×96」「電話帳用 96×72」に変更するとき

(2)～(5)を押す

選択した方法で静止画が変更され、静止画編集画面に戻ります。

選択したサイズ変更と編集する静止画の縦横比が異なる場合は、サイズ枠が表示されます。(📷)(i)(◁)(▷)を押し、サイズ枠の位置を調整して( )を押します。サイズ枠の内側をポイントし、切り取る位置までドラッグすることもできます。

(MENU)を押して、静止画の縦横比を無視して選択したサイズに収めたり、(📖)を押して、静止画の縦横比を保持したまま選択したサイズ内に収めたりできます（静止画サイズによってできない場合があります）。

■ サイズを指定して「切出し」をするとき

①(6)を押す

項　目	説　明
352×288	352×288ドットのサイズで静止画を切り出します。
待受用 240×320	待受サイズ（240×320ドット）で静止画を切り出します。
176×144	176×144ドットのサイズで静止画を切り出します。
128×96	128×96ドットのサイズで静止画を切り出します。
電話帳用 96×72	96×72ドットのサイズで静止画を切り出します。
範囲指定	切り出すサイズを任意に指定して切り出します。

②(1)～(5)を押す

③ を押し、切り出す位置を調整してを押す

- 切り出し枠の内側をポイントし、切り出す位置までドラッグしを押して位置を指定することもできます。
- を押すたびに、切り出し枠の縦と横が切り替わります。
- を押すたびに、切り出しサイズが切り替わります。
- を押すと範囲指定ができます。

④ を押す

静止画が切り出され、静止画編集画面に戻ります。

■ 範囲を指定して「切出し」をするとき

① を押す

② を押す

③ でを移動させ、範囲指定枠の開始位置を選択してを押す

- が範囲指定枠の右下に表示されます。
- をポイントし、ドラッグすることもできます。

④ 同様に範囲指定枠の終了位置を選択してを押す

切出しサイズ

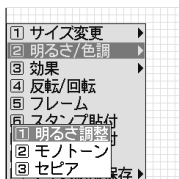
切り出し枠

範囲指定枠が点線から実線に切り替わり、範囲指定サイズが決まります。

⑤ を押す

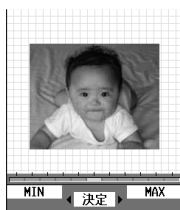
静止画が切り出され、静止画編集画面に戻ります。

画像の明るさや色調を変更する

を押す

項　目	説　明
明るさ調整	静止画の明るさを調整します。
モノトーン	静止画をモノトーン調にします。
セピア	静止画をセピア色にします。

変更方法を選択する

■「明るさ調整」をするとき

①(1)を押す

②◁▷を押し、明るさを調整して(●)を押す

明るさが変更され、静止画編集画面に戻ります。

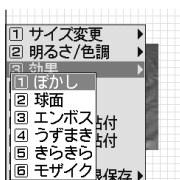
(📖)を押すと明るさが最大に、(MENU)を押すと最小になります。

■「モノトーン」「セピア」にするとき

(2)〜(3)を押す

色調が変更され、静止画編集画面に戻ります。

静止画に特殊な効果をかける

(3)を押す

項　目	説　明
ぼかし	静止画をぼかします。
球面	静止画が中心から球面状に盛り上がっているような効果をかけます。
エンボス	静止画にエンボス(静止画を鉛色にし、凹凸を強調する)効果をかけます。
うずまき	静止画の中心から渦状に回転させたような効果をかけます。
きらきら	静止画にきらきら光っているようなマークを挿入します。
モザイク	静止画にモザイクをかけます。

(1)〜(6)を押す

静止画に効果がかかり、静止画編集画面に戻ります。

静止画を反転／回転する

(4)を押す

上下を反転した場合

次の操作ができます。

(📷)(i):上下が反転します。

◁▷:左右が反転します。

(MENU):左に90度回転します。

(📖):右に90度回転します。

反転・回転操作を行い(●)を押す

静止画が反転または回転し、静止画編集画面に戻ります。

静止画にフレームを付ける

- お買い上げ時に登録されているフレーム→P261

[5] を押す

- 編集している画像と同じ表示サイズのフレームが表示されます。ただし、フレーム候補として設定した画像は、表示サイズに関わらず表示されます。

フレームを選択して[ ]を押す

「Pretty_hearts」を選択した場合

[ ][ ]を押すと、フレームを切り替えられます。

- 静止画とフレームのサイズが異なっていてもフレームは拡大・縮小されません。

[ ]を押す

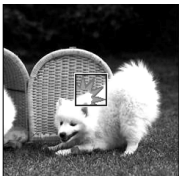
フレームが合成され、静止画編集画面に戻ります。

静止画にスタンプを貼り付ける

- お買い上げ時に登録されているスタンプ→P261

[6] を押す

- スタンプ候補として設定した画像がある場合は、その画像も一覧に表示されます。

スタンプを選択して[ ]を押す

「Shock」を選択した場合

を押し、スタンプを貼り付ける位置を調整してを押す

効果音が鳴り、スタンプが貼り付けられます。

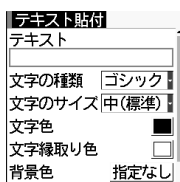
- スタンプの位置はドラッグで調整することができます。スタイラスペンを離した位置に貼り付けられます。
- 続けて別の位置にスタンプを貼り付けることができます。
- スタンプを取り消すときはを押します。

を押す

静止画編集画面に戻ります。

静止画にテキストを貼り付ける

を押す

テキスト貼付
テキスト
文字の種類 ゴシック
文字のサイズ 中(標準)
文字色
文字縁取り色
背景色 指定なし

項　目	説　明
テキスト	静止画に貼り付ける文字を設定します。
文字の種類	静止画に貼り付ける文字の種類を設定します。
文字のサイズ	静止画に貼り付ける文字サイズを設定します。
文字色	静止画に貼り付ける文字の色を設定します。
文字縁取り色	静止画に貼り付ける文字の縁取りの色を設定します。
背景色	静止画に貼り付ける文字の背景色を設定します。
貼り方	文字の貼り付けかたを設定します。

設定する項目を選択してを押し、設定する

- テキストは全角で最大20文字、半角で最大40文字入力できます。

を押す

を押し、文字の位置を調整してを押す

効果音が鳴り、文字が貼り付けられます。

- 文字の位置はドラッグで調整することができます。スタイラスペンを離した位置に貼り付けられます。
- 続けて別の位置に文字を貼り付けることができます。
- 貼り付けた文字を取り消すときはを押します。
- 「貼り方」を「一字ごと」に設定したときは、を押すたびに1文字ずつ貼り付けられます。最後の文字を貼り付けた後は先頭の文字が再び表示されます。

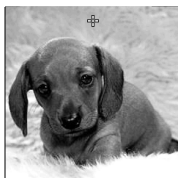
を押す

テキストを貼り付けた静止画が登録され、静止画編集画面に戻ります。

お知らせ

- 文字入力のしかた→『基本編』P309

静止画を切り抜く

1 **(8)を押す**

2 **を押し、 の位置を調整して を押す**

切り抜かれた静止画が登録されます。

 の位置はドラッグで調整することができます。スタイラスペンを離した位置と同色の部分が切り抜かれます。

- 続けて別の位置を切り抜くことができます。
- 静止画によっては、うまく切り抜けない場合があります。

3 **を押す**

静止画編集画面に戻ります。

お知らせ

- 切り抜かれた静止画を「フレーム・スタンプ用」に保存すると、オリジナルのフレームやスタンプとして利用できます。

サイズ制限をして静止画を保存する

1 **(9)を押す**

2 **(1)～(2)を押す**

画像一覧に戻ります。

フレーム・スタンプ一覧

お買い上げ時には次のフレーム・スタンプが登録されています。

・　　の部分に静止画が入ります。

- フレーム

・待受サイズ（240×320ドット）

・176×144ドットサイズ

- スタンプ

・お買い上げ時に登録されている上記フレーム・スタンプを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードすることができます。→P71

静止画に手書きメモを付ける

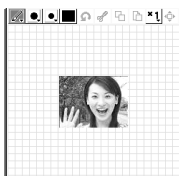
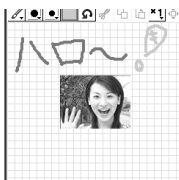
静止画にスタイラスペンを使ってメモを書き込みます。

待受画面でMENU 3 1を押し、フォルダを選択して●を押す

画像一覧が表示されます。

編集する静止画を選択して[メール]を押す

静止画編集画面が表示されます。

[▲]を押す

スタイラスペンを使って、メモを書く

- 手書きメモの作成のしかた→『基本編』P255

[メール]を押す

手書きメモが追加された静止画編集画面に戻ります。

静止画を補正する

静止画を補正します。

待受画面でMENU 3 1を押し、フォルダを選択して◯を押す

画像一覧が表示されます。

補正する静止画を選択して㊂を押す

静止画編集画面が表示されます。

㊂を押す

画面の右上に現在の補正モードが表示されます。

項　目	説　明
静物	静物や植物などの画像に対して、適切な補正を行います。
背景	背景のある画像に対して、適切な補正を行います。
風景	風景写真のような明るさや色のメリハリを出す補正を行います。
美肌	人物の画像に対して、肌を白くなめらかに綺麗に表現する補正を行います。
日焼け	人物の画像に対して、肌を小麦色に表現する補正を行います。
青ざめ	人物の画像に対して、肌を青ざめさせたように表現する補正を行います。
酔っ払い	人物の画像に対して、肌を赤らめたように表現する補正を行います。

📷 iαを押し、補正モードを選択して◯を押す

補正モードが選択されます。

- ◁▷を押すと効果の強弱を調整できます。
- ✉▼を押すと補正が最大(MAX)に、▲📖を押すと最小(MIN)になります。

◯を押し、「保存」を選択して◯を押す

固定フォルダの静止画を補正したときは「イメージ」の「編集画像」フォルダに、アルバムの静止画を補正したときは同じアルバム内に新しい静止画として保存されます。

- 編集した静止画をフレームやスタンプに使用するときは、「フレーム・スタンプ用」を選択して◯を押します。

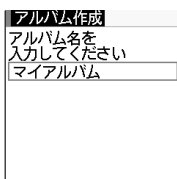
お知らせ

- 明るさや色のバランスがとれている静止画の場合には、補正の前後で静止画の状態があまり変化しない場合があります。

アルバムを利用する<イメージアルバム>

イベントやジャンル別などで画像を整理し、保存するアルバムを作成します。

アルバムを作成する

- 最大100個作成できます。
- お買い上げ時に登録されている固定フォルダ（→P245）のフォルダ名は変更できません。

待受画面でMENU 3 1を押す

フォルダ一覧が表示されます。

MENU 1を押し、アルバム名を入力して●を押す

- 全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

■ アルバム名を変更するとき

アルバム名を変更するアルバムを選択してMENU 2を押す

📖を押す

アルバムが作成されます。

お知らせ

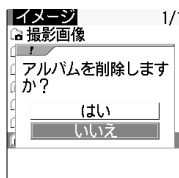
- 文字入力のしかた→『基本編』P309

アルバムを削除する

- お買い上げ時に登録されている固定フォルダ（→P245）は削除できません。

待受画面でMENU 3 1を押す

フォルダ一覧が表示されます。

削除するアルバムを選択してMENU 3を押す

- アルバム内に画像が残ったままアルバムを削除する場合は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。

「はい」を選択して●を押す

アルバムが削除されます。

お知らせ

- 待受画面などに使用されている画像のあるアルバムを削除すると、標準の画面に戻ります。

画像をアルバムに移動／コピーする

固定フォルダ（→P245）に保存されている画像のアルバムへの移動、アルバム間での移動、画像のコピーを行います。

画像をアルバムに移動する

作成したアルバムに画像を移動します。

- 画像が保存されているフォルダによってできる操作が異なります。

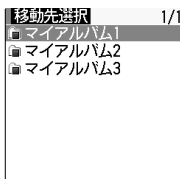
移動元のフォルダ	できる操作	説　明
撮影画像	アルバムに移動	画像を指定したアルバムに移動できます（アルバム以外へは移動できません）。
モード		
編集画像		
アイテム		
データ変換		
プリインストール	ー	移動できません。
アルバム	他のアルバムに移動、元の固定フォルダに戻す	画像を指定したアルバムに移動したり、元の固定フォルダ（→P245）に戻せます。

- miniSDメモリーカードに移動またはコピーできます。→P313

待受画面で[MENU][3][1]を押し、フォルダを選択して[○]を押す

画像一覧が表示されます。

移動する画像を選択して[MENU][5][1]を押す

移動先選択　1/1
マイアルバム1
マイアルバム2
マイアルバム3

フォルダ内の画像をアルバムに全件移動するときは[MENU][5][2]を押します。

移動先のアルバムを選択して[○]を押す

移動するかどうかの確認画面が表示されます。

「はい」を選択して[○]を押す

画像が移動します。

■ 画像をアルバムから固定フォルダに戻すとき

①**待受画面で[MENU][3][1]を押し、アルバムを選択して[○]を押す**

画像一覧が表示されます。

②**画像を選択して[MENU][5][3]を押す**

- アルバム内の画像をすべて戻すときは[MENU][5][4]を押します。

③**「はい」を選択して[○]を押す**

画像が移動します。

お知らせ

サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
画像表示画面から操作する場合は[MENU]を押し、「アルバムに移動」または「フォルダに戻す」を選択して操作します。

画像をコピーする

選択した画像をコピーします。

- パラパラマンガ、連写画像、「アイテム」フォルダ内の画像はコピーできません。

待受画面でMENU 3 1を押し、フォルダを選択して●を押す

画像一覧が表示されます。

コピーする画像を選択してMENU 5 5を押す

画像がコピーされます。

- 固定フォルダの画像をコピーしたときは「編集画像」フォルダに、アルバムの画像をコピーしたときは同じアルバム内にコピーが保存されます。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  画像表示画面から操作する場合はMENUを押し、「移動／コピー」→「コピー」を選択して操作します。
- アルバム内でコピーや編集した画像は、画像をアルバムから固定フォルダに戻す操作(→P265)を行うと、「編集画像」フォルダに移動します。

「イメージ」の動作を設定する＜動作設定＞

お買い上げ時	一覧形式：12枚表示　タイトル表示：あり　番号表示：あり コメント表示：あり　小さい画像の拡大：なし　大きい画像の縮小：あり

「イメージ」を利用する際の動作を設定します。

1 待受画面で MENU 3 1 を押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 MENU 4 を押す

動作設定
一覧形式　12枚表示
タイトル表示　あり
番号表示　あり
コメント表示　あり
小さい画像の拡大　なし
大きい画像の縮小　あり

項　目	説　明
一覧形式	一覧表示方法を設定します。 ＜12枚表示＞　＜リスト＞
タイトル表示	画像表示画面に画像のファイル名を表示するかどうかを設定します。
番号表示	画像表示画面にフォルダ内またはアルバム内での件数／全件数を表示するかどうかを設定します。
コメント表示	画像に付けたコメント(→P252)を表示するかどうかを設定します。
小さい画像の拡大	画面サイズより小さい画像を表示するとき、拡大表示するかどうかを設定します。 • 「あり」に設定すると、画像の高さと幅の比率を保持したまま拡大されます。
大きい画像の縮小	画面サイズより大きい画像を表示するとき、縮小表示するかどうかを設定します。 • 「あり」に設定すると、画像の高さと幅の比率を保持したまま縮小されます。

3 設定する項目を選択して ● を押し、設定する

4 (メニュー) を押す

設定内容が登録されます。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  画像一覧、画像表示画面から操作する場合は MENU を押し、「動作設定」を選択して操作します。

画像を削除する

1件ずつ削除したり、フォルダ内の画像をまとめて削除します。

●「プリインストール」フォルダ内の画像は削除できません。

待受画面でMENU 3 1を押し、フォルダを選択して◯を押す

画像一覧が表示されます。

削除する画像を選択してMENU 6 1を押す

フォルダ内の画像を全件削除するときはMENU 6 2を押し、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。

「はい」を選択して◯を押す

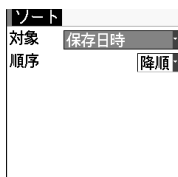
画像が削除されます。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  画像表示画面から操作する場合はMENUを押し、「削除」を選択して操作します。
- 待受画面などに使用している画像を削除すると、標準の画像に戻ります。
- パラパラマンガを削除すると、パラパラマンガを構成している画像も削除されます。

画像の並び順を替える<ソート>

お買い上げ時	対象：保存日時　順序：降順

画像一覧の並び順を変更します。

待受画面でMENU 3 1を押し、フォルダを選択して●を押す

画像一覧が表示されます。

MENU 7を押す

項　目	説　明
対象	ソートする並び順を「管理用タイトル」「保存日時」「ファイルサイズ」「取得元」から選択します。
順序	ソートの方法を「昇順」「降順」から選択します。

設定する項目を選択して●を押し、設定する

📖を押す

画像一覧が並び替わります。

お知らせ

- 管理用タイトルに全角／半角の文字が混在していると、ソート結果が五十音順と一致しない場合があります。

動画／ｉモーションを再生する

FOMA端末やminiSDメモリーカード内の「ｉモーション」に保存されている動画／ｉモーションを再生します。

● 動画／ｉモーションは次の5つの固定フォルダに分類されて保存されます。

フォルダ名	動画／ｉモーションの種類
撮影画像	カメラで撮影した動画、キャラ電を撮影した動画
ｉモード	サイトやｉモーションメールなどから取り込んだｉモーション
編集画像	コピーした動画／ｉモーションや編集して保存した動画／ｉモーション
プリインストール	お買い上げ時にFOMA端末に内蔵されている動画
データ交換	データ転送で受信した動画、miniSDメモリーカードから移動／コピーした動画

● 音声電話通話中またはテレビ電話通話中は、動画／ｉモーションの再生はできません。

● miniSDメモリーカード内に保存されている動画を再生することもできます。→P271、P312

● マナーモード中に動画／ｉモーションを再生しようとすると、再生を行うかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉモーションの音量（→P285）に設定されている音量で音声や音楽が再生されます。

1 待受画面でMENU 3 2を押す

- マークの意味は次のとおりです。
  - :撮影画像　:プリインストール
  - :ｉモード　:データ交換
  - :編集画像　:アルバム

2 フォルダを選択して●を押す

動画／ｉモーション一覧が表示されます。

- マークの意味は次のとおりです。

①	取得元	:プリインストール　:データ交換 :ｉモード　:キャラ電 :カメラ　:編集画像
②	再生制限	:再生制限なし　:期限制限あり :回数制限あり　:期間制限あり
③	ファイル形式	MP4:MP4（MobileMP4）
④	メール添付、FOMA端末外への出力	(ブルー):添付・出力可 (グレー):添付・出力不可 • 自端末で撮影、編集した動画や、データ交換などで取得した動画／ｉモーションは、ファイル制限の設定に関わらずメールの添付や編集、データ転送、miniSDメモリーカードへの移動またはコピーができます。 ・ファイル制限→P277 ・メールに添付可能な動画のファイルサイズ→P137

- を押すたびに、12枚表示とリスト表示が切り替わります。
- 音声のみのデータはで表示されます。

ｉモーション

動画／ｉモーションを再生する

3 再生する動画／ｉモーションを選択して◯を押す

動画／ｉモーションが再生されます。

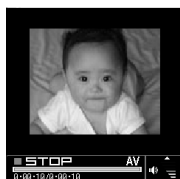
- マークの意味は次のとおりです。

①	再生状態	▶PLAY：再生中　■STOP：停止中 ❚❚PAUSE：一時停止中
②	再生バー	現在の再生位置を表示します。
③	再生時間	現在の再生時間（10時間未満）を表示します。
④	再生種類	A：音声のみ　AV：音声＋動画 T：テキストのみ　VT：動画＋テキスト V：動画のみ　AVT：音声＋動画＋テキスト AT：音声＋テキスト
⑤	再生音量	現在の音量を表示します。

再生中に次の操作ができます。

- 📷 i α：音量調整（サイドキー［▲▼］でも操作できます）
- ▶：早送り再生（押し続けると早送りになります）
- ◯：一時停止／再開
- 📖：停止（画像は表示されません）
- クリア：動画／ｉモーション一覧に戻ります

・停止中に◯を押すと先頭から再生できます。

4 再生が終了します

miniSDメモリーカード内の動画／ｉモーションを再生する

miniSDメモリーカードに保存した動画／ｉモーションを直接再生できます。miniSDメモリーカード内のデータの連続再生が可能で、連続再生中にFOMA端末をクローズ状態にしても再生を中断せずに楽しむことができます。

- パソコンなどの外部機器で作成した動画（MP4ファイル、ASFファイル）も再生することができます。→P272

1 待受画面でMENU 3 2を押し、◀📷▶を押す

miniSDメモリーカード内の動画／ｉモーション一覧が表示されます。

■ 連続再生するとき

MENU 8を押す

連続再生中に📷 i αを押すと音量を調整できます。（サイドキー［▲▼］でも操作できます）

連続再生中に◯を押すと連続再生を終了します。

2 再生する動画／ｉモーションを選択して◯を押す

動画／ｉモーションが再生されます。
再生中の操作はFOMA端末本体の場合と同様です。

お知らせ

- 動画／ｉモーションの最大保存件数→P16
- miniSDメモリーカードのフォルダ構成→P311
- 動画／ｉモーションを保存したときに、他のアプリケーションの影響により12枚表示の画像が取得できない場合があります。その場合は が表示されます。
- miniSDメモリーカード内の動画／ｉモーションをFOMA端末本体にコピーすることができます。→P314

再生制限が設定されているときは

ｉモーションに再生制限が設定されているときは、再生開始前に確認画面が表示されます。

再生制限	状　態	説　明
回数制限	再生回数残あり	「あと×回再生できます。再生しますか？」と表示されます。再生するときは「はい」、中止するときは「いいえ」を選択します。
	規定回数再生済み	「再生可能回数が終了しました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「はい」、残すときは「いいえ」を選択します。
期限制限	期限内	「××××年××月××日××時××分まで再生可能です」と表示されます。 を押すか、2秒たつと自動的に再生が始まります。中止するときは クリア を押します。
	期限が過ぎた	「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「はい」、残すときは「いいえ」を選択します。
期間制限	期間内	「あと××日間再生できます」と表示されます。 を押すか、2秒たつと自動的に再生が始まります。中止するときは クリア を押します。
	期間前	「再生可能日前です。再生できません」と表示されます。 を押すと動画／ｉモーション一覧に戻ります。
	期間が過ぎた	「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「はい」、残すときは「いいえ」を選択します。

- 詳細情報を表示すると、残り再生回数・再生期限・再生期間を確認できます。→P276
- 日付・時刻を変更しても、再生制限の期限や期間を延長することはできません。

お知らせ

- 再生可能な動画／ｉモーションは次のとおりです。

ファイル形式	MP4（MobileMP4）
符号化方式	映像：MPEG-4またはH.263 音声：AMRまたはAAC
画面サイズ	320×240ドット以下※

※：画面サイズによっては再生できないものもあります。

- ｉアプリで動画を再生しているときに、メールやメッセージR/Fなどを受信すると、正しく再生できない場合があります。
- 長い間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付・時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期限・再生期間が決められているｉモーションは再生できなくなります。
- FOMA端末に保存した動画／ｉモーションはminiSDメモリーカードに保管することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、添付のF900iT用のCD-ROM内のFOMA Fシリーズデータリンクソフトをご利用いただくことにより、動画／ｉモーションをパソコンに転送・保管して再生することができます。→P390、P393
- パソコンなどの外部機器で作成した動画（ASFファイル）をminiSDメモリーカードに保存し、FOMA端末で再生することができます。ただし、このファイルを端末本体に移動／コピーして再生することはできません。
  再生できるASFファイル→P393

動画／ｉモーションを利用する

動画／ｉモーションを待受画面などに表示したり、ｉモードメールに添付したりします。

動画／ｉモーションを添付してｉモードメールを作成する（ｉモーションメール）

動画／ｉモーションを添付してｉモードメールを作成します。

- 添付できない動画／ｉモーションからはｉモードメールを作成できません。→P137

待受画面でMENU 3 2 を押し、フォルダを選択して◯を押す

動画／ｉモーション一覧が表示されます。

添付する動画／ｉモーションを選択して✉を押す

- 選択した動画／ｉモーションがあらかじめ添付されています。
- 「ファイル名」（→P277）で添付されます。

3 ｉモードメールを作成して送信する

- 操作方法→P127

お知らせ

- 本文（添付したメロディ・静止画を含む）の残りのデータ量が全角で最大100文字（半角200文字）（デコメールでは全角200文字（半角400文字））分未満の場合は、動画／ｉモーションを添付できません。

動画／ｉモーションを待受画面・電話帳などに設定する

動画／ｉモーションを待受画面や電話帳、着モーションなどに設定します。

- 着モーションについて→『基本編』P174
- プライバシーモード起動中（電話帳を「認証後に表示」に設定した場合）に電話帳を利用する場合は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。→『基本編』P208

1 待受画面でMENU 3 2を押し、フォルダを選択して●を押す

動画／ｉモーション一覧が表示されます。

2 設定する動画／ｉモーションを選択してMENU 2を押す

3 設定方法を選択する

■ 待受画面に設定するとき

①1を押す

設定するかどうかの確認画面が表示されます。

- 拡大表示が可能な動画／ｉモーションの場合は、確認画面で表示方法を選択することができます。

②「はい」を選択して●を押す

- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、解除するかどうかの確認画面が表示されます。選択した動画／ｉモーションを設定するには「はい」を選択して●を押します。

■ 電話帳に新規登録するとき

①2を押す

- 選択した動画があらかじめ設定されています。

②名前、電話番号などを設定して登録する

- 電話帳の登録方法→『基本編』P113（ステップ2）

■ 登録済みの電話帳データに追加するとき

①3を押す

電話帳の検索結果一覧が表示されます。

ｉモーション

動画／ｉモーションを利用する

②電話帳データを選択して◯を押す

- 選択した動画があらかじめ設定されています。
- 既に画像が設定されていたときは動画が置き替わります。

③内容を確認して登録する

- 電話帳の登録方法→『基本編』P114（ステップ3）

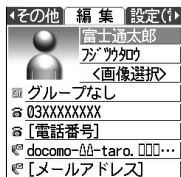
■ 着モーション（電話着信音、TV電話着信音）に設定するとき

4～5を押す

動画／ｉモーションが各画面に設定されます。

■ メモリ指定着信音に設定するとき

①6を押す

電話帳の検索結果一覧が表示されます。

②電話帳データを選択して◯を押す

③内容を確認して◯を押す

着信音が設定されます。

- 既に着信音が設定されていたときは動画／ｉモーションに置き替わります。
- 電話帳の登録方法→『基本編』P111

④メモリ番号を確認して◯を押す

上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

⑤「はい」を選択して◯を押す

電話帳データが上書き登録されます。

お知らせ

- 動画／ｉモーションを待受画面に設定すると、最初の画像が待受画面に表示されます。待受中にクリアを押すと音声／音楽が含まれている場合は映像とともに再生されますが、電源を入れたときには再生はされません。再生時の音量は、「ｉモーション」の動作設定に従います。→P285
- マナーモード中は動画／ｉモーション再生中でも音声／音楽は鳴りません。
- テロップ中にリンクのあるｉモーションを待受画面に設定しても、待受画面からは各機能（Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To）は利用できません。

詳細情報を参照する<詳細情報参照>

動画／ｉモーションの詳細情報を表示します。

● 次の項目を表示できます。

・管理用タイトル※　・オリジナルタイトル　・ファイル名※　・ファイル制限※
・コピーライト※　・作成者※　・ファイル種別　・音
・表示サイズ　・ファイルサイズ　・再生時間　・作成日時
・保存日時　・再生制限　・着信音設定　・説明※
・保存元

※：詳細情報変更画面で変更できます。

待受画面でMENU 3 2を押し、フォルダを選択して●を押す

動画／ｉモーション一覧が表示されます。

詳細情報を確認する動画／ｉモーションを選択してMENU 3 1を押す

詳細情報参照
管理用タイトル
Baby Movie
オリジナルタイトル
20040712050122
ファイル名
20040712050122
ファイル制限
なし
コピーライト

□を押すと詳細情報を変更できます。

お知らせ

- 着モーションに設定できる動画／ｉモーションは、詳細情報の着信音設定が「可」になっています。自端末で撮影した動画や着モーション対応のｉモーションは、この着信音設定が「可」になっており着モーションに設定できます。ただし、変更することはできません。
- 動画／ｉモーション再生画面から操作する場合はMENUを押して操作します。
- 動画をminiSDメモリーカードに移動／コピーした場合、移動／コピーした動画の詳細情報は端末での表示と異なります。→P314

詳細情報を変更する<詳細情報変更>

動画の詳細情報を変更します。

待受画面でMENU 3 2を押し、フォルダを選択して●を押す

動画／ｉモーション一覧が表示されます。

詳細情報を変更する動画／ｉモーションを選択して(MENU)(3 さ DEF)(2 か ABC)を押す

詳細情報変更
管理用タイトル
Baby Movie
オリジナルに戻す
ファイル名
20040712050122
説明
ファイル制限　なし

項　目	説　明
管理用タイトル	端末内で管理するために必要なタイトルを設定します。設定したタイトルは動画／ｉモーション一覧に表示され、ソートなどをするときに利用されます。全角・半角を問わず最大36文字入力できます。
オリジナルに戻す	「管理用タイトル」に表示されているタイトル名を変更した場合、動画／ｉモーションにあらかじめ設定されていたオリジナルタイトルに戻します。
ファイル名	ファイル名を設定します。 • 半角英数字、「.」「_」「-」で最大36文字入力できます（拡張子は含みません）。ただし、「.」はファイル名の先頭に使用できません。
説明	説明を設定します。 • 全角・半角を問わず最大256文字入力できます。
ファイル制限	メール添付やFOMA端末外への出力の可（なし）／不可（あり）を設定します。 • 自端末で撮影した動画の場合は、ファイル制限の設定に関わらずメール添付やデータ転送することができます。ただし、「あり」の動画を送った場合、ｉモーションとして受け取った相手の機種によっては、受信したｉモーションをさらに別の相手に送信することはできません。
コピーライト	著作者名や著作物の公表年月日などを設定します。 • 全角・半角を問わず最大256文字入力できます。
作成者	作成者の名前などを設定できます。 • 全角・半角を問わず最大256文字入力できます。

設定する項目を選択して(　)を押し、設定する

(📖)を押す

詳細情報が変更されます。

お知らせ

- 自端末で撮影した動画の場合、「作成者」にはプロフィール情報に登録した名前が表示されます。プロフィール情報に名前が登録されていないときは、「作成者」は設定されません。→『基本編』P236
- 文字入力のしかた→『基本編』P309

動画／ｉモーションを編集する

自端末で撮影した動画、またはファイル制限が設定されていない動画／ｉモーションを編集します。

● 編集した静止画／動画の管理用タイトルは編集元の動画と同じ名前で保存されます。ファイル名は編集して保存した日時（たとえば2004年7月12日12時34分56秒の場合は20040712123456）で保存されます。

動画／ｉモーションからスナップショットを作成する

再生画面から任意の位置で静止画を切り出して保存します。

待受画面でMENU 3 2を押し、フォルダを選択して〇を押す

動画／ｉモーション一覧が表示されます。

編集する動画／ｉモーションを選択して〇を押す

動画／ｉモーションが再生されます。

再生中に任意の位置で▲を押す

一時停止になります。

〇を押す

スナップショットが「イメージ」の「編集画像」フォルダに保存されます。→P245

お知らせ

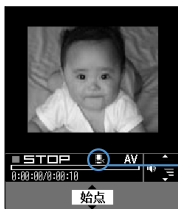
- 一時停止中画面からも操作できます。
- テロップは保存されません。
- 同じ動画／ｉモーションから複数切り出して保存することもできます。
- movaサービスのｉモード端末へスナップショットで編集した静止画ファイルを送信すると、相手にはURL付きのメール（ｉショットメール）として受信されます。

動画／ｉモーションから選択切り出しをする

動画／ｉモーションを先頭から任意の位置まで切り出して保存します。

待受画面でMENU 3 2を押し、フォルダを選択して〇を押す

動画／ｉモーション一覧が表示されます。

編集する動画／ｉモーションを選択してMENU 4 1を押す

切り出し中に表示されます。

◯（始点）を押し、切り出す位置で◯（終点）を押す

- 始点の位置を変えることはできません。

◯を押す

選択切り出しした動画／ｉモーションが保存されます。
固定フォルダ内の動画／ｉモーションを編集したときは「編集画像」フォルダに、アルバム内の動画／ｉモーションを編集したときは同じアルバムに保存されます。→P270

- 動画／ｉモーションのサイズが95Kバイトを超えると自動的に終点を決定します。

✎ ◯を押すと、切り出した動画／ｉモーションを確認できます。

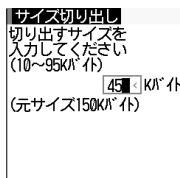
動画／ｉモーションからサイズ切り出しをする

動画／ｉモーションを先頭から10Kバイト～元のファイルサイズ未満（最大95Kバイト）までのファイルサイズに指定して切り出し、保存できます。

- 切り出しのサイズ指定の上限は、編集する動画／ｉモーションにより異なります。

待受画面でMENU 3 2を押し、フォルダを選択して◯を押す

動画／ｉモーション一覧が表示されます。

編集する動画／ｉモーションを選択してMENU 4 2を押す

切り出すサイズを入力して◯を押す

◯を押す

入力したサイズで動画／ｉモーションが保存されます。
固定フォルダ内の動画／ｉモーションを編集したときは「編集画像」フォルダに、アルバム内の動画／ｉモーションを編集したときは同じアルバムに保存されます。→P270

✎ ◯を押すと、切り出した動画／ｉモーションを確認できます。

お知らせ

- 同じ動画／ｉモーションから複数切り出して保存することもできます。
- 切り出し位置によってテロップが削除される場合があります。
- 「サイズ切り出し」で編集した動画／ｉモーションは、指定したサイズより編集後のサイズが小さくなることがあります。

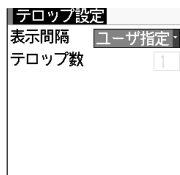
動画／ｉモーションのテロップを作成／削除する

動画／ｉモーションにテロップを挿入します。

- 最大10件挿入できます。
- 既に挿入されているテロップを再編集することはできません。
- 2つ以上のテロップを挿入する場合、時間を重ねて挿入することはできません。

1 待受画面でMENU 3 2を押し、フォルダを選択して●を押す

動画／ｉモーション一覧が表示されます。

2 テロップを挿入する動画／ｉモーションを選択してMENU 4 3 1を押す

■ テロップを削除するとき

✎動画／ｉモーション一覧で動画／ｉモーションを選択してMENU 4 3 2を押す

3 表示間隔欄を選択して●を押し、1〜2を押す

- 「ユーザ指定」に設定したときは、操作5に進みます。

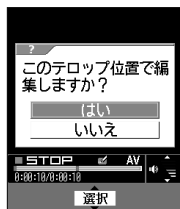
4 テロップ数欄を選択して●を押し、テロップ数を入力して●を押す

5 📖を押す

テロップ編集中に表示されます。

確認画面が表示され、動画／ｉモーションが再生されます。

- 表示間隔を「等間隔」に設定したときは、操作8に進みます。

6 テロップの設定位置で●を押す

- 📖を押すと位置指定を終了し、指定した位置でテロップを編集するかどうかの確認画面が表示されます。
- テロップの設定位置を10ヶ所以上指定するか動画／ｉモーションの再生が終了すると、自動的にテロップを編集するかどうかの確認画面が表示されます。

「はい」を選択して◯を押す

テロップ欄を選択して◯を押し、テロップに表示する文字を入力して◯を押す

- 全角で最大20文字、半角で最大40文字入力できます。

■ テロップを装飾するとき

①MENUを押す

項　目	説　明
背景色	テロップ表示中の背景色を選択できます。 ・「指定なし」に設定すると、「黒」になります。
文字色	テロップ表示中の文字色を選択できます。 ・「指定なし」に設定すると、「白」になります。
スクロール動作	テロップ表示中の文字のスクロール動作を設定できます。 ・「スクロール・イン」に設定すると、最初は見えない文字が移動しながら徐々に表示されます。 ・「スクロール・アウト」に設定すると、最初は表示されている文字が移動しながら徐々に見えなくなります。 ・「スクロール・イン&アウト」に設定すると、最初は見えない文字が移動しながら徐々に表示された後、徐々に見えなくなります。
スクロール方向	スクロール動作を設定したときのスクロール方向を選択します。
文字位置	テロップ表示中の文字の表示位置を設定します。
文字サイズ	テロップ表示中の文字の大きさを設定します。
下線	テロップ表示中の文字に下線を設定します。

②設定する項目を選択して◯を押し、設定する

③◯を押す

◯を押すと動画／ｉモーションが再生され、編集したテロップを確認できます。

◯を押す

保存するかどうかの確認画面が表示されます。

「はい」を選択して◯を押す

テロップが登録され、動画／ｉモーションが保存されます。
固定フォルダ内の動画／ｉモーションを編集したときは「編集画像」フォルダに、アルバム内の動画／ｉモーションを編集したときは同じアルバムに保存されます。→P270

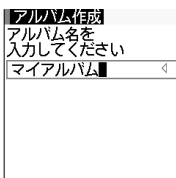
お知らせ

- 編集する動画／ｉモーションによって、入力できるテロップ数が異なります。

アルバムを利用する＜ｉモーションアルバム＞

イベントやジャンル別などで動画／ｉモーションを整理し、保存するアルバムを作成します。

アルバムを作成する

- 最大10個作成できます。
- お買い上げ時に登録されている固定フォルダ（→P270）のフォルダ名は変更できません。

待受画面でMENU 3 2を押す

フォルダ一覧が表示されます。

MENU 1を押し、アルバム名を入力して●を押す

- 全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

■ アルバム名を変更するとき

アルバム名を変更するアルバムを選択してMENU 2を押す

📖を押す

アルバムが作成されます。

お知らせ

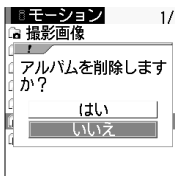
- 文字入力のしかた→『基本編』P309

アルバムを削除する

- お買い上げ時に登録されている固定フォルダ（→P270）は削除できません。

待受画面でMENU 3 2を押す

フォルダ一覧が表示されます。

削除するアルバムを選択してMENU 3を押す

- アルバム内に動画／ｉモーションが残ったままアルバムを削除する場合は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。

「はい」を選択して●を押す

アルバムが削除されます。

お知らせ

- 待受画面などに使用されている動画／ｉモーションのあるアルバムを削除すると、標準の画面に戻ります。

動画／ｉモーションをアルバムに移動／コピーする

固定フォルダ（→P270）に保存されている動画／ｉモーションのアルバムへの移動、アルバム間での移動、動画／ｉモーションのコピーを行います。

動画／ｉモーションをアルバムに移動する

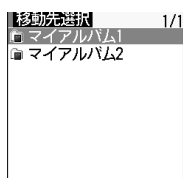
作成したアルバムに動画／ｉモーションを移動します。

- 動画／ｉモーションが保存されているフォルダによってできる操作が異なります。

移動元のフォルダ	できる操作	説　明
撮影画像	アルバムに移動	動画／ｉモーションを指定したアルバムに移動できます（アルバム以外へは移動できません）。
モード		
編集画像		
データ交換		
アルバム	他のアルバムに移動、元の固定フォルダに戻す	動画／ｉモーションを指定したアルバムに移動したり、元の固定フォルダ（→P270）に戻せます。
プリインストール	－	移動できません。

1 待受画面でMENU 3 2を押し、フォルダを選択してを押す

動画／ｉモーション一覧が表示されます。

2 移動する動画／ｉモーションを選択してMENU 5 1を押す

- フォルダ内の動画／ｉモーションをアルバムに全件移動するときはMENU 5 2を押します。

3 移動先のアルバムを選択してを押す

移動するかどうかの確認画面が表示されます。

4 「はい」を選択してを押す

動画／ｉモーションが移動します。

■ 動画／ｉモーションをアルバムから固定フォルダに戻すとき

①待受画面でMENU 3 2を押し、アルバムを選択してを押す

動画／ｉモーション一覧が表示されます。

②固定フォルダに戻す動画／ｉモーションを選択してMENU 5 3を押す

移動するかどうかの確認画面が表示されます。

- アルバム内の動画／ｉモーションを全件戻すときはMENU 5 4を押します。

③「はい」を選択してを押す

動画／ｉモーションが移動します。

動画／ｉモーションをコピーする

選択した動画／ｉモーションのコピーを作ります。

- ファイル制限（自端末で撮影した動画を除く）、再生制限が設定されているｉモーションはコピーできません。

待受画面でMENU 3 2を押し、フォルダを選択して●を押す

動画／ｉモーション一覧が表示されます。

コピーする動画／ｉモーションを選択してMENU 5 5を押す

動画／ｉモーションがコピーされます。

- 固定フォルダの動画／ｉモーションをコピーしたときは「編集画像」フォルダに、アルバムの動画／ｉモーションをコピーしたときは同じアルバム内に保存されます。

お知らせ

- miniSDメモリーカードに移動またはコピーできます。→P313

「ｉモーション」の動作を設定する＜動作設定＞

お買い上げ時	一覧形式：12枚表示　表示画像の拡縮：なし　照明設定：常灯　音量：レベル3

「ｉモーション」を利用する際の動作を設定します。

待受画面でMENU 3 2を押す

フォルダ一覧が表示されます。

MENU 4を押す

項　目	説　明
一覧形式	一覧表示方法を設定します。 ＜12枚表示＞　＜リスト＞
表示画像の拡縮	表示領域（240×200ドット）と、表示させる動画／ｉモーションの表示サイズが合わないときの処理を設定します。 ・「なし」に設定しても、表示領域より大きいサイズの画像を表示したときは、確認画面が表示され、表示サイズの高さと幅の比率を保持したまま縮小して表示領域に合わせて表示することができます。 ・「あり」に設定すると、表示サイズの高さと幅の比率を保持したまま拡大、縮小して表示領域に合わせて表示されます。
照明設定	動画／ｉモーション再生画面表示中の照明の動作を設定します。 ・「常灯」に設定すると「ｉモーション」起動中、常に照明が点灯します。 ・「端末設定に従う」に設定すると設定メニューの照明設定（→『基本編』P187）に従って点灯します。
音量	動画再生時の音量を設定します。 ・再生音を鳴らさないときは「消音」に設定します。

設定する項目を選択して◯を押し、設定する

📖を押す

設定内容が登録されます。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  動画／ｉモーション一覧から操作する場合はMENUを押し、「動作設定」を選択して操作します。

動画／ｉモーションを削除する

1件ずつ削除したり、フォルダ内の動画／ｉモーションをまとめて削除します。

● お買い上げ時に登録されている動画は削除できません。

待受画面でMENU 3 2を押し、フォルダを選択して●を押す

動画／ｉモーション一覧が表示されます。

削除する動画／ｉモーションを選択してMENU 6 1を押す

フォルダ内の動画／ｉモーションを全件削除するときはMENU 6 2を押し、4〜8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。

「はい」を選択して●を押す

動画／ｉモーションが削除されます。

お知らせ

- 待受画面や着信音などに使用している動画／ｉモーションを削除すると、標準の画像、メロディに戻ります。

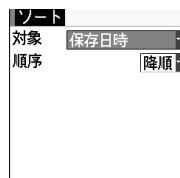
動画／ｉモーションの並び順を替える＜ソート＞

お買い上げ時	対象：保存日時　順序：降順

動画／ｉモーション一覧の並び順を変更します。

待受画面で[MENU][3][2]を押し、フォルダを選択して[●]を押す

動画／ｉモーション一覧が表示されます。

[MENU][7]を押す

項　目	説　明
対象	ソートする並び順を「管理用タイトル」「保存日時」「ファイルサイズ」「取得元」から選択します。
順序	ソートの方法を「昇順」「降順」から選択します。

3 設定する項目を選択して[●]を押し、設定する

4 [📖]を押す

動画／ｉモーション一覧が並び替わります。

お知らせ

- 管理用タイトルに全角／半角の文字が混在していると、ソート結果が五十音順と一致しない場合があります。

メロディを再生する

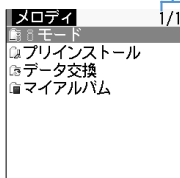
FOMA端末の「メロディ」に保存されているメロディを再生できます。

● メロディは次の3つの固定フォルダに分類されて保存されます。

フォルダ名	メロディの種類
iモード	サイトやｉモードメールから取り込んだメロディ
プリインストール	お買い上げ時にFOMA端末に内蔵されているメロディ
データ交換	データ転送で受信したメロディ、miniSDメモリーカードからコピーしたメロディ

● 音声電話通話中およびテレビ電話通話中にメロディの再生はできません。

● miniSDメモリカード内に保存されているメロディを再生することもできます。→P289、P312

1 待受画面でMENU 3 3を押す

ページ番号／全ページ数

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：iモード
  - ：プリインストール
  - ：データ交換
  - ：アルバム

2 フォルダを選択して◯を押す

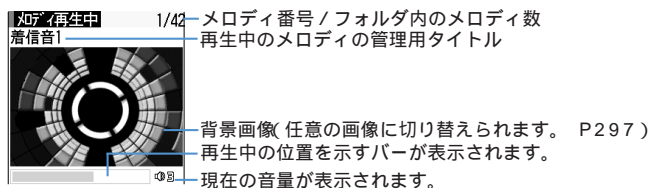
フォルダ名　ページ番号／全ページ数

メロディ一覧が表示されます。→『基本編』P175

- メロディ一覧のマークの意味は次のとおりです。

①	取得元	：ｉモード　：データ交換 ：プリインストール
②	メール添付・FOMA端末外への出力	(ブルー)：添付・出力可 (グレー)：添付・出力不可 • 「データ交換」フォルダに保存されているメロディは、ファイル制限の設定に関わらずメール添付やデータ転送、miniSDメモリーカードへのコピーができます。 ・ ファイル制限→P293 ・ メールに添付可能なメロディのファイルサイズ→P137

3 再生するメロディを選択して を押す

メロディ番号／フォルダ内のメロディ数
再生中のメロディの管理用タイトル
背景画像（任意の画像に切り替えられます。→P297）
再生中の位置を示すバーが表示されます。
現在の音量が表示されます。

メロディが再生されます。

再生中に次の操作ができます。

：前後のメロディを再生

：音量調整（サイドキー[▲▼]でも操作できます）

／クリア：停止

お知らせ

- miniSDメモリーカードに保存されているメロディを再生するには、「メロディ」のフォルダ一覧でを押してリスト画面を表示します。
  この後の再生操作は端末本体の場合と同様です。
  miniSDメモリーカードのフォルダ構成→P311
- メロディ再生中に着信ランプを点灯させたり、FOMA端末を振動させたりすることができます。→P297
- 最大同時発音数64の音質でメロディを再生できます。
- FOMA端末に保存したメロディはminiSDメモリーカードに保管することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、添付のF900iT用のCD-ROM内のFOMA Fシリーズデータリンクソフトをご利用いただくことにより、メロディをパソコンに転送・保管することができます。→P390
- miniSDメモリーカード内のメロディをFOMA端末本体にコピーすることができます。→P314

メロディを利用する

メロディを着信音などに設定したり、ｉモードメールに添付したりします。

メロディを添付してｉモードメールを作成する

メロディを添付してｉモードメールを作成します。

- 添付できないメロディからはｉモードメールを作成できません。→P137
- メロディを送信する場合、受信側がFOMA F900i、F900iT以外の場合は受信したメロディを正しく再生できないことがあります。

待受画面でMENU 3 3を押し、フォルダを選択して●を押す

メロディ一覧が表示されます。

添付するメロディを選択して✉を押す

- 選択したメロディがあらかじめ添付されています。
- 「ファイル名」で添付されます。→P292

3 ｉモードメールを作成して送信する

- 操作方法→P127

メロディを着信音などに設定する

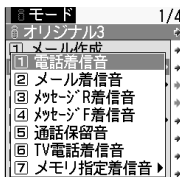
メロディを電話着信音やメール着信音などに設定します。

- プライバシーモード起動中（電話帳を「認証後に表示」に設定した場合）に電話帳を利用する場合は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。→『基本編』P208

待受画面でMENU 3 3を押し、フォルダを選択して●を押す

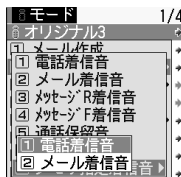
メロディ一覧が表示されます。

設定するメロディを選択してMENU 2を押す

3 設定する項目を選択する

■ 電話着信音やメール着信音、メッセージR/F着信音、通話保留音、TV電話着信音に設定するとき

1～6を押す

メロディが各着信音に設定されます。

■ メモリ指定着信音に設定するとき

①7を押す

②1～2を押す

電話帳の検索結果一覧が表示されます。

③電話帳データを選択して を押す

④内容を確認して を押す

着信音が設定されます。

- 既に着信音が設定されていたときはメロディが置き替わります。
- 電話帳の登録方法→『基本編』P117（ステップ4）

⑤メモリ番号を確認して を押す

上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

⑥「はい」を選択して を押す

電話帳データが上書き登録されます。

お知らせ

- メロディ再生画面から操作する場合はMENUを押し、「メロディの利用」を選択して操作します。

詳細情報を参照する<詳細情報参照>

メロディの詳細情報を表示します。

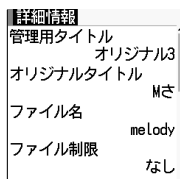
● 次の項目を表示できます。
- ・管理用タイトル※ ・オリジナルタイトル ・ファイル名※ ・ファイル制限※
- ・ファイル種別 ・ファイルサイズ ・再生時間 ・作成日時
- ・保存日時 ・保存元

※：詳細情報変更画面で変更できます。

待受画面でMENU 3 3を押し、フォルダを選択して●を押す

メロディ一覧が表示されます。

詳細情報を確認するメロディを選択してMENU 3 1を押す

詳細情報
管理用タイトル
オリジナル3
オリジナルタイトル
Mさ
ファイル名
melody
ファイル制限
なし

- 〔m〕を押すと詳細情報を変更できます。

お知らせ

- メロディ再生画面から操作する場合はMENUを押し、「詳細情報」→「参照」を選択して操作します。
- メロディをminiSDメモリーカードに移動／コピーした場合、移動／コピーしたメロディの詳細情報は端末での表示と異なります。→P314

詳細情報を変更する<詳細情報変更>

メロディの詳細情報を変更します。
- お買い上げ時に登録されているプリインストールされているデータの詳細情報は、管理用タイトルを除き変更できません。

待受画面でMENU 3 3を押し、フォルダを選択して◯を押す

メロディ一覧が表示されます。

詳細情報を変更するメロディを選択してMENU 3 2を押す

詳細情報変更
管理用タイトル
オリジナル3
オリジナルに戻す
ファイル名
melody
ファイル制限 なし

項　目	説　明
管理用タイトル	FOMA端末内で管理するために必要なタイトルを設定します。設定したタイトルはメロディ一覧に表示され、ソートなどをするときに利用されます。 ・全角で最大25文字、半角で最大50文字入力できます。
オリジナルに戻す	「管理用タイトル」に表示されているタイトル名を変更した場合、メロディにあらかじめ設定されていたオリジナルタイトルに戻します。
ファイル名	ファイル名を設定します。 ・半角英数字、「.」「_」「-」で最大36文字入力できます（拡張子は含みません）。ただし、「.」はファイル名の先頭に使用できません。
ファイル制限	メール添付やFOMA端末外への出力の可（なし）／不可（あり）を設定します。 ・サイトなどからダウンロードしたメロディは変更できません。

3 設定する項目を選択して◯を押し、設定する

4 ◯を押す

詳細情報が登録されます。

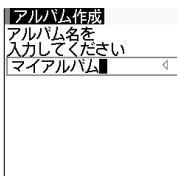
お知らせ

- メロディ再生画面から操作する場合はMENUを押し、「詳細情報」→「変更」を選択して操作します。
- メロディによっては、変更できる項目やタイトルの管理方法が異なる場合があります。
- 文字入力のしかた→『基本編』P309

アルバムを利用する<メロディアルバム>

ジャンルやアーティスト別などでメロディを整理し、保存するアルバムを作成します。

アルバムを作成する

- 最大10個作成できます。
- お買い上げ時に登録されている固定フォルダ（→P288）のフォルダ名は変更できません。

待受画面でMENU 3 3を押す

フォルダ一覧が表示されます。

MENU 1を押し、アルバム名を入力して●を押す

- 全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

■ アルバム名を変更するとき

アルバム名を変更するアルバムを選択してMENU 2を押す

（ボタン）を押す

アルバムが作成されます。

お知らせ

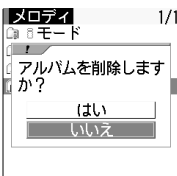
- 文字入力のしかた→『基本編』P309

アルバムを削除する

- お買い上げ時に登録されている固定フォルダ（→P288）は削除できません。

待受画面でMENU 3 3を押す

フォルダ一覧が表示されます。

削除するアルバムを選択してMENU 3を押す

- アルバム内にメロディが残ったままアルバムを削除する場合は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。

「はい」を選択して●を押す

アルバムが削除されます。

お知らせ

- 着信音などに使用されているメロディのあるアルバムを削除すると、標準のメロディに戻ります。電話帳に設定されているメロディが削除されたときは、設定メニューの着信音設定（→『基本編』P173）に従って動作します。

メロディをアルバムに移動する

固定フォルダ（→P288）に保存されているメロディのアルバムへの移動を行います。

- メロディが保存されているフォルダによってできる操作が異なります。

移動元のフォルダ	できる操作	説　明
iモード	アルバムに移動	メロディを指定したアルバムに移動できます（アルバム以外へは移動できません）。
データ交換		
アルバム	元の固定フォルダに戻す	メロディを元の固定フォルダ（「iモード」「データ交換」）に戻せます。
プリインストール	－	移動できません。

- アルバム間の移動はできません。一度アルバムから元のフォルダに戻し、他のアルバムに移動し直してください。

待受画面でMENU 3 3を押し、フォルダを選択して◯を押す

メロディ一覧が表示されます。

移動するメロディを選択してMENU 4を押す

移動先のアルバムを選択して◯を押す

移動するかどうかの確認画面が表示されます。

「はい」を選択して◯を押す

メロディが移動します。

■ メロディをアルバムから固定フォルダに戻すとき

①待受画面でMENU 3 3を押し、アルバムを選択して◯を押す

メロディ一覧が表示されます。

②固定フォルダに戻すメロディを選択してMENU 4 1を押す

アルバム内のメロディをすべて戻すときはMENU 4 2を押します。

③「はい」を選択して◯を押す

メロディが移動します。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  メロディ再生画面からアルバムに移動する場合はMENUを押し、「アルバムに移動」を選択して操作します。
  アルバムから元のフォルダに戻す場合はMENUを押し、「フォルダに戻す」を選択して操作します。
- miniSDメモリーカードにコピーできます。→P313

アルバムごと再生する

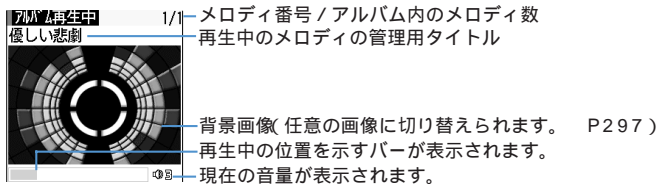
アルバム内の全メロディを続けて再生できます。

- お買い上げ時に登録されている固定フォルダ（→P288）では再生できません。

1 待受画面でMENU 3 3を押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 再生するアルバムを選択してMENU 4を押す

アルバム再生中　1/1 … メロディ番号／アルバム内のメロディ数
優しい悲劇 … 再生中のメロディの管理用タイトル
背景画像（任意の画像に切り替えられます。→P297）
再生中の位置を示すバーが表示されます。
現在の音量が表示されます。

アルバム内のメロディが再生されます。

再生中に次の操作ができます。

- ／ ：前後のメロディを再生
- ：音量調整（サイドキー[▲▼]でも操作できます）
- ／クリア ：停止

メロディ

メロディアルバム

「メロディ」の動作を設定する<動作設定>

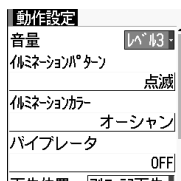
お買い上げ時	音量：レベル3　イルミネーションパターン：点滅　イルミネーションカラー：オーシャン バイブレータ：OFF　再生位置：フルコーラス再生　再生画面背景：標準

「メロディ」を利用する際の動作を設定します。

1 待受画面でMENU 3 3を押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 MENU 5を押す

動作設定
音量　レベル3
イルミネーションパターン　点滅
イルミネーションカラー　オーシャン
バイブレータ　OFF
再生位置　フルコーラス再生

項　目	説　明
音量	メロディ再生時の音量を設定します。 • メロディ再生中（→P288）に音を鳴らさないときは「消音」に設定します。
イルミネーションパターン	メロディ再生時の着信ランプの点灯パターンを設定します。 • 着信ランプを点灯させないときは「OFF」に設定します。
イルミネーションカラー	メロディ再生時の着信イルミネーションの色を設定します。
バイブレータ	メロディ再生時のバイブレータを設定します。 • バイブレータを振動させないときは「OFF」に設定します。
再生位置	メロディ全体を再生するか、一部分を再生するかを設定します。
再生画面背景	メロディ再生画面に表示する画像を設定します。 • 「標準」以外の画像を設定する場合は、「選択」に設定し、画像を選択します。

3 設定する項目を選択して◯を押し、設定する

■ 再生画面背景を設定するとき

①再生画面背景欄を選択して◯を押し、2を押す

②画像選択欄を選択して◯を押す

フォルダ一覧が表示されます。

③フォルダを選択して◯を押し、画像を選択して◯を押す

画像が設定されます。

画像を選択して📖を押すと画像を表示できます。

4 📖を押す

設定内容が登録されます。

お知らせ

- メロディによっては、イルミネーションパターンやバイブレータを「メロディ連動」に設定しても、連動しない場合があります。
- メロディによっては、再生位置を「ポイント再生」に設定しても、ポイント再生しない場合があります。

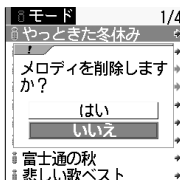
メロディを削除する

1件ずつ削除したり、フォルダ内のメロディをまとめて削除します。

● お買い上げ時に登録されているメロディは削除できません。

待受画面でMENU 3 3を押し、フォルダを選択して◯を押す

メロディ一覧が表示されます。

削除するメロディを選択してMENU 5 1を押す

フォルダ内のメロディを全件削除するときはMENU 5 2を押し、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。

「はい」を選択して◯を押す

メロディが削除されます。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  メロディ再生画面から操作する場合はMENUを押し、「削除」を選択して操作します。
- 着信音などに使用されているメロディを削除すると、標準のメロディに戻ります。電話帳に設定されているメロディが削除されたときは、設定メニューの着信音設定（→『基本編』P173）に従って動作します。

メロディの並び順を替える<ソート>

お買い上げ時	対象：保存日時　順序：降順

メロディ一覧の並び順を変更します。

待受画面でMENU 3 3を押し、フォルダを選択して●を押す

メロディ一覧が表示されます。

を押す

項　目	説　明
対象	ソートする並び順を「管理用タイトル」「保存日時」「ファイルサイズ」から選択します。
順序	ソートの方法を「昇順」「降順」から選択します。

設定する項目を選択して●を押し、設定する

📖⏲を押す

メロディ一覧が並び替わります。

お知らせ

- 管理用タイトルに全角／半角の文字が混在していると、ソート結果が五十音順と一致しない場合があります。

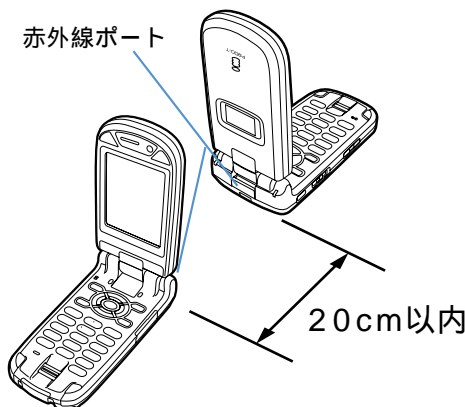
FOMA端末データ交換編

赤外線通信について

赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータを送受信できます。また、ｉアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動できます。

- セルフモード設定中は赤外線通信はできません。
- 赤外線通信とUSB接続は同時には使えません。
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータ(自端末でファイル制限を「あり」に設定したデータ、「データ交換」フォルダ内のデータを除く)は送受信できません。→P251、P276、P293
- 赤外線通信中は、データ転送モード(圏外と同じ状態)になるため、通話、ｉモード、データ通信などはできません。

赤外線通信をするには

- 赤外線通信の通信距離は20cm以内でご利用ください。また、FOMA端末はデータの送受信が終わるまで相手側の赤外線ポート部分に向けたままにして、動かさないでください。

お知らせ

- 直射日光があたっている場所や蛍光灯の真下などでは、赤外線通信が正常に行われない場合があります。
- 本製品の赤外線通信機能は、IrMC1.1に準拠しています。
- 相手端末がIrMC1.1に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。

F900iT、F900i、F2102V、F2051のデータを赤外線受信すると

- メールのデータを全件受信しても、相手の端末が設定したフォルダ名は引き継がれません。
- メールのデータを受信すると、受信メール、送信メール、未送信メールの中にあるメール連動型ｉアプリ用のフォルダに通常のメールが保存される場合があります。
- ブックマークのデータを全件受信すると、相手の端末が作成したフォルダごとデータを受信します。
- F900iT、F900i、F2102V、F2051以外の端末からブックマークのデータを受信した場合は、先頭のフォルダに保存されます。
- 動画／ｉモーション、メロディ、画像の各データは全件受信できません。
- F900iT、F900i、F2102V、F2051以外の端末から動画／ｉモーション、メロディ、画像の各データを受信すると、メモとして登録される場合があります。

F900iTのデータをF900iT、F900i、F2102V、F2051に赤外線送信すると

- データサイズの制限の違いにより、大きなサイズの動画／ｉモーション、メロディ、画像は保存できない場合があります。

赤外線通信を使ってデータを受信する

赤外線通信機能が搭載された携帯電話やパソコンなどから、電話帳データや送受信メール、ブックマークなどのデータを受信します。
受信できるデータと受信したデータの保存先は次のとおりです。

データ	保存場所	保存順
電話帳	電話帳 • ダイヤル発信制限中は受信できません。	最も小さい空きメモリ番号
スケジュール※	スケジュール帳	日時順
受信メール	「受信メール」	受信日時順
送信メール	「送信メール」	送信日時順
未送信メール	「未送信メール」	保存日時順
メモ	メモ帳	受信順
ブックマーク	Bookmark	一覧の先頭
動画／ｉモーション	「ｉモーション」の「データ交換」フォルダ	一覧の先頭
メロディ	「メロディ」の「データ交換」フォルダ	一覧の先頭
画像	「イメージ」の「データ交換」フォルダ	一覧の先頭
プロフィール	電話帳 • 電話帳データを全件受信した場合、自局電話番号以外のプロフィール情報が上書きされます。	最も小さい空きメモリ番号

※：日付・時刻の設定が必要です。→『基本編』P65
● オールロック中、PIMロック中、セルフモード中は受信できません。

データを1件受信する

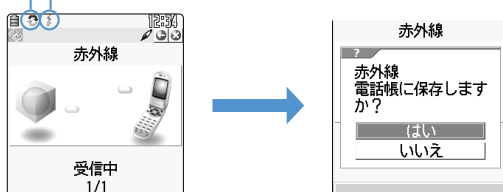
• 500Kバイト以上のデータは1件受信できません。

1 待受画面でMENU 📖 7 3を押す

通信を行うかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して◯を押す

受信待ちになります。

3 送信側でデータ送信操作をする

受信を中断するときは◯を押します。
• データ送受信設定（→P308）で保存時の確認を「なし」に設定している場合は、確認画面が表示されずにデータが保存されます。

4 「はい」を選択して◯を押す

データが保存されます。

データを全件受信する

電話帳や送受信メール、ブックマークなどのデータを全件受信すると、登録していたデータはすべて受信データにより上書きされますのでご注意ください。

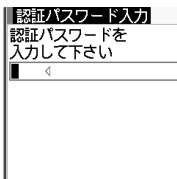
- 全件受信するときは、認証パスワードが必要になります。任意の4桁のパスワードを決めておき、送信側、受信側で同じ番号を入力します。

1 待受画面でMENU 7 4を押す

全件受信確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択してを押す

端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されます。

3 4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

4 4桁の認証パスワードを入力して押す

通信を行うかどうかの確認画面が表示されます。

- 認証パスワードは「0000」～「9999」の範囲で設定します。「#」、「*」は使えません。
- 入力したパスワードは「*」で表示されます。

5 「はい」を選択してを押す

データの受信待ちになります。

6 送信側でデータ送信操作をする

データが受信されます。

- データ送信側の機器によっては、データが全件受信できた後も受信待ちのままになる場合があります。を押すと中断できます。

お知らせ

- 受信するデータ（電話帳、メールなど）や件数により受信にかかる時間は異なり、データ容量が大きかったり、件数が多かったりした場合には、受信に時間がかかる場合があります。
  また、受信するデータのサイズによっては実際に受信できる件数がFOMA端末の最大保存・登録件数より少なくなることがあります。受信できた分のデータはFOMA端末に保存され、通信は終了します。
- ToDo（用件を管理するリスト機能）データのみを全件受信すると、登録していたスケジュールデータはすべて削除されますのでご注意ください。
- メールをフォルダごとに分けて保存できる端末からメールを受信する場合は、メール連動型ｉアプリフォルダに保存される場合があります。そのメールを確認するときは、フォルダを選択してMENU 1を押します。

赤外線通信を使ってデータを送信する

携帯電話やパソコンなどに電話帳データや自局番号などを送信します。送信するデータを呼び出して1件ずつ送信する方法と、データ種別ごとに全件送信する方法があります。

● あらかじめ相手のFOMA端末を受信の状態にしておきます。
● 次のデータを送信できます。
・電話帳※1　・スケジュール※2　・受信メール　・送信メール　・未送信メール
・メモ　・ブックマーク　・画像※3、4　・動画／ｉモーション※3　・メロディ※3
・プロフィール※3
※1：ダイヤル発信制限中は送信できません。
※2：日付・時刻の設定が必要です。→『基本編』P65
※3：全件送信できません。
※4：500Kバイトを超える画像は赤外線送信できません。
● 画像を登録したプロフィールを送信しても、相手端末によっては画像が送信されない場合があります。
● オールロック中、PIMロック中、セルフモード中は送信できません。
● ブックマークを送信した場合は、相手の機種によってフォルダ分けの設定が反映されない場合があります。
● F900iT以外のｉモード端末や赤外線通信機器へデータを送信した場合、送信先で登録できない項目は破棄されます。
● 画像と動画／ｉモーションの場合、タイトルは全角で最大9文字、半角で最大18文字を送信できます。また、メロディの場合、タイトルは半角で最大50文字を送信できます。最大文字数を超える文字は削除されます。

データを1件送信する

〈例〉スケジュールを送信するとき

1 待受画面で[スケジュール]を1秒以上押し、送信するスケジュールの登録日を選択して[●]を押す

2 送信するスケジュールを選択して[MENU][8][1]を押す

赤外線通信をするかどうかの確認画面が表示されます。

3 受信側の「通信中」を確認したら「はい」を選択して[●]を押す

データが送信されます。
送信を中断するときは[●]を押します。

お知らせ

• サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
次の画面から操作する場合は[MENU]を押し、「赤外線送信」→「送信」を選択して操作します。
・メモの一覧→『基本編』P253　・送信メール一覧→P143
・ブックマーク一覧→P38　・受信メール一覧→P150
・未送信メール一覧→P143
次の画面から操作する場合は[MENU]を押し、「赤外線送信」を選択して操作します。
・画像一覧→P245　・メロディ一覧→P288　・動画／ｉモーション一覧→P270
電話帳一覧から操作する場合は[MENU]を押し、「データ送信」→「赤外線送信」を選択して操作します。
→『基本編』P128、P135
• プロフィール情報を送信するときは、待受画面で[MENU][スケジュール][7][1]を押します。
→『基本編』P66、P236

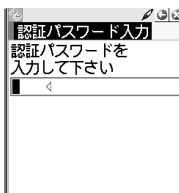
データを全件送信する

- 全件送信するときは、認証パスワードが必要になります。任意の4桁のパスワードを決めておき、送信側、受信側で同じ番号を入力します。

待受画面で MENU 📖 7 2 を押す

1 〜 7 を押す

端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されます。

3 4〜8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

4桁の認証パスワードを入力して ◯ を押す

赤外線通信をするかどうかの確認画面が表示されます。

- 認証パスワードは「0000」〜「9999」の範囲で設定します。「#」、「※」は使えません。
- 入力したパスワードは「*」で表示されます。

5 受信側の「通信中」を確認したら「はい」を選択して ◯ を押す

データが送信されます。

✎ 送信を中断するときは ◯ を押します。

お知らせ

- 電話帳を全件送信するとすべての電話帳データが送信されます。
- データ送受信設定で電話帳の画像送信を「あり」にしている場合は、電話帳データに登録されている画像も一緒に送信できます。→P308
- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  次の画面から操作する場合は MENU を押し、「赤外線送信」→「全件送信」を選択して操作します。
  - ・メモの一覧→『基本編』P253
  - ・送信メール一覧→P143
  - ・ブックマーク一覧→P38
  - ・受信メール一覧→P150
  - ・未送信メール一覧→P143

  次の画面から操作する場合は MENU を押し、「赤外線全件送信」を選択して操作します。
  - ・スケジュール帳のカレンダー→『基本編』P217
  - ・受信メールフォルダ一覧→P150
  - ・未送信メールフォルダ一覧→P143
  - ・送信メールフォルダ一覧→P143

  電話帳一覧から操作する場合は MENU を押し、「データ送信」→「赤外線全件送信」を選択して操作します。
  →『基本編』P128、P135
- 全件送信したとき、受信側ではデータの並び順が変わる場合があります。

ｉアプリと連携して赤外線通信を行う<ｉアプリ赤外線通信>

ｉアプリのソフトによっては、ソフトから赤外線通信を実行し、送受信ができます。また、ｉアプリ起動データを受信して、ｉアプリのソフトの実行もできます。

● ｉアプリ→P68

● 赤外線通信中はマルチアクセスは利用できません。ソフトから赤外線通信を使用する際にｉモードへの接続やメールの送受信を行っていた場合は、それらの通信は強制的に切断されます。→『基本編』P349

1 **ソフトから赤外線送信または受信操作を行う**

通信を行うかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「はい」を選択して⬭を押す**

赤外線通信が実行されます。

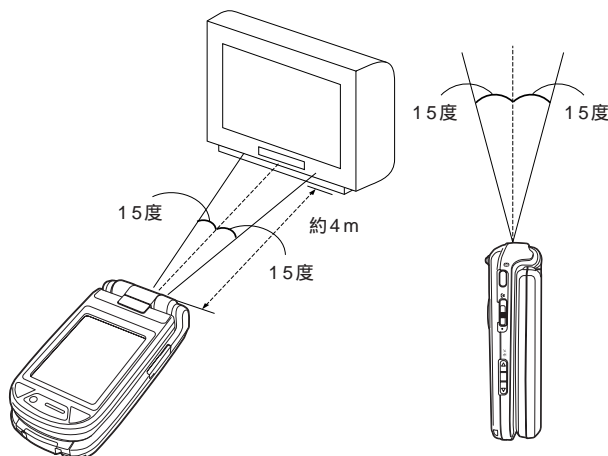
赤外線リモコン機能を利用する

赤外線リモコン用のｉアプリのソフトをダウンロードして、FOMA端末を赤外線リモコンとして使用できます。

● 赤外線リモコン機能は、赤外線リモコンに対応した機器でのみ使用できます。
● 各機器に対応したソフトをダウンロードしてください。
● 対応機器や周囲の明るさによって、通信に影響がある可能性があります。
● キー操作はソフトによって異なります。
● セルフモード中は本機能を利用できません。
● 機器によっては操作できない場合があります。

角度と距離について

リモコン操作ができる角度は中心から15度、操作できる距離は約4mです。ただし、操作する機器や周囲の明るさによって変わります。

操作について

FOMA端末の赤外線ポートを対応機器の赤外線受信部に向けてリモコン操作をしてください。
操作方法は、ディスプレイの表示に従ってください。

お知らせ

- ｉアプリから赤外線通信を利用する→P93
- お買い上げ時に登録されているｉアプリの「マイリモコン」を利用すると、FOMA端末を赤外線リモコンとして利用することができます。→P78

通信の設定を行う<データ送受信設定>

お買い上げ時	通信終了音：OFF　自動認証：なし　保存時の確認：あり　電話帳の画像送信：あり

赤外線通信やUSB接続でのデータ送受信時の動作を設定します。

1 待受画面で[MENU][📖][7][5]を押す

データ送受信設定
通信終了音 OFF
自動認証 なし
保存時の確認 あり
電話帳の画像送信 あり

項　目	説　明
通信終了音	通信終了時に通信終了音を鳴らすかどうかを設定します。
自動認証	USB接続時に通信相手と認証コードを自動でやりとりするかどうかを設定します。
保存時の確認	データ保存時に確認画面を表示するかどうかを設定します。
電話帳の画像送信	電話帳データ送信時に画像を一緒に送信するかどうかを設定します。

2 設定する項目を選択して[●]を押し、設定する

■ 自動認証欄で[1](あり)を押したとき

FOMA端末側(携帯側認証コード)と相手側(パソコン側認証コード)の認証コードを入力します。

①4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

②携帯側認証コード欄を選択し、認証コードを入力して[●]を押す

- 4～8桁の認証コードを入力します。

③パソコン側認証コード欄を選択し、認証コードを入力して[●]を押す

- 4～8桁の認証コードを入力します。

④[📖]を押す

認証コードが登録され、データ送受信設定画面に戻ります。

3 [📖]を押す

データ送受信時の動作が設定されます。

miniSDメモリーカードについて

FOMA端末では、撮影した静止画や動画、メロディなどのデータをminiSDメモリーカードに保存することができます。また、外部機器(パソコンなど)で作成した動画をminiSDメモリーカードに保存し、FOMA端末で再生する(→P271)ことができます。

● miniSDメモリーカード、miniSDメモリーカードアダプタの取り扱いについては、miniSDメモリーカード、miniSDメモリーカードアダプタに添付の取扱説明書をご覧ください。

● 付属のminiSDメモリーカードの容量は16Mバイトです。FOMA端末では128MバイトまでのminiSDメモリーカードに対応しています(2004年5月現在)。
なお、最新の対応状況は次の方法でご確認いただけます。
・iモードから[@Fケータイ応援団(2004年5月現在)]
Menu ▶ メニューリスト ▶ ケータイ電話メーカー ▶ @Fケータイ応援団
・パソコンから
http://www.fmworld.net/product/phone/index.html

<サイトアクセス用QRコード>

● お買い上げ時、付属のminiSDメモリーカードは初期化済みです。市販のminiSDメモリーカードなど、初期化されていないminiSDメモリーカードはFOMA端末で初期化を行ってから使用してください→P317

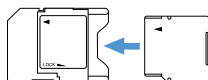
● miniSDメモリーカードおよびminiSDメモリーカードアダプタは、家電製品取扱店などでお買い求めいただけます。

miniSDメモリーカード使用時の留意事項

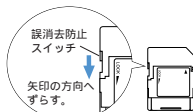
miniSDメモリーカードをご利用になるときは、次の点に注意してご使用ください。

- データの保存中や削除中、使用状況確認中、初期化中は、miniSDメモリーカードを取り外したり、電源を切ったり、衝撃を与えたりしないでください。データが破壊されることがあります。
- miniSDメモリーカードが取り付けられているときにFOMA端末に落下などの強い衝撃を与えるとminiSDメモリーカードが飛び出すことがありますのでご注意ください。
- miniSDメモリーカードの表面に傷、ゴミなどが付着していたり、カードが変形している状態でFOMA端末に取り付けないでください。故障の原因となることがあります。
- データのコピー中、移動中、削除中やminiSDメモリーカードの初期化中、情報更新中は画面上部にが表示され、データ転送モード(圏外と同じ状態)になるため、通話、iモード、データ通信などはできません。ただし(TASK)(文字)を押して、緊急通報(110番、119番、118番)はできます。
- miniSDメモリーカードに保存されたデータは、バックアップをとるなどして別に保管してくださるようお願いします。万一、保存されたデータが消失または変化してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 他の機器からminiSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示・再生できない場合があります。また、FOMA端末からminiSDメモリーカードに保存したデータは、他の機器で表示・再生できない場合があります。
- ご利用になるminiSDメモリーカードによっては、撮影した動画を保存した場合、動画に乱れが発生することがあります。

SDメモリーカード対応機器で使うには

miniSDメモリーカードとminiSDメモリーカードアダプタを組み合わせると、SDメモリーカード対応機器でご使用いただけます。

miniSDメモリーカードをminiSDメモリーカードアダプタの奥まで差し込みます。
- 取り外すときは、反対の方向に引き出します。

誤消去を防ぐには

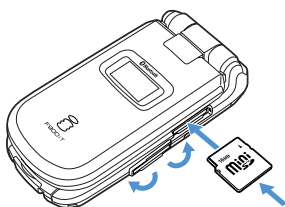
miniSDメモリーカードとminiSDメモリーカードアダプタを組み合わせて使用する場合は、miniSDメモリーカードアダプタに付いている「誤消去防止スイッチ」を使用することにより誤消去を防ぐことができます。

「誤消去防止スイッチ」を「LOCK」の方向にスライドします。
※ 先の細いもので動かしてください。
※ miniSDメモリーカードを傷つけないように注意してください。

miniSDメモリーカードを取り付ける

miniSDメモリーカードは、FOMA端末のminiSDメモリーカードスロットに取り付けて使用します。

●miniSDメモリーカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
●miniSDメモリーカードの取り付け／取り外しを行うときは、金属端子部分に触れないようにご注意ください。
●miniSDメモリーカードは正しく取り付けてください。miniSDメモリーカードを取り付けていない状態では、データ保存などの操作はできません。
●miniSDメモリーカードの取り付け／取り外しを行う際、miniSDメモリーカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

miniSDメモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

取り付けかた

①miniSDメモリーカードスロットのカバーを開きます。
②印字面を上にして、miniSDメモリーカードをスロットにゆっくり差し込みます。
※正しい向きでまっすぐに挿入しないと、壊れる恐れがあります。
③miniSDメモリーカードを「カチッ」と音がするまでさらに差し込みます。
④miniSDメモリーカードスロットのカバーを閉じます。

取り外しかた

①miniSDメモリーカードスロットのカバーを開きます。
②miniSDメモリーカードを軽く押し込み手を放します。miniSDメモリーカードが少し飛び出します。
③miniSDメモリーカードをゆっくりと取り出します。まっすぐに取り出してください。
④miniSDメモリーカードスロットのカバーを閉じます。

お知らせ

- miniSDメモリーカードスロットには、miniSDメモリーカード以外は挿入しないでください。
- miniSDメモリーカードの表面に傷、ゴミなどが付着していたり、カードが変形している状態でFOMA端末に取り付けないでください。故障の原因となることがあります。

miniSDメモリーカードを使う

FOMA端末からminiSDメモリーカードへ、画像や動画／ｉモーション、メロディなどのデータを保存します。

●オールロック中、PIMロック中はminiSDメモリーカードを使用できません。
●パラパラマンガ、連写画像、FOMA端末外への出力が禁止されているファイルは保存できません。

miniSDメモリーカードのフォルダ構成

■ FOMA端末で表示したとき

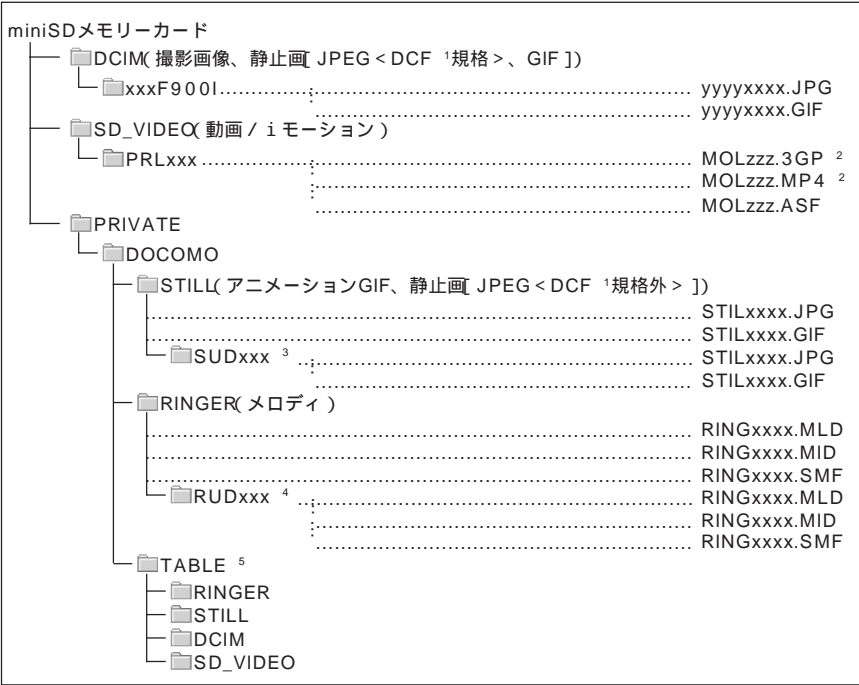
miniSDメモリーカードのフォルダ構成は次のとおりです。データの種類によって保存先が分かれています。

miniSDカード
1 マイピクチャ
2 その他の画像
3 動画
4 メロディ

項目名	保存可能件数※
マイピクチャ	100Kバイト×125件
その他の画像	
動画	300Kバイト×45件
メロディ	40Kバイト×300件

※：付属の16MバイトのminiSDメモリーカードに何も保存されていないときの保存件数の目安です。

■ パソコンなどで表示したとき

FOMA端末で移動／コピーしたときや、カメラから直接保存をしたときなどに、そのファイルに対応したフォルダが自動的に作成されます。パソコンなどでminiSDメモリーカードの内容を表示した場合、次のようにフォルダとファイルが表示されます。

※1：DCFはDesign rule for Camera File Systemの略でファイルシステムの規格です。
※2：拡張子が3GPおよびMP4のファイルは、MP4形式として扱われます。
※3：「STILL」フォルダの空き容量がなくなると、「SUDxxx」フォルダが自動的に作成されます。
※4：「RINGER」フォルダの空き容量がなくなると、「RUDxxx」フォルダが自動的に作成されます。
※5：データを管理するフォルダです。このフォルダにあるファイルを削除したり、ファイル名を変更すると、FOMA端末でデータを正しく表示できなくなります。

- xxx、xxxxには重複しない任意の半角数字が入ります。yyyyには任意の文字（半角数字や半角英字）が入ります。zzzには001～FFFまでの16進数の文字が入ります。（16進数では一つの桁を0～9とA～Fの16種類の文字で表します）
- パソコンなどでminiSDメモリーカード内のフォルダ名を変更・削除すると、FOMA端末でデータを正しく表示できなくなります。
- パソコンなどでフォーマットしたminiSDメモリーカードにデータを移動またはコピーすると、それに対応したフォルダが自動的に作成されます。

お知らせ

- miniSDメモリーカードの空き容量が少ないと、データを保存できない場合があります。不要なデータを消去するか、別のminiSDメモリーカードを取り付け直してからデータの保存を行ってください。
- パソコンなどでminiSDメモリーカードにコピーしたデータをFOMA端末で利用するためには、情報更新をする必要があります。→P318
- パソコンなどでminiSDメモリーカード（16MB）に保存したデータをF2102Vで再生できても、F900iT、F900iでは再生できない場合があります。
- F900iTでminiSDメモリーカード（16MB）に保存したメロディは、F2102Vでは再生できません。
- F900iTでminiSDメモリーカード（16MB）に保存した大きなサイズの画像、動画／iモーション、メロディは、データサイズの制限の違いにより、F900i、F2102Vで再生できない場合があります。

miniSDメモリーカード内のデータを表示する

miniSDメモリーカードに保存されているデータを表示します。

- パソコンなどでminiSDメモリーカード内のデータを変更・削除すると、FOMA端末でminiSDメモリーカードのデータを正しく表示できなくなります。miniSDメモリーカードの情報を更新してください。→P318
- miniSDメモリーカード内の動画を直接再生できます。→P271

待受画面で MENU 📖 7 6 を押す

項目名	説　明
マイピクチャ	画像やアニメーションが保存されます。 ファイル形式により、「マイピクチャ」「その他の画像」に振り分けられて保存されます。
その他の画像	
動画	動画／iモーションが保存されます。
メロディ	メロディが保存されます。

1～4を押す

選択した項目のデータ一覧が表示されます。

- 画像のオリジナルタイトルが変更されている場合、マイピクチャのデータ一覧ではタイトルが全角で最大8文字まで表示されます。

表示するデータを選択して◯を押す

データが表示されます。

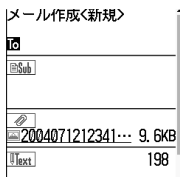
miniSDメモリーカード内のデータを添付したｉモードメールを作成する

miniSDメモリーカードに保存したデータを添付してｉモードメールを作成します。

- ｉモードメールに添付できるファイル→P137

1 待受画面でMENU📖765を押し、1～4を押す

データ一覧が表示されます。

2 メールに添付するデータを選択して✉を押す

選択したデータが添付された状態でメール作成画面が表示されます。

3 ｉモードメールを作成して送信する

- 操作方法→P127

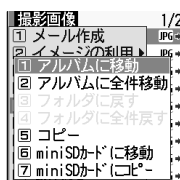
FOMA端末からminiSDメモリーカードにデータを移動／コピーする

FOMA端末に保存されているデータを、miniSDメモリーカードに移動またはコピーします。

- パラパラマンガ、FOMA端末外への出力が禁止されているファイルは、コピーまたは移動できません。
- メロディは、コピーすることはできますが移動はできません。

1 miniSDメモリーカードへ移動またはコピーするデータを選択する

- 操作方法
  - ・「イメージ」→P245　・「ｉモーション」→P270　・「メロディ」→P288

2 MENU5を押す

- メロディをコピーするときはMENU6を押し、操作4に進みます。

3 6～7を押す

移動またはコピーするかどうかの確認画面が表示されます。

4 「はい」を選択して●を押す

選択したデータに対応する項目にコピーまたは移動されます。

お知らせ

- FOMA端末で撮影、編集した静止画を含め、静止画をFOMA端末からminiSDメモリーカードに移動またはコピーすると、ファイルサイズが大きくなる場合があります。ただし、静止画をminiSDメモリーカードからFOMA端末に移動またはコピーした場合には、ファイルサイズは変わりません。

miniSDメモリーカードからFOMA端末にデータを移動／コピーする

miniSDメモリーカードに保存されているデータを、FOMA端末へ移動またはコピーします。

- パソコンなどでminiSDメモリーカード内のデータを変更・削除すると、FOMA端末でminiSDメモリーカードのデータを正しく表示できなくなります。miniSDメモリーカードの情報を更新してください。→P318
- メロディは、コピーすることはできますが移動はできません。

待受画面でMENU 📖 7 6を押し、1～4を押す

データ一覧が表示されます。

移動またはコピーするデータを選択してMENUを押す

1～2を押す

移動またはコピーするかどうかの確認画面が表示されます。

「はい」を選択して●を押す

「イメージ」、「ｉモーション」、「メロディ」、の各「データ交換」フォルダに移動またはコピーされます。

miniSDメモリーカード内のデータの詳細情報を表示する<詳細情報>

miniSDメモリーカードに保存されているデータの詳細情報を表示できます。

- 次の項目を表示できます。
  ・オリジナルタイトル　・ファイル名　・種類※1　・ファイル種別※2　・フォーマット※3
  ・表示サイズ※4　・ファイルサイズ　・作成日時
  ※1：画像データのみ表示されます。
  ※2：動画／ｉモーションデータでは表示されません。
  ※3：動画／ｉモーションデータのみ表示されます。
  ※4：メロディデータでは表示されません。

待受画面でMENU 📖 7 6を押し、1～4を押す

データ一覧が表示されます。

詳細情報を確認するデータを選択してMENU 6を押す

<静止画の詳細情報を表示した場合>

miniSDメモリーカード

miniSDメモリーカードを使う

miniSDメモリーカードのデータを削除する

miniSDメモリーカードに保存したデータを削除します。

待受画面でMENU 📖 7 6を押し、1〜4を押す

データ一覧が表示されます。

削除するデータを選択してMENU 3を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- 全件削除するときはMENU 4を押し、4〜8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。

「はい」を選択して●を押す

データが削除されます。

全件削除中の画面で●を押すと、削除を中断できます。

お知らせ

- マイピクチャ内で全件削除した場合、削除される画像は本端末にて作成・管理されている画像(「miniSDメモリーカードのフォルダ構成」にて記述されているフォルダ(xxxF900I)内の画像)のみになります。→P311
- miniSDメモリーカードに保存されているデータが多い場合は、全件削除に時間がかかります。miniSDメモリーカード内のデータをすべて削除する場合は、簡易初期化(→P317)を行い、データを削除する方法をおすすめします。

データ一覧表示中に指定のページへジャンプする<ページジャンプ>

データ一覧を表示したときに、ページ数(「マイピクチャ」などのタイトルの右側に表示)を指定してページジャンプ操作ができます。

待受画面でMENU 📖 7 6を押し、1〜4を押す

データ一覧が表示されます。

📖を押す

ページ数を入力して●を押す

ページがジャンプします。

- ページ数を入力せずにページジャンプした場合は、1ページ目が表示されます。

miniSDメモリーカード内のデータを検索する<データ検索>

特定の日時に保存されたデータを検索します。

待受画面でMENU 📖 7 6を押し、1～4を押す

データ一覧が表示されます。

MENU 7を押し、日時を入力する

- 月、日が1～9のときは、前に0を付けます。

📖を押す

検索結果が表示されるので、表示したいデータを選択して◯を押します。

検索中の画面で◯を押すと、検索を中断できます。

miniSDメモリーカードの使用状況を確認する<使用状況>

miniSDメモリーカードの空き容量などを確認します。

待受画面でMENU 📖 7 6を押す

miniSDメモリーカードの項目一覧が表示されます。

MENUを押す

使用状況確認

使用領域： 1152 KB
空き領域： 13360 KB
全容量 ： 14512 KB

FOMA端末に取り付けているminiSDメモリーカードの使用領域、空き領域、全体のメモリ容量が表示されます。

お知らせ

- データが1件も保存されていない状態でも、使用領域の表示は「0KB」にはならないことがあります。miniSDメモリーカードの初期化を行うと0KBになります。
  miniSDメモリーカードの初期化→P317
- 実際に使用できる容量は、miniSDメモリーカードに規定されている容量よりも少なくなります。

miniSDメモリーカードを初期化する<初期化>

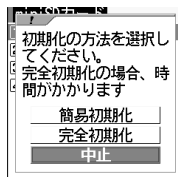
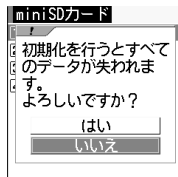
既にデータを保存しているminiSDメモリーカードや新たに購入したminiSDメモリーカードを、FOMA端末で使用できるように初期化します。

- 次の方法で初期化できます。

初期化方法	説　明
簡易初期化	miniSDメモリーカード内のデータ管理領域のみを初期化します。miniSDメモリーカードに対しての処理を必要最小限の範囲で行うことで、初期化時間の短縮を図る方法です。 miniSDメモリーカードが一度初期化済みであり、miniSDメモリーカードに問題がない場合だけ、この初期化を実行します。
完全初期化	miniSDメモリーカード内のデータ管理領域とデータ領域の両方を初期化します。 新たに購入したminiSDメモリーカードを初期化する場合は、この初期化を実行します。

待受画面で MENU 7 6 を押す

miniSDメモリーカードの項目一覧が表示されます。

を押す

「簡易初期化」または「完全初期化」を選択して を押し、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

「はい」を選択して を押す

miniSDメモリーカードが初期化されます。

初期化中の画面で を押すと、初期化が中断されます。

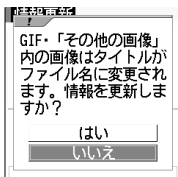
miniSDメモリーカードの情報を更新する<情報更新>

パソコンなどでminiSDメモリーカード内のデータを変更、追加、削除したことによって、FOMA端末でデータを正しく表示できなくなった場合に情報を更新します。

- パソコンなどでminiSDメモリーカードにデータを保存した場合、FOMA端末で管理テーブルを作成するために必要な空き領域が不足し、miniSDメモリーカードに保存したデータがFOMA端末で正常に読み込めなくなることがあります。

待受画面で MENU 7 6 を押す

miniSDメモリーカードの項目一覧が表示されます。

を押す

「はい」を選択して を押す

情報が更新されます。

更新中の画面で を押すと、更新が中断されます。

お知らせ

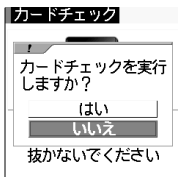
- 情報更新を行うと、「マイピクチャ」内のGIF形式の画像や「その他の画像」内の画像のタイトルがファイル名に変更されることがあります。
- miniSDメモリーカードに保存されているデータが多い場合は、情報更新に時間がかかります。

miniSDメモリーカードをチェックする<カードチェック>

miniSDメモリーカード内のディレクトリなどのチェックを行い、修復します。

待受画面で MENU 7 6 を押す

miniSDメモリーカードの項目一覧が表示されます。

を押す

「はい」を選択して を押す

miniSDメモリーカードがチェックされます。

お知らせ

- miniSDメモリーカードによっては修復できない場合があります。

データ通信編

FOMA端末から利用できるデータ通信

FOMA端末から利用できるデータ通信の形態や接続方法、および利用時の留意点について説明します。

利用できる通信形態

FOMA 端末の通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の3つに分類されます。

- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をmuseaと接続してデータ通信を行う場合、museaをアップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

パケット通信

パケット通信は送受信したデータ量に応じて課金されるので、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりするのに適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera」など、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大384kbps、送信最大64kbps(一部機種を除く)の高速パケット通信が可能です。通信環境や混雑状況状態の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。
本通信は、添付のCD-ROMより関連ソフトをパソコンにインストールし、FOMA端末とパソコンを接続して各種設定を行うと利用できます。

- データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料が高額になる恐れがありますのでご注意ください。
- Bluetoothデバイスのダイヤルアップ通信サービス(DUN：Dial-up Networking (プロファイル))を使用する場合の受信最大通信速度は240kbps程度となります。また、実際のご利用にあたっては、接続機器や通信環境により、通信速度が低下する場合があり、上記速度を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

64Kデータ通信

64Kデータ通信はネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるので、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行うのに適しています。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera」など、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDNの同期64Kアクセスポイントを利用します。
本通信は、添付のCD-ROMより関連ソフトをパソコンにインストールし、FOMA端末とパソコンを接続して各種設定を行うと利用できます。

データ転送

データ転送は赤外線、FOMA USB接続ケーブル(別売)、または卓上ホルダで市販のUSB接続ケーブルを使ってデータを転送・交換する、課金が発生しない通信形態です。電話帳や送受信メール、ブックマークなどの各種データを送受信します。
FOMA端末と他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどを接続することによって利用できます。
パソコンとデータを送受信する場合には、添付のCD-ROMより関連ソフトをパソコンにインストールしてからご利用ください。

FOMA端末と他の機器との接続方法

接続には、次の4つの方法があります。Bluetoothは、上記の通信形態のうちパケット通信と64Kデータ通信を行う場合に、赤外線通信はデータ転送を行う場合のみ利用できます。

FOMA USB接続ケーブルで接続する

FOMA USB接続ケーブル(別売)を使って、USBポートを装備したパソコンと接続します。→P326

- ご使用前にUSB接続用の通信設定ファイルのインストールが必要です。

卓上ホルダで接続する

市販のUSBケーブルを使って、付属の卓上ホルダとUSBポートを装備したパソコンと接続します。→P327

卓上ホルダにACアダプタを接続すると、充電しながら通信することができます。

- ご使用前にUSB接続用の通信設定ファイルのインストールが必要です。

Bluetoothを使う

Bluetoothに対応したパソコンからFOMA端末にワイヤレス接続します。→P335

- ご使用前にBluetooth接続用通信設定ファイルのインストールが必要となる場合があります。
- ご使用前に機器の登録とBluetoothのワイヤレス接続が必要です。→P335
- ダイヤルアップ通信の設定時に、以下のいずれかのモデムを使用して通信します。
  - ーFOMA F900iT Bluetooth Modem
  - ーBluetoothリンク経由標準モデム
  - ーBluetooth機器メーカーが提供しているBluetoothモデム(※)

  ※:Bluetooth機器によっては、モデム以外のデバイスとして認識される場合があります。詳細については、Bluetooth機器メーカーにお問い合わせください。

赤外線通信を使う

赤外線を使って、FOMA端末と赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末、携帯電話、パソコンなどとデータを送受信します。→P302

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービス「mopera」は、お申し込み手続き不要、月額使用料無料です。

接続先(インターネットサービスプロバイダなど)の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証(IDとパスワード)が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト(ダイヤルアップネットワーク)でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証について

ブラウザ利用時のアクセス認証でFirstPass(ユーザ証明書)が必要な場合があります。その場合は、添付のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。詳しくはCD-ROM内のFirstPass Manualをご覧ください。「FirstPass Manual」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます(別途通信料がかかります)。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

- FirstPassをパソコンでご利用いただく場合は、Bluetoothでも利用できます。ただし、Bluetoothに割り当てられるCOMポートは1つしかないため、Bluetoothでダイヤルアップ通信した場合には、パソコンのブラウザを利用してFirstPassのサイトの認証を行うことはできません。
- 動作環境の確認
  FirstPass PCソフトは、次の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
パソコン本体	PC-AT互換機
OS	Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP（各日本語版）
必要メモリ	Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professional：32MB以上 Windows XP：128MB以上
ハードディスク容量	10MB以上の空き容量
ブラウザ	Internet Explorer 5.5以上 ※Windows XPの場合は Internet Explorer 6.0以上

※必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA 端末で通信を行うには、次の条件が必要です。

・FOMA USB接続ケーブル(別売)または卓上ホルダで市販のUSBケーブルを使って接続する場合はこれに対応したパソコンであること
・Bluetoothで接続する場合は、パソコンがBluetooth標準規格Ver.1.1のDial-up Networking Profile(ダイヤルアップネットワーキングプロファイル)に対応していること
・FOMAサービスエリア内であること
・パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
・64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりする場合は通信できないことがあります。

■データ通信編の用語集

- **APN（Access Point Name）**

パケット通信で接続するインターネットサービスプロバイダや社内ＬＡＮを識別する文字列。モペラは、「mopera.ne.jp」がAPNとなります。

- **Bluetooth電源OFF→P375**

- **Bluetooth電源ON→P375**

- **cid（Context Identifier）**

パケット通信の接続先（APN）に対応して、FOMA端末に登録したAPNに割り当てられる登録番号。FOMA端末では1から10までの10件が使えます。

- **DNS（Domain Name System）**

ドメインネーム（例：mopera.ne.jp）を、コンピュータで使うIPアドレスに変換するシステムのこと。

- **IrDA（Infrared Data Association）**

赤外線通信に関する規格を制定している組織の名称。

- **IrMC（Ir Mobile Communications）**

携帯電話どうしやPDA（携帯情報端末）間でデータを転送する目的で作られた規格。IrMCに準拠した赤外線端子を持つ携帯電話どうしやPDAとの間で、電話番号やスケジュールをやりとりできます。

- **OBEX（Object Exchange）**

データ通信の国際規格の1つ。OBEXに対応している携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの間で、データの送受信ができます。

- **QoS（Quality of Service）**

サービスの品質。通信時にユーザの意図どおりに、回線を利用するための技術。FOMA端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。→P408、P409

- **W-CDMA**

世界標準規格として認定された第三世代移動通信システム（IMT-2000）の1つ。FOMA端末は、W-CDMA規格に準拠しています。

- **W-TCP**

FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータ。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

- **機器登録（ペアリング）→P375**

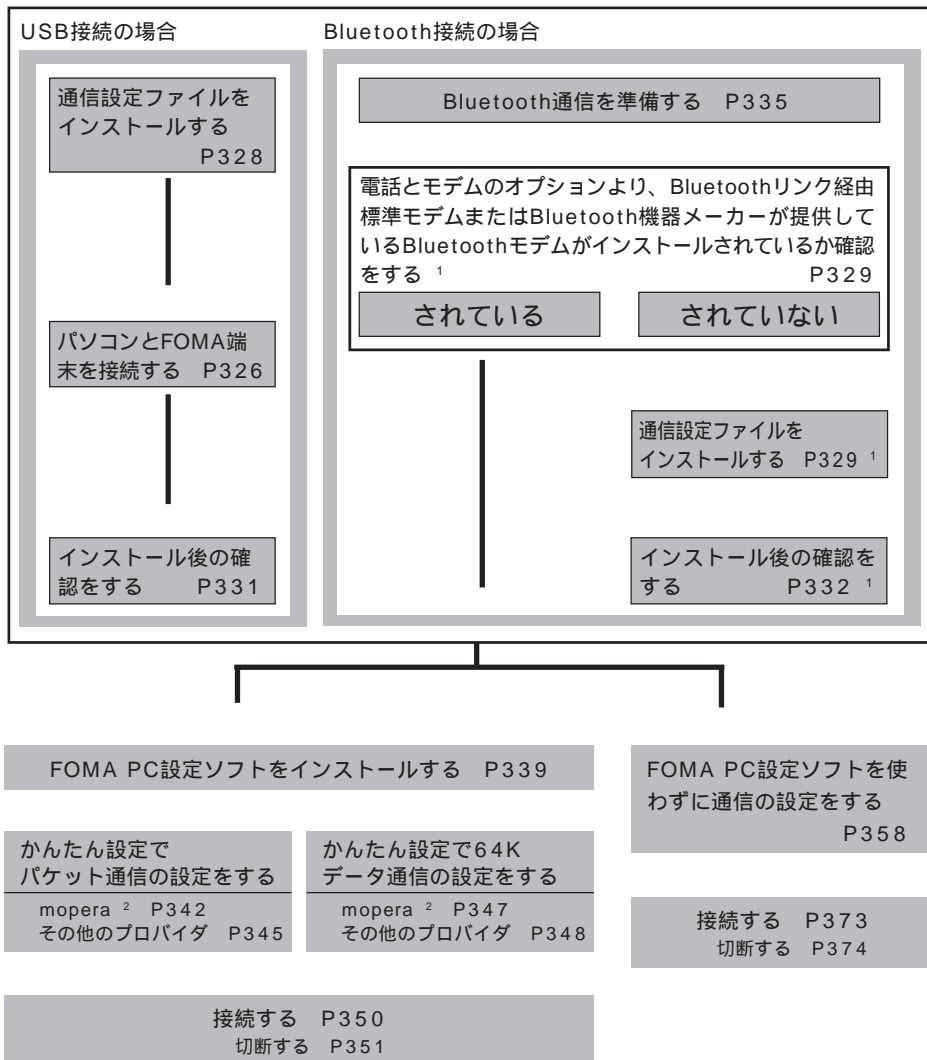
- **全接続／自動接続／手動接続→P375**

- **検索（探索、またはサーチ）→P375**

- **パソコンの管理者権限を持ったユーザ**

Windows XP、2000 Professionalを使用するときに、OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザは、ドライバのインストールができません。

データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。次のような流れになります。

※ 1: FOMA端末をBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカーが提供しているBluetoothモデムで接続する場合は、通信設定ファイルをインストールする必要はありません。
※ 2:「mopera」はお申し込み手続き不要のドコモのインターネット接続サービスです。簡単にインターネットに接続をしたいという方には、「mopera」での通信の設定をおすすめします。

通信設定ファイルについて

FOMA端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、添付のCD-ROMから通信設定ファイルをインストールする必要があります。→P328

FOMA PC設定ソフトについて

添付のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールして使うと、FOMA端末とパソコンを接続して、データ通信を行うのに必要なさまざまな設定を、簡単な操作で行うことができます。→P338
FOMA端末をBluetoothリンク経由標準モデムでワイヤレス接続する場合は、かんたん設定(64Kデータ通信)とW-TCP設定以外は設定できません。この場合の接続先(APN)の設定についてはダイヤルアップネットワークの設定(→P359)をご覧ください。

動作環境の確認

通信設定ファイル・FOMA PC設定ソフトは、次の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
パソコン本体※1	PC-AT互換機
OS	Windows 98、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP (各日本語版)
必要メモリ※2	Windows 98、Windows Me　：32MB以上 Windows 2000 Professional：64MB以上 Windows XP　：128MB以上
ハードディスク容量※2	5MB以上の空き容量

※1： USB接続の場合は、USBポート(USB仕様1.1/2.0に準拠)が必要です。
Bluetooth接続の場合は、パソコン本体またはBluetooth USB アダプタなどのオプションを付加することにより、以下の機能をサポートしている必要があります。
・Bluetooth標準規格Ver.1.1
・Dial-Up Networking Profile (ダイヤルアップネットワーキングプロファイル)
※上記の仕様を満たすすべての機器との接続を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。
※2： 必要メモリ・ハードディスク容量は、「FOMA PC設定ソフト」に関する動作環境です。なお、パソコンのシステム構成によっては異なることがあります。

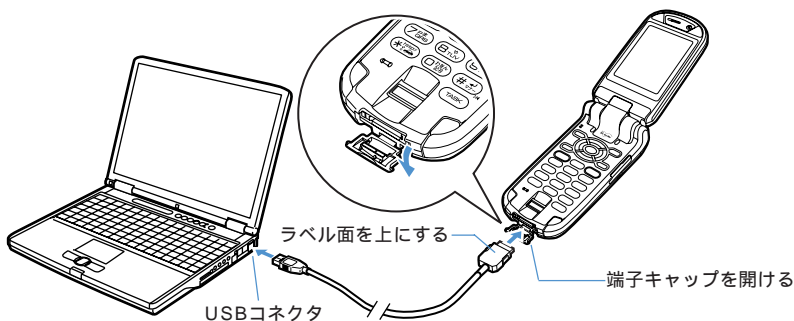
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

パソコンとFOMA端末を接続する

パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。

● 初めてパソコンに接続する場合は、必ず通信設定ファイルをインストール後に接続してください。
→P328

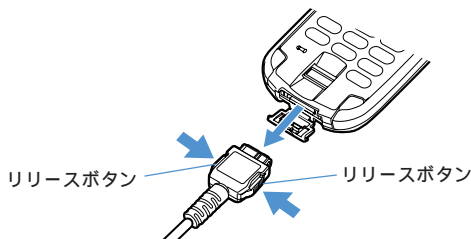
FOMA USB接続ケーブルで接続する

1 FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側をFOMA端末の外部接続端子に差し込む

- 通信設定ファイルがインストールされている場合は、パソコンとFOMA端末が接続されると、FOMA端末の画面に が表示されます。

2 FOMA USB接続ケーブルのパソコン側をパソコンのUSBコネクタに差し込む

- 通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続した場合は、FOMA USB接続ケーブルが、差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求され、ウィザード画面が表示されます。その場合は、FOMA端末を取り外し、ウィザード画面で[キャンセル]をクリックして、終了してください。

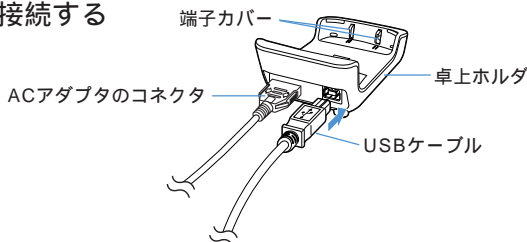
取り外しかた

(1) FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側のリリースボタンを押して(①)、FOMA端末から引き抜きます(②)。

(2) パソコンからFOMA USB接続ケーブルを引き抜きます。

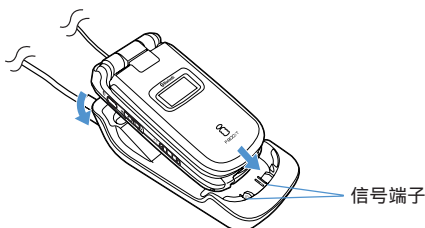
卓上ホルダで接続する

パソコンとFOMA端末を付属の卓上ホルダを使って充電しながら接続できます。

- 市販のUSBケーブルは、USB仕様1.1/2.0に準拠したもので、シリーズA、シリーズBコネクタを有するケーブルを使用してください。
- 卓上ホルダを利用して充電やデータ通信を行うときは、FOMA端末をクローズ状態にしてください。オープン状態やターン状態に切り替えたり、FOMA端末および卓上ホルダに衝撃を与えないでください。FOMA端末が卓上ホルダから外れ、充電やデータ通信の切断、誤動作、データ消失などの原因となります。
- 必ず卓上ホルダF04の取扱説明書もご覧ください。

1 ACアダプタが接続された卓上ホルダとパソコンを市販のUSBケーブルで接続する

- ACアダプタはコンセントに差し込んでおいてください。

2 FOMA端末を卓上ホルダにセットする

FOMA端末と卓上ホルダの端子を合わせ(①)、FOMA端末を矢印方向(②)に「カチッ」と音がするまで押し込みます。

- 通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続した場合は、FOMA USB接続ケーブルが、差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求され、ウィザード画面が表示されます。その場合は、FOMA端末を取り外し、ウィザード画面で[キャンセル]をクリックして、終了してください。
- 卓上ホルダへの取り付けや取り外しはFOMA端末をクローズ状態にして行ってください。
- 通信設定ファイルがインストールされている場合は、接続すると、FOMA端末の画面に が表示されます。

お知らせ

- 取り外しかたについて→『基本編』P59
- 卓上ホルダには、必ずコンセントに差し込まれたACアダプタを接続してください。
- 電源が入っているパソコンと卓上ホルダを市販のUSBケーブルで接続した状態で充電を行った場合、充電時間が長くなります(約4時間)。
- 卓上ホルダの端子カバーは、指などで直接押さないでください。また、押した際に出てくる信号端子には絶対に触らないでください。
- データ通信中に充電を開始した場合、充電が完了しない場合があります。充電を完了したい場合は、データ通信を終了してから充電することをおすすめします。

通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする

通信設定ファイルのインストールは、ご使用になるパソコンにFOMA端末を初めて接続するときに必要です。2回目以降の接続からは、インストールは不要です。

- ●Windows XP、2000 Professionalで「通信設定ファイル」のインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザで行ってください。それ以外のユーザが行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定操作については各パソコンメーカーやマイクロソフト社にお問い合わせください。
- ●インストールを始める前に、稼動中の他のプログラムがないことをご確認ください。稼動中のプログラムがあった場合は、プログラムを保存・終了させた後、インストールを行ってください。
- ●インストール時には、あわせてパソコンの取扱説明書もご参照ください。

FOMA USB接続ケーブルまたは卓上ホルダで接続する場合

〈例〉Windows XPにインストールするとき

- Windows XP以外のOSをご使用のときは、画面の表示が異なります。

1 FOMA F900iT用CD-ROMをパソコンにセットする

※FOMA端末は操作1～3を行った後にパソコンに接続してください。

2 [スタート]メニュー→[ファイル名を指定して実行]の順にクリックし、「名前」に「＜CD-ROMドライブ名＞：\USBDRIVE\F900iTin.exe」と入力して[OK]をクリックする

FOMA F900iTドライバをインストールするかどうかの確認画面が表示されます。

3 [はい]をクリックする

FOMA F900iTをパソコンに接続する旨の画面が表示されます。

4 FOMA端末をパソコンに接続する

インストール中の画面が表示され、インストールが自動的に完了します。

- FOMA端末は電源の入った状態で接続してください。
- 接続方法→P326
- インストールされるデバイスの種類とデバイス名を確認してください。→P331

お知らせ

- インストールには数分かかることがあります。
- Windowsを再起動する旨の画面が表示されたときは、画面の指示に従い、再起動してください。
- 通信設定ファイルのインストールを行う前にパソコンとFOMA端末を接続すると、自動的に別のドライバがインストールされてしまう場合があります。その場合、操作2でアンインストールする必要がある旨のメッセージが表示されます。このときは表示に従ってアンインストールを行った後、もう一度操作1～4を行って通信設定ファイルをインストールしてください。
- インストールに失敗してP333操作2の画面で「FOMA F900iT USB」が表示されていないときは、[スタート]メニュー→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックして「＜CD-ROMドライブ名＞：¥USBDRIVE¥F900iTin.exeを指定し、[OK]をクリックして直接実行し、通信設定ファイルをアンインストールした後、再度インストールしてください。
- 何らかの原因により、パソコンがFOMA端末を認識できなくなった場合は、通信設定ファイルをアンインストールし(→P333)、再度インストールしてください。

Bluetoothでワイヤレス接続する場合

- あらかじめFOMA端末とパソコンをBluetoothでワイヤレス接続してください。→P335
- あらかじめ、お使いのパソコンからBluetoothデバイスの検索と機器登録をしておいてください。また、お使いのパソコンのBluetoothデバイスの設定ソフトでダイヤルアップ接続用に設定されたCOMポートを確認しておいてください。

〈例〉Windows XPにインストールするとき

- Windows XP以外のOSをご使用のときは、画面の表示が異なります。

1 FOMA F900iT用CD-ROMをパソコンにセットする

2 [スタート]メニューをクリックし、「コントロールパネル」→「プリンタとその他のハードウェア」→「電話とモデムのオプション」の順にクリックする

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

- 「所在地情報」画面が表示されたときは、現在地の市外局番を入力して[OK]をクリックします。

■ Windows 2000 Professionalのとき

[スタート]メニューをクリックし、「設定」→「コントロールパネル」の順に選択して[電話とモデムのオプション]アイコンをダブルクリックする

■Windows Me、98のとき

[スタート]メニューをクリックし、「設定」→「コントロールパネル」の順に選択して[モデム]アイコンをダブルクリックする

3 [モデム]タブをクリックする

- FOMA端末をBluetoothリンク経由標準モデムまたはパソコンメーカーが提供しているBluetoothモデムでワイヤレス接続する場合は、[キャンセル]をクリックして操作を終了してください。通信設定ファイルをインストールする必要はありません。

4 [追加]をクリックする

5 「モデムを一覧から選択するので検出しない」を選択して[次へ]をクリックする

「ハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されます。

6 [ディスク使用]をクリックする

7 **「製造元のファイルのコピー元」に「＜CD-ROMドライブ名＞:\BT_modem」を指定し、[OK]をクリックする**

8 **「FOMA F900iT Bluetooth Modem」を選択して[次へ]をクリックする**

9 **「選択したポート」を選択し、一覧から使用するCOMポート番号を選択して[次へ]をクリックする**

- お使いのパソコンのBluetoothデバイスの設定ソフトでダイヤルアップ接続用に設定したCOMポートを選択します。COMポート番号の確認方法については、お使いになるパソコンなどの取扱説明書をお読みください。
- インストール中に右の画面が表示された場合は、[続行]をクリックします。

10 **[完了]をクリックする**

11 **モデムに「FOMA F900iT Bluetooth Modem」が表示されているのを確認して[OK]をクリックする**

インストールした通信設定ファイル（ドライバ）を確認する

インストールしたドライバをパソコンで確認する方法について説明します。

● FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信を行うことはできません。

〈例〉Windows XPで確認するとき

1 ［スタート］メニュー→「コントロールパネル」→［パフォーマンスとメンテナンス］アイコン→［システム］アイコンの順にクリックする

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

■Windows 2000 Professional、Me、98のとき

［スタート］メニューをクリックし、「設定」→「コントロールパネル」の順に選択して［システム］アイコンをダブルクリックする

2 ［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイスマネージャ］をクリックする

デバイスマネージャ画面が表示されます。

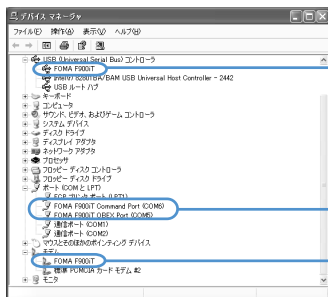
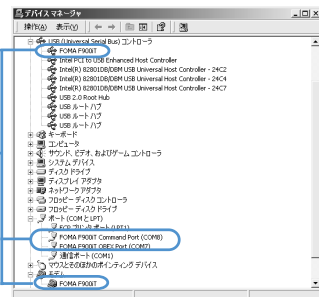
■Windows Me、98のとき

［デバイスマネージャ］タブをクリックする

「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

3 各デバイスをクリックしてインストールされたデバイス名を確認する

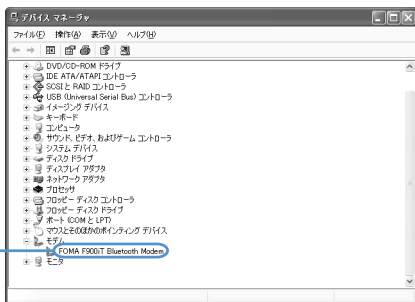
FOMA USB接続ケーブルまたは卓上ホルダで接続する場合

「ポート（COMとLPT）」または「ポート（COM／LPT）」、「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」、「モデム」の箇所に、インストールしたデバイス名がすべて表示されていることを確認します。→P332

Windows XPの場合　　Windows 2000 Professionalの場合

Windows Me、98の場合

- 通信設定ファイルをインストールすると、次のドライバがインストールされます。

デバイスの種類	デバイス名
ポート（COM/LPT）	・FOMA F900iT Command Port（COMx） ・FOMA F900iT OBEX Port（COMx） （COMxはお使いのパソコンによって異なります）
モデム	・FOMA F900iT
ユニバーサル シリアル バス （USB：Universal Serial Bus） コントローラ	・FOMA F900iT ・FOMA F900iT Command※ ・FOMA F900iT Modem※ ・FOMA F900iT OBEX※

※：Windows Me、98 の場合のみ表示されます。

Bluetoothでワイヤレス接続する場合

WindowsXPの場合

- 通信設定ファイルをインストールすると、次のドライバがインストールされます。

デバイスの種類	デバイス名
モデム	FOMA F900iT Bluetooth Modem

- FOMA端末をBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカーが提供しているBluetoothモデムで接続する場合は、通信設定ファイルをインストールする必要はありません。
  FOMA F900iT Bluetooth Modem以外のBluetooth機器の詳細については、Bluetooth機器メーカーへお問い合わせください。

通信設定ファイルをアンインストールする

通信設定ファイルのアンインストール手順を説明します。

●OSによって画面表示などが異なります。
●アンインストールを実行する前に、パソコンからFOMA端末を取り外す必要があります。

FOMA USB接続ケーブルまたは卓上ホルダで接続した場合

〈例〉Windows XPでアンインストールするとき

1 [スタート]メニュー→「コントロールパネル」→[プログラムの追加と削除]アイコンの順にクリックする

「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。

■ Windows 2000 Professional、Me、98のとき

[スタート]メニューをクリックし、「設定」→「コントロールパネル」の順に選択して[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックする

「アプリケーションの追加と削除」画面(Windows Me、98の場合は、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」画面)が表示されます。

2 「FOMA F900iT USB」を選択して[変更と削除]をクリックする

FOMA F900iTドライバをアンインストールするかどうかの確認画面が表示されます。

3 [はい]をクリックする

通信設定ファイルのアンインストールが開始されます。

4 [OK]をクリックする

通信設定ファイルのアンインストールが終了します。

お知らせ

- インストールに失敗したとき、または操作2の画面に「FOMA F900iT USB」が表示されていないときは、[スタート]メニュー→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックして「＜CD-ROM ドライブ名＞：￥USBDRIVE￥F900iTin.exe」を指定し、[OK]をクリックして直接実行してください。
- Windows Me、98では通信設定ファイルをアンインストール後、すぐにインストールし直してデータ通信を行うと、パソコンなどの環境によっては正しく通信できないことがあります。その場合は、USBケーブルを一度抜き差ししてからデータ通信を行ってください。

Bluetoothでワイヤレス接続した場合

〈例〉Windows XPでアンインストールするとき

- あらかじめFOMA端末とパソコンのワイヤレス接続を切断してください。→P337

1 [スタート]メニューをクリックし、「コントロールパネル」→「プリンタとその他のハードウェア」→「電話とモデムのオプション」の順にクリックする

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

■ Windows 2000 Professionaのとき

[スタート]メニューをクリックし、「設定」→「コントロールパネル」の順に選択して[電話とモデムのオプション]アイコンをダブルクリックする

■ Windows Me、98のとき

[スタート]メニューをクリックし、「設定」→「コントロールパネル」の順に選択して[モデム]アイコンをダブルクリックする

2 [モデム]タブをクリックし、「FOMA F900iT Bluetooth Modem」を選択して[削除]をクリックする

3 [はい]をクリックする

通信設定ファイルのアンインストールが開始されます。

4 [OK]をクリックする

Bluetooth通信を準備する<ダイヤルアップ通信サービス>

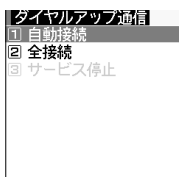
Bluetooth対応パソコンからFOMA端末を経由して、データ通信を行います。
FOMA端末から全接続または自動接続を行った後、パソコンから接続操作を行います。

● Bluetoothの詳細設定などBluetooth全般については、Bluetooth編をご覧ください。→P375
● パソコンからの接続操作が必要です。
● 全接続、自動接続の操作後、Bluetoothの電源が入るまでの約10秒の間に中断することはできません。

全接続する

初めてFOMA端末に接続するパソコンの場合、「全接続」を行い待受画面に戻ってから、パソコンをFOMA端末に登録します。

• 一度機器の登録が完了すると、次回からは「自動接続」で接続することができます。

待受画面で MENU 7 7 1 を押す

2 を押し、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

10秒前後でBluetoothの電源が入り、ディスプレイ上部に (→P10)が点灯表示されます。全接続の設定が完了すると接続待ちになり、待受画面に戻ります。

パソコンからBluetoothデバイスの検索と機器登録をする

• 待受画面のときに機器登録を行ってください。
• パソコンの操作方法の詳細は、ご使用になるパソコンの取扱説明書をお読みください。

※ご覧になる取扱説明書によっては、「検索」の代わりに「探索」または「サーチ」、「機器登録」の代わりに「ペアリング」と表記されています。

4 接続要求画面が表示されたら「はい」を選択して◯を押す

5 Bluetoothパスキー入力画面が表示されたらBluetoothパスキーを入力して◯を押す

- Bluetoothパスキーは半角英数字で1～16桁入力できます。
- FOMA端末とパソコンに同一のBluetoothパスキーを入力してください。

6 登録確認画面が表示されたら「はい」を選択して◯を押す

機器が登録され、ワイヤレス接続を開始します。
接続が完了すると、待受画面で が点滅します。

自動接続する

- 全接続などをして機器をあらかじめ登録しておいてください。→P335

1 待受画面で MENU 📖 7 7 1 を押す

ダイヤルアップメニューが表示されます。

2 1 を押す

10秒前後でBluetoothの電源が入り、ディスプレイ上部に (→P10)が点灯表示されます。自動接続の設定が完了すると、接続待ちになり、待受画面に戻ります。

3 パソコンから接続操作をする

接続が自動で完了し、待受画面に が点滅します。
- パソコンの操作方法の詳細は、ご使用になるパソコンの取扱説明書をお読みください。

お知らせ

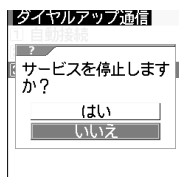
- 自動接続は登録済みのBluetooth機器とのみ接続可能です。
- ヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービスの自動接続中は、ダイヤルアップ通信サービスの全接続を行うことはできません。自動接続のみ可能です。→P380
- パソコンにFOMA端末を登録する際、パソコンが複数の機器を検索した場合は、機器名称でFOMA端末を判別してください。パソコンが同一名称の機器を複数検索した場合は、機器アドレスで判別してください。→P384
- 全接続すると、周囲のすべてのBluetooth機器から検索されます。→P375
- ダイヤルアップ通信によるデータ通信中でも、通信状態が悪化するとタイムアウトになり、ワイヤレス接続は中断されます。このとき、ディスプレイ上部の は点滅から点灯に変わります。
- Bluetoothデバイスのダイヤルアップ通信サービス（Dial-up Networking Profile）を使用してパケット通信を行う場合の受信最大通信速度は240kbps程度となります。また、実際のご利用にあたっては、接続機器や通信環境により、通信速度が低下する場合があり、上記速度を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

ダイヤルアップ通信サービスを停止する

ダイヤルアップ通信サービスを停止します。

ダイヤルアップ通信サービス中に、待受画面でMENU 📖 7 7 1を押す

ダイヤルアップメニューが表示されます。

3を押す

「はい」を選択して●を押す

ダイヤルアップ通信サービスが停止します。
他のBluetoothサービスが起動していない場合は、Bluetoothの電源が切れ、ディスプレイ上部に表示されているBが消えます。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA端末をパソコンにUSBやBluetoothで接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で次の設定ができます。

● かんたん設定

ガイドに従い操作することで、「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」を行い、同時に「W-TCPの設定」などを自動で行います。

● W-TCPの設定

「FOMAパケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。
通信性能を最大限に活用するには、「W-TCP設定」による通信設定の最適化が必要です。

● 接続先（APN）の設定

「パケット通信」を行う際に必要な「接続先（APN）の設定」を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり、通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を設定し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。cidの1番には標準で、moperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が登録されていますが、その他のプロバイダや社内LANに接続する場合はAPN設定が必要になります。

お知らせ

- USB接続とBluetooth接続はそれぞれ個別に接続先（APN）を設定する必要があります。
- FOMA端末をBluetoothリンク経由標準モデムでワイヤレス接続する場合は、FOMA PC設定ソフトのかんたん設定(64Kデータ通信)とW-TCPの設定のみ設定可能です。
- FOMA PC設定ソフトを使わずにパケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます。
  ・パケット通信、64Kデータ通信→P358

FOMA PC設定ソフトのインストールからインターネット接続までの流れ

FOMA PC設定ソフトの動作環境をご確認ください。→P325

STEP1 FOMA PC設定ソフトをインストールする→P339

「FOMA PC設定ソフト」は、データ通信対応のすべてのFOMA端末で利用できます。

STEP2 設定前の準備

設定を行う前に次のことを確認してください。
- FOMA端末とパソコンの接続→P326
- FOMA端末がパソコンに認識されているか→P331

STEP3 かんたん設定で通信の設定を行う

- moperaを利用したパケット通信→P342
- その他のプロバイダを利用したパケット通信→P345
- moperaを利用した64Kデータ通信→P347
- その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信→P348

その他の設定は、P358以降をご参照ください。

STEP4 接続する→P350

インターネットに接続します。

お知らせ

- FOMA端末がCOM20より大きい番号として認識されている場合は、APN設定の際、APNの情報の取得・書き込みができません。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

● 次のFOMA端末に同梱されている「W-TCP環境設定ソフト（以後、旧「W-TCP設定ソフト」と呼びます）」、および「FOMAデータ通信設定ソフト（以後、旧「FOMAデータ通信設定ソフト」と呼びます）」がインストールされている場合は、あらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。
（FOMA N2001、FOMA N2002、FOMA P2401、FOMA P2002、FOMA F2611、FOMA T2101V）
● Windows XP、2000 Professionalで「FOMA PC設定ソフト」のインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザで行ってください。それ以外のユーザが行うとエラーになります。
パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカーやマイクロソフト社にお問い合わせください。
● インストールを始める前に、稼動中の他のプログラムがないことをご確認ください。稼動中のプログラムがあった場合は、使用中のプログラムを保存・終了させた後、インストールを行ってください。

〈例〉Windows XPにインストールするとき

- Windows XP以外のOSをご使用のときは、画面の表示が異なります。

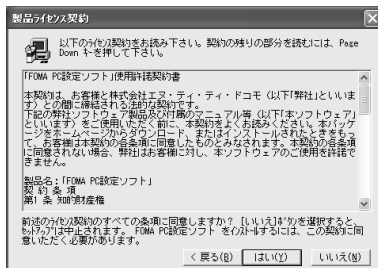
1 FOMA F900iT用CD-ROM をパソコンにセットする

2 [スタート]メニュー[ファイル名を指定して実行]の順にクリックし、「名前」に「<CD-ROMドライブ名>:\FOMA_PCSET\SETUP.EXE」を指定し、[OK]をクリックする

3 [次へ]をクリックする

旧「W-TCP設定ソフト」および旧「FOMAデータ通信設定ソフト」がインストールされているという画面が表示された場合は、P341を参照してください。

4 内容を確認の上、契約内容に同意する場合は[はい]をクリックする

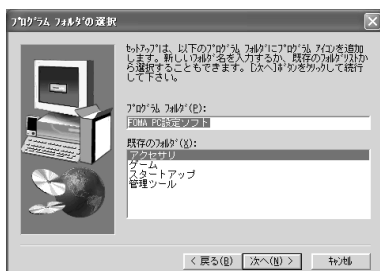
「FOMA PC設定ソフト」の使用許諾契約書です。[いいえ]をクリックすると、インストールは中止されます。

5 「タスクトレイに常駐する」が選択されていることを確認して[次へ]をクリックする

セットアップ後、タスクトレイに「W-TCP設定」が常駐します。→P354
これは、「W-TCP通信」の最適化の設定・解除を操作する機能で、常駐をおすすめします。
インストール後に常駐の設定は変更できます。

6 インストール先を確認して[次へ]をクリックする

変更する場合は[参照]をクリックし、任意のインストール先を指定して[次へ]をクリックします。

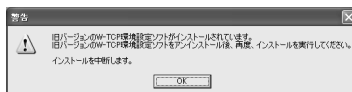
7 プログラムフォルダのフォルダ名を確認して[次へ]をクリックする

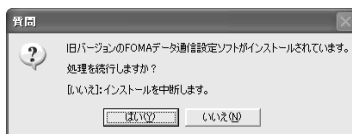
変更する場合はフォルダ名を入力して[次へ]をクリックします。

8 [完了]をクリックする

「FOMA PC設定ソフト」が起動します。
このまま各種設定を始められます。→P342

FOMA PC設定ソフト インストール時の留意事項

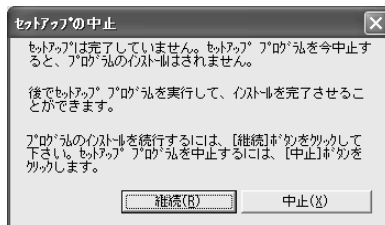
旧「W-TCP設定ソフト」がインストールされている場合

旧「W-TCP設定ソフト」がインストールされている場合、右の画面が表示されます。「アプリケーション(プログラム)の追加と削除」から旧「W-TCP設定ソフト」を削除してください。→P352

旧「FOMAデータ通信設定ソフト」がインストールされている場合

旧「FOMAデータ通信設定ソフト」がインストールされている場合、右の画面が表示されます。[はい]をクリックすると、旧「FOMAデータ通信設定ソフト」のアンインストールが自動的に行われた後、「FOMA PC設定ソフト」がインストールされます。

既に「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合

既に「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合、右の画面が表示されます。[はい]をクリックすると「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールが自動的に行われた後、「FOMA PC設定ソフト」がインストールし直されます。

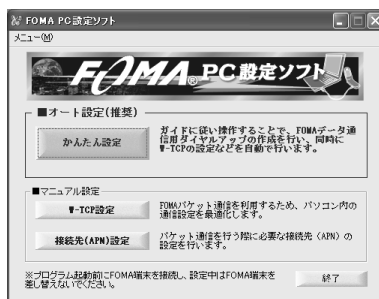
インストール途中で[キャンセル]をクリックした場合

セットアップ途中で[キャンセル]や[いいえ]をクリックし、インストールを中断した場合、右の画面が表示されます。インストールを継続する場合は[継続]を、意図的に中止する場合は[中止]をクリックしてください。

通信の設定を行う(かんたん設定)

FOMA PC設定ソフトのかんたん設定では、表示される内容に従って選択・入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。

● 設定を行う前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。→P326、P327
Bluetooth接続の場合は、FOMA端末の全接続または自動接続を行ってください。→P335、P336
パソコンからの操作については、お使いになるパソコンの取扱説明書をお読みください。
● FOMA端末をBluetoothリンク経由標準モデムでワイヤレス接続する場合は、FOMA PC設定ソフトを利用してパケット通信の設定はできません。

1 [スタート]メニューをクリックし、「プログラム」(Windows XPの場合は、「すべてのプログラム」)→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリックする

「FOMA PC設定ソフト」が起動し、右の画面が表示されます。

かんたん設定からパケット通信を選択する

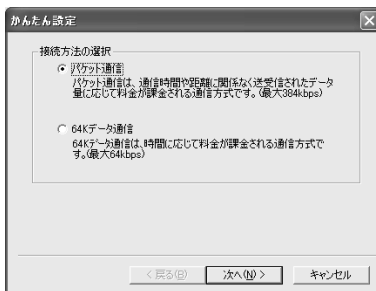
moperaを利用したパケット通信設定方法

最大384kbpsの高速パケット通信※の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービス「mopera」を利用します。

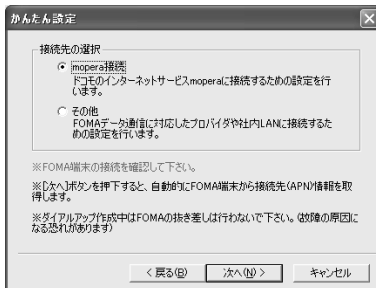
※:【高速パケット通信】送受信したデータ量に応じて課金されます。接続時間を気にせずデータ通信ができます。受信最大384kbps、送信最大64kbps(一部機種を除く)の高速パケット通信が可能です。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。パケット通信を利用して画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータの多い通信を行うと、通信料が高額となりますのでご注意ください。

1 FOMA PC設定ソフトを起動して[かんたん設定]をクリックする

2 接続方法を選択して[次へ]をクリックする

ここでは「パケット通信」を選択します。

3 接続先を選択して[次へ]をクリックする

ここでは「mopera接続」を選択します。

- mopera以外のプロバイダをご利用の場合
  →P345

4 [OK]をクリックする

パソコンに接続されたFOMA端末から「接続先(APN)情報」を取得します。しばらくお待ちください。

FOMA端末設定取得
FOMA端末から接続先(APN)情報を取得します。
FOMA端末を接続してください。接続後はFOMA端末を差し替えないでください。
OK　キャンセル

5 接続名を入力して[次へ]をクリックする

「接続名」に任意の接続名を入力します。

- 次の記号(半角文字)は入力できません。
  \/:＊?!<>|”
- Bluetooth接続の場合、モデム名は「FOMA F900iT Bluetooth Modem」またはパソコンメーカーが提供しているBluetoothモデムとなります。

USB接続の場合

6 [次へ]をクリックする

接続先がmoperaの場合は、「ユーザー名」・「パスワード」の入力は不要です。

- ご使用のOSがWindows XP、2000 Professionalの場合は、使用可能なユーザを選択してください。

Windows XP、2000 Professionalの場合

Windows Me、98の場合

7 「最適化を行う」が選択されていることを確認して[次へ]をクリックする

パケット通信に必要なW-TCP設定を最適化します。既に最適化されている場合には、この画面は表示されません。

8 設定情報を確認して[完了]をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」が選択されていれば自動的にショートカットが作成されます。設定内容を変更する場合は[戻る]をクリックします。

- Bluetooth接続の場合、モデム名は「FOMA F900iT Bluetooth Modem」またはパソコンメーカーが提供しているBluetoothモデムとなります。

確認項目	内容
接続方法	パケット通信
接続先	mopera
接続名	foma
モデム名	FOMA F900iT
使用可能ユーザー	すべてのユーザー
ユーザー名	
パスワードの保存	する
現在のW-TCP設定	非最適化
W-TCP設定	設定する

USB接続の場合

9 [OK]をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動をする旨の画面が表示された場合は[はい]をクリックしてください。

- 既にW-TCP設定が最適化されている場合は、再起動する必要はありません。
- 通信を行う→P350

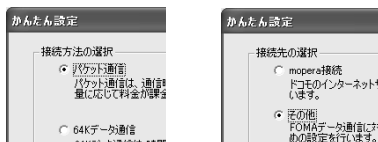
お知らせ

- Bluetoothデバイスのダイヤルアップ通信サービス（Dial-up Networking Profile）を使用する場合の受信最大通信速度は240kbps程度となります。また、実際のご利用にあたっては、接続機器や通信環境により、通信速度が低下する場合があり、上記速度を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

その他のプロバイダを利用したパケット通信設定方法

最大384kbpsの高速パケット通信※の設定を行います。
※：高速パケット通信→P342

1 P342の操作1〜4を行う

操作3の接続先は「その他」を選択します。

2 接続名を入力して[接続先(APN)設定]をクリックする

「接続名」に任意の接続名を入力します。

- 次の記号(半角文字)は入力できません。
  \/:＊?!<>|"
  「接続先(APN)の選択」にはあらかじめ、moperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が設定されています。
- 「発信者番号通知を行う」を選択すると、通信実行時に発信者番号を通知します。
- Bluetooth接続の場合、モデム名は「FOMA F900iT Bluetooth Modem」またはパソコンメーカーが提供しているBluetoothモデムとなります。

USB接続の場合

■ 高度な設定(TCP/IPの設定)

[詳細情報の設定]をクリックすると「IPアドレス」・「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

3 接続先(APN)を設定する

番号(cid※1)にはあらかじめ、moperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が設定されています。

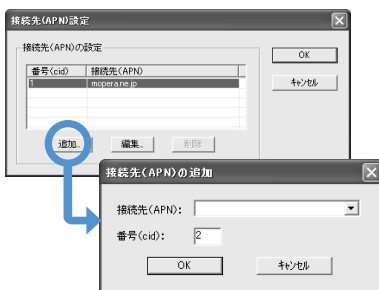
①[追加]をクリックする

「接続先(APN)の追加」画面が表示されます。

②「接続先(APN)」にご利用のプロバイダのFOMAパケット網に対応した接続先名(APN)を正しく入力し、[OK]をクリックする

「接続先(APN)設定」画面に戻ります。

- 「接続先(APN)」には半角文字で、英数字、ハイフン(-)、ピリオド(.)のみ入力できます。

※cidはUSB接続とBluetooth接続でそれぞれ1〜10まで登録可能です。

4 [OK]をクリックする

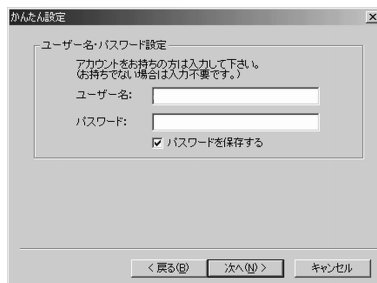
操作2の画面に戻ります。「接続先(APN)の選択」には、操作3で設定した「接続先(APN)」が表示されています。

5 「接続先（APN）の選択」で接続先名（APN）を確認して[次へ]をクリックする

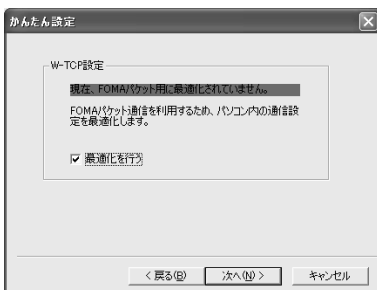
6 ユーザー名・パスワードを入力して[次へ]をクリックする

「ユーザー名」・「パスワード」には、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

- ご使用のOSがWindows XP、2000 Professionalの場合は、使用可能なユーザを選択してください。

Windows XP、2000 Professionalの場合

Windows Me、98の場合

7 「最適化を行う」が選択されていることを確認して[次へ]をクリックする

パケット通信に必要なW-TCP設定を最適化します。既に最適化されている場合には、この画面は表示されません。

8 設定情報を確認して[完了]をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」が選択されていれば自動的にショートカットが作成されます。設定内容を変更する場合は[戻る]をクリックします。

- Bluetooth接続の場合、モデム名は「FOMA F900iT Bluetooth Modem」またはパソコンメーカーが提供しているBluetoothモデムとなります。

USB接続の場合

9 [OK]をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動をする旨の画面が表示された場合は[はい]をクリックしてください。

- 既にW-TCP設定が最適化されている場合は、再起動する必要はありません。
- 通信を行う→P350

お知らせ

- Bluetoothデバイスのダイヤルアップ通信サービス（Dial-up Networking Profile）を使用する場合の受信最大通信速度は240kbps程度となります。また、実際のご利用にあたっては、接続機器や通信環境により、通信速度が低下する場合があり、上記速度を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

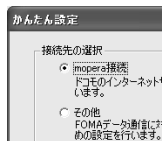
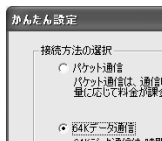
かんたん設定から64Kデータ通信を選択する場合

moperaを利用した64Kデータ通信設定方法

通信速度64kbpsの64Kデータ通信※の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービス「mopera」を利用します。

※：【64Kデータ通信】64kbpsの安定した通信速度でデータを送受信することができます。データ量に関係なく、接続された時間に応じて課金されますので、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信をする場合に適しています。

1 **P342の操作1～3を行う**

操作2の接続方法は「64Kデータ通信」を選択します。

2 **接続名の入力とモデムを選択して［次へ］をクリックする**

「接続名」に任意の接続名を入力します。

- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  \ /:＊?!<>|”
- 次のモデムを選択します。
  －USB接続の場合：FOMA F900iT
  －Bluetooth接続の場合：
  FOMA F900iT Bluetooth Modem
  またはBluetoothリンク経由標準モデム
  もしくはパソコンメーカーが提供しているBluetoothモデム

USB接続の場合

3 **［次へ］をクリックする**

接続先がmoperaの場合は、「ユーザー名」・「パスワード」の入力は不要です。

- ご使用のOSがWindows XP、2000 Professionalの場合は、使用可能なユーザを選択してください。

Windows XP、2000 Professionalの場合

Windows Me、98の場合

4 設定情報を確認して[完了]をクリックする

USB接続の場合

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」が選択されていれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は[戻る]をクリックします。

- Bluetooth接続の場合、モデム名は「FOMA F900iT Bluetooth Modem」または「Bluetoothリンク経由標準モデム」もしくはパソコンメーカーが提供しているBluetoothモデムとなります。

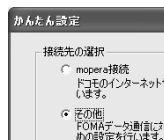
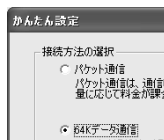
5 [OK]をクリックする

- 通信を行う→P350

その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信設定方法

通信速度64kbpsの64Kデータ通信※の設定を行います。
※:64Kデータ通信→P347

1 P342の操作1～3を行う

操作2の接続方法は「64Kデータ通信」、操作3の接続先は「その他」を選択します。

2 各項目を設定して[次へ]をクリックする

USB接続の場合

ISDN同期64Kアクセスポイントを持つプロバイダに接続する場合は、ダイヤルアップ作成時に次の項目をそれぞれ登録します。

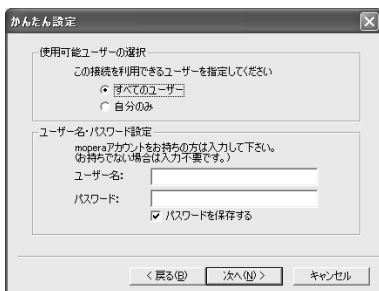
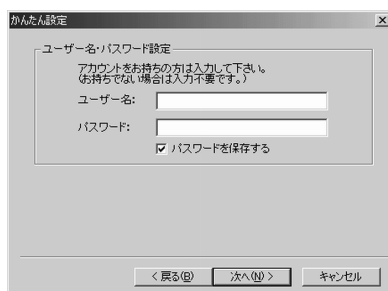
- 接続名:任意
- 次のモデムを選択します。
  - USB接続の場合:FOMA F900iT
  - Bluetooth接続の場合:
    FOMA F900iT Bluetooth Modem
    またはBluetoothリンク経由標準モデム
    もしくはパソコンメーカーが提供しているBluetoothモデム
- 電話番号:
  プロバイダ情報を元に正しく入力してください。入力できる文字は次のとおりです。
  0123456789ABCDPTWabcdptw!@$-.( )+*#,&および半角スペース
- 「発信者番号通知を行う」を選択すると、通信実行時に発信者番号を通知します。

■ 高度な設定（TCP/IPの設定）

［詳細情報の設定］をクリックすると「IPアドレス」・「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に各種アドレスを登録してください。

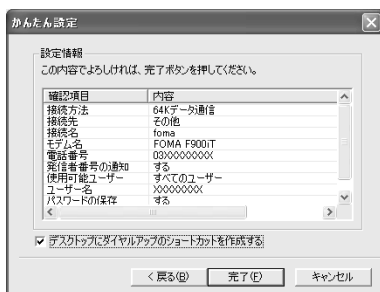
3 ユーザー名・パスワードを入力して［次へ］をクリックする

「ユーザー名」・「パスワード」には、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

- ご使用のOSがWindows XP、2000 Professionalの場合は、使用可能なユーザを選択してください。

Windows XP、2000 Professionalの場合

Windows Me、98の場合

4 設定情報を確認して［完了］をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」が選択されていれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は［戻る］をクリックします。

- Bluetooth接続の場合、モデム名は「FOMA F900iT Bluetooth Modem」または「Bluetoothリンク経由標準モデム」もしくはパソコンメーカーが提供しているBluetoothモデムとなります。

USB接続の場合

5 ［OK］をクリックする

- 通信を行う→P350

FOMA PC設定ソフトで設定した通信を実行する

FOMA PC設定ソフトで設定した通信の実行や切断について説明します。また、64Kデータ通信中や音声電話通話中に着信したときなどの対応についても説明します。

● 通信を実行する前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。→P326、P327
Bluetooth接続の場合は、FOMA端末の全接続または自動接続を行ってください。→P335、P336
パソコンからの操作については、お使いになるパソコンの取扱説明書をお読みください。

1 デスクトップの接続アイコンをダブルクリックする

アイコンはOSによって異なります。

通信が開始されます。

- 次の方法でも接続することができます。

Windows XPのとき
[スタート]メニューをクリックし、「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリックし、接続アイコンをダブルクリックします。

Windows2000 Professional、Me、98のとき
[スタート]メニューをクリックし、「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」(Me、98の場合は「ダイヤルアップネットワーク」)をクリックし、接続アイコンをダブルクリックします。

2 接続を実行する

- moperaを選択した場合は「ユーザー名」・「パスワード」とも空欄のまま、[ダイヤル]をクリックします。
- その他のプロバイダやダイヤルアップ接続の場合は、「ユーザー名」・「パスワード」を入力して[ダイヤル]をクリックします。
「パスワードを保存する」を選択すると、次回からは入力の必要がなくなります。
- OSによっては、接続完了画面が表示されることがあります。「OK」をクリックしてください。

お知らせ

- FOMA端末には、パケット通信を実行すると発信中の画面、64Kデータ通信を実行すると呼出中の画面がそれぞれ表示され、接続すると次の画面が表示されます。

パケット通信のとき　64Kデータ通信のとき

- FOMA端末がクローズ状態のときは、背面ディスプレイに通信状態が表示されます。
- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- データ通信を実行する場合、アイコン作成時のFOMA端末を接続した場合のみ有効です。
- F900iT以外のFOMA端末を接続する場合は、通信設定ファイルをインストールし直してください。→P328

切断するには

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

1 タスクトレイの をダブルクリックする

接続の画面が表示されます。

2 [切断]をクリックする

接続が切断されます。

画面はOSにより異なります。

■ Bluetooth接続の場合

FOMA端末のダイヤルアップ通信サービスも停止します。→P337

64Kデータ通信の着信があったときは

64Kデータ通信の着信があると左の画面が表示されます。パソコンで対応する操作をしてください。

- 64Kデータ通信中にさらに別の64Kデータ通信の着信があったときは、着信を拒否し、履歴に不在着信として残ります。

64Kデータ通信中に音声電話がかかってきたときは

64Kデータ通信中に音声電話がかかってくると左の画面が表示されます。
MENUを押して次の項目から選択できます。

サブメニュー	説　明
1留守番電話	留守番電話の設定に従って、かかってきた音声電話に対応します。
2着信拒否	かかってきた音声電話を切断します。
3転送でんわ	転送でんわの設定に従って、かかってきた音声電話を転送します。
4通信終了	現在通信中の64Kデータ通信を切断します。

音声電話通話中に64Kデータ通信の着信があったときは

音声電話通話中の64Kデータ通信の着信は着信拒否になります。ただし、履歴に不在着信として残ります。

お知らせ

- オールロック中に64Kデータ通信の着信があったときや、音声電話がかかってきたときは、着信を拒否し、履歴に不在着信として残ります。
- 外部機器が未接続の状態で着信があった場合は、着信を拒否し、履歴に不在着信として残ります。

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

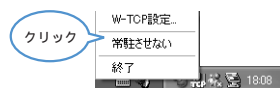
FOMA PC設定ソフトのアンインストール手順を説明します。

● OSによって画面表示などが異なります。

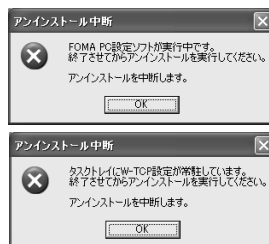
アンインストールを実行する前に

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする前に、FOMA用に変更された通信設定を元に戻す必要があります。

●「W-TCP設定ソフト」の常駐設定を解除する

画面右下のタスクトレイの[アイコン]を右クリックして、「常駐させない」をクリックします。

●「FOMA PC設定ソフト」を終了させる

「終了」をクリックします。

常駐設定を解除せずにアンインストールを実行しようとすると、右のような画面が表示されます。アンインストールプログラムを中断し、それぞれのプログラムを終了させてください。

アンインストールする

〈例〉Windows XPでアンインストールするとき

1　[スタート]メニュー→「コントロールパネル」の順にクリックし、[プログラムの追加と削除]アイコンをクリックする

「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。

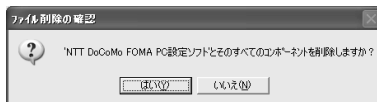
■ Windows 2000 Professional、Me、98のとき

[スタート]メニューをクリックし、「設定」→「コントロールパネル」の順に選択して[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックする

「アプリケーションの追加と削除」画面(Windows Me、98の場合は、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」画面)が表示されます。

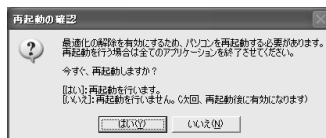
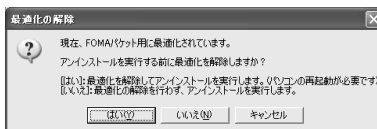
2 「FOMA PC設定ソフト」を選択して[変更と削除]をクリックする

3 削除するプログラム名を確認して[はい]をクリックする

FOMA PC設定ソフトのアンインストールが開始されます。

4 [OK]をクリックする

FOMA PC設定ソフトのアンインストールが終了します。

■「W-TCP最適化」の解除

W-TCPが最適化されている場合は右の画面が表示されます。
アンインストールする場合は[はい]をクリックしてください。
「W-TCP最適化」の解除は、再起動後に行われます。

W-TCP設定でパケット通信の設定を最適化する

「W-TCP設定ソフト」を利用してパソコンのパケット通信の設定をFOMAネットワーク用に最適化する方法と最適化を解除する方法について説明します。

W-TCPの役割

「W-TCP設定ソフト」はFOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定ツール」です。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、このソフトウェアによる通信設定が必要です。

最適化の設定と解除

Windows XPの場合

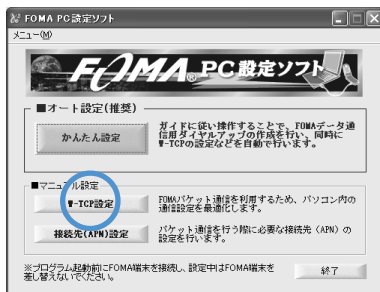
Windows XPの場合は、ダイヤルアップごとの最適化設定が可能です。

1 「FOMA PC設定ソフト」を起動する

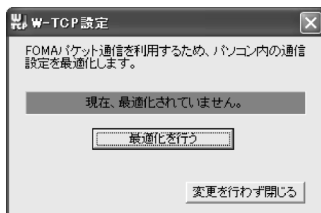
- 起動方法→P342

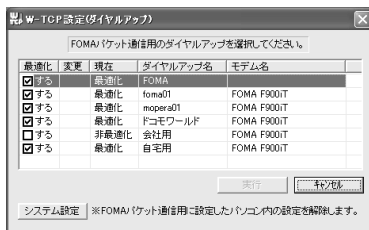
■ タスクトレイからW-TCP設定を起動する場合

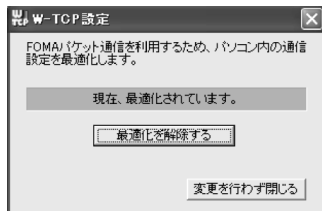
タスクトレイのをクリックすると、W-TCP設定を直接起動できます。その場合は、操作3へ進みます。

2 [W-TCP設定]をクリックする

3 次の操作を行う

■ システム設定が最適化されていないとき

右の画面が表示されます。
[最適化を行う]をクリックすると、「W-TCP設定(ダイヤルアップ)」画面が表示されます。
最適化するダイヤルアップを選択して[実行]をクリックすると、システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。
システム設定の最適化は、画面表示に従ってパソコンを再起動後に有効になります。

■ システム設定が最適化されているとき

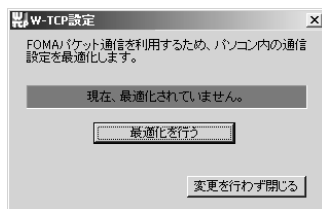
右の画面が表示されます。
内容を変更する場合は設定を行ってください。
変更した内容はパソコンを再起動後に有効になります。

■ 最適化を解除するとき

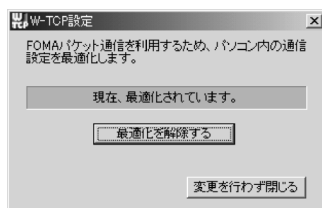
「W-TCP設定(ダイヤルアップ)」画面で[システム設定]をクリックします。
右の画面が表示されます。
[最適化を解除する]をクリックし、画面表示に従ってパソコンを再起動すると、最適化が解除されます。

Windows 2000 Professional、Me、98の場合

1 P354の操作1～2を行う

2 次の操作を行う

■ システム設定が最適化されていないとき

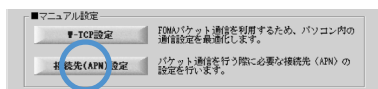
右の画面が表示されます。
[最適化を行う]をクリックして[OK]をクリックすると、再起動を確認する画面が表示されます。現在開いているすべてのプログラムを終了させ、最適化設定を有効にするために、パソコンを再起動してください。

■ システム設定が最適化されているとき

右の画面が表示されます。
FOMA端末以外での通信などの理由から設定を解除する場合は、[最適化を解除する]をクリックして[OK]をクリックすると、再起動を確認する画面が表示されます。現在開いているすべてのプログラムを終了し、最適化解除を有効にするために、パソコンを再起動してください。

接続先(APN)の設定

パケット通信を行う場合の接続先(APN)を設定します。接続先(APN)は最大10件設定でき、登録番号(cid)の1～10に登録して管理します。

- 設定を行う前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。→P326、P327
  Bluetooth接続の場合は、FOMA端末の全接続または自動接続を行ってください。→P335、P336
  パソコンからの操作については、お使いになるパソコンの取扱説明書をお読みください。
- ドコモのインターネット接続サービス「mopera」以外の接続先(APN)については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合せください。
- USB接続とBluetooth接続は、それぞれ個別に接続先(APN)を設定する必要があります。接続の種類を変更した場合は、接続先(APN)の設定を確認してください。なお、Bluetooth機器によってはFOMA端末に が表示され、USB接続のAPN設定が有効になる場合があります。
- FOMA端末をBluetoothリンク経由標準モデムでワイヤレス接続する場合は、FOMA PC設定ソフトの接続先(APN)設定で設定することはできません。
  ダイヤルアップネットワークの設定をする→P358

1 「FOMA PC設定ソフト」を起動して[接続先(APN)設定]をクリックする

- 起動方法→P342

2 FOMA端末設定取得画面で[OK]をクリックする

接続されたFOMA端末に自動的にアクセスし、登録されている「接続先(APN)情報」を読み込みます。

3 接続先(APN)の設定を行う

次の操作ができます。

接続先(APN)の追加・編集・削除

■ 接続先(APN)を追加するとき

「接続先(APN)設定」画面で、[追加]をクリックする

■ 登録済みの接続先(APN)を編集または修正するとき

「接続先(APN)設定」画面で、対象の接続先(APN)を一覧から選択して[編集]をクリックする

■ 登録済みの接続先(APN)を削除するとき

「接続先(APN)設定」画面で、対象の接続先(APN)を一覧から選択して[削除]をクリックする

・番号(cid)の1に登録されている接続先(APN)は削除できません。

ファイルへの保存

FOMA端末に登録された接続先(APN)設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先(APN)設定を保存する場合は、ツールバーの「ファイル」メニュー→「名前を付けて保存」または「上書き保存」の順にクリックします。

ファイルからの読み込み

パソコンに保存された接続先(APN)設定を再編集したり、FOMA端末に書き込んだりする場合は、ツールバーの「ファイル」メニュー→「開く」の順にクリックします。

FOMA端末からの接続先(APN)情報の読み込み

FOMA端末に手動でアクセスし、登録された接続先(APN)設定を読み込む場合は、ツールバーの「ファイル」メニュー→「FOMA端末から設定を取得」の順にクリックします。

FOMA端末への接続先(APN)情報の書き込み

表示されている接続先(APN)設定をFOMA端末に書き込む場合は、「接続先(APN)設定」画面で[FOMA端末へ設定を書き込む]をクリックします。

ダイヤルアップ作成機能

「接続先(APN)設定」画面で追加・編集された接続先(APN)を選択して[ダイヤルアップ作成]をクリックします。「FOMA端末設定書き込み」画面が表示されますので、[はい]をクリックしてください。接続先(APN)への書き込み終了後、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。
任意の接続名を入力し、「アカウント・パスワードの設定」をクリックしてください(moperaの場合は不要)。ユーザー名とパスワードを入力して(Windows XP、2000 Professionalの場合は使用可能ユーザの選択をして)[OK]をクリックしてください。
ご利用のプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で[詳細情報の設定]をクリックし、必要な情報を登録後、[OK]をクリックしてください。
設定を入力後、[FOMA端末へ設定を書き込む]をクリックして、上書きを確認してから、書き込みを実行してください。

お知らせ

- 接続先(APN)設定はFOMA端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末(故障修理により一時的に貸し出された代替端末など)を接続する場合は、APNを登録し直してください。
- USB接続とBluetooth接続は、それぞれ個別に接続先(APN)を設定する必要があります。
- パケット通信時にUSB接続とBluetooth接続を切り替える場合は、切り替える際に再度接続先(APN)を設定する必要があります。
- パソコンに登録されている接続先(APN)を継続利用する場合は、同じAPNの登録番号(cid)をFOMA端末に登録してください。
- お買い上げ時、cid1にはドコモのインターネット接続サービス「mopera」に接続するためのAPN、「mopera.ne.jp」があらかじめ登録されています。

ダイヤルアップネットワークの設定をする

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信／64Kデータ通信のダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。次のような流れになります。

● パケット通信、64Kデータ通信→P320
● パケット通信および64Kデータ通信の条件→P322

パケット通信の設定方法	64Kデータ通信の設定方法
	※ 64Kデータ通信の設定方法については、「64Kデータ通信を設定する」(P372)をあわせてご覧ください。

通信設定ファイルをインストールする→P328
パソコンとFOMA端末を接続する→P326、335

▼（パケット通信のみ）

接続先(APN)を設定する→P359
※接続先がmoperaの場合は、この設定は不要です。

▼

発信者番号の通知／非通知を設定する→P361

▼

その他の設定をする(ATコマンド)→P398

▼

ダイヤルアップネットワークの設定をする→P362
※ 設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

	Windows XPをお使いのとき	Windows 2000 Professionalをお使いのとき	Windows Meをお使いのとき	Windows 98をお使いのとき
接続先を設定する	P362	P365	P369	P371
TCP/IPを設定する	P364	P368	P370	P372

▼

接続する→P373
●切断する→P374

お知らせ

- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。

パケット通信の設定をする

設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

接続先（APN）を設定する

お買い上げ時	cid1：mopera.ne.jp　cid2～10：設定なし

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。接続先（APN）は最大10件設定でき、登録番号cid1～cid10（→P361）を付けて管理します。cid1には、既にドコモのインターネット接続サービス「mopera」に接続するためのAPN「mopera.ne.jp」があらかじめ設定されていますので、cidを設定するときは、2～10の番号に設定することをおすすめします。

- 設定を行う前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。→P326、P327
  Bluetooth接続の場合は、FOMA端末の全接続または自動接続を行ってください。→P335、P336
  パソコンからの操作については、お使いになるパソコンの取扱説明書をお読みください。
- USB接続とBluetooth接続は、それぞれ個別に接続先（APN）を設定する必要があります。
- パケット通信時にUSB接続とBluetooth接続を切り替える場合は、切り替える際に再度接続先（APN）を設定する必要があります。
- 登録したcid はダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。→P361
- mopera 以外の接続先（APN）については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

〈例〉Windows XPで設定する場合

- Windows XP以外のOSをご使用のときは、画面表示が異なります。

1 ［スタート］メニューをクリックし、「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択して「ハイパーターミナル」をクリック（98ではさらに「Hypertrm」アイコンをダブルクリック）する

ハイパーターミナルが起動します。

- Windows XP以外のOSをお使いの場合は、「すべてのプログラム」が「プログラム」と表示されます。

2 「名前」に接続先名など任意の名前を入力して［OK］をクリックする

電話番号の詳細設定画面が表示されます。

3 「接続方法」を選択し、「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を仮入力して［OK］をクリックする

- 市外局番には、Windows に設定されている値「03」などが表示されていますが、接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、任意の値を設定してください。

USB接続の場合

- 次の接続方法を選択します。
  - －USB接続の場合：FOMA F900iT
  - －Bluetooth接続の場合：FOMA F900iT Bluetooth Modem
    またはBluetoothリンク経由標準モデムもしくは
    パソコンメーカーが提供しているBluetoothモデム

4 接続画面が表示されたら[キャンセル]をクリックする

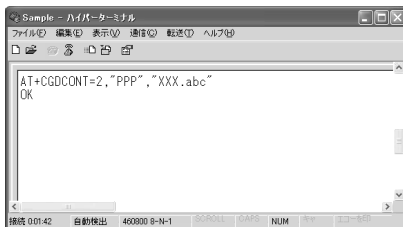
5 接続先（APN）を入力して↵を押す

AT+CGDCONT=2,"PPP","XXX.abc"_

- 「AT+CGDCONT=＜cid＞,"PPP","APN"」の形式で入力します。→P407
  ＜cid＞：2～10までのうち任意の番号を入力します。
  "PPP"：そのまま"PPP"と入力します。
  "APN"：接続先（APN）を" "で囲んで入力します。
- 「OK」と表示されれば、接続先（APN）の設定は完了です。
- 現在の接続先（APN）設定を確認する場合は、「AT+CGDCONT?↵」と入力すると、APN設定が一覧で表示されます。→P407

6 「OK」と表示されていることを確認し、[ファイル]メニュー→「ハイパーターミナルの終了」の順にクリックする

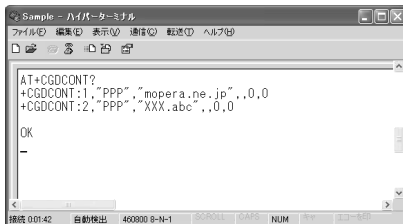
ハイパーターミナルが終了します。

- 「"XXX"と名前付けられた接続を保存しますか?」と表示されますが、保存する必要はありません。

■ATコマンドで接続先（APN）設定をリセットするとき

リセットした場合、＜cid＞=1のみ「mopera.ne.jp」（初期値）に戻り、＜cid＞=2～10の設定は未登録になります。

・AT+CGDCONT=↵　　　：すべてのcidをリセットする場合
・AT+CGDCONT=＜cid＞↵：特定のcidのみリセットする場合

■ATコマンドで接続先（APN）設定を確認するとき

・AT+CGDCONT?↵
詳細→P407

■ATコマンドを入力しても画面に何も表示されないとき

・ATE1↵
詳細→P403

接続先（APN）と登録番号（cid）について

パケット通信の接続先（APN）は、FOMA端末の登録番号cid1～cid10に設定できます。お買い上げ時、cid1にはドコモのインターネット接続サービス「mopera」に接続するためのAPN、「mopera.ne.jp」があらかじめ登録されています。mopera以外のインターネットサービスプロバイダや社内LANなどに接続する場合は、cid2～cid10にAPNを登録してください。

- USB接続とBluetooth接続は、それぞれ個別に接続先（APN）を設定する必要があります。
- 接続先の設定は、パケット通信用の電話帳登録として考えることができます。接続先の設定項目をFOMA端末の電話帳と比較すると、次のようになります。

接続先の設定項目	FOMA端末の電話帳の登録項目
登録番号（cid）	登録番号（メモリ番号）
APN	相手の電話番号

ダイヤルアップの接続先を指定するときは、次のように入力します。

＊99＊＊＊（cidの番号）＃

〈例〉cid2に設定されている接続先（APN）を指定するとき
　＊99＊＊＊2＃

発信者番号の通知／非通知を設定する

お買い上げ時	設定なし

発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。

1 P359の操作1～5を行う

2 パケット通信時の発信者番号の通知（186）／非通知（184）を設定する

- 「AT*DGPIR=<n>」の形式で入力します。→P400
  AT*DGPIR=1⏎：
  パケット通信確立時、接続先（APN）に「184」を付けて接続します。
  AT*DGPIR=2⏎：
  パケット通信確立時、接続先（APN）に「186」を付けて接続します。

3 「OK」と表示されていることを確認し、［ファイル］メニュー→「ハイパーターミナルの終了」の順にクリックする

ハイパーターミナルが終了します。

■ ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に「186」（通知）／「184」（非通知）を付けることができます。
＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で「186」（通知）／「184」（非通知）の設定を行った場合は、次のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定（<cid>=1 の場合）	＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	発信者番号の通知／非通知
＊99＊＊＊1#	設定なし	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184＊99＊＊＊1#	設定なし	非通知（ダイヤルアップネットワークの「184」が優先される）
	非通知	
	通知	
186＊99＊＊＊1#	設定なし	通知（ダイヤルアップネットワークの「186」が優先される）
	非通知	
	通知	

- ＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定を「設定なし」に戻すには、「AT＊DGPIR=0」と入力してください。
- ドコモのインターネット接続サービス「mopera」をご利用になる場合は、発信者番号の通知／非通知を「通知」に設定する必要があります。

Windows XPでダイヤルアップネットワークの設定をする

Windows XPでは「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先とTCP/IPプロトコルの両方を設定します。

接続先を設定する

〈例〉<cid>=1を使いドコモのインターネット接続サービス「mopera」へ接続する場合

1 [スタート] メニューをクリックし、「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択して「ネットワーク接続」をクリックする

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

2 「ネットワークタスク」の「新しい接続を作成する」をクリックする

「新しい接続ウィザード」画面が表示されます。

3 [次へ] をクリックする

ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

4 「インターネットに接続する」を選択して[次へ]をクリックする

準備画面が表示されます。

5 「接続を手動でセットアップする」を選択して[次へ]をクリックする

インターネット接続画面が表示されます。

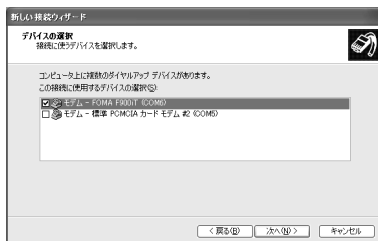
6 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して[次へ]をクリックする

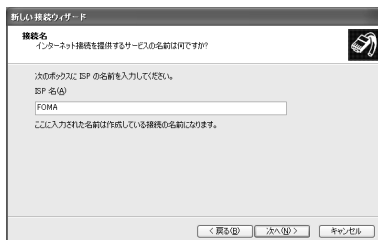
デバイスの選択画面が表示されます。

7 モデムを選択して[次へ]をクリックする

USB接続の場合

接続名画面が表示されます。

- 次のモデムを選択します。
  - USB接続の場合：FOMA F900iT(COMX)
  - Bluetooth接続の場合：FOMA F900iT Bluetooth Modem (COMX) またはBluetoothリンク経由標準モデム(COMX) もしくはパソコンメーカーが提供しているBluetoothモデム(COMX)

8 「ISP名」に任意の接続名を入力して[次へ]をクリックする

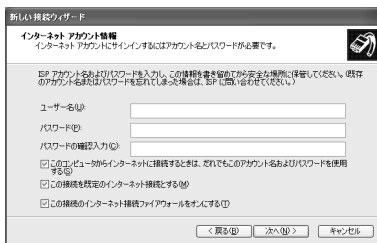
ダイヤルする電話番号画面が表示されます。

9 「電話番号」に接続先の番号を入力して[次へ]をクリックする

インターネットアカウント情報画面が表示されます。

10 「ユーザー名」と「パスワード」には何も入力せず、各項目を画面例のように設定して[次へ]をクリックする

新しい接続ウィザードの完了画面が表示されます。

- mopera以外のプロバイダに接続する場合は、「ユーザー名」と「パスワード」にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力してください。

新しい接続ウィザード
インターネット アカウント情報
インターネット アカウントにサインインするにはアカウント名とパスワードが必要です。
ISP アカウント名およびパスワードを入力し、この情報を書き留めてから安全な場所に保管してください。(既存のアカウント名またはパスワードを忘れてしまった場合は、ISP に問い合わせてください。)
ユーザー名(U):
パスワード(P):
パスワードの確認入力(C):
☑このコンピュータからインターネットに接続するときは、だれでもこのアカウント名およびパスワードを使用する(S)
☑この接続を既定のインターネット接続とする(M)
☑この接続のインターネット接続ファイアウォールをオンにする(T)
< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

11 [完了]をクリックする

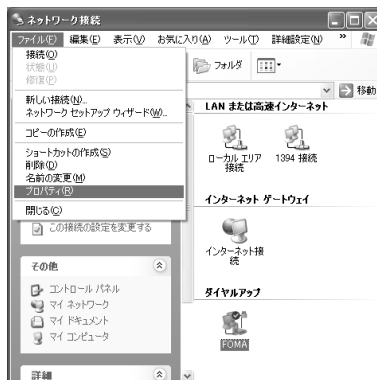
新しく作成した接続ウィザードが表示されます。

12 設定内容を確認して[キャンセル]をクリックする

- ここではすぐに接続せずに、設定の確認だけを行います。

TCP/IP プロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択し、「ファイル」メニュー→「プロパティ」の順にクリックする

接続先のプロパティ画面が表示されます。

2 [全般]タブの各項目の設定を確認する

- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」を選択します。
  - －USB接続の場合：FOMA F900iT(COMX)
  - －Bluetooth接続の場合：FOMA F900iT Bluetooth Modem(COMX)
    またはBluetoothリンク経由標準モデム(COMX)
    もしくはパソコンメーカーが提供しているBluetoothモデム(COMX)
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択(□)にします。

USB接続の場合

3 ［ネットワーク］タブをクリックして各項目の設定を確認する

- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP: Windows95/98/NT4/2000,Internet」に設定します。
- 「この接続は次の項目を使用します」は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」だけを選択します。「QoSパケットスケジューラ」は設定変更できませんので、そのままにしておいてください。

4 ［設定］をクリックする

「PPP設定」画面が表示されます。

5 すべての項目を非選択（□）にして［OK］をクリックする

接続先のプロパティ画面に戻ります。

6 ［OK］をクリックする

接続先とTCP/IP プロトコルが設定されます。

Windows 2000 Professionalでダイヤルアップネットワークの設定をする

Windows 2000 Professionalでは「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先とTCP/IP プロトコルの両方を設定します。

接続先を設定する

〈例〉<cid>=1を使い、ドコモのインターネット接続サービス「mopera」へ接続する場合

1 ［スタート］メニューをクリックし、「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックする

「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面が表示されます。

2 ［新しい接続の作成］アイコンをダブルクリックする

「所在地情報」画面が表示されます。

- この画面は［新しい接続の作成］アイコンを初めてダブルクリックしたときに表示されます。2回目以降の場合は、操作5へ進みます。

3 「市外局番」を入力して[OK]をクリックする

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

4 [OK]をクリックする

「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されます。

5 [次へ]をクリックする

ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択して[次へ]をクリックする

「インターネット接続ウィザード」の開始画面が表示されます。

7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します」を選択して[次へ]をクリックする

インターネット接続の設定選択画面が表示されます。

8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択して[次へ]をクリックする

モデムの選択画面が表示されます。

9 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」が使用するモデムに設定されていることを確認して[次へ]をクリックする

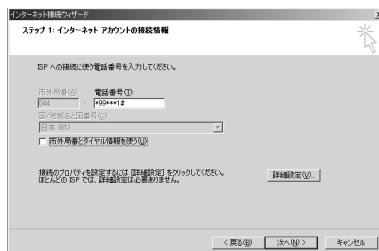
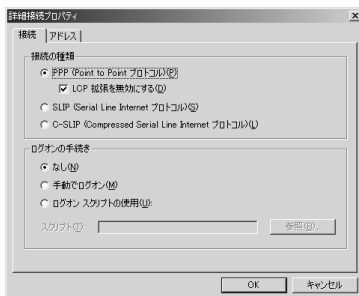
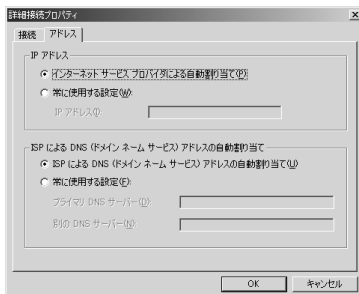
インターネットアカウントの接続情報画面が表示されます。

USB接続の場合

- 使用するモデムが設定されていない場合は、選択します。
  －USB接続の場合：FOMA F900iT
  －Bluetooth接続の場合：FOMA F900iT Bluetooth Modem
  またはBluetoothリンク経由標準モデム
  もしくはパソコンメーカーが提供しているBluetoothモデム
- 複数のモデムがインストールされていない場合、この画面は表示されません。

10 「電話番号」に接続先の番号を入力して[詳細設定]をクリックする

詳細接続プロパティ画面が表示されます。

- 「市外局番とダイヤル情報を使う」を非選択(□)にします。

11 [接続]タブの各項目を画面例のように設定する

12 [アドレス]タブをクリックして各項目を画面例のように設定する

13 [OK]をクリックする

インターネットアカウントの接続情報画面に戻ります。

14 [次へ]をクリックする

インターネットアカウントのログイン情報画面が表示されます。

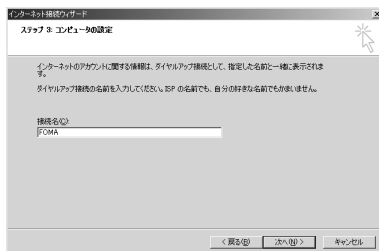
15 「ユーザー名」と「パスワード」には何も入力せず、[次へ]をクリックする

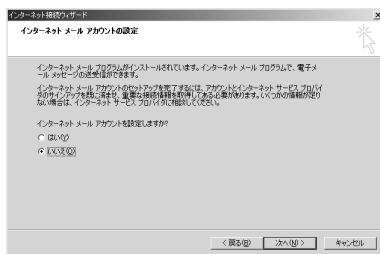
- mopera以外のプロバイダに接続する場合は、「ユーザー名」と「パスワード」にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力して操作17に進みます。

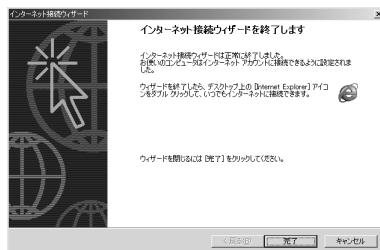
16 「はい」をクリックし、続けて表示される画面でもう一度「はい」をクリックする

コンピュータの設定画面が表示されます。

17 「接続名」に任意の接続名を入力して[次へ]をクリックする

インターネットメールアカウントの設定画面が表示されます。

18 「いいえ」を選択して[次へ]をクリックする

インターネット接続ウィザードの終了画面が表示されます。

19 [完了]をクリックする

「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面に戻ります。

TCP/IP プロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択し、「ファイル」メニュー→「プロパティ」の順にクリックする

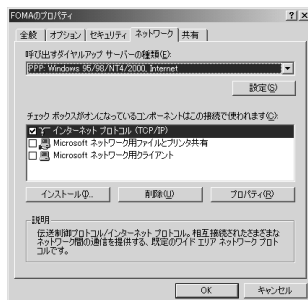
接続先のプロパティ画面が表示されます。

2 [全般]タブの各項目の設定を確認する

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続の方法」でモデムを選択します。
  - USB接続の場合：FOMA F900iT（COMX）
  - Bluetooth接続の場合：FOMA F900iT Bluetooth Modem（COMX）
    またはBluetoothリンク経由標準モデム(COMX)
    もしくはパソコンメーカーが提供しているBluetoothモデム(COMX)
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択(□)にします。

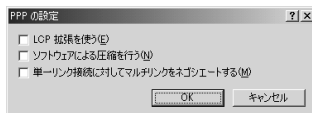
USB接続の場合

3 [ネットワーク]タブをクリックして各項目の設定を確認する

- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:Windows95/98/NT4/2000,Internet」に設定します。
- コンポーネントは「インターネットプロトコル(TCP/IP)」だけを選択します。「PPP の設定」画面が表示されます。

4 [設定]をクリックする

「PPP の設定」画面が表示されます。

5 すべての項目を非選択(□)にして[OK]をクリックする

接続先のプロパティ画面に戻ります。

6 [OK]をクリックする

接続先とTCP/IP プロトコルが設定されます。

Windows Meでダイヤルアップネットワークの設定をする

接続先を設定する

〈例〉<cid>=1を使い、ドコモのインターネット接続サービス「mopera」へ接続する場合

1 [スタート]メニューをクリックし、「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択して「ダイヤルアップネットワーク」をクリックする

初めて操作したときは、「ダイヤルアップネットワークへようこそ」が表示されます。

- 2回目以降は「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面は表示されません。操作3へ進みます。

2 [次へ]をクリックする

「ダイヤルアップネットワーク」画面が表示されます。

3 [新しい接続]アイコンをダブルクリックする

接続名を入力する画面が表示されます。

4 「接続名」に任意の接続名を入力して[次へ]をクリックする

接続先電話番号の指定画面が表示されます。

- 「モデムの選択」を確認し、正しいモデムを選択します。
  - USB接続の場合：FOMA F900iT
  - Bluetooth接続の場合：FOMA F900iT Bluetooth Modem
    またはBluetoothリンク経由標準モデム
    もしくはパソコンメーカーが提供しているBluetoothモデム

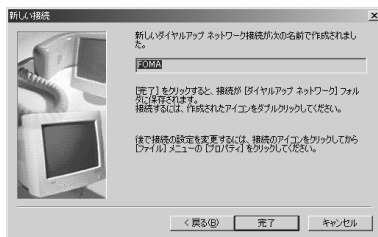
USB接続の場合

5 接続先の番号を入力して[次へ]をクリックする

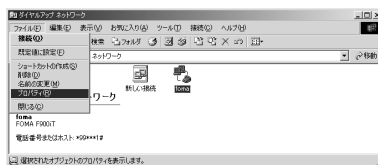
ダイヤルアップネットワーク接続の完了画面が表示されます。

- 「市外局番」には何も入力しません。

6 接続先名を確認して[完了]をクリックする

接続先が設定されます。

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択し、「ファイル」メニュー→「プロパティ」の順にクリックする

接続先のプロパティ画面が表示されます。

2 [全般]タブの各項目の設定を確認する

- 「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」を非選択(□)にします。
- 「接続方法」を確認し、正しいモデムを設定します。
  - －USB接続の場合：FOMA F900iT
  - －Bluetooth接続の場合：FOMA F900iT Bluetooth Modem
    またはBluetoothリンク経由標準モデム
    もしくはパソコンメーカーが提供している Bluetoothモデム

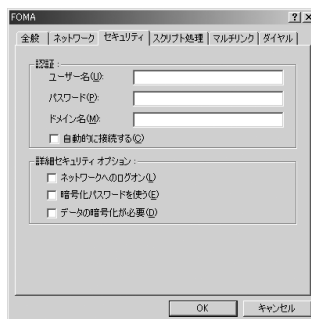
USB接続の場合

3 [ネットワーク]タブをクリックして各項目の設定を確認する

- 「ダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me」に設定します。
- 「使用できるネットワークプロトコル」は「TCP/IP」だけを選択します。

4 [セキュリティ]タブをクリックして「ユーザー名」と「パスワード」には何も入力せず、[OK]をクリックする

TCP/IP が設定されます。

- mopera以外のプロバイダに接続する場合は、「ユーザー名」と「パスワード」にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力してください。

Windows 98でダイヤルアップネットワークの設定をする

接続先を設定する

〈例〉<cid>=1を使い、ドコモのインターネット接続サービス「mopera」へ接続する場合

1 **[スタート]メニューをクリックし、「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択して「ダイヤルアップネットワーク」をクリックする**

初めて操作したときは、「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面が表示されます。

- 2回目以降は「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面は表示されません。操作3へ進みます。

2 **[次へ]をクリックする**

「ダイヤルアップネットワーク」画面が表示されます。

3 **[新しい接続]アイコンをダブルクリックする**

接続名を入力する画面が表示されます。

4 **「接続名」に任意の接続名を入力して[次へ]をクリックする**

接続先電話番号の指定画面が表示されます。

- 「モデムの選択」を確認し、正しいモデムを選択します。
  - －USB接続の場合：FOMA F900iT
  - －Bluetooth接続の場合：FOMA F900iT Bluetooth Modem
    またはBluetoothリンク経由標準モデム
    もしくはパソコンメーカーが提供しているBluetoothモデム

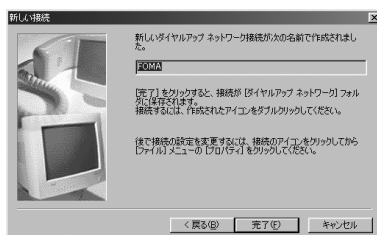
USB接続の場合

5 **接続先の電話番号を入力して[次へ]をクリックする**

ダイヤルアップネットワーク接続の完了画面が表示されます。

- 「市外局番」には何も入力しません。

6 **接続先名を確認して[完了]をクリックする**

接続先が設定されます。

TCP/IPプロトコルを設定する

1 **作成した接続先アイコンを選択し、「ファイル」メニュー→「プロパティ」の順にクリックする**

接続先のプロパティ画面が表示されます。

2 **[全般]タブの各項目の設定を確認する**

- 「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」を非選択(□)にします。
- 「接続の方法」を確認し、正しいモデムを選択します。
  - －USB接続の場合：FOMA F900iT
  - －Bluetooth接続の場合：FOMA F900iT Bluetooth Modem

またはBluetoothリンク経由標準モデム
もしくはパソコンメーカーが提供している
Bluetoothモデム

USB接続の場合

3 **[サーバーの種類]タブをクリックして各項目の設定を確認する**

- 「ダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:インターネット、Windows NT Server、Windows 98」に設定します。
- 「使用できるネットワークプロトコル」は「TCP/IP」だけを選択します。

4 **[OK]をクリックする**

TCP/IPが設定されます。

64Kデータ通信を設定する

64Kデータ通信の接続先およびTCP/IPプロトコルを設定します。64Kデータ通信では、接続先(APN)の設定の代わりにインターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者から指定されたアクセスポイントの電話番号を入力します。その他のダイヤルアップネットワークの設定は、パケット通信と同様です。

- 64Kデータ通信のアクセスポイントとして、ドコモのインターネット接続サービス「mopera」をご利用になる場合は、接続先の番号を「*9601」に設定します。
- 「発信者番号の通知／非通知」は必要に応じて設定してください(moperaをご利用になる場合は、「通知」に設定する必要があります)。
- 「その他の設定」は必要に応じて設定してください。お買い上げ時のままでも利用できます。
- 設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

ダイヤルアップ接続する

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信／64Kデータ通信のダイヤルアップ接続を行う方法について説明します。

● 接続を行う前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。→P326、P327
Bluetooth接続の場合は、FOMA端末の全接続または自動接続を行ってください。→P335、P336
パソコンからの操作については、お使いになるパソコンの取扱説明書をお読みください。

〈例〉Windows XPでダイヤルアップ接続するとき

- Windows XP以外のOSをご使用のときは、画面の表示などが異なります。

1 [スタート]メニューをクリックし、「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択して「ネットワーク接続」をクリックする

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

- Windows XP以外のOSをお使いの場合は、[スタート]メニューをクリックし、「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択して「ダイヤルアップネットワーク」をクリックします。

2 接続先のアイコンをダブルクリックする

「接続」画面が表示されます。

3 各項目を確認して[ダイヤル]をクリックする

接続先へ接続されます。

- Windows XP以外のOSをお使いの場合は、各項目を確認して、「接続」をクリックします。
- 「ダイヤル」または「電話番号」には、ダイヤルアップネットワークに設定した接続先の番号が表示されます。
- 接続先がmoperaの場合は、「ユーザー名」・「パスワード」の入力は不要です。

切断するには

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

1 **タスクトレイのをダブルクリックする**

接続の画面が表示されます。

2 **[切断]をクリックする**

接続が切断されます。

■ Bluetooth接続の場合

FOMA端末のダイヤルアップ通信サービスも停止します。→P337

Bluetooth編

■Bluetooth編の用語集

- **Bluetooth 電源 OFF**
  Bluetooth機器との接続を切断し、FOMA端末のBluetooth機能を停止することです。
  Bluetooth 電源 OFF にすると、ディスプレイ上部の（→ P10）が消えます。
- **Bluetooth 電源 ON**
  FOMA端末のBluetooth機能を起動して、Bluetooth機器とワイヤレス接続できる状態にすることです。
  Bluetooth 電源 ON にすると、ディスプレイ上部にが表示されます。
- **Bluetooth パスキー**
  Bluetooth機器を他人に許可なく使われないためのパスワードで、ワイヤレス接続する機器ごとに設定します。半角英数字で1～16桁設定できますが、機器によってはあらかじめ設定され、変更できない場合があります。ワイヤレス接続するBluetooth機器とFOMA 端末の両方に同じ Bluetooth パスキーを入力する場合と、FOMA 端末だけに Bluetooth パスキーを入力する場合があります。
- **機器登録（ペアリング）**
  Bluetooth 機器が周囲のワイヤレス接続可能な Bluetooth 機器を検索し、Bluetooth パスキーが一致するかどうかをチェックして登録することです。Bluetoothヘッドセット機器（別売）や Bluetooth 対応のハンズフリー機器（カーナビゲーションなど）と接続するときは、はじめに機器登録（ペアリング）を行う必要があります。
- **サービス**
  プロファイルと同義で使用されます。同一の特性を持つBluetooth機器に対する通信を総称して、「○○サービス」と呼びます。
- **全接続／自動接続／手動接続**
  Bluetooth 機器とのワイヤレス接続を開始することです。初めて接続するときには「全接続」（ダイヤルアップ通信サービスの場合→ P335）または「機器登録」（ヘッドセット／ハンズフリーサービスの場合）を行い、Bluetooth機器を登録する必要があります。一度機器の登録が完了すると、「自動接続」または「手動接続」で接続を開始することができます。
- **検索（探索、またはサーチ）**
  Bluetooth 機器が、周囲のワイヤレス接続可能な Bluetooth 機器を探す動作です。
  Bluetooth機器が検索されても、Bluetoothパスキーが一致しない機器とはワイヤレス接続できません。
- **プロファイル**
  Bluetooth の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。
- **暗号化**
  Bluetooth 機器の中には、他の Bluetooth 機器とデータをやり取りする際に、やり取りするデータを暗号化できるものがあります。暗号化することによって、Bluetoothでやり取りする情報を第三者から盗聴されにくくします。

Bluetoothとは

Bluetoothとは携帯電話やパソコンなどのBluetooth対応機器どうしをワイヤレス接続する技術です。FOMA端末にBluetoothが搭載されたことにより、ケーブルを使わずにFOMA端末とパソコン、カーナビ、ヘッドセットなどの対応機器を接続でき、さまざまな場面での通話や通信が可能になります。

良好な接続を行うために

良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境(壁、家具など)、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。FOMA端末と他のBluetooth機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。
  特に、鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
- 他の機器(電気製品/AV機器/OA機器/デジタルコードレス電話機/ファックスなど)から2m以上離れて接続してください(特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください)。他の機器の電源が入っているときにBluetooth機器が近くにあると、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります(UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります)。
- 放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- ワイヤレスLANとの電波干渉について
  Bluetooth機器とワイヤレスLAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、ワイヤレスLANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
  ・ワイヤレスLANと、FOMA端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、10m以上離してください。
  ・10m以内で使用する場合は、ワイヤレスLANまたはFOMA端末とワイヤレス接続するBluetooth機器の電源を切ってください。
- FOMA端末は、Bluetoothを使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetoothを使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetoothを使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

お知らせ

- 他人に許可なく使用されないため、Bluetoothパスキーは半角英数字で1～16桁以内のできるだけ長い桁数でのご使用をおすすめします。また、名前や誕生日など容易に推測できる言葉をBluetoothパスキーに使わないようご注意ください。
- FOMA端末と他のBluetooth機器を向き合わせる必要がなく、機器を鞄やポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。
  ただし、Bluetoothヘッドセットをお使いの際は、FOMA端末との間に身体を挟むと通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。
- 機器登録、自動接続、手動接続の操作後、Bluetoothの電源が入るまでの約10秒の間は、キー操作やタスクバーのアイコンをタップしても、登録や接続を中断することはできません。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではFOMA端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
  ・病院内/電車内/航空機内/ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
  ・自動ドアや火災報知機の近く

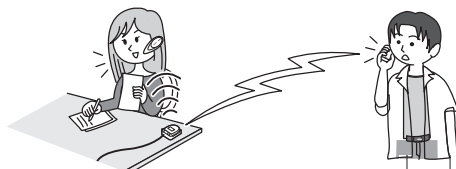
Bluetoothでできること

Bluetooth対応機器をご用意いただくことにより、FOMA端末でワイヤレス通話やハンズフリー通話、ワイヤレス接続によるパケット通信や64Kデータ通信を行うことができます。

対応Bluetoothバージョン	Bluetooth標準規格Ver.1.1準拠
対応Bluetoothプロファイル	• Dial-Up Networking Profile（ダイアルアップネットワーキングプロファイル） • Headset Profile（ヘッドセットプロファイル） • Hands-Free Profile（ハンズフリープロファイル）

ワイヤレスで通話する

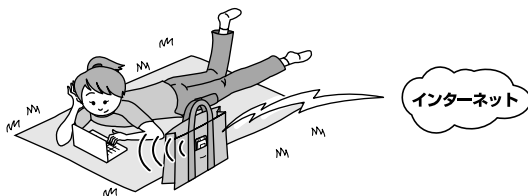
ヘッドセットで通話する

Bluetoothヘッドセット（別売）をご用意いただくと、ワイヤレスで通話することができます。
- ご利用にはヘッドセットサービスを使います。

メモを取りながら通話するときなど

ハンズフリーで通話する

市販のBluetooth対応カーナビなどをご用意いただくと、カーナビなどのマイクとスピーカを利用してハンズフリーで通話することができます。
- ご利用にはハンズフリーサービスを使います。→P378

ワイヤレスで通信する

市販のBluetooth対応パソコンなどをご用意いただくと、FOMA端末にワイヤレス接続し、FOMA端末をモデム代わりにしてパケット通信や64Kデータ通信を行うことができます。
- ご利用にはダイヤルアップ通信サービスを使います。→P335

外出先でノートパソコンなどから
インターネット接続するとき

お知らせ

- F900iTはすべてのBluetooth機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
  - ・接続するBluetooth機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
  - ・接続するBluetooth機器が上記Bluetooth標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なる、データのやりとりができないなどの現象が発生する場合があります。
- Bluetoothのダイヤルアップ通信サービスを使用してパケット通信を行う場合の受信最大通信速度は240kbps程度となります。また、実際のご利用にあたっては、接続機器や通信環境により、通信速度が低下する場合があり、上記速度を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。
- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- FOMA端末のディスプレイに電池残量がない旨のメッセージが表示されても、Bluetooth機能は終了しません。
- ワイヤレス通話やハンズフリー通話をする場合、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。

ヘッドセット／ハンズフリーの各機器を使う<ヘッドセット／ハンズフリー>

Bluetooth対応のヘッドセット機器／ハンズフリー機器を使って電話をかけたり受けたりするときは、まずヘッドセット機器／ハンズフリー機器をFOMA端末に登録し、ワイヤレス接続を行います。

●機器登録後は、FOMA端末と、ヘッドセット機器／ハンズフリー機器のどちらからでもワイヤレス接続できます。

ヘッドセット機器／ハンズフリー機器を使った通話の流れ

- ヘッドセット機器／ハンズフリー機器の使いかたについては、各機器の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth接続

初めてヘッドセット機器／ハンズフリー機器を使用する場合

FOMA端末に機器を登録する→P379

登録済みの機器を使用する場合

2回目以降は、以下のいずれかの操作を行います。

自動接続を行う→P380

手動接続を行う→P380

マルチサービスを起動する→P383

▼

通　話

ヘッドセット機器／ハンズフリー機器を使って通話する→P381

電話をかける

電話帳に登録した電話番号などにヘッドセット機器／ハンズフリー機器で電話をかけることができます（BluetoothヘッドセットF01の場合はメモリ番号000）。

電話を受ける

FOMA端末に電話がかかってきたときに、ヘッドセット機器／ハンズフリー機器の操作で電話を受けることができます。

▼

サービス停止

ヘッドセット／ハンズフリーのサービスを停止する

サービスを停止する→P382

Bluetoothの電源を切る→P382

機器を登録する＜機器登録＞

FOMA端末に機器を登録し、ワイヤレス接続をします。

- 自動接続や手動接続では、登録済みの機器にワイヤレス接続することができます。→P380
- 一度登録した機器は、登録を削除したり上書き登録で削除されない限り、登録し直す必要はありません。
- ダイヤルアップ通信機器／ヘッドセット機器／ハンズフリー機器は合わせて10件登録できます。10件を超えるときは、通信日時の古い順に上書きされます。ただし、保護された機器には上書きされません。
- Bluetoothヘッドセットに自動接続で着信するには、登録機器一覧からヘッドセットを優先設定する必要があります。→P385

〈例〉Bluetoothヘッドセット F01を登録するとき

1 BluetoothヘッドセットF01を検索待ち中にする

- ハンズフリー機器を登録するときは、ハンズフリー機器を検索待ち中にします。

2 待受画面で[MENU][📖][7][7][3]を押す

ヘッドセットメニューが表示されます。

- ハンズフリー機器を登録するときは、[MENU][📖][7][7][2]を押します。

3 [4]を押し、4〜8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

接続機器一覧 (1/2)
DoCoMo F01
Headset300
HeadsetInfinity
MultiSystem900
HSP4号
HeadsetDevice3
秘密機器2
FujitsuDevice1
Address XXXXXXXXXXXX

機器の検索が開始され10秒前後でBluetoothの電源が入り、機器名称を取得します。ディスプレイ上部に[Bluetooth](→P10)が点灯表示され、接続可能な機器の一覧が表示されます。機器の検索時間は、機器検索時間設定の設定により、5〜20秒間となります。→P387

(オレンジ)：未登録機器
(青)：登録済みで使用できる機器
：登録済みだが使用できない機器(圏外)
選択されている機器の機器アドレス

4 DoCoMo F01を選択して[●]を押す

- ハンズフリー機器を登録するときは、機器名称をハンズフリー機器の取扱説明書で確認してください。

■ Bluetoothパスキー入力画面が表示されたとき

BluetoothヘッドセットF01に設定されているBluetoothパスキー「0000」を入力して[●]を押す

- ハンズフリー機器を登録するときは、FOMA端末とハンズフリー機器の両方に同じBluetoothパスキーを入力してください。Bluetoothパスキーは半角英数字で1〜16桁入力できます。

5 「はい」を選択して[●]を押す

BluetoothヘッドセットF01が登録され、ワイヤレス接続を開始します。接続が完了すると、待受画面で[Bluetooth]が点滅します。

お知らせ

- 機器名称の取得には時間がかかる場合があります。
- 機器登録の際、FOMA端末が複数の機器を検索した場合は、機器名称で判別してください。FOMA端末が同一名称の機器を複数検索した場合は、機器アドレスで判別してください。機器アドレスについてはヘッドセット機器／ハンズフリー機器の取扱説明書をご覧ください。
- 通信状態が悪化するとタイムアウトになり、ワイヤレス接続は中断されます。このとき、ディスプレイ上部の[Bluetooth]は点灯に変わります。

機器に自動で接続する＜自動接続＞

登録済みの機器に接続します。

- 機器はあらかじめ登録しておいてください。→P379

〈例〉Bluetoothヘッドセット F01に自動でワイヤレス接続するとき

1 Bluetoothヘッドセットを接続待ち中にする

- ハンズフリー機器を接続するときは、ハンズフリー機器を接続待ち中にします。

2 待受画面で[MENU][m][7][7][3]を押す

ヘッドセットメニューが表示されます。

- ハンズフリー機器に自動で接続するときは[MENU][m][7][7][2]を押します。

3 [1]を押す

10秒前後でBluetoothの電源が入り、ディスプレイ上部にが点灯表示されます。Bluetoothヘッドセット F01からの接続待ちになり、待受画面に戻ります。

お知らせ

- 優先着信設定されていないヘッドセット機器やすべてのハンズフリー機器に接続するには、お使いになるサービスに合わせてFOMA端末を自動接続に設定し、Bluetoothヘッドセット／ハンズフリー機器から接続動作を行います。
- ダイヤルアップ通信サービスの全接続中は、ヘッドセットサービス／ハンズフリーサービスの自動接続を行うことはできません。
- 通信状態が悪化するとタイムアウトになり、ワイヤレス接続は中断されます。このとき、ディスプレイ上部のは点灯に変わります。

機器に手動で接続する＜手動接続＞

登録済みの機器に接続します。

- 機器はあらかじめ登録しておいてください。→P379

〈例〉Bluetoothヘッドセット F01に手動でワイヤレス接続するとき

1 Bluetoothヘッドセットを接続待ち中にする

- ハンズフリー機器を接続するときは、ハンズフリー機器を接続待ち中にします。

2 待受画面で[MENU][m][7][7][3]を押す

ヘッドセットメニューが表示されます。

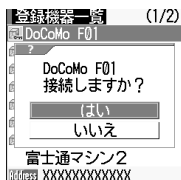
- ハンズフリー機器に手動で接続するときは[MENU][m][7][7][2]を押します。

3 [2]を押す

登録機器一覧　(1/2)
DoCoMo F01
富士通HSP7
ヘッドセット6番
HSP4号
HeadsetDevice3
FujitsuDevice1
HSP機械0
富士通マシン2
Address XXXXXXXXXXXX

選択されている機器の機器アドレス

登録機器の一覧が表示されます。登録機器が1件の場合は操作5へ進みます。

（マークの背景色なし）　：保護されている機器
（マークの背景色グリーン）：優先設定されている機器（ヘッドセットのみ）

機器を選択して◯を押す

- ハンズフリー機器を接続するときは、機器名称をハンズフリー機器の取扱説明書で確認してください。

「はい」を選択して◯を押す

10秒前後でBluetoothの電源が入り、ディスプレイ上部に(→P10)が点灯表示されます。続けて機器とのワイヤレス接続が開始され、接続が完了すると待受画面に戻り、が点滅表示されます。

お知らせ

- 手動接続の完了には5秒前後かかる場合があります。
- 手動接続で待受画面に戻った後、メッセージが表示されずに接続が切断される場合があります。
- 通信状態が悪化するとタイムアウトになり、ワイヤレス接続は中断されます。このとき、ディスプレイ上部のは点灯に変わり、手動接続によるワイヤレス接続の場合でも、自動接続の状態になります。

通話する

- ヘッドセット機器／ハンズフリー機器での通話方法については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- ヘッドセット機器／ハンズフリー機器の操作方法は、お使いになるヘッドセット機器／ハンズフリー機器の取扱説明書をご覧ください。
- ヘッドセット機器で通話中に、FOMA端末のを1秒以上押すと、FOMA端末に通話を切り替えることができます。また、FOMA端末で通話中に、ヘッドセット機器を操作することにより、ヘッドセット機器に通話を切り替えることができます。
- ハンズフリー機器で通話中に、FOMA端末のを1秒以上押す、またはハンズフリー機器を操作することにより、FOMA端末に通話を切り替えることができます。また、FOMA端末で通話中に、FOMA端末のを1秒以上押す、またはハンズフリー機器を操作することにより、ハンズフリー機器に通話を切り替えることができます。
- FOMA端末とヘッドセット機器／ハンズフリー機器との音声接続は、発着信時に確立され、電話を切ったときに切断されます。
- ヘッドセット機器／ハンズフリー機器で通話中は、通話中の音声をはじめ通話中保留音や着信音、通話中の電池アラーム音、マルチタスクで再生される音など、カメラの撮影確認音を除いたすべての音がヘッドセット機器／ハンズフリー機器から聞こえます(撮影確認音はFOMA端末本体から聞こえます)。待受中やFOMA端末本体で通話中など、ヘッドセット機器／ハンズフリー機器で通話していないときは、それらの機器からは音は聞こえません。
- ヘッドセットを使用してテレビ電話で通話する場合は、FOMA端末を操作して発信後、ヘッドセットを操作してヘッドセットに通話機切替を行ってください。
  ・Bluetoothヘッドセットの操作でテレビ電話発信はできません。
- ヘッドセット機器／ハンズフリー機器で通話中にFOMA端末の電池残量がなくなりアラーム音が鳴った場合も、通話が切れるまで、または電池がなくなるまではヘッドセット機器／ハンズフリー機器で通話ができます。
- ヘッドセット機器で通話中にヘッドセット機器の電源が切断されると、約20秒間無音のまま通話を継続した後、FOMA端末の設定により通話切断またはFOMA端末で通話継続となります。なお、無音状態になっても通話料金はかかります。

サービスを停止する＜サービス停止＞

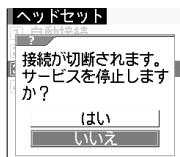
起動中のサービスを停止します。

〈例〉ヘッドセットサービスを停止するとき

ヘッドセットサービス中に、待受画面でMENU 📖 7 7 3を押す

ヘッドセットメニューが表示されます。

- ハンズフリーサービスを停止するときはMENU 📖 7 7 2を押します。

3を押す

「はい」を選択して●を押す

Bluetooth
サービス停止中

ヘッドセットサービスが停止します。

- 他のBluetoothサービスが起動していない場合は、Bluetoothの電源が切れ、Ⓑが消えます。

Bluetoothの電源を切る＜Bluetooth電源OFF＞

Bluetoothの電源を切ります。

待受画面でMENU 📖 7 7 6を押す

- オープン状態またはクローズ状態のとき、待受画面でサイドキー[⬭]を1秒以上押してもBluetoothの電源を切ることができます。ただし、このときは確認画面が表示されません。

「はい」を選択して●を押す

Bluetoothの電源が切れ、Ⓑが消えます。

Bluetoothのマルチサービスを起動する

ダイヤルアップ通信サービス、ヘッドセットサービス、ハンズフリーサービスのうち、マルチサービス起動設定で「有効」に設定されているサービスを同時に接続待ちの状態にします。

- サービスを起動する場合はあらかじめ機器を登録しておきます。
- すべてのサービスが「無効」に設定されているときや、登録機器が0件のときは、マルチサービスを起動できません。
- マルチサービスでヘッドセットサービスとハンズフリーサービスを同時に接続待ちの状態にしても、同時に使用することはできません。ヘッドセットサービスとハンズフリーサービスが接続待ちの状態でヘッドセットサービスと接続すると、ハンズフリーサービスが停止します。また、ハンズフリーサービスと接続すると、ヘッドセットサービスが停止します。
- ディスプレイ上部にが表示されているときは、マルチサービスの設定や起動ができません。Bluetoothの電源を切ってから行ってください。→P382
- ディスプレイ上部に(黒)(Bluetooth低消費電力モード中)が表示されていても、Bluetooth通信中の場合があります。
- ダイヤルアップ通信サービス中の機器が、ヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービスに対応している場合、ダイヤルアップ通信サービス中のままでも別のサービスを後から手動接続することが可能です。ただし、ご利用の機器によっては接続できない場合もあります。
- 同時に利用できるサービスの組み合わせは次のとおりです。

起動中のサービス ＼ 後で起動するサービス		ダイヤルアップ通信サービス：ヘッドセット／ハンズフリーサービスと接続先が同一の場合：パケット通信	ダイヤルアップ通信サービス：ヘッドセット／ハンズフリーサービスと接続先が同一の場合：64Kデータ通信	ダイヤルアップ通信サービス：ヘッドセット／ハンズフリーサービスと接続先が異なる場合：パケット通信	ダイヤルアップ通信サービス：ヘッドセット／ハンズフリーサービスと接続先が異なる場合：64Kデータ通信	ヘッドセットサービス（音声通話発着信およびFOMA端末間との音声切替）	ハンズフリーサービス（音声通話発着信およびFOMA端末間との音声切替）
ダイヤルアップ通信サービス	パケット通信	－	－	－	－	○	○
ダイヤルアップ通信サービス	64Kデータ通信	－	－	－	－	×	×
ヘッドセットサービス（音声通話中）		○	×	×	×	－	×
ハンズフリーサービス（音声通話中）		○	×	×	×	×	－

○：同時に利用可
×：同時に利用不可
－：実現しない組み合わせ

マルチサービスの起動内容を設定する<マルチサービス起動設定>

お買い上げ時	ダイヤルアップ起動：無効　ハンズフリー起動：無効　ヘッドセット起動：無効

ヘッドセットサービス、ハンズフリーサービス、ダイヤルアップ通信サービスのうち、同時に接続待ちの状態にするものを設定します。

1 待受画面でMENU 7 7 4 4を押す

マルチサービス起動設定
ﾀﾞｲﾔﾙｱｯﾌﾟ起動　無効
ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ起動　無効
ﾍｯﾄﾞｾｯﾄ起動　無効

2 同時に起動するサービスを選択してを押し、「有効」を選択してを押す

同時に起動しないサービスは、「無効」を選択してを押します。

を押す

マルチサービス起動設定が完了します。

マルチサービスを起動する＜マルチサービス起動＞

マルチサービス起動設定で有効にしたサービスを同時に起動し、自動接続を行います。

待受画面でMENU 7 7 5を押す

10秒前後でBluetoothの電源が入り、ディスプレイ上部に(→P10)が表示されます。マルチサービスが起動され、待受画面に戻ります。

- オープン状態またはクローズ状態のとき、待受画面でサイドキー[ ]を1秒以上押してもマルチサービスを起動することができます。

お知らせ

- マルチサービス起動時、どのサービスが起動されているかは、MENU 7 7 1～7 7 3を押して各サービスのメニューを表示し、各サービスのメニューで「3サービス停止」メニューが選択可能かどうかで判断してください。選択可能な場合、そのサービスは起動中です。
- マルチサービス起動の操作後、Bluetoothの電源が入り「マルチサービスを起動しました」が表示されるまでの約10秒の間は、起動を中断することはできません。

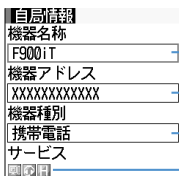
Bluetoothの環境を設定する＜Bluetooth設定＞

Bluetoothに関する情報表示や各種設定を行います。

が表示されているときは、環境を設定することはできません。Bluetoothの電源を切ってから設定してください。→P382

自局情報を確認する＜自局情報＞

FOMA端末の機器名称や機器アドレスを表示したり、機器名称を変更することができます。

- ディスプレイ上部にが表示されていても、自局情報を表示することができます。

待受画面でMENU 7 7 4を押す

Bluetooth設定メニューが表示されます。

1を押す

自局情報が表示されます。

■ 機器名称を変更するとき

①を押して機器名称を修正し、を押す

- 全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。

②「はい」を選択してを押す

自局の機器名称が変更されます。

登録機器を管理する<登録機器一覧>

FOMA端末に登録されているBluetooth機器を表示します。各Bluetooth機器について、保護／解除、機器名称変更、優先設定／解除、サービス許可／拒否、一覧からの削除を行うこともできます。

保護	登録機器が上書きされないように保護します。 • 保護されていても削除することができます。
優先設定	登録されたヘッドセット機器を優先設定すると、自動接続時にその機器に着信します。ただし、優先設定されていてもダイヤルアップ通信サービス起動中はFOMA端末から自動的に接続されません。また、ヘッドセットサービスとハンズフリーサービスが接続待ちの状態で、優先設定されているヘッドセット機器に着信があった場合、ハンズフリーサービスは停止されます。 • 優先設定されていても削除することができます。 • 優先設定はヘッドセットサービスのみ有効です。
サービス許可	表示されているサービスを使用可能にします。
サービス拒否	表示されているサービスを使用不可にします。

• ディスプレイ上部にが表示されていても、登録機器一覧や登録機器情報を表示することはできます。

待受画面でMENU 7 7 4を押す

Bluetooth設定メニューが表示されます。

2を押す

選択されている機器の機器アドレス

登録機器がサービスごとに表示されます。

を押してサービスを切り替えることができます。

(マークの背景色なし) ：保護されている機器

(マークの背景色グリーン)：優先設定されている機器(ヘッドセットのみ)

■ 保護するとき

保護する機器を選択してMENU 1を押す

• ダイヤルアップ通信機器／ヘッドセット機器／ハンズフリー機器を合わせて9件まで保護できます。

■ 保護を解除するとき

保護を解除する機器を選択してMENU 1を押す

■ 削除するとき

①削除する機器を選択してMENU 2を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

②「はい」を選択してを押す

■ 優先設定するとき

優先設定する機器を選択してMENU 4を押す

■ 優先設定を解除するとき

優先設定を解除する機器を選択してMENU 4を押す

■ サービス許可を設定するとき

サービス許可を設定する機器を選択してMENU 5を押す

■ サービス拒否を設定するとき

サービス拒否を設定する機器を選択してMENU 5を押す

3 登録機器を選択して◯を押す

登録機器情報
機器名称
DoCoMo F01
機器アドレス
XXXXXXXXXXXX
機器種別
ヘッドセット
サービス

登録機器情報が表示されます。

機器名称
機器アドレス
機器種別

サービスの状態
（青）：ダイヤルアップ通信サービスが使用可能
（青）：ハンズフリーサービスが使用可能
（青）：ヘッドセットサービスが使用可能
（青）：上記以外のサービスがある場合
（グレー）：ダイヤルアップ通信サービスが使用不可
（グレー）：ハンズフリーサービスが使用不可
（グレー）：ヘッドセットサービスが使用不可

■ 機器名称を変更するとき

- 保護または優先設定されている機器の名称は変更できません。

①◯を押し、機器名称を変更して（）を押す

全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。

②「はい」を選択して◯を押す

Bluetoothに関する各種設定を行う<詳細設定>

お買い上げ時	認証設定：認証有り　暗号化設定：暗号化有り　切断時設定：通話終了 低消費電力モード：ON　着信音送出設定：ON

Bluetoothに関する詳細な設定を行います。

1 待受画面でMENU（）7 7 4を押す

Bluetooth設定メニューが表示されます。

2 3を押す

詳細設定	
認証設定	認証有り
暗号化設定	暗号化有り
切断時設定	通話終了
低消費電力モード	ON
着信音送出設定	ON

項　目	説　明	サービス		
		ダイヤルアップ通信	ヘッドセット	ハンズフリー
認証設定	Bluetoothパスキーによる認証を行うかどうかを設定します。	―(*1)	○	―(*1)
暗号化設定	通信時に暗号化を行うかどうかを設定します。→P375	―(*2)	○	○
切断時設定	機器との切断時にFOMA端末の通話を切断するかどうかを設定します。 ●「通話終了」に設定すると、FOMA端末の通話も切断します。 ●「通話継続」に設定すると、FOMA端末の通話は継続します。	―(*3)	○	○
低消費電力モード	Bluetooth接続中に、FOMA端末を低消費電力状態にするかどうかを設定します。 ●「ON」に設定すると、通話していないときにBluetooth起動による電力の消費を自動的に抑えます。 ●「OFF」に設定すると、通話していないときにBluetoothの接続を切断します。	―(*4)	○	○
着信音送出設定	接続機器へ着信音を送出するかどうかを設定します。 ●「ON」に設定すると、接続機器から着信音は鳴動します。 ●「OFF」に設定すると、接続機器から着信音は鳴動しません。	―(*5)	○	○

(*1) 設定に関わらず常に認証ありで動作します。
(*2) 設定に関わらず常に暗号化ありで動作します。
(*3) 設定に関わらず常に機器との切断時にFOMA端末の通話を切断します。
(*4) 設定に関わらず常に低消費電力モードONで動作します。
(*5) 本機能はありません。

3 設定する項目を選択して○を押し、設定する

4 [MENU/電話帳]を押す

詳細設定が完了します。

お知らせ

- FOMA端末が低消費電力モードになるまでの時間は、以下のとおりです。
  - ・ダイヤルアップ通信サービスの場合：パケット通信中に無通信状態がしばらく続いたとき
  - ・ヘッドセットサービスの場合：FOMA端末およびヘッドセット機器を約30秒操作しなかったとき
  - ・ハンズフリーサービスの場合：FOMA端末およびハンズフリー機器を約10秒操作しなかったとき
- 低消費電力モードになると[Bluetooth]が青点滅から黒点灯に変わります。なお、お使いになるパソコン／ヘッドセット機器／ハンズフリー機器によっては、低消費電力モードにならない場合や、低消費電力モードになるまでの時間が異なる場合があります。

機器を検索する時間を設定する＜機器検索時間設定＞

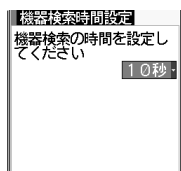
お買い上げ時	10秒

ワイヤレス接続する機器を検索する最大の時間を設定することができます。

- ここで設定する時間には検索後の機器名称を取得する時間は含まれません。

1 待受画面で[MENU][電話帳][7][7][4]を押す

Bluetooth設定メニューが表示されます。

2 [5]を押す

3 ○を押し、時間を選択して○を押す

4 [電話帳]を押す

機器検索時間が設定されます。

ダイヤルアップ着信の優先順位を設定する＜ダイヤルアップ優先着信設定＞

お買い上げ時	USB

FOMA端末でダイヤルアップ通信を行う場合に、Bluetooth接続とUSB接続のどちらを優先するかを設定します。

- ディスプレイ上部に[Bluetooth]が表示されていても、本機能の設定を行うことはできます。

1 待受画面で[MENU][電話帳][7][7][4]を押す

Bluetooth設定メニューが表示されます。

2 (6)を押す

3 (1)～(2)を押す

ダイヤルアップ優先着信が設定されます。

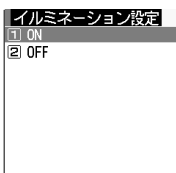
イルミネーションを設定する<イルミネーション設定>

お買い上げ時	ON

Bluetoothの電源が入っているときに、着信ランプを点滅させるかどうかを設定します。

1 待受画面で(MENU)(📖)(7)(7)(4)を押す

Bluetooth設定メニューが表示されます。

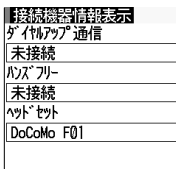
2 (7)を押す

3 (1)～(2)を押す

イルミネーションが設定されます。

接続中の機器情報を表示する<接続機器情報表示>

Bluetooth接続中の機器の名称または機器アドレスを表示します。

1 待受画面で(MENU)(📖)(7)(7)(7)を押す

接続機器情報表示
ﾀﾞｲﾔﾙｱｯﾌﾟ通信
未接続
ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ
未接続
ﾍｯﾄﾞｾｯﾄ
DoCoMo F01

機器の名称が表示されます。

機器アドレスを表示するときは(📖)を押します。

付録

FOMA Fシリーズ データリンクソフトについて

FOMA Fシリーズ データリンクソフトには次の2種類のソフトがあります。

● FOMA Fシリーズ データリンクソフト（以後、「データリンク」と呼びます）
FOMA端末の電話帳やメールなどのデータを、USB接続できるパソコンにバックアップできます。

● FOMA Fシリーズ データシンクロソフト（以後、「データシンクロ」と呼びます）
Microsoft® Outlook® とデータを同期させることができます。

詳しい操作については、それぞれのソフトのヘルプをお読みください。
「データリンク」「データシンクロ」をまとめて「データリンクソフト」と呼びます。

動作環境の確認

- データリンクソフトは、以下の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
OS	Windows XP、Windows 2000 Professional、Windows Me
CPU	Pentium 166MHz以上の性能を持つプロセッサを推奨
必要メモリ	32MB以上
ハードディスク容量	20MB以上の空き容量
ディスプレイ	High Color (16bit)以上推奨
ドライバ	FOMA F900iT 通信設定ファイル
ソフトウェア環境※	Microsoft® Outlook® 2003　Microsoft® Outlook® 2002 Microsoft® Outlook® 2000　Microsoft® Outlook® 98

※：データシンクロを使用する場合は、いずれかのソフトがインストールされている必要があります。

- データ転送を行うにはFOMA USB接続ケーブル（別売）または卓上ホルダと市販のUSBケーブルが必要です。
- データリンクはF900iT、F900i、F2102V、F2051に対応しています。
- データシンクロはF900iT、F900i、F2102Vに対応しています。

転送可能データ

- データリンクを使うと次のデータをF900iTに保存できる最大件数まで転送することができます。→P16、『基本編』P109、P220、P252
  - 電話帳データ（FOMA本体／FOMAカード）
  - スケジュール帳
  - 受信メール
  - 送信済メール
  - 未送信メール
  - メモ帳
  - ブックマーク
  - メロディ
  - 画像
  - 動画／ｉモーション
- データシンクロを使うと次のデータをMicrosoft® Outlook® と同期させることができます。

FOMA端末	Microsoft® Outlook®
電話帳データ（FOMA本体）	連絡先
スケジュール	予定表

- Microsoft® Exchange Serverなどを使用しているときは、Microsoft® Outlook®と同期させることができません。Microsoft® Exchange Serverなどとの共有を解除してからご使用ください。
- 電話帳に設定されている画像、FOMA端末外への出力が禁止されている静止画や動画／ｉモーション、メロディは、パソコンへの転送はできません（ただし、自端末でファイル制限を「あり」に設定したデータ、「データ交換」フォルダ内のデータを除く）。
ファイル制限→P251、P276、P293
- F900iT以外で撮影された動画／ｉモーションは、転送できない場合があります。

お知らせ

- 一部同期できないデータがあります。同期可能なデータについて、詳しくはソフトのヘルプをお読みください。
- データリンクソフトでの各データの呼びかたと、FOMA端末内での呼びかたが異なるものがあります。
- データリンクソフトのカレンダー表示範囲は、FOMA端末のカレンダー画面の表示範囲と異なります。

FOMA F シリーズ データリンクソフト

■データリンクソフトに関するホームページ

http://www.fmworld.net/product/phone/datalink/

■お問い合わせ先：富士通株式会社

フリーダイヤル 0120-176-769
携帯・PHS OK
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。
受付時間：10：00～19：00 （日曜・祝日を除く）
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

ご使用の前に

データリンクソフトをインストールする前に、次の操作を行い、添付のＣＤ-ＲＯＭ内の「DataLink」フォルダ内の「DataLink.txt」をお読みください。

1 **[スタート]メニュー→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックする**

2 **「<CD-ROMドライブ名>:\DataLink\DataLink.txt」を指定して[OK]をクリックする**

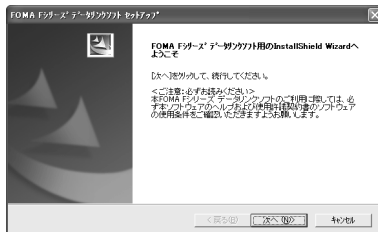
データリンクソフトをインストールする

1 **添付のCD-ROMをパソコンにセットする**

2 **DataLink.exeを起動する**

① **[スタート]メニュー→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックする**

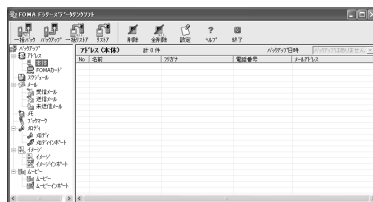
② **「<CD-ROMドライブ名>:\DataLink\DataLink.exe」を指定して[OK]をクリックする**

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

データリンクソフトを起動する

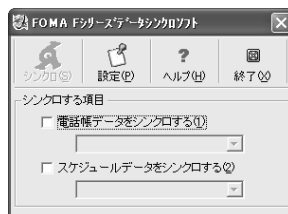
データリンクソフトを起動する前に「通信設定ファイル」をインストールし、FOMA端末とパソコンを接続しておいてください。

- 通信設定ファイルのインストール→P328
- FOMA端末をパソコンに接続する→P326
  パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。

データリンクを起動する

1 **[スタート]メニューをクリックし、「すべてのプログラム」(Windows XP以外のOSの場合は、[プログラム])→「FOMA Fシリーズ データリンクソフト」の順に選択して「FOMA Fシリーズ データリンクソフト」をクリックする**

データリンクを起動すると、右の画面が表示されます。
はじめに、設定アイコンを選択し、COMポート設定してください。
- データリンクの詳しい操作方法については、画面内の[ヘルプ]をクリックして、ヘルプを参照してください。

データシンクロを起動する

1 **[スタート]メニューをクリックし、「すべてのプログラム」(Windows XP以外のOSの場合は、[プログラム])→「FOMA Fシリーズ データリンクソフト」の順に選択して「FOMA Fシリーズ データシンクロソフト」をクリックする**

データシンクロを起動すると、右の画面が表示されます。
はじめに、設定アイコンを選択し、COMポート設定してください。
- データシンクロの詳しい操作方法については、画面内の[ヘルプ]をクリックして、ヘルプを参照してください。

データリンクソフトをアンインストールする

データリンクソフトをアンインストールすると、パソコンにバックアップしていたFOMA端末のデータも削除されます。
- アンインストールする前に、データリンクソフトを終了させてください。

〈例〉Windows XPでアンインストールするとき
- Windows XP以外のOSをご使用のときは、画面の表示が異なります。

1 **[スタート]メニュー→「コントロールパネル」→[プログラムの追加と削除]アイコンの順にクリックする**

「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。

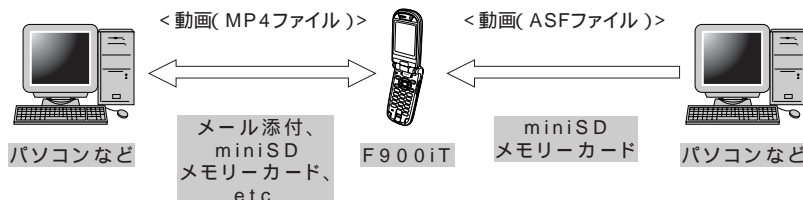
■Windows 2000 Professional、Meの場合

[スタート]メニューをクリックし、「設定」→「コントロールパネル」の順に選択して[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックする
「アプリケーションの追加と削除」画面(Windows Meの場合は、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」画面)が表示されます。

2 **「FOMA Fシリーズ データリンクソフト」を選択して[変更と削除]をクリックする**

- 以降は画面の表示に従って操作してください。

FOMA端末と外部機器とのデータ連携

ここでは、FOMA端末と外部機器との動画データの連携について説明します。

外部機器で作成した動画データをFOMA端末で再生する

パソコンなどの外部機器で作成した動画（MP4ファイル、ASFファイル）をminiSDメモリーカードに保存することで、FOMA端末で再生できる場合があります。

- miniSDメモリーカード内の動画を再生する→P271
- 再生可能なMP4ファイル→P272
- 再生可能なASFファイルは次のとおりです。

ファイル形式	SD-Video(ASF)
符号化方式	映像：MPEG-4 音声：G.726

※ただし、ASFファイルの中にも再生できないものがあります。

- 外部対応機器については次の方法でご確認いただけます。
  ・パソコンから
  http://www.fmworld.net/product/phone/index.html
- miniSDメモリーカード内の動画を再生するには、決められたフォルダに動画データを保存し（→P311、P312）、情報更新（→P318）する必要があります。

FOMA端末で撮影した動画データをパソコンなどで再生する

FOMA端末で撮影した動画（MP4ファイル）をminiSDメモリーカードやメール添付などでデータを転送し、パソコンで再生することができます。

- FOMA端末内で対応している動画ファイル→P272

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画（MP4ファイル）を再生するには、アップルコンピュータ（株）のQuickTime™ Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3＋3GPP）が必要です。
QuickTimeは、http://www.apple.co.jp/quicktime/download/よりダウンロードいただけます。

- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細については、上記ホームページをご覧ください。

エラーメッセージ一覧

ｉモード関連エラーメッセージ

ｉモード、ショートメッセージサービス（SMS）利用中のエラーメッセージを示します（五十音順）。

- エラーメッセージ中の「（数字）」または「（xxx）」は、ｉモードセンターより送信されたエラーを区別するためのコードです。

エラーメッセージ	説　明
いくつかの宛先に送信できませんでした（561）	○を押すと送信に失敗した宛先が表示されます。宛先が正しいか確認の上、電波状態の良い場所で送信し直してください。
応答がありませんでした（408）	サイトやインターネットホームページから規定時間内に応答がありませんでした。しばらく待ってから操作し直してください。
カード情報を認識できません	FOMAカードが正しく取り付けられていないか、異常です。→『基本編』P53
キャラ電撮影を終了してください	キャラ電をダウンロードした後、保存する際にキャラ電撮影が起動していた場合に表示します。保存する場合は、キャラ電撮影を終了させてください。→P99
桁数が多いため宛先を設定できません	ショートメッセージ（SMS）の宛先に21桁以上の電話番号が設定されているため、送信できません。宛先が正しいか確認してください。→P175
圏外です	電波の届かない場所かFOMAサービスエリア外にいるため実行できません。
このカードは認識できません	FOMAカードが正しく取り付けられていないか、異常です。→『基本編』P53
このサイトとのSSL通信は無効です	サイトの証明書が書き替えられています。接続できません。
このサイトの安全性が確認できません　接続しますか？	サイトの証明書が、FOMA端末でサポートしていない証明書です。接続するときは「はい」、接続を中止するときは「いいえ」を選択して○を押します。
このサイトは安全でない可能性があります　接続しますか？	サイトの証明書の有効期限前か期限が過ぎています。接続するときは「はい」、接続を中止するときは「いいえ」を選択して○を押します。なお、日付・時刻が未設定または間違っている場合も表示されることがあります。日時を正しく設定してください。→P60、『基本編』P65
この接続先の安全性が確認できません　接続しますか？	FOMA端末の証明書の有効期限前か期限が過ぎています。接続するときは「はい」、接続を中止するときは「いいえ」を選択して○を押します。なお、日付・時刻が未設定または間違っている場合も表示されることがあります。日付・時刻を正しく設定してください。→P60、『基本編』P65
この接続先は安全でない可能性があります　接続しますか？	サイトの証明書のCN名（サーバ名）が実際のサーバ名と一致していません。接続するときは「はい」、接続を中止するときは「いいえ」を選択して○を押します。→P59
このデータは再生できない可能性があります	動画／ｉモーションがサポートしていない形式です。再生できない場合があります。
このデータを取得するためには時刻設定をしてください	日付・時刻が設定されていないため受信できません。日付・時刻を設定してください。→『基本編』P65
このｉモーションを再生するためにはｉモーションタイプ設定を変更してください（MENU-表示）	ｉモーションタイプ設定が「標準タイプ」の設定のままストリーミングタイプのｉモーションをダウンロードしようとしました。ｉモーション設定でｉモーションタイプを変更してください。→P110
サービス未契約です	ｉモードの契約がされていないため実行できません。ｉモードを利用するには申し込みが必要です。
最大サイズを超えたので中断しました	サイト画面の受信中、キャラ電をダウンロード中に最大サイズを超えたため、中断しました。サイト画面では○を押すと受信済みの画面を表示できます。
サービス未提供です	ショートメッセージサービス（SMS）が未提供です。

エラーメッセージ	説　明
再生可能日前です　再生できません	ｉモーションに設定されている再生期間より前なので、再生できません。→P272
再生制限データに誤りがあるため、取得できません	再生制限データが誤っているため受信できません。
再生できません	メロディやｉモーションのデータが再生できない場合に表示されます。
サイトが移動しました(301)	サイトやインターネットホームページのURLが変更されています。
サイトに接続できませんでした(403)	指定のサイトやインターネットホームページに接続を拒否されました。
指定サイトがみつかりません(404)	サイトやインターネットホームページが見つかりませんでした。
指定サイトに表示データがありません(204)	指定のサイトにデータがありませんでした。
指定されたソフトがありません	サイトやメール、外部機器から指定されたソフトがFOMA端末に保存されていません。
指定したサイトへは接続できませんでした(504)	ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。
しばらくお待ちください	回線がたいへん混み合っています。しばらく待ってから送信し直してください。
	ｉモードの利用が現在規制されています。しばらく待ってから操作し直してください。
受信が中断されました　受信できなかったメッセージがあります	受信中にエラーが発生したため、ショートメッセージ(SMS)をすべて受信できませんでした。電波状態の良い場所に移動して、SMS問合せを行ってください。→P181
受信に失敗しました(xxx)	受信中にエラーが発生したため受信できませんでした。電波状態の良い場所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合はしばらく待ってから操作し直してください。
受信メールがいっぱいです	受信メールの保存領域の空きが不足しているためメールを受信できません。未読メールを読むか、メールの保護を解除するか、メールを削除してください。→P150、182、186、189、192、193
受信を拒否されました	SMSセンターにショートメッセージ(SMS)の受信を拒否されました。
情報が正しくないため再生できませんでした	添付されたメロディや動画／ｉモーションのデータが不正なため再生できませんでした。
既にメッセージをお預かりしています	既にショートメッセージ(SMS)は送信済みです。
接続が中断されました	電波状態の良い場所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらく待ってから操作し直してください。
接続できません	ｉモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態の良い場所に移動して操作し直してください。
設定時間内に接続できませんでした	ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。
センターにメッセージがいっぱいです	ｉモードセンターにメッセージがいっぱいの場合に表示します。FOMA端末内のメール・メッセージ受信領域を空けた状態で、メール・メッセージを受信してください。→P149
送信できません。　宛先を確認してください(451)	ｉモードメールの宛先が正しいか確認してください。
送信できませんでした 送信できませんでした(xxx)	ｉモードメールまたはショートメッセージ(SMS)の送信に失敗しました。電波状態の良い場所で送信し直してください。
送信を拒否されました	ショートメッセージ(SMS)の送信が拒否されました。
ソフトに誤りがあります	ソフトのデータに誤りがあるためダウンロードできません。

エラーメッセージ	説　明
ダウンロードできませんでした	受信中に通信が中断されました。電波状態の良い場所に移動し、しばらくたってから操作し直してください。
データ転送モード中です	データ送受信中の場合に表示します。データ送受信中はｉモード接続できません。
添付のファイルはｉモードに送信できません	10000バイトを超える静止画はｉモード端末(〜@docomo.ne.jp)には送信できません。送信先のアドレスの@の後に「p.」を付与することで、10000バイトより大きく100Kバイト以下の画像を送信することができます。→P124
問合せ種別が選択されていません	ｉモード問合せ設定で種別が選択されていません。１つ以上問い合わせ種別を選択してください。→P149
問合せできませんでした	電波状態の良い場所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらく待ってから操作し直してください。
登録中です　しばらくしてからご利用ください(554)	ｉモードへのユーザ登録中です。
入力データまたはURLが長すぎます	サイトやインターネットホームページの入力欄に入力された文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから送信し直してください。
入力データをご確認ください(205)	サイトやインターネットホームページの入力データに誤りがあります。入力データを確認してください。
認証タイプに未対応です(401)	指定のサイトやインターネットホームページには接続できません。
認証を中止しました	「基本認証」の画面でクリアを押して認証を中止したときに表示されます。
パスワードをご確認ください(401)	サイトやインターネットホームページの基本認証画面に入力したユーザ名かパスワードに誤りがあります。再入力してください。
保存領域がいっぱいで保存できません	ＦＯＭＡカードの保存領域が不足しているため、ショートメッセージ(SMS)を保存できません。ショートメッセージ(SMS)を本体に移動するか削除してください。→P188、189
無効なデータを受信しました(xxx)	指定のサイトやインターネットホームページがｉモードに対応していません。URLが間違っている可能性があります。
	受信データにエラーがあるため表示できませんでした。
メールフォルダ数がいっぱいのため、ダウンロードできません	メール連動型ｉアプリに対応したメールフォルダが5件あるため、ダウンロードできません。メール連動型ｉアプリを削除してください。→P92
メール／メッセージがいっぱいです　これ以上受信できません	受信メールの保存領域の空きが不足しているためショートメッセージ(SMS)を受信できません。未読メールを読むか、メールの保護を解除するか、メールを削除してください。→P150、182、189、192、193
メール／メッセージがいっぱいです　受信できなかったメッセージがあります	受信メールの保存領域の空きが不足しているため、ショートメッセージ(SMS)をすべて受信できませんでした。未読メールを読むか、メールの保護を解除するか、メールを削除してから、SMS問合せを行ってください。→P150、181、182、189、192、193
メッセージがいっぱいです	メッセージR/Fの保存領域の空きが不足しているため、メッセージR/Fを受信できません。未読のメッセージR/Fを読むか、メッセージR/Fの保護を解除するか、メッセージR/Fを削除してください。→P115、116、117
メモリ不足です　メインメニューに戻ります	メモリが不足したため処理を中断します。　を押すとｉモードメニューに戻ります。
ユーザ証明書がありません。継続しますか？	クライアント証明書がダウンロードされていません。→P61
ユーザ証明書の有効期限が切れています。継続しますか？	クライアント証明書の有効期限が切れています。→P60
FOMAカードがいっぱいです	ＦＯＭＡカードの保存領域が不足しているため、ショートメッセージ(SMS)を保存できません。ショートメッセージ(SMS)を本体に移動するか削除してください。→P188、189
FOMAカードが異なるためご利用できません	サイトやインターネットホームページからダウンロードしたデータやメールの添付ファイル、メッセージR/Fの表示・再生を保存したときは異なるF0MAカードを挿入しています。

エラーメッセージ	説　明
FOMAカードが異なるため指定されたソフトが起動できませんでした	サイトなどからダウンロードした連携して利用するソフトを起動するときに表示されます。 ダウンロードしたときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。
FOMAカードが挿入されていないためご利用できません	FOMAカードが挿入されていません。FOMAカードを挿入して利用してください。
FOMAカードが挿入されていないため指定されたソフトが起動できませんでした	サイトなどからダウンロードした連携して利用するソフトを起動するときに表示されます。 ダウンロードしたときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。
iモーション再生サイズを超えています	iモーション(スタンダード(標準)タイプ)データ取得時または、データ取得中の再生時に、受信可能な最大サイズを超えたので、受信を中断しました。 受信可能な最大サイズ→P108
iモーション最大サイズを超えています	データ取得中の再生(ストリーミングタイプ)時に、受信可能な最大サイズを超えたので、受信を中断しました。 受信可能な最大サイズ→P108
iモード接続中のため設定できません	iモード接続中は実行できません。
SMSセンター設定を確認してください	SMS設定のショートメッセージセンターの設定が誤っています。→P209
SSL通信が切断されました	SSL通信中にエラーが発生したか、その他のクライアント認証に関わるサーバー側での認証エラーのため中断しました。
SSL通信が無効です	SSL通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。
SSL通信が無効に設定されています	FOMA端末の証明書が無効に設定されています。接続するには設定を変更してください。→P60
SSL通信を切断しました	サイトの証明書に問題があるときに表示される接続確認画面で「いいえ」を選択した場合に表示されます。
URLが長すぎて登録できません	URLが長すぎるためブックマークに登録できません。

miniSDメモリーカード関連エラーメッセージ

miniSDメモリーカード利用中のエラーメッセージを示します(五十音順)。

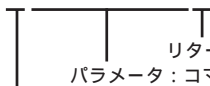
エラーメッセージ	説　明
この形式のデータは実行できません	実行できない形式のデータです。
サイズが大きいため実行できません	データサイズが実行可能なサイズを超えています。
データがありません	miniSDメモリーカードにデータが保存されていません。パソコンなどでデータを保存した場合は情報更新を行ってください。→P318
データ転送モードへ移行できません	しばらく待ってから操作し直してください。
データまたはminiSDカードが壊れています	miniSDメモリーカードが正しく取り付けられていないか、データが異常です。または、フォーマット形式が異なるためFOMA端末では初期化できません。情報更新しても改善されなければ、パソコンなどで初期化を行ってください。→P317
本体の保存領域がいっぱいです	FOMA端末内のデータを削除してください。→P268、286、298
マイピクチャ/その他の画像/動画/メロディフォルダの保存件数がいっぱいです	miniSDメモリーカード内のデータを削除してください。→P315
miniSDカードが使用中です	しばらく待ってから操作し直してください。
miniSDカードが挿入されていません	miniSDメモリーカードが取り外されました。miniSDメモリーカードを取り付け直してください。
miniSDカードの保存領域がいっぱいです	新しいminiSDメモリーカードを取り付けるか、不要となったデータを削除してください。→P315

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド(命令)です。パソコンでコマンドを入力すると、その内容に従ってFOMA端末が動作します。

ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ず「AT」を付けて入力します。必ず半角英数字で入力してください。以下に入力例を示します。

ATD＊99＊＊＊1#⏎

リターンマーク：Enterキーを押します。コマンドの区切りになります。
パラメータ：コマンドの内容です。
コマンド：コマンド名です。

ATコマンドはコマンドに続くパラメータ(数字や記号)を含めて、必ず1行で入力します。1行とは最初の文字から⏎を押した直前までの文字のことで、最大160文字(「AT」含む)入力できます。

ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、パソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作することができます。

- オフラインモード
  FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作を行います。
- オンラインデータモード
  FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させることがあります。通信中はATコマンドを入力しないでください。
- オンラインコマンドモード
  FOMA端末が通信中の状態でも、特別な操作(→下記)をすればATコマンドでFOMA端末を操作することができる状態になります。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

お知らせ

- ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末(ターミナル)のように動作させるモードです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている機器や回線に送られます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

・「+++」コマンドまたは「S2」レジスタに設定したコードを入力します。
・「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C(＊)のER信号をOFFにします。

また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO⏎」と入力します。

(＊) USBインターフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

ATコマンド一覧

● ATコマンド入力時に、使用しているPCや通信ソフトのフォント設定により、「￥」を入力しても「＼」と表示される場合があります。
[AT]：FOMA F900iT Command Portで使用できるATコマンドです。※
[M] ：FOMA F900iT Modem Portで使用できるATコマンドです。
※：OSによっては設定できない場合があります。

● FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、設定値が記録されない場合があります。

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT%V [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	FOMA端末のバージョンをVerX.XXなどの形式で表示します。	AT%V↵ Ver1.00 OK
AT&C<n> [M]	DTEへの回路CD（DCD）信号の動作条件を設定します。※1	n＝0：回路CDを常にON n＝1：回路CD信号は回線接続状態に従って変化します（お買い上げ時） 「&C1」に設定する場合は、接続完了時のCONNECTを送出する直前にCD信号を「ON」にします。回路が切断され、"NO CARRIER"を送出する直前にCD信号を「OFF」にします。	AT&C1↵ OK
AT&D<n> [M]	オンラインデータモードのときに、DTEから受け取る回路ER（DTR）信号が「ON」から「OFF」に変わったときの動作を設定します。※1	n＝0：状態を無視します（常にONとみなす） n＝1：ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモード n＝2：ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモード（お買い上げ時）	AT&D1↵ OK
AT&F [AT][M]	FOMA端末のATコマンド設定値を工場出荷時の状態にリセットします。通信中に本コマンドを入力した場合は、回線を切断してからリセットします。	―	AT&F↵ OK
AT&S<n> [M]	DTEへ出力するデータセットレディ（DR）信号の制御のしかたを設定します。※1	n=0：常時ON（お買い上げ時） n=1：回線接続時にDR信号ON	AT&S0↵ OK
AT&W [M]	現在の設定値をFOMA端末に記録します。	―	AT&W↵ OK
AT＊DANTE [AT][M]	FOMA端末の受信レベル表示を数字で表示します。	「AT＊DANTE」を設定すると「DANTE:<n>」の形式で表示されます。 n=0:圏外 n=1: n=2: n=3:	AT＊DANTE↵ ＊DANTE:3 OK AT＊DANTE=?↵ ＊DANTE:(0-3) OK （表示可能な値の範囲を表示する）
AT＊DGANSM=<n> [M]	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。本コマンドの設定は、設定コマンド入力後のパケット通信着信呼のみ有効です。※2	n=0：着信拒否設定および着信許可設定を「OFF」に設定します（お買い上げ時） n=1：着信拒否設定を「ON」にします n=2：着信許可設定を「ON」にします	AT＊DGANSM=0↵ OK AT＊DGANSM？↵ ＊DGANSM：0 OK

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT∗DGAPL=<n> [，<cid>] [M]	パケット着信呼に対して着信を許可する接続先(APN)を設定します。APN設定は「+CGDCONT」で定義された<cid>パラメータを使用します。※2	<n>パラメータによって着信許可リストへの追加および削除を指定し、<cid>パラメータを省略した場合は、<cid>のすべてをリストに追加(<n>＝0)あるいは削除(<n>= 1)します。本コマンドで追加(削除)しようとする<cid>が「+CGDCONT」コマンドで定義されてない場合でも、リストへ追加(削除)できます。 n=0：　リストへ追加(<cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加します)。 n=1：　リストから削除(<cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除します)。	AT∗DGAPL=0,1↵ OK AT∗DGAPL？↵ AT∗DGAPL：1 OK
AT∗DGARL=<n> [，<cid>] [M]	パケット着信に対して着信を拒否する接続先(APN)を設定します。APN設定は「+CGDCONT」で定義された<cid>パラメータを使用します。※2	<n>パラメータによって着信拒否リストへの追加および削除を指定し、<cid>パラメータを省略した場合は、<cid>のすべてをリストに追加(<n>＝0)あるいは削除(<n>＝1)します。本コマンドで追加(削除)しようとする<cid>が「+CGDCONT」コマンドで定義されていない場合でも、リストへ追加(削除)できます。 n=0：　リストへ追加(<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加します)。 n＝1：　リストから削除(<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストより削除します)。	AT∗DGARL=0,1↵ OK AT∗DGARL？↵ ∗DGARL：1 OK
AT∗DGPIR=<n> [M]	本コマンドの設定は、発信時、着信時に有効です。ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に「186」(通知)／「184」(非通知)を付けることができます。※2	n=0：　パケット通信確立時、APNにそのまま接続します(お買い上げ時) n＝1：　パケット通信確立時、APNに「184」を付けて接続します n＝2：　パケット通信確立時、APNに「186」を付けて接続します 本コマンドとダイヤルアップネットワークの両方で「186」(通知)／「184」(非通知)を設定した場合については、362ページの表をご覧ください。	AT∗DGPIR=0↵ OK AT∗DGPIR?↵ ∗DGPIR：0 OK
AT∗DRPW [AT][M]	FOMA端末が受信する電波の受信電力指標を表示します。	「AT∗DRPW」を設定すると「∗DRPW:<n>」の形式で表示されます。	AT∗DRPW↵ ∗DRPW:0 OK AT∗DRPW=?↵ ∗DRPW:(0-75) OK (表示可能な値の範囲を表示する)
+++ [M]	FOMA端末のモードをオンラインデータモードからオンラインコマンドモードへ移行します。 エスケープガード区間は「1秒」の固定値です。	――	――
AT+CEER [M]	直前の通信の切断理由を表示します。	「切断理由一覧」を参照。→P406	AT+CEER↵ +CEER：36 OK
AT+CGDCONT [M]	パケット発信時の接続先(APN)を設定します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照。→P407	「ATコマンドの補足説明」を参照。→P407

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CGEQMIN [M]	パケット通信を確立したときにネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許可するかどうかの判定基準を登録します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照。→P408	「ATコマンドの補足説明」を参照。→P408
AT+CGEQREQ [M]	パケット通信を確立したときにネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を許可するかどうかの判定基準を登録します。※2	「ATコマンドの補足説明」を参照。→P409	「ATコマンドの補足説明」を参照。→P409
AT+CGMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	――	AT+CGMR↵ 1234567890123456 OK
AT+CGREG=＜n＞ [M]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。通知されている内容は圏内／圏外です。※1	＜n＞ 0：設定しません（お買い上げ時） 1：設定します 「AT+CGREG=1」に設定すると、"+CGREG：<stat>"の形式で通知されます。<stat>パラメータは「0,1,4,5」をサポートします。 ＜stat＞ 0：圏外 1：圏内（home） 4：不明 5：圏外（visitor）	AT+CGREG=1↵ OK （通知ありに設定） AT+CGREG?↵ +CGREG:1,0 OK （圏外を意味している）
AT+CGSN [M]	FOMA端末の製造番号を表示します。	――	AT+CGSN↵ 123456789012345 OK
AT+CLIP=＜n＞ [M]	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示できます。※1	＜n＞ 0：リザルトを出しません（お買い上げ時） 1：リザルトを出します 「CLIP？」のとき、AT+CLIP=＜n＞,＜m＞を表示します。 ＜m＞ 0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 1：発信時に相手に番号を通知するNW設定 2：不明	――
AT+CLIR=＜n＞ [M]	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。※2	＜n＞ 0：サービスご契約の設定どおり 1：通知しません 2：通知します（お買い上げ時） 「+CLIR？」のとき、AT+CLIR=＜n＞,＜m＞を表示します。 ＜m＞ 0：CLIRは起動していません（常時通知） 1：CLIRは常時起動しています（常時非通知） 2：不明 3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） 4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト）	――

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CMEE=<n> [M]	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。※1	エラーを"ERROR"のみで表示するか、理由を文字あるいは数値でレポートするかを設定します。 <n> 0：リザルトコードを使用せずに "ERROR" を表示します（お買い上げ時） 1：リザルトコードを使用し、数字で理由を表示します 2：リザルトコードを使用し、文字で理由を表示します 「n=1」または「n=2」でエラーレポート表示に設定した場合、エラーレポートは次のように表示されます。 +CME ERROR：xxxx（xxxxには、数字または文字が表示されます。「エラーレポート一覧」→P406）	AT+CMEE=0↵ OK AT+CNUM↵ ERROR AT+CMEE=1↵ OK AT+CNUM↵ +CME ERROR :10
AT+CNUM [M]	FOMA端末の自局番号を表示します。	number：電話番号 type　：129もしくは145 129：国際アクセスコード+を含まない 145：国際アクセスコード+を含む	AT+CNUM↵ +CNUM : ,"+8190 12345678", 145 OK
AT+CR=<mode> [M]	回線接続時に"CONNECT"のリザルトコードが表示される前に、パケット通信／64Kデータ通信を表示するかどうかを設定します。※1 パケット通信のときは、"GPRS"と表示され64Kデータ通信のときは"SYNC"と表示されます。	<mode> 0：回線接続時に表示しません（お買い上げ時） 1：回線接続時に表示します	AT+CR=1↵ OK ATD＊99＊＊＊1# +CR : GPRS CONNECT
AT+CRC=<n> [M]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。※1	n=0：拡張リザルトコードを使用しません（お買い上げ時） n=1：拡張リザルトコードを使用します	AT+CRC=0↵ OK
AT+CREG=<n> [AT][M]	ネットワークの圏内／圏外情報を表示するかを設定します。※1	「AT+CREG=1」で圏内／圏外に設定すると、"+CREG:<n>, <stat>"の形式で通知されます。<stat>パラメータは「0, 1,4」をサポートします。 <n> 0：通知なし 1：通知あり <stat> 0：圏外 1：圏内 4：不明	AT+CREG=1↵ OK （通知ありに設定） AT+CREG？↵ +CREG :1, 0 OK （圏外を意味している）
AT+GMI [M]	FOMA端末のメーカの名前が半角英数字で表示されます。	―	AT+GMI↵ FUJITSU OK
AT+GMM [M]	FOMA端末の製品名の略称（FOMA F900iT）がアルファベットおよび数字で表示されます。	―	AT+GMM↵ FOMA F900iT OK
AT+GMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	FOMA端末のバージョンをVerX.XXなどの形式で表示します。	AT+GMR↵ Ver1.00 OK

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+IFC=＜n,m＞ [M]	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。※1	DCE by DTE(＜n＞) 0：フロー制御を行いません 1：XON/XOFFフロー制御を行います 2：RS/CS(RTS/CTS)フロー制御を行います(お買い上げ時) DTE by DCE (＜m＞) 0：フロー制御を行いません 1：XON/XOFFフロー制御を行います 2：RS/CS(RTS/CTS)フロー制御を行います(お買い上げ時)	AT+IFC=2,2↵ OK
AT+WS46=＜n＞ [M]	発信時に使用する無線ネットワークを設定します。発信に影響を与えるものではありません。	n=22：FOMAネットワーク(固定値)	AT+WS46=22↵ OK
ATA [M]	パケット着信および64Kデータ通信の着信時に入力すると、着信処理を行います。	パケット着信中には、「ATA184↵」(発信者番号通知なし着信動作)および「ATA186↵」(発信者番号通知あり着信動作)を入力できます。	RING ATA↵ CONNECT
A/ [AT][M]	直前に実行したコマンドを再実行するときに使用します。	前の応答が"ERROR"だった場合は、"ERROR"が返ります。	A/ OK
ATD [M]	発信処理を行います。※3	パケット通信： ATD*99***＜cid＞#↵ 「ATD*99#」を入力した場合： 「＜cid＞=1」を用います。(＜cid＞の入力を省略した場合は、「＜cid＞=1」になります)。 「ATD184*99」で始まる書式を入力した場合： 指定した＜cid＞に規定したAPNに対して"184"が付加されます(発信者番号通知ありの"186"でも同様の操作ができます)。 64Kデータ通信： ATD[パラメータ][電話番号]↵ 相手の電話番号に「0～9、*、#、A、a、B、b、C、c、D、d、-(ハイフン)、スペース、T、t、P、p、!、W、w、@、,(カンマ)」以外を設定した場合は、発信できません。　　の文字は入力可能ですが、ダイヤル時には認識されません。	ATD*99***1#↵ CONNECT
ATE＜n＞ [M]	パソコンから送信された本コマンドに対して、FOMA端末がエコーを返すかどうかを設定します。※1	n=0：エコーバックなし n=1：エコーバックあり(お買い上げ時) 通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機能がある場合、n=0に設定すると文字が二重に表示されなくなります。	ATE1↵ OK
ATH [M]	パケット通信および64Kデータ通信時に入力すると、回線を切断します。	――	(通信中) +++ OK ATH↵ NO CARRIER
ATI＜n＞ [M]	確認コードを表示します。	n=0：NTT DoCoMo n=1：製品名の略称を表示します(FOMA F900iT) n=2：製品のバージョンを "VerX.XX"などの形式で表示します	ATI0↵ NTT DoCoMo OK
ATO [M]	通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻る。	――	ATO↵ CONNECT

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATQ＜n＞ [M]	リザルトコードを表示するかどうかを設定します。※1	n=0：リザルトコードを表示します（お買い上げ時） n=1：リザルトコードを表示しません	ATQ0↵ OK
ATV＜n＞ [M]	リザルトコードの表示方法を設定します。※1	すべてのリザルトコードを数字表記あるいは英文字表記で表示します。 n=0：リザルトコードを数字表記で表示します n=1：リザルトコードを英文字表記で表示します（お買い上げ時）	ATV1↵ OK
ATX＜n＞ [M]	接続のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。※1	ビジートーン検出： 接続先が通話中のとき、BUSY応答を送出します。 ダイヤルトーン検出： FOMA端末に接続されているかどうかを判定します。 速度表示： 接続時のCONNECT表示に速度を表示するかどうかを設定します。 n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（お買い上げ時）	ATX1↵ OK
ATZ [M]	FOMA端末のATコマンド設定値をリセットします。※4	FOMA端末のATコマンド設定値を不揮発メモリの内容にリセットします。通信中に本コマンドを入力した場合は、回線を切断してからリセットします。	（オンライン時） ATZ↵ NO CARRIER （オフライン時） ATZ↵ OK
ATS0=＜n＞ [M]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。※1	n=0：自動着信しません（お買い上げ時） n=1～255：指定したリング数で自動着信します	ATS0=0↵ OK
ATS2=＜n＞ [M]	エスケープキャラクタの設定を行います。	n=0～127（お買い上げ時 n=43） n=127に設定するとエスケープは無効になります。	ATS2=43↵ OK ATS2?↵ 043 OK
ATS3=＜n＞ [M]	復帰（CR）キャラクタの設定を行います。	ATコマンド文字列の最後を認識するキャラクタを定義します。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付きます。設定値は変更できません（お買い上げ時 n=13）。	ATS3=13↵ OK ATS3?↵ 013 OK
ATS4=＜n＞ [M]	改行（LF）キャラクタの設定を行います。	英文でリザルトコードを表示する場合、[CR]キャラクタの後に付きます。設定値は変更できません（お買い上げ時 n=10）。	ATS4=10↵ OK ATS4?↵ 010 OK
ATS5=＜n＞ [M]	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	ATコマンド入力中にこのキャラクタを検出すると、入力バッファの最後のキャラクタを削除します。設定値は変更できません（お買い上げ時 n=8）。	ATS5=8↵ OK ATS5?↵ 008 OK
ATS6=＜n＞ [M]	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。 n：2～10（お買い上げ時 n=5）	ATS6=10↵ OK

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATS7=＜n＞ [M]	接続完了までの待ち時間(秒)を設定します。※1	n：1～255(お買い上げ時 n=60) 64Kデータ通信呼およびパケット通信発呼の発呼時に、FOMA端末がパソコンからATD入力を受信してから設定した秒数が経過しても、FOMA端末がパソコンに"CONNECT"を送出できない場合は、"NO CARRIER"のリザルトを返し、切断処理へ移行します。値を「121～255」に設定した場合、"OK"のリザルトを返しますが、値は「120」に設定されます。	ATS7=60↵ OK
ATS8=＜n＞ [M]	カンマダイヤルするまでのポーズ時間(秒)を設定します。	本コマンドによりレジスタは設定されますが、ポーズ時間(3秒)に影響しません。 n=0：ポーズしません n：1～255(お買い上げ時 n=3)	ATS8=3↵ OK
ATS10=＜n＞ [M]	自動切断の遅延時間(秒)を設定します。(1/10秒)※1	本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。 n：1～255(お買い上げ時 n=1)	ATS10=1↵ OK
ATS30=＜n＞ [M]	データの送受信をこの時間以上行わないと切断します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。<n>は分単位で設定します。 n：0～255(お買い上げ時 n=0) n=0は不活動タイマオフ	ATS30=3↵ OK
ATS103=＜n＞ [M]	着サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。 n=0：＊アスタリスク n=1：/スラッシュ(お買い上げ時) n=2：￥マークあるいはバックスラッシュ	ATS103=0↵ OK
ATS104=＜n＞ [M]	発サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。 n=0：#シャープ n=1：%パーセント(お買い上げ時) n=2：&アンド	ATS104=0 ↵ OK
AT￥S [M]	現在の設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。	―	AT￥S↵ E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 ￥V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=001 S104=001 OK
AT￥V＜n＞ [M]	接続時の応答コード仕様を選択します。※1	本コマンドは、ATX<n>コマンド(→P404)がn=0以外のときのみ有効です。 n=0：拡張リザルトコードを使用しません(お買い上げ時) n=1：拡張リザルトコードを使用します	AT￥V1↵ OK

※1 ：「& W」コマンドでFOMA端末に記録されます。
※2 ：「& F」「Z」コマンドによるリセットは行われません。
※3 ：「ATDN↵」や「ATDL↵」でリダイヤル発信ができます。
※4 ：「& W」コマンドを使用する前に「Z」コマンドを実行すると、最後に記録した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。

切断理由一覧

■パケット通信

値	理　由
27	APN が存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手側が呼出し中のため通信ができません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、もしくは着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMA カードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外の SIM（FOMA カードに相当する IC カード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

ＡＴコマンドの補足説明

■コマンド名：+CGDCONT＝[パラメータ]

- **概要**

  パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。

- **書式**

  +CGDCONT＝[＜cid＞[，"PPP"[，"＜APN＞"]]]↵

- **パラメータ説明**

  ＜cid＞＊　：1～10

  ＜APN＞＊：任意

  「＜cid＞＊」は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。お買い上げ時、「＜cid＞=1」には、moperaに接続するためのAPN（「mopera.ne.jp」）が登録されています。＜APN＞は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。

- **実行例**

  「abc」というAPN名を登録する場合のコマンド（＜cid＞＝3の場合）

  AT+CGDCONT＝3，"PPP"，"abc"↵

  OK

- **パラメータを省略した場合の動作**

  AT+CGDCONT＝

  すべての＜cid＞の設定をクリアします。ただし、「＜cid＞＝1」の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。

  AT+CGDCONT＝＜cid＞

  指定された＜cid＞の設定をクリアします。ただし、「＜cid＞＝1」の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。

  AT+CGDCONT＝？

  設定可能な値のリスト値を表示します。

  AT+CGDCONT？

  現在の設定値を表示します。

■コマンド名：+CGEQMIN＝[パラメータ]

- **概要**

  PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。

- **書式**

  AT+CGEQMIN＝[＜cid＞[，，＜Maximum bitrate UL＞[，＜Maximum bitrate DL＞]]]↵

- **パラメータ説明**

  ＜cid＞＊　　：1～10
  ＜Maximum bitrate UL＞＊　：なし（初期値）または64
  ＜Maximum bitrate DL＞＊　：なし（初期値）または384
  「＊＜cid＞」は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。「Maximum bitrate UL」および「Maximum bitrate DL」では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「64」および「384」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。

- **実行例**

  （1）上り／下りすべての速度を許容する場合のコマンド（＜cid＞＝2の場合）
  　　AT+CGEQMIN＝2↵
  　　OK
  （2）上り64kbps／下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド
  　　（＜cid＞＝3の場合）
  　　AT+CGEQMIN＝3,,64,384↵
  　　OK
  （3）上り64kbps／下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド
  　　（＜cid＞＝4の場合）
  　　AT+CGEQMIN＝4,,64↵
  　　OK
  （4）上りすべての速度／下り384kbps速度のみ許容する場合のコマンド
  　　（＜cid＞＝5の場合）
  　　AT+CGEQMIN＝5,,,384↵
  　　OK

- **パラメータを省略した場合の動作**

  AT+CGEQMIN＝
  すべての＜cid＞の設定をクリアします。
  AT+CGEQMIN＝＜cid＞
  指定された＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQMIN＝？
  設定可能な値のリストを表示します。
  AT+CGEQMIN？
  現在の設定を表示します。

■コマンド名：+CGEQREQ＝[パラメータ]

- **概要**

  PPPパケット通信時の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。

- **書式**

  AT+CGEQREQ＝[＜cid＞]↵

- **パラメータ説明**

  上り64kbps／下り384kbpsの速度で接続を要求するコマンドのみ設定可能です。各cidにはその内容がお買い上げ時に設定されています。

  ＜cid＞＊　：1～10

  「＊＜cid＞」は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。

- **実行例**

  （＜cid＞＝3の場合）

  AT+CGEQREQ＝3↵

  OK

- **パラメータを省略した場合の動作**

  AT+CGEQREQ＝

  すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。

  AT+CGEQREQ＝＜cid＞

  指定された＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。

  AT+CGEQREQ＝？

  設定可能な値のリスト値を表示します。

  AT+CGEQREQ？

  現在の設定を表示します。

■リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
5	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
6	BUSY	話中音の検出中です。
7	NO ANSWER	接続完了　タイムアウトしました。
100※	RESTRICTION※	ネットワークが規制中です。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

※：「RESTRICTION」(数字：100)が表示された場合は、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

■拡張リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
5	CONNECT 1200	FOMA 端末－ PC 間速度 1200bps で接続しました。
10	CONNECT 2400	FOMA 端末－ PC 間速度 2400bps で接続しました。
11	CONNECT 4800	FOMA 端末－ PC 間速度 4800bps で接続しました。
13	CONNECT 7200	FOMA 端末－ PC 間速度 7200bps で接続しました。
12	CONNECT 9600	FOMA 端末－ PC 間速度 9600bps で接続しました。
15	CONNECT 14400	FOMA 端末－ PC 間速度 14400bps で接続しました。
16	CONNECT 19200	FOMA 端末－ PC 間速度 19200bps で接続しました。
17	CONNECT 38400	FOMA 端末－ PC 間速度 38400bps で接続しました。
18	CONNECT 57600	FOMA 端末－ PC 間速度 57600bps で接続しました。
19	CONNECT 115200	FOMA 端末－ PC 間速度 115200bps で接続しました。
20	CONNECT 230400	FOMA 端末－ PC 間速度 230400bps で接続しました。
21	CONNECT 460800	FOMA 端末－ PC 間速度 460800bps で接続しました。

お知らせ

- ATV<n>コマンド(→P404)がn=1に設定されている場合には英文字表記(初期値)、n=0に設定されている場合には数字表記でリザルトコードが表示されます。
- 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－PC間はUSBケーブルで接続されているため、実際の接続速度と異なります。

■通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	PPPoverUDで接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
2	AV32K	AV（テレビ電話）［32K］で接続
3	AV64K	AV（テレビ電話）［64K］で接続
5	PACKET	PACKETで接続

■ リザルトコード表示例

ATX０が設定されているとき

AT￥Vコマンド（→P405）の設定に関わらず、接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT

数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
1

ATX１が設定されているとき

・ATX1、AT￥V0が設定されている場合（初期値）
接続完了のときに、CONNECT＜FOMA端末－PC間の速度＞の書式で表示します。

文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT 460800

数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
121

・ATX1、AT￥V1が設定されている場合※1
接続完了のときに、次の書式で表示します。
CONNECT＜FOMA端末－PC間の速度＞ ＜通信プロトコル＞ ＜接続先APN＞／＜上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度＞／＜下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度＞※2

文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT 460800 PACKET mopera.ne.jp / 64/ 384
（mopera.ne.jpに、上り最大64kbps、下り最大384kbpsで接続したことを表します。）

数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
121 5

※1：ATX1、AT￥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しくできない場合があります。AT￥V0だけでのご利用をおすすめします。
※2：AT￥V1が設定されている場合、＜接続先APN＞以降はPACKETで接続している場合のみ表示されます。

ア

カ

サ

付録

索引

タ

ハ

マ

ヤ

ラ

ワ

英数字

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

・ 航空機内　・病院内

※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■運転中の場合

FOMA端末を使用しながら運転すると、事故の原因になります。

※運転中、電源を切りたくない場合は、ドライブモードを設定してください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音をすべて消す設定など、便利な機能があります。

●マナーモード／オリジナルマナーモード

キー確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音をすべて消します（マナーモード）。
→『基本編』P155
マナーモードの動作を変更することもできます（オリジナルマナーモード）。
→『基本編』P157

●ドライブモード

電話をかけてきた相手に、運転中のため電話に出られないことを知らせるガイダンスを流し、電話を切ります。電話がかかってきても着信音が鳴らないので安全に運転できます。
→『基本編』P86

●バイブレータ

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。→『基本編』P158

●伝言メモ

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。→『基本編』P88

その他にも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。→『基本編』P281、P289

マナーもいっしょに携帯しましょう。

◯公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道
株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ北陸
株式会社NTTドコモ中国
株式会社NTTドコモ九州
株式会社NTTドコモ東北
株式会社NTTドコモ東海
株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ四国

製造元　富士通株式会社

古紙配合率100％再生紙を使用しています。

大豆油インキを使用しています。

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

'04.8（3版）
CA92002-4331